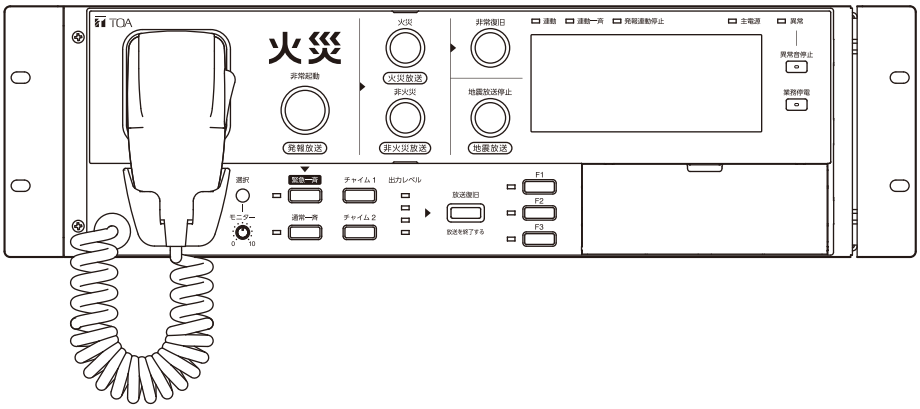
TOA

システム設定説明書

キャビネットラック型非常用放送設備
型名 FS-2500

FS-2500EP



お知らせ

本書は FS-2500EP の設定操作部を使って設定するときの説明書です。パソコンが使用できる環境にあるときは、設定支援ソフトウェア FS-2500 Manager *を使用して設定できます。

* 設定支援ソフトウェア FS-2500 Manager は付属しておりません。
TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/）から最新の設定支援ソフトウェアおよび FS-2500 設定支援ソフトウェア取扱説明書をダウンロードしてお使いください。
設定支援ソフトウェアで設定したときは、データを付属の SD カードに保存した後、FS-2500EP の設定操作部を使って SD カードから FS-2500EP へデータ書き込みを行ってください。

このたびは、TOA キャビネットラック型非常用放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、必ずこのシステム設定説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目　次

説明書の構成 6

設置工事とシステム設定の手順 7

システム設定の前に 8
- システム設定で使用するキー 8
- 基本的な操作のしかた 9
  - メニュー項目の選択 9
  - 設定内容の編集 9
  - 設定の順番 10

メニュー構成 11

システム設定 15
- システム設定を始める 15
- 初期設定（1-1） 16
  - 時刻設定（1-1-1） 16
  - 暗証番号変更（1-1-2） 17
  - システム動作モード設定（1-1-3） 17
- 機器構成設定（1-2） 18
  - 構成設定（本体・RM・PM・EX）（1-2-1） 18
  - 非常 RM 設定（1-2-2） 20
    - 非常 RM 電源設定（1-2-2-1） 21
  - 業務 RM 設定（1-2-3） 22
    - 業務 RM 構成設定（1-2-3-1） 22
    - 業務 RM 機能設定（1-2-3-2） 23
  - 本体・EX 電源パネル設定（1-2-4） 25
  - アンプ設定（1-2-5） 27
    - アンプモジュール設定（1-2-5-1） 29
  - ジャンクションパネル設定（1-2-6） 31
  - 出力系統設定（1-2-7） 32
- 非常放送設定（1-3） 34
  - 音声警報設定（1-3-1） 34
  - 非常タイマー設定（1-3-2） 36
  - 放送階選択方法設定（1-3-3） 37
  - EL・階メッセージ設定（1-3-4） 38
  - SW・EL 設定（1-3-5） 40
    - 本体（1-3-5-1） 40
    - 非常 RM（1-3-5-2） 42
  - 出火階・連動階設定（1-3-6） 44
  - 回線初期値設定・点検（1-3-7） 45
    - 回線初期値取得（1-3-7-1） 45
    - 回線初期値確認・編集（1-3-7-2） 47
    - 回線初期値点検（1-3-7-3） 50
    - パイロットトーン設定（1-3-7-4） 53

回線グループ設定（1-3-8）..... 53
EL 制御設定（1-3-9）..... 55
EL モード設定（1-3-9-1）..... 55
EL グループ割り当て設定（1-3-9-2）..... 56
EL 設定確認（1-3-9-3）..... 57
機器制御設定（1-4）..... 57
音声入力設定（1-4-1）..... 57
外部放送音声入力設定（1-4-1-1）..... 58
音声入力接続設定（1-4-1-2）..... 59
PM 音声入力接続（1-4-1-2-1）..... 59
業務 RM 音声入力接続（1-4-1-2-2）..... 61
ミックスバス設定（1-4-1-3）..... 62
ミックスバス用途設定（1-4-1-3-1）..... 62
ミックスバス制御設定（1-4-1-3-2）..... 63
ミュート設定（1-4-1-4）..... 63
SW 設定（1-4-2）..... 65
スイッチ動作設定（1-4-2-1）..... 65
本体（1-4-2-2）..... 66
緊急・通常一斉 SW 設定（1-4-2-2-1）..... 67
チャイム SW 設定（1-4-2-2-2）..... 68
非常 RM（1-4-2-3）..... 69
緊急・通常一斉 SW 設定（1-4-2-3-1）..... 69
チャイム SW 設定（1-4-2-3-2）..... 71
業務 RM（1-4-2-4）..... 72
業務 RM 動作設定（1-4-2-4-1）..... 72
業務 RM AUX ミュート設定（1-4-2-4-1-1）..... 74
業務 RM AUX ミュート感度設定（1-4-2-4-1-2）..... 75
回線選択 SW 設定（1-4-2-4-2）..... 76
一斉 SW 設定（1-4-2-4-3）..... 78
チャイム SW 設定（1-4-2-4-4）..... 80
ファンクション SW 設定（1-4-3）..... 81
制御入力設定（1-4-4）..... 84
制御出力設定（1-4-5）..... 88
業務放送設定（1-5）..... 90
業務放送動作設定（1-5-1）..... 91
音声レベル感度設定（1-5-1-1）..... 92
優先度設定（1-5-2）..... 93
同一優先度動作設定（1-5-3）..... 94
非常断 24 V 出力設定（1-5-4）..... 95
EV 音源音量設定（1-5-5）..... 96
音量・音質設定（1-5-6）..... 99
音声入力設定（1-5-6-1）..... 99
簡易設定（1-5-6-1-1）..... 99
設定詳細表示（1-5-6-1-2）..... 100
音声出力設定（1-5-6-2）..... 100
音声出力設定詳細表示（1-5-6-2-1）..... 102
作動表示灯設定（1-5-7）..... 102

設定初期化（1-6） 102
システム設定の終了（1-7） 103

メンテナンス 104
メンテナンスモードに入る 104
自己診断（2-1） 105
点検のしかた 105
異常があったとき 105
定期点検開始時刻を設定する 106
SD カード（2-2） 107
SD カードの挿入のしかた 107
設定データ更新（SD → EP）（2-2-1） 107
設定・音源データ更新（SD → EP）（2-2-2） 108
設定データ保存（EP → SD）（2-2-3） 109
設定・音源データ保存（EP → SD）（2-2-4） 110
履歴データ保存（EP → SD）（2-2-5） 111
設定データ比較（SD ⇔ EP）（2-2-6） 112
ファームウェア更新（2-3） 113
メンテナンスの終了（2-4） 113

システム状態確認 114
システム状態確認を始める 114
動作履歴（3-1） 115
故障履歴（3-2） 115
ユニットバージョン確認（3-3） 116
制御入力状態（3-4） 117
システム状態確認の終了（3-5） 117

総合点検 118

LCD コントラスト設定 120

放送状態マトリクス表示設定 121

動作選択メニューの終了 122

記名カードの取り付け 123
記名カードの作成 123
記名カードの取り付け 126
FS-2510EP、FS-2520EP の場合 126
FS-2010EP、FS-2020EP、FS-2000RM、
FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM の場合 126

業務用リモコンの表示ラベルの取り付け 128
RM-200F/210F の場合 128
RM-220FW の場合 130

設定データの初期値 132
初期設定 132

機器構成設定 132
非常放送設定 135
機器制御設定 137
業務放送設定 141

設定表の記入方法 143
設定表の記入にあたって 143
システム構成例①（電源機種系列：FS2000 系） 143
初期設定 144
機器構成設定 144
非常放送設定 146
機器制御設定 147
業務放送設定 149
システム構成例②（電源機種系列：FS2500 系） 150
初期設定 151
機器構成設定 152
非常放送設定 153
機器制御設定 155
業務放送設定 158

設定表 159
初期設定 159
機器構成設定 159
非常放送設定 165
機器制御設定 170
業務放送設定 175

付録：設定についての補足 179
パワーアンプパネルの設定（1-2-5） 179
入力するとき 179
機種を追加するとき 179
機種を削除するとき 180
ジャンクションパネルの設定（1-2-6） 180
入力するとき 180
機種を追加するとき 181
機種を変更するとき 181
機種を削除するとき 182
出力系統の設定（1-2-7） 182
入力するとき 182

付録：エラーダイアログ表示時の対処 184

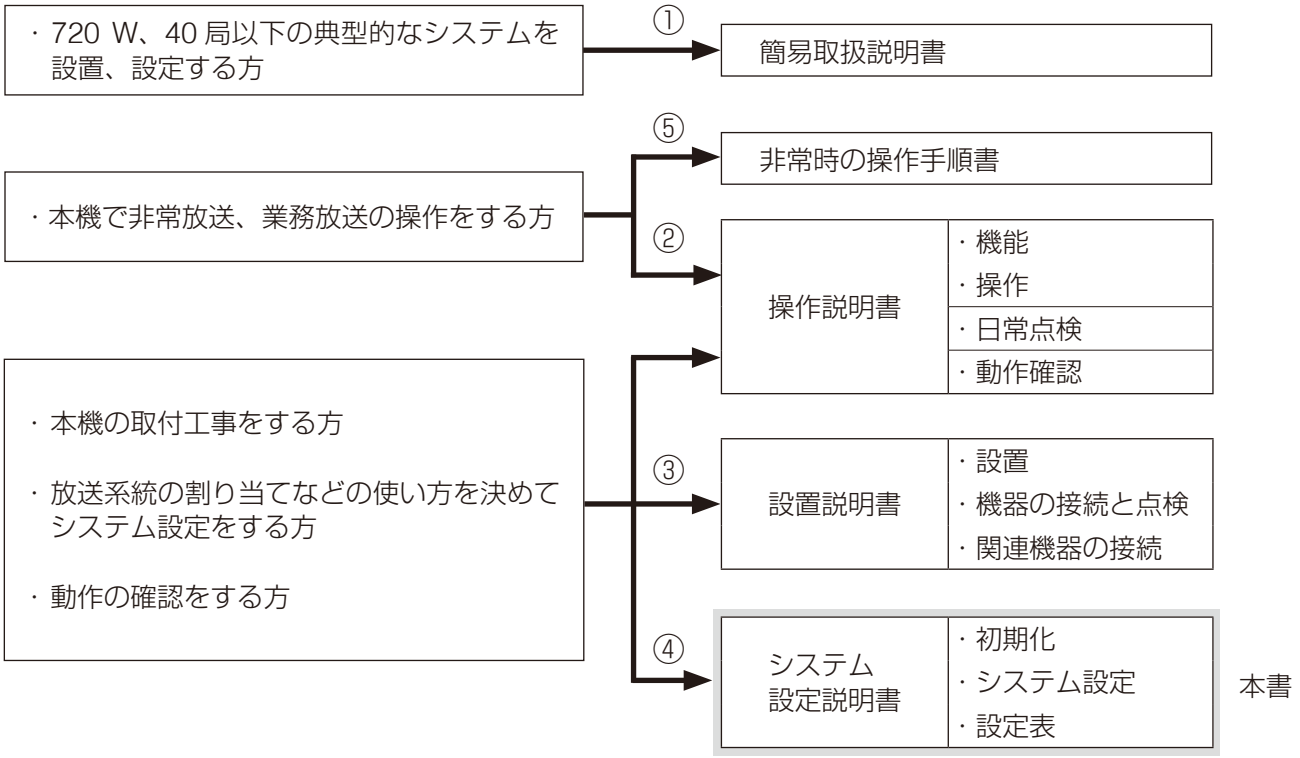
付録：点検入力の使用方法 185

説明書の構成

キャビネットラック型非常用放送設備 FS-2500 システムには次の説明書があります。

	説明書の名称	説明書の概要	備考
①	簡易取扱説明書	720 W、40 局以下の標準的なシステム構築に必要な内容のみ記載	紙で付属
②	操作説明書	非常時および日常点検などの操作全般	紙で必要な場合は、営業所へお問い合わせください。
③	設置説明書	設置、接続全般	
④	システム設定説明書	FS-2500EP の液晶画面でのシステム設定など	
⑤	非常時の操作手順書	シート型の簡易手順書	紙で付属

すべて TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/）で公開しています。
お客様の目的により、お手元にない説明書が必要な場合は、上記サイトからダウンロードしてお使いください。

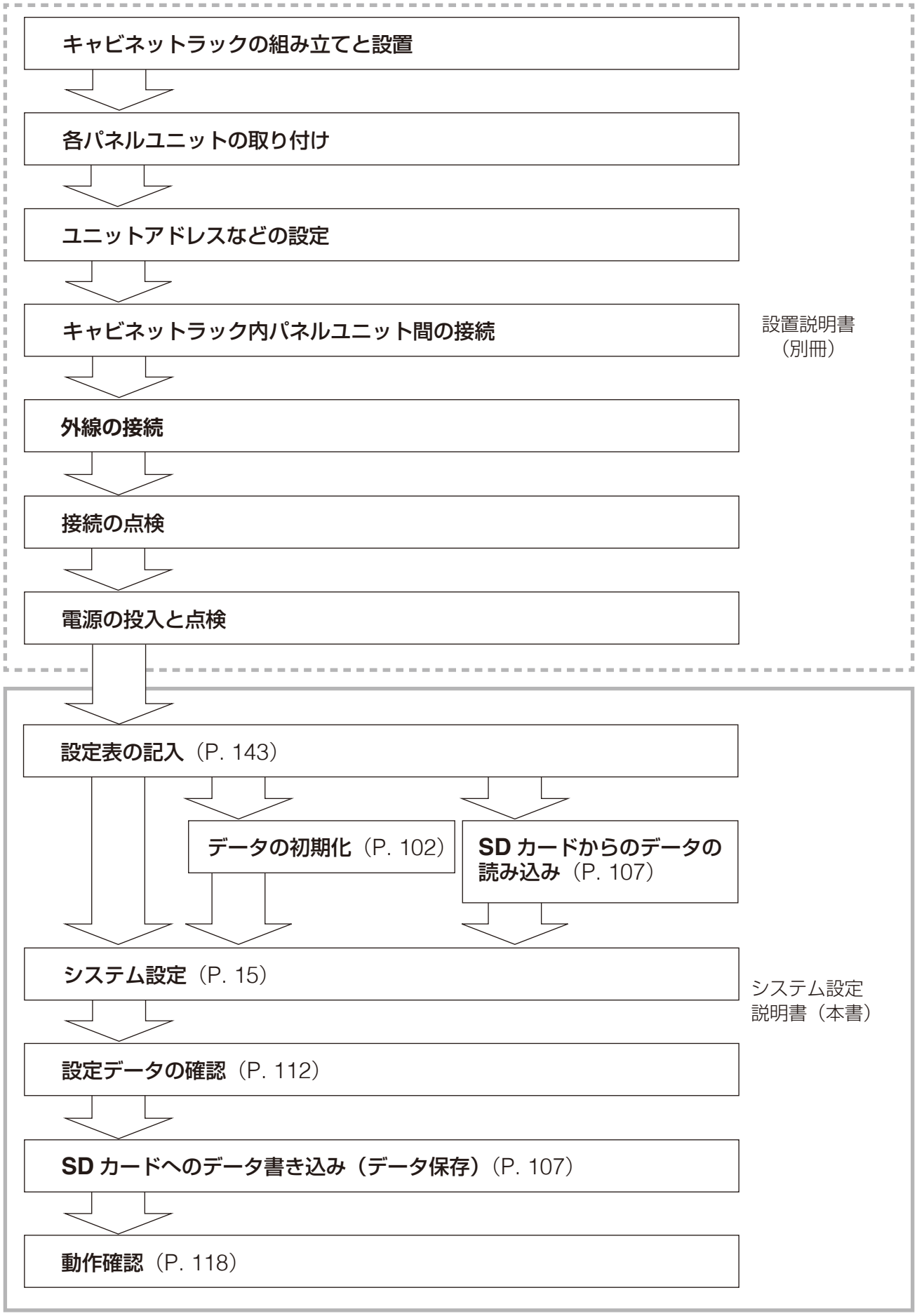


メ　モ

上記④ FS-2500 システム設定説明書は FS-2500EP の設定操作部を使って設定するときの説明書です。
設定については、これ以外に、FS-2500 設定支援ソフトウェア FS-2500 Manager *を使用して設定するときの FS-2500 設定支援ソフトウェア取扱説明書があります。パソコンが使用できる環境にあるときは、設定支援ソフトウェア FS-2500 Manager *を使用して設定できます。

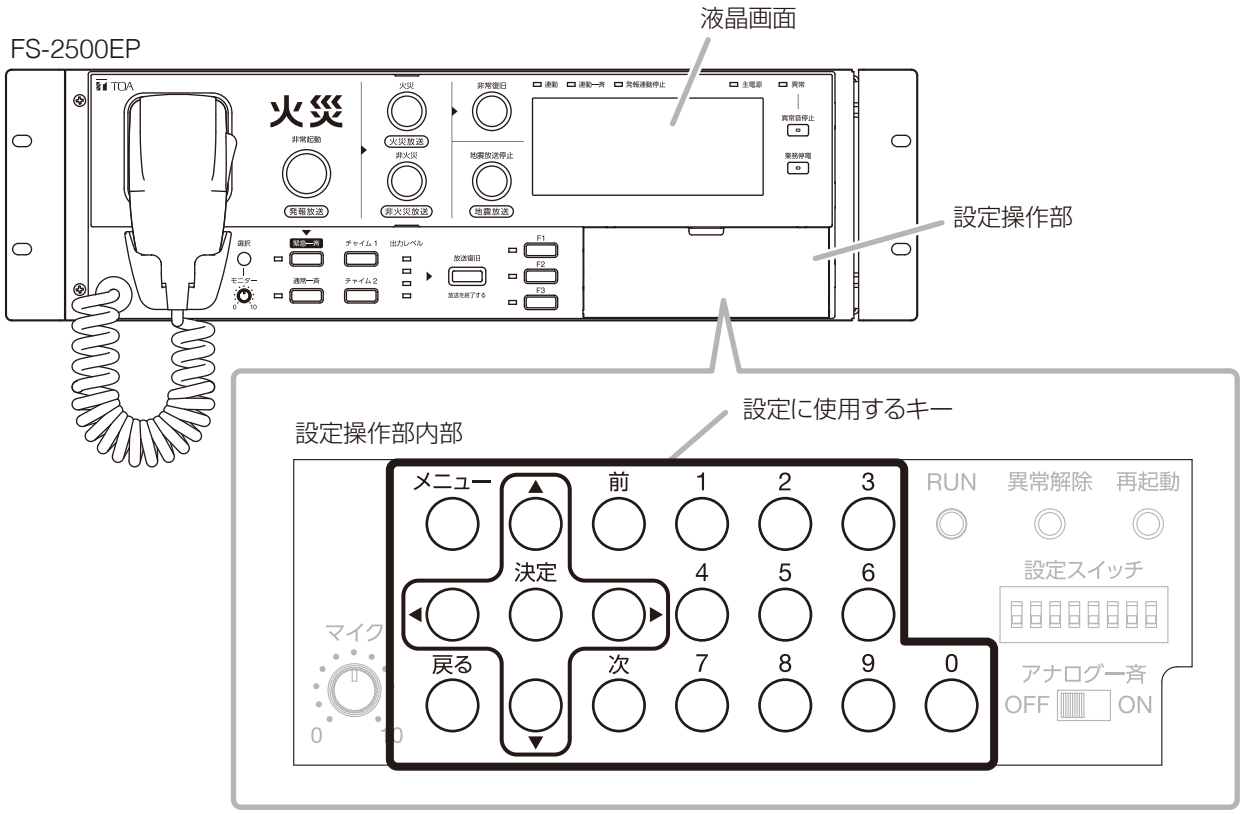
* 設定支援ソフトウェア FS-2500 Manager は付属しておりません。
TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/）から最新の設定支援ソフトウェアおよび FS-2500 設定支援ソフトウェア取扱説明書をダウンロードしてお使いください。
設定支援ソフトウェアで設定したときは、データを付属の SD カードに保存した後、FS-2500EP の設定操作部を使って SD カードから FS-2500EP へデータ書き込みを行うか、または直接 FS-2500EP に設定アップロードを行ってください。

設置工事とシステム設定の手順



システム設定の前に

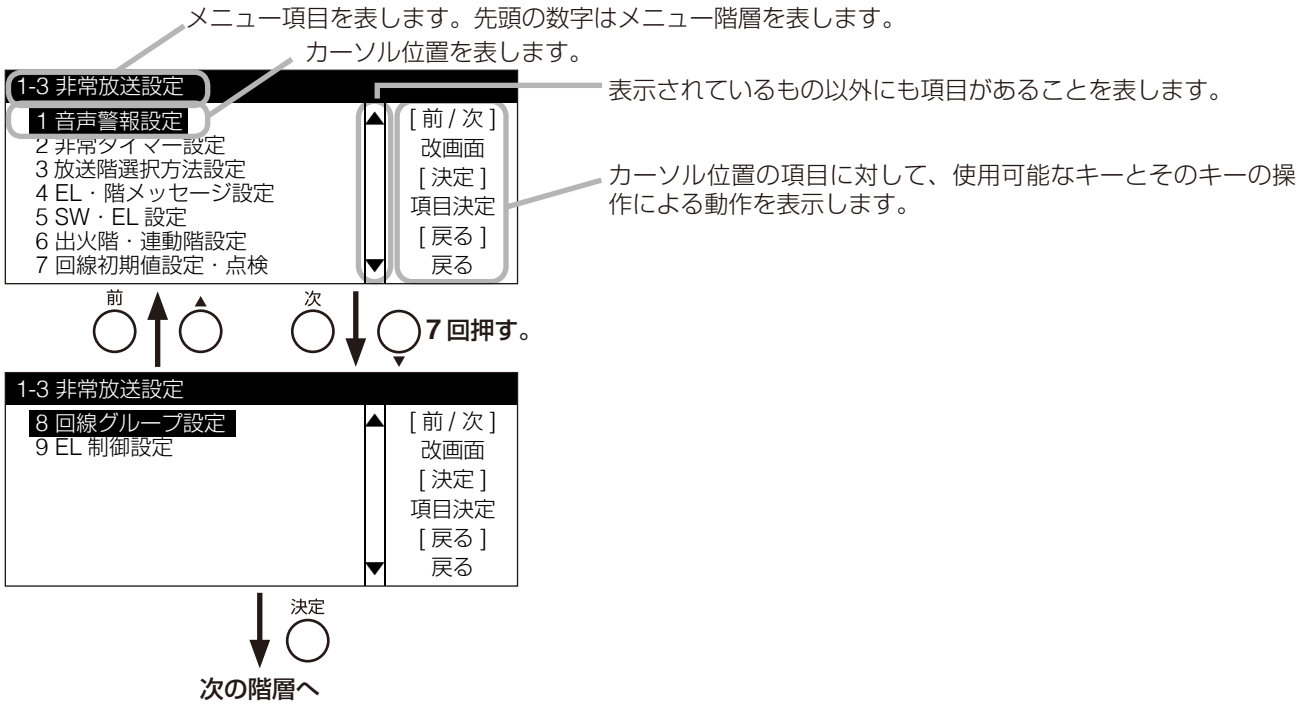
■ システム設定で使用するキー



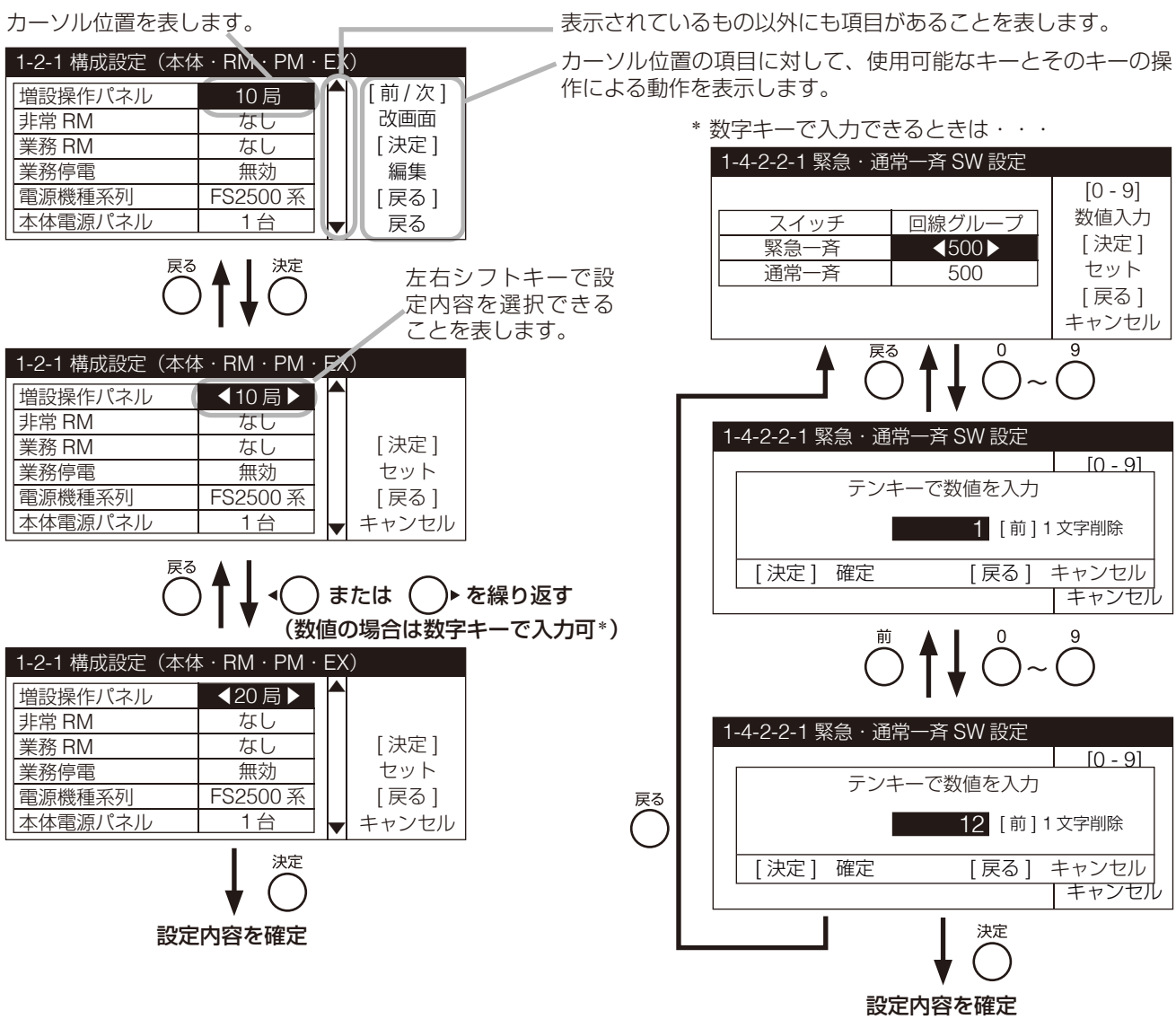
キー	名称	はたらき
メニュー ○	メニューキー	動作選択メニュー画面を表示させます。 設定画面で押すと、設定内容を保存して、動作選択メニュー画面に戻ります。
▲ ○	上シフトキー	カーソルを１つ上に動かします。 押し続けるとカーソルを連続で移動させます。
○ ▼	下シフトキー	カーソルを１つ下に動かします。 押し続けるとカーソルを連続で移動させます。
◀ ○	左シフトキー	カーソルを１つ左に動かします。または、設定内容を変更します。 押し続けるとカーソルを連続で移動させたり、設定内容を連続で変更します。
○ ▶	右シフトキー	カーソルを１つ右に動かします。または、設定内容を変更します。 押し続けるとカーソルを連続で移動させたり、設定内容を連続で変更します。
決定 ○	決定キー	カーソルの位置を決定して設定内容編集状態にする、または編集内容を確定して次の設定項目へ移動します。
戻る ○	戻るキー	設定値を保持して、１つ前の設定画面または状態に戻ります。
前 ○	前キー	前画面に移動します。 数値入力画面では、最後に入力した１文字を削除します。
次 ○	次キー	次画面に移動します。
0 ○～ 9 ○	数字キー	暗証番号や設定値などの数値を入力します。

■ 基本的な操作のしかた

● メニュー項目の選択

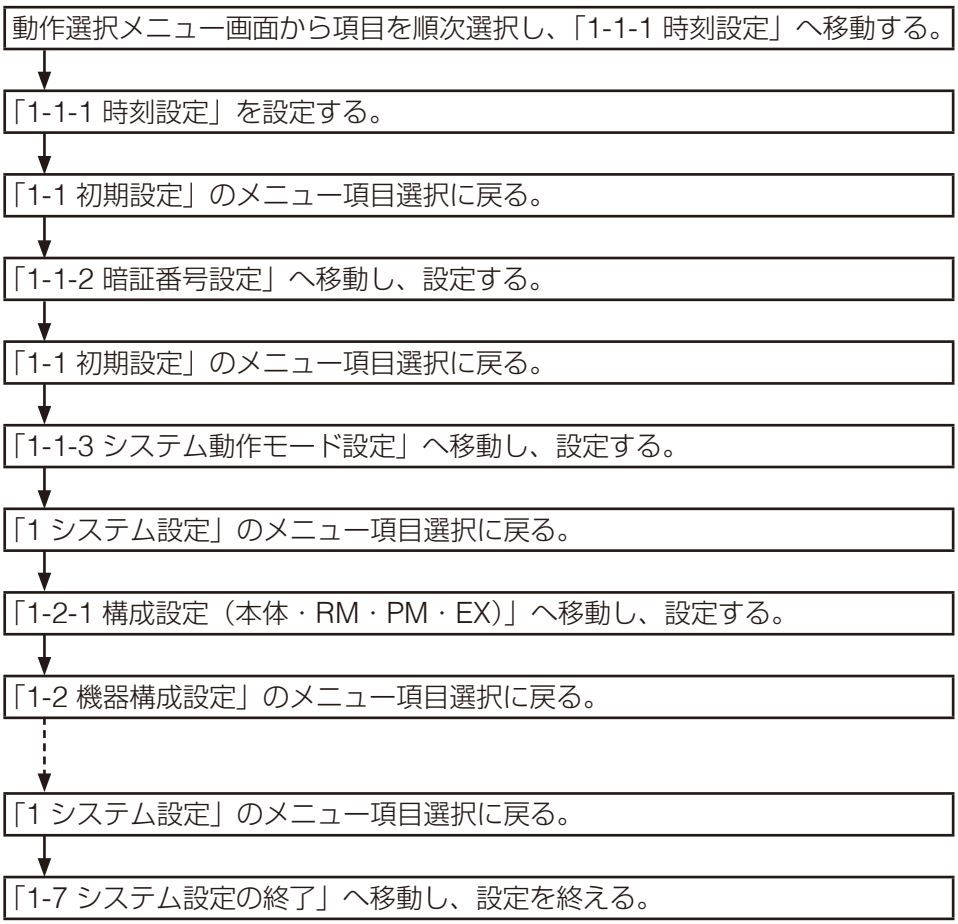


● 設定内容の編集



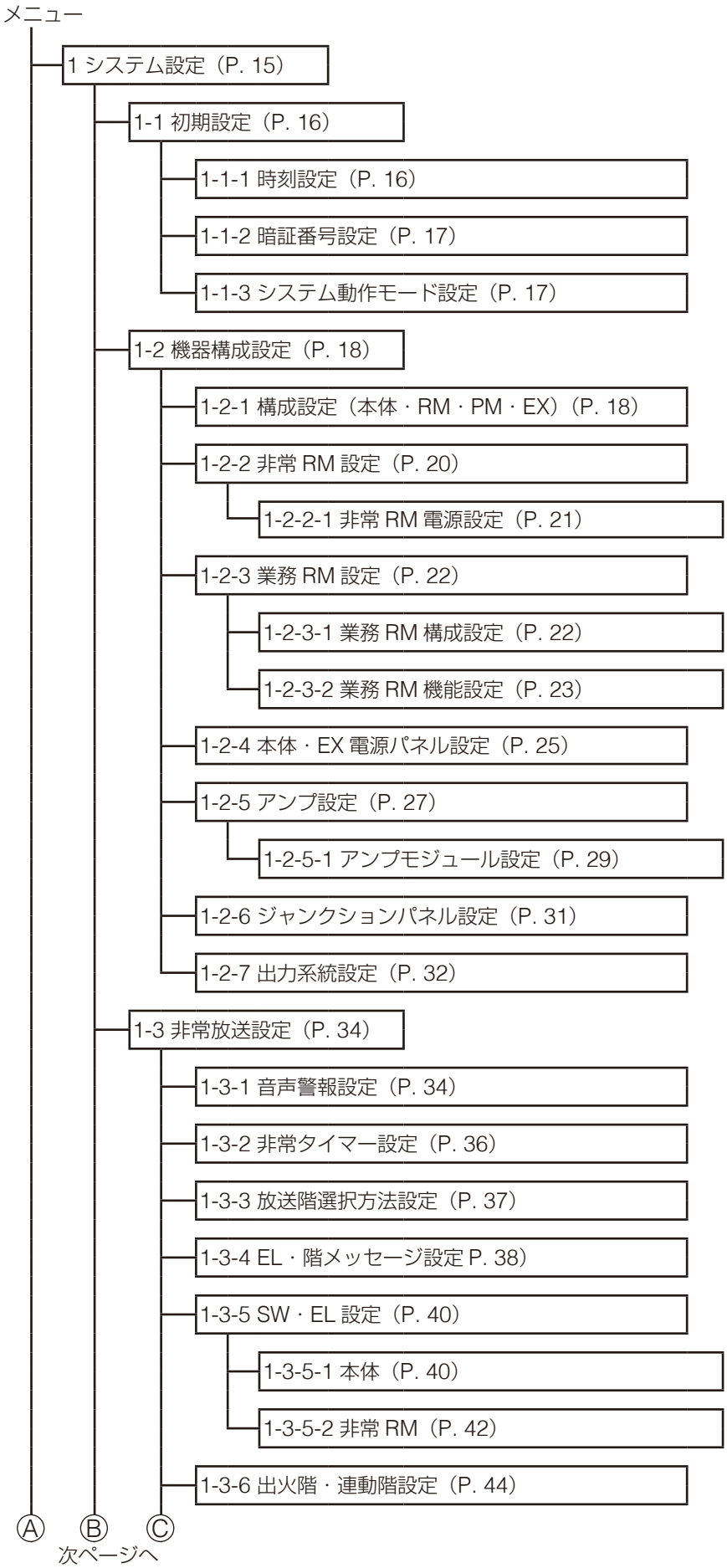
● 設定の順番

● 最初に設定するときは、メニュー項目の番号順に設定してください。

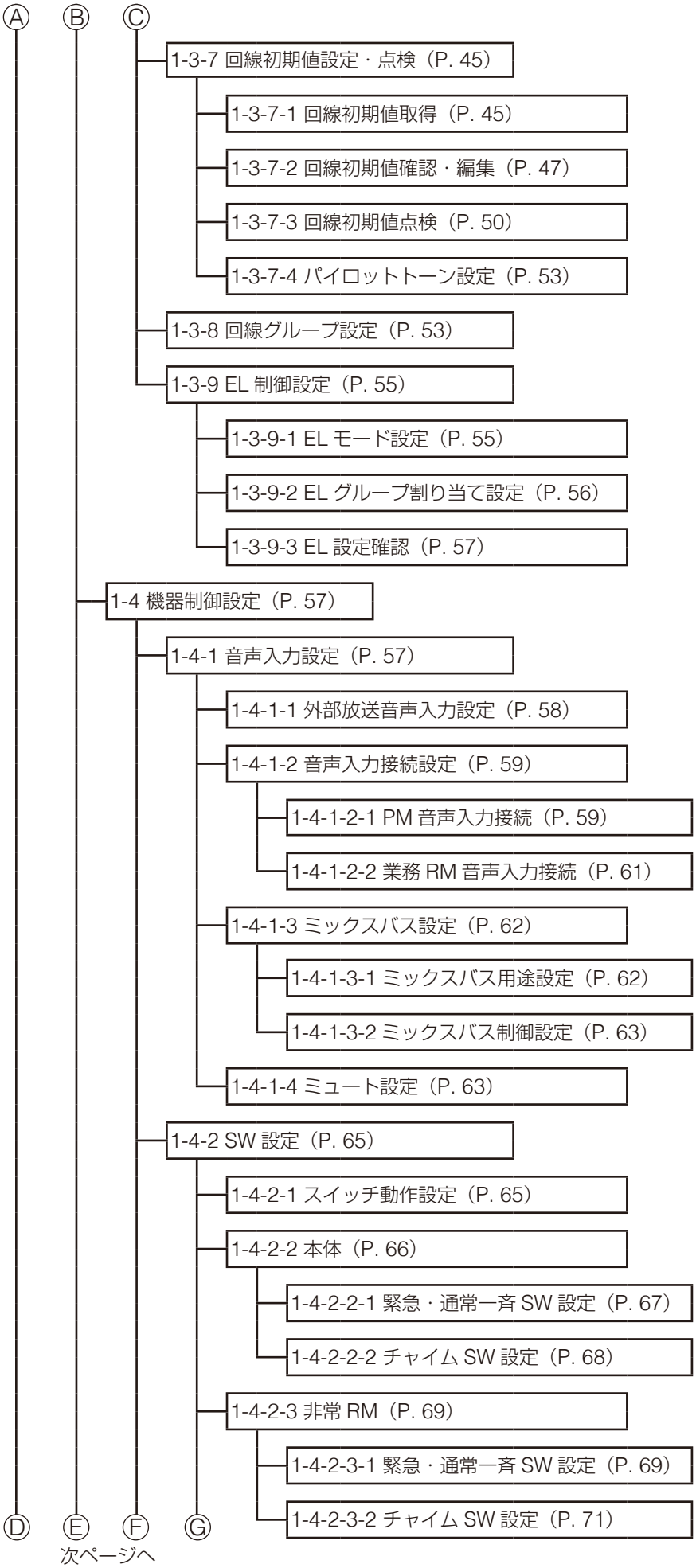


● ただし、回線グループまたは EL グループを使用するときは、「1-3-5 SW･EL 設定」および「1-3-6 出火階･連動階設定」をする前に、「1-3-8 回線グループ設定」または「1-3-9 EL 制御設定」をしておいてください。

メニュー構成


メニュー
1 システム設定（P. 15）
1-1 初期設定（P. 16）
1-1-1 時刻設定（P. 16）
1-1-2 暗証番号設定（P. 17）
1-1-3 システム動作モード設定（P. 17）
1-2 機器構成設定（P. 18）
1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）（P. 18）
1-2-2 非常 RM 設定（P. 20）
1-2-2-1 非常 RM 電源設定（P. 21）
1-2-3 業務 RM 設定（P. 22）
1-2-3-1 業務 RM 構成設定（P. 22）
1-2-3-2 業務 RM 機能設定（P. 23）
1-2-4 本体・EX 電源パネル設定（P. 25）
1-2-5 アンプ設定（P. 27）
1-2-5-1 アンプモジュール設定（P. 29）
1-2-6 ジャンクションパネル設定（P. 31）
1-2-7 出力系統設定（P. 32）
1-3 非常放送設定（P. 34）
1-3-1 音声警報設定（P. 34）
1-3-2 非常タイマー設定（P. 36）
1-3-3 放送階選択方法設定（P. 37）
1-3-4 EL・階メッセージ設定 P. 38）
1-3-5 SW・EL 設定（P. 40）
1-3-5-1 本体（P. 40）
1-3-5-2 非常 RM（P. 42）
1-3-6 出火階・連動階設定（P. 44）
Ⓐ
Ⓑ
Ⓒ
次ページへ

前ページから



次ページへ

前ページから

Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ

- 1-4-2-4 業務 RM（P. 72）
  - 1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定（P. 72）
    - 1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定（P. 74）
    - 1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定(P. 75）
  - 1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定（P. 76）
  - 1-4-2-4-3 一斉 SW 設定（P. 78）
  - 1-4-2-4-4 チャイム SW 設定（P. 80）
- 1-4-3 ファンクション SW 設定（P. 81）
- 1-4-4 制御入力設定（P. 84）
- 1-4-5 制御出力設定（P. 88）
- 1-5 業務放送設定（P. 90）
  - 1-5-1 業務放送動作設定（P. 91）
    - 1-5-1-1 音声レベル感度設定（P. 92）
  - 1-5-2 優先度設定（P. 93）
  - 1-5-3 同一優先度動作設定（P. 94）
  - 1-5-4 非常断 24V 出力設定（P. 95）
  - 1-5-5 EV 音源音量設定（P. 96）
  - 1-5-6 音量・音質設定（P. 99）
    - 1-5-6-1 音声入力設定（P. 99）
      - 1-5-6-1-1 簡易設定（P. 99）
      - 1-5-6-1-2 設定詳細表示（P. 100）
    - 1-5-6-2 音声出力設定（P. 100）
      - 1-5-6-2-1 音声出力設定詳細表示(P. 102）
  - 1-5-7 作動表示灯設定（P. 102）
- 1-6 設定初期化（P. 102）
- 1-7 システム設定の終了（P. 103）

Ⓗ

次ページへ

前ページから

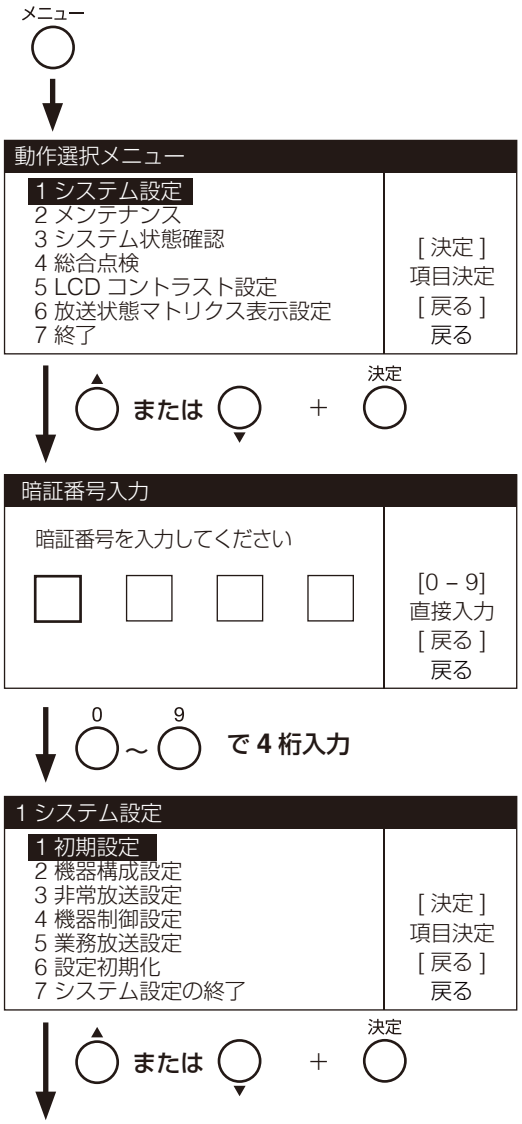
Ⓗ

- 2 メンテナンス（P. 104）
  - 2-1 自己診断（P. 105）
  - 2-2 SD カード（P. 107）
    - 2-2-1 設定データ更新（SD → EP）（P. 107）
    - 2-2-2 設定･音源データ更新（SD → EP）（P. 108）
    - 2-2-3 設定データ保存（EP → SD）（P. 111）
    - 2-2-4 設定･音源データ保存（EP → SD）（P. 110）
    - 2-2-5 履歴データ保存（EP → SD）（P. 111）
    - 2-2-6 設定データ比較（SD ⇔ EP）（P. 112）
  - 2-3 ファームウェア更新（P. 113）
  - 2-4 メンテナンスの終了（P. 113）
- 3 システム状態確認（P. 114）
  - 3-1 動作履歴（P. 115）
  - 3-2 故障履歴（P. 115）
  - 3-3 ユニットバージョン確認（P. 116）
  - 3-4 制御入力状態（P. 117）
  - 3-5 システム状態確認の終了（P. 117）
- 4 総合点検（P. 118）
- 5 LCD コントラスト設定（P. 120）
- 6 放送状態マトリクス表示設定（P. 121）
- 7 終了（P. 122）

システム設定

■ システム設定を始める

別冊の設置説明書に従って機器の設置と接続、およびアドレススイッチなどの設定を完了し、電源を投入した後、システム設定をします。



1 メニューキーを押す。

2 「1 システム設定」を選択し、決定する。

3 4 桁の暗証番号を入力する。

初期設定：5555

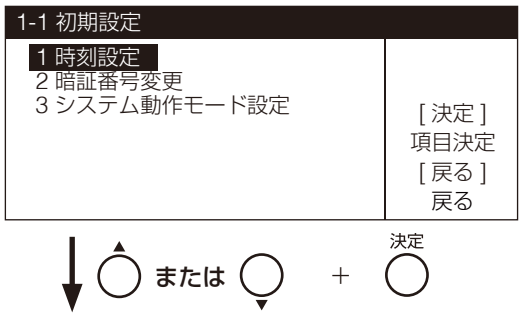
4 メニュー項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 初期設定	P. 16（1-1）
2 機器構成設定	P. 18（1-2）
3 非常放送設定	P. 34（1-3）
4 機器制御設定	P. 57（1-4）
5 業務放送設定	P. 90（1-5）
6 設定初期化	P. 102（1-6）
7 システム設定の終了	P. 103（1-7）

メ　モ

この画面で戻るボタンを押すと、設定内容を保存せずに終了することができます。

■ 初期設定（1-1）



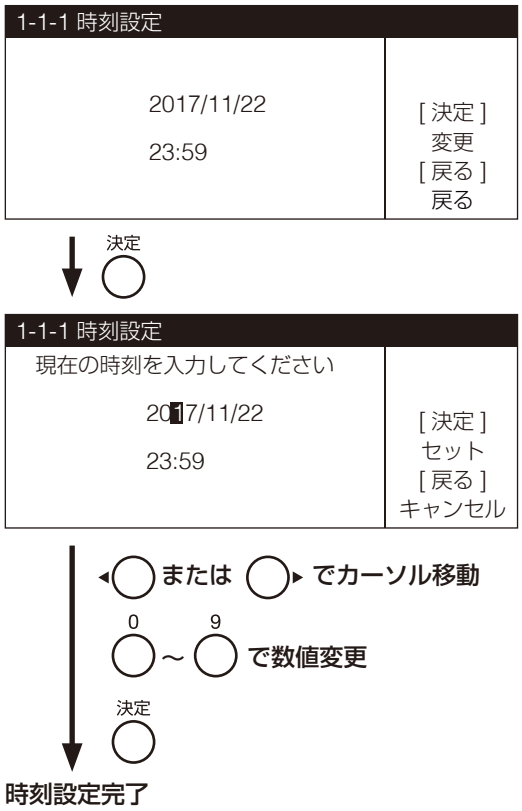
「1 システム設定」（P. 15）で「1 初期設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 時刻設定	下記（1-1-1）
2 暗証番号変更	P. 17（1-1-2）
3 システム動作モード設定	P. 17（1-1-3）

■ 時刻設定（1-1-1）

機器に内蔵されている時計の時刻を合わせます。定期点検を実施したり、動作履歴・故障履歴の発生時刻を記録したりするために必要です。



「1-1 初期設定」（上記）で「1 時刻設定」決定時

1 **決定キーを押す。**

時刻を入力できるようになります。

2 **左右シフトキーでカーソルを移動させ、数字キーを押して時刻を入力する。**

メ　モ

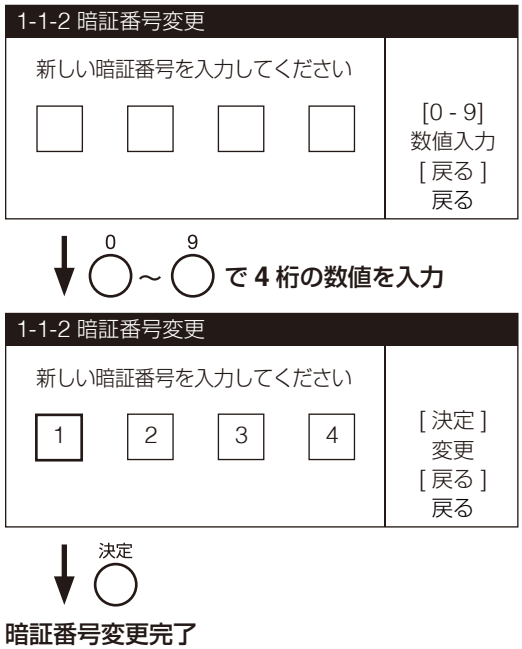
- 設定する日時の年は、西暦の下 2 桁を入力してください。
- 時刻は 1 分単位で設定可能です。
- 数値の変更は上下シフトキーの操作でも可能です。

3 **決定キーを押す。**

入力した時刻が設定されます。

■ 暗証番号変更（1-1-2）

システム設定およびメンテナンス時に必要な 4 桁の暗証番号を変更できます。（初期設定：5555）



「1-1 初期設定」（P. 16）で「2 暗証番号変更」決定時

1 **4 桁の新しい暗証番号を入力する。**

2 **決定キーを押す。**

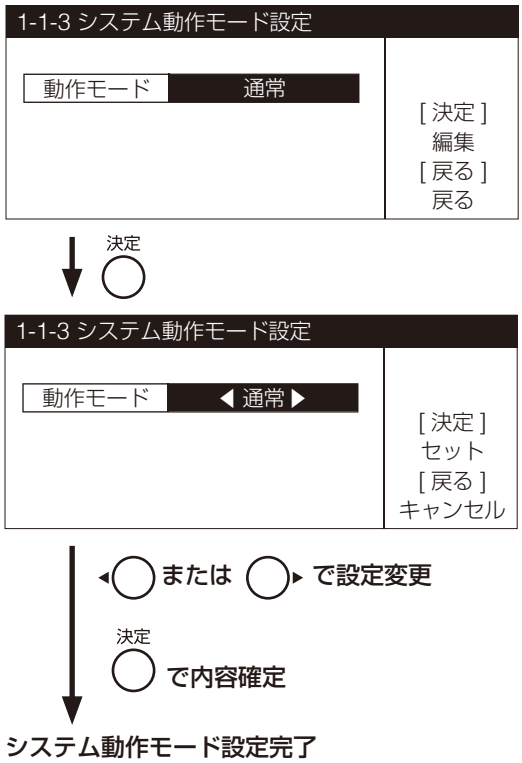
入力した番号が新しい暗証番号に設定されます。

■ システム動作モード設定（1-1-3）

システム動作モードの設定です。（初期設定：通常）
パワーアンプの接続方法を選択します。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
動作モード	パワーアンプ接続方法を選択。	通常、アンプ拡張 A、アンプ拡張 B	通常

各設定のパワーアンプ接続方法については、別冊の設置説明書「付録:アンプ拡張モード」をお読みください。



「1-1 初期設定」（P. 16）で「3 システム動作モード設定」決定時

1 **決定キーを押す。**

編集できるようになります。

2 **左右シフトキーで設定を変更する。**

3 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

■ 機器構成設定（1-2）

設置したシステムの機器構成を登録します。

1-2 機器構成設定	
1 構成設定（本体・RM・PM・EX） 2 非常 RM 設定 3 業務 RM 設定 4 本体・EX 電源パネル設定 5 アンプ設定 6 ジャンクションパネル設定 7 出力系統設定	[決定] 項目決定 [戻る] 戻る

各設定項目の参照先へ

「1 システム設定」（P. 15）で「2 機器構成設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 構成設定（本体・RM・PM・EX）	P. 18（1-2-1）
2 非常 RM 設定	P. 20（1-2-2）
3 業務 RM 設定	P. 22（1-2-3）
4 本体・EX 電源パネル設定	P. 25（1-2-4）
5 アンプ設定	P. 27（1-2-5）
6 ジャンクションパネル設定	P. 31（1-2-6）
7 出力系統設定	P. 32（1-2-7）

■ 構成設定（本体・RM・PM・EX）（1-2-1）

FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）に接続する構成機器の台数など、以下の項目を登録します。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
増設操作パネル	増設操作パネルの合計局数を登録。	10 ～ 500 局	20 局
非常 RM	非常用リモコンの台数を登録。*1	なし、1 ～ 16 台	なし
業務 RM	業務用リモコン RM-500/200F/200FW の合計台数を登録。*2	なし、1 ～ 8 台	なし
業務停電	業務停電放送を行う（有効）か、行わない（無効）かを設定。	有効*3、無効	無効
電源機種系列	使用する電源パネルとパワーアンプの機種系列を設定。 FS2500 系：FS-2500DS/2006DS、FS-2500DF、FS-006DA/012DA/024DA FS2000 系：FS-2050DS/2100DS/2006DS、FS-2050GS/2100GS、FS-2109DA/2118DA/2136DA	FS2500 系、FS2000 系	FS2500系
本体電源パネル	本体用電源パネル（非常用電源パネルおよび業務用電源パネル）の合計台数を登録。	「電源機種系列」が 「FS2500 系」の場合：1 ～ 22 台*4 「FS2000 系」の場合：1 ～ 16 台*5	1 台
PM	プリアンプマトリクスパネルの台数を登録。	なし、1 ～ 3 台	なし
EX	非常系統拡張パネルの台数を登録。	なし、1 ～ 3 台	なし
EX1 電源パネル*6	1 台目の非常系統拡張パネル用電源パネルの台数を登録。	「電源機種系列」が 「FS2500 系」の場合：1 ～ 20 台*7 「FS2000 系」の場合：1 ～ 16 台*5	−
EX2 電源パネル*8	2 台目の非常系統拡張パネル用電源パネルの台数を登録。	「電源機種系列」が 「FS2500 系」の場合：1 ～ 20 台*7 「FS2000 系」の場合：1 ～ 16 台*5	−
EX3 電源パネル*9	3 台目の非常系統拡張パネル用電源パネルの台数を登録。	「電源機種系列」が 「FS2500 系」の場合：1 ～ 20 台*7 「FS2000 系」の場合：1 ～ 16 台*5	−

*1 非常用リモコン I/F パネル FS-2000RF の台数登録は不要です。
FS-2000RF に接続されている非常用リモコンの数も含めて登録してください。

*2 接点式リモコン RM-1100 の接続台数は含みません。

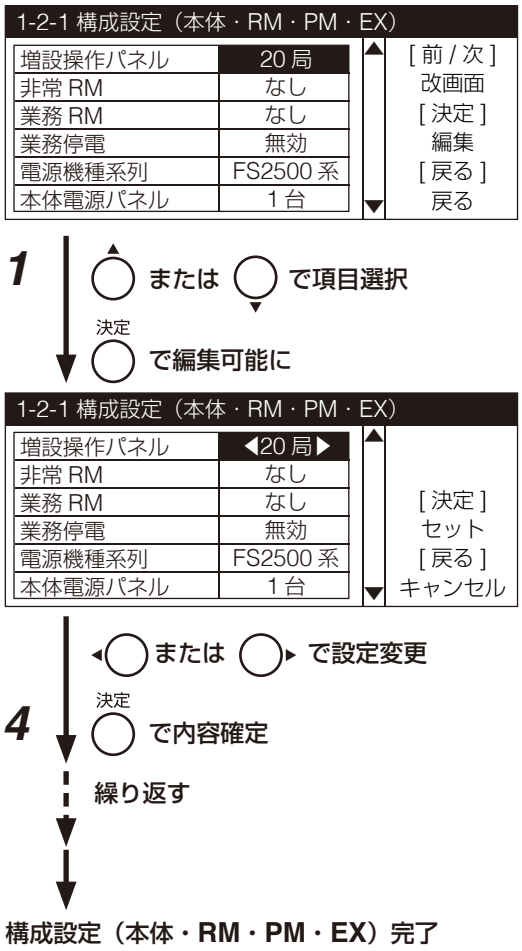
*3 業務停電放送をするときは、業務用電源パネル FS-2050GS/2100GS、または FS-2500DS/2006DS（業務用として設定）の設置が必要です。（☞ 別冊の設置説明書「業務停電放送を行うときの接続と設定」）

*4 FS-2000RF に接続されている電源パネルの数も含めて登録してください。アンプ拡張時は 1 ～ 28 台になります。
業務停電放送を行わない場合：非常用電源パネルを 22 台（アンプ拡張時は 28 台）まで登録できます。
業務停電放送を行う場合　　：非常用電源パネル、業務用電源パネルをそれぞれ 11 台（アンプ拡張時は 14 台）まで登録できます。

*5 FS-2000RF に接続されている電源パネルの数も含めて登録してください。
業務停電放送を行わない場合：非常用電源パネルを 16 台まで登録できます。
業務停電放送を行う場合　　：非常用電源パネル、業務用電源パネルをそれぞれ 8 台まで登録できます。

*6 非常系統拡張パネルを使用するときのみ。

*7 アンプ拡張時は 1 ～ 36 台
*8 非常系統拡張パネルを 2 台以上使用するときのみ。
*9 非常系統拡張パネルを 3 台使用するときのみ。



「1-2 機器構成設定」（P. 18）で「1 構成設定（本体・RM・PM・EX 設定」決定時

1 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 非常 RM 設定（1-2-2）

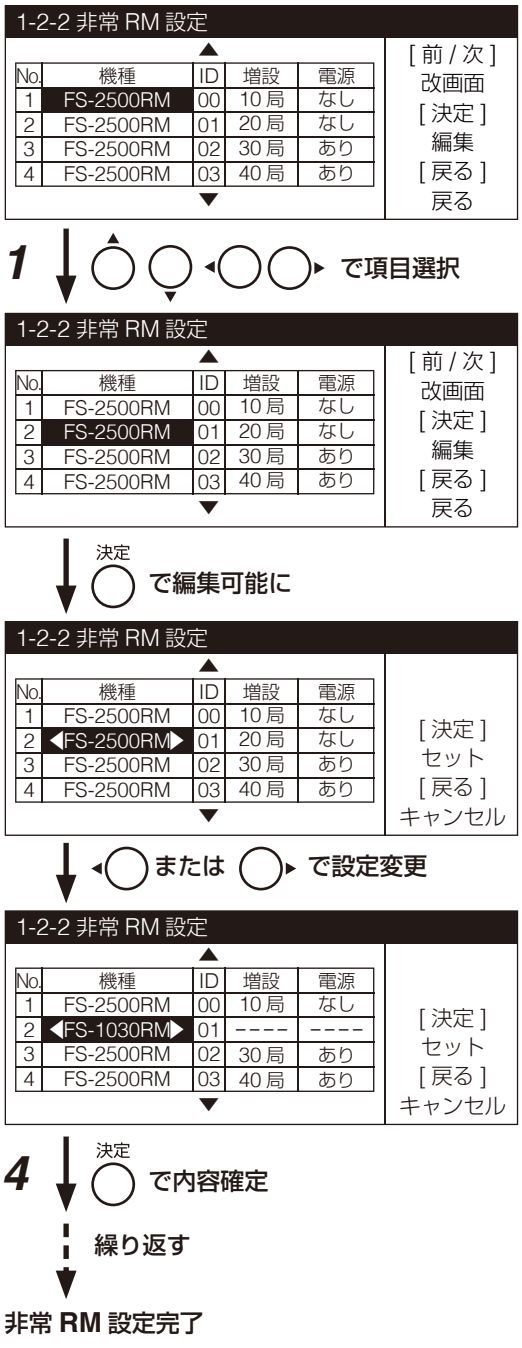
非常用リモコンを使用する場合のみ、以下の項目を設定します。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
機種	非常用リモコンの機種を登録。	FS-2500RM、FS-2500RX、 FS-2000RM、FS-1010RM、 FS-1020RM、FS-1030RM、－	FS-2500RM
増設*1	増設操作パネルの局数を登録。	なし、10 ～ 500 局*2	20 局
電源*1	電源パネルの「あり／なし」を登録。	あり、なし	なし

*1 FS-2000RM、FS-2500RM、または FS-2500RX 使用時のみ。

*2 増設操作パネルの機種や業務停電放送の有効／無効などにより、最大局数は以下のようになります。

非常用リモコン機種	増設操作パネル機種	業務停電放送	最大増設局数
FS-2000RM	FS-2010EP/2020EP	「有効」「無効」共に	160 局
FS-2500RM	FS-2010EP/2020EP	「有効」「無効」共に	180 局
	FS-2510EP/2520EP	「無効」	500 局
		「有効」	480 局
FS-2500RX	FS-2510EP/2520EP	「有効」「無効」共に	500 局



「1-2 機器構成設定」（P. 18）で「2 非常 RM 設定」決定時

1 上下左右シフトキーでカーソルを移動させる。

メ　モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで変更する。

4 決定キーを押す。

ご注意

「電源」で「あり」を選択して決定キーを押したときのみ「1-2-2-1 非常 RM 電源設定」（P. 21）が表示されるので、非常用電源パネルの機種と用途を設定してください。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な項目をすべて設定する。

■ 非常 RM 電源設定（1-2-2-1）

非常用リモコンに非常用電源パネルを設置する場合に、その構成を設定します。
非常用リモコンの機種により設定範囲と初期設定が異なります。

[非常用リモコンの機種が FS-2000RM の場合]

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
機種	非常用電源パネルの機種と用途を登録。	1 台目*1：FS-2006DS（非常） 2 台目*2：－、FS-2006DS（業務）	1 台目：FS-2006DS（非常） 2 台目：－

*1 1 台目の機種は「FS-2006DS（非常）」で固定です。編集できません。
*2 業務停電が「有効」に設定されている場合に、2 台目の機種は「FS-2006DS（業務）」で固定です。

[非常用リモコンの機種が FS-2500RM の場合]

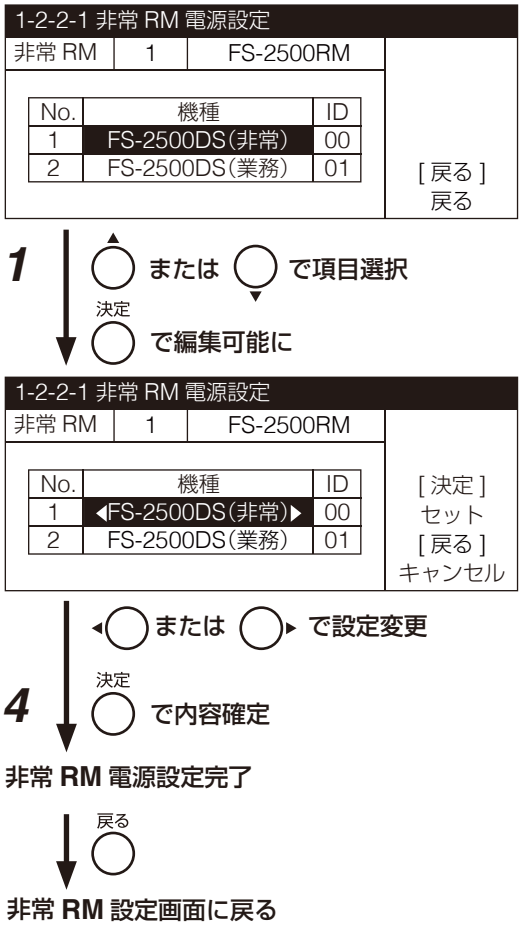
設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
機種	非常用電源パネルの機種と用途を登録。	1 台目　：FS-2500DS（非常）、FS-2006DS（非常） 2 台目*3：－、FS-2500DS（業務）、FS-2006DS（非常）、FS-2006DS（業務）	1 台目：FS-2500DS（非常） 2 台目：－

*3 2 台目の機種は、1 台目と同じ機種しか選択できません。また、業務停電が「有効」に設定されている場合に、2 台目の機種は同じ機種の（業務）で固定です。

[非常用リモコンの機種が FS-2500RX の場合]

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
機種	非常用電源パネルの機種と用途を登録。	1 台目*4：FS-2500DS（非常） 2 台目*5：－、FS-2500DS（業務）	1 台目：FS-2500DS（非常） 2 台目：－

*4 1 台目の機種は「FS-2500DS（非常）」で固定です。編集できません。
*5 業務停電が「有効」に設定されている場合に、2 台目の機種は「FS-2500DS（業務）」で固定です。



「1-2-2 非常 RM 設定」（P. 20）で「電源：あり」決定時

1 **上下シフトキーで設定項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

4 **決定キーを押す。**
設定内容が決定されます。

5 **戻るキーを押す。**
「1-2-2 非常 RM 設定」（P. 20）の画面に戻ります。

■ 業務 RM 設定（1-2-3）

業務用リモコン RM-500、RM-200F、または RM-200FW を使用する場合のみ、設定します。
接点式リモコン RM-1100 は含みません。接点式リモコン RM-1100 の設定については、「1-4-4 制御入力設定」（P. 84）をお読みください。

1-2-3 業務 RM 設定	
1 業務 RM 構成設定 2 業務 RM 機能設定	[決定] 項目決定 [戻る] 戻る

各設定項目の参照先へ

「1-2 機器構成設定」（P. 18）で「3. 業務 RM 設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

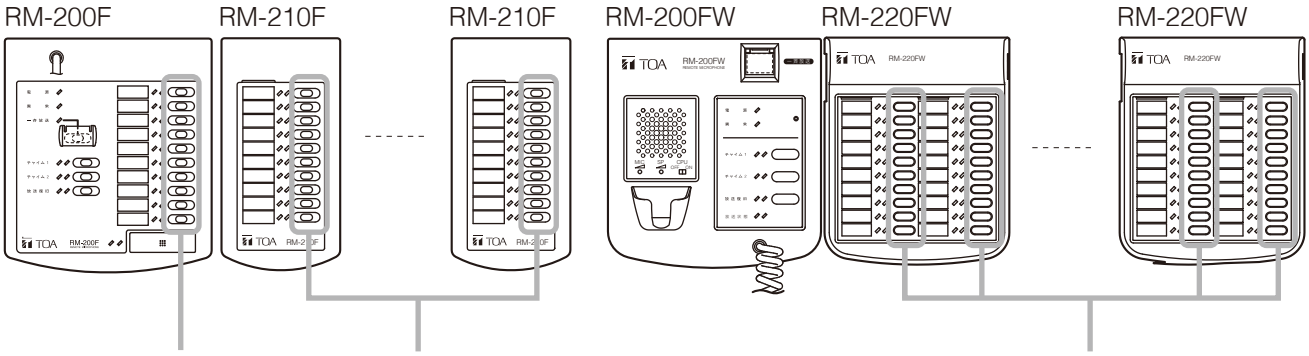
設定項目	参照先
1 業務 RM 構成設定	下記（1-2-3-1）
2 業務 RM 機能設定	P. 23（1-2-3-2）

■ 業務 RM 構成設定（1-2-3-1）

業務用リモコンの機種およびスイッチ数を設定します。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
機種	業務用リモコンの機種を登録。	RM-500、RM-200F、RM-200FW	RM-500
スイッチ数	回線選択キーの数（局数）を登録。*	「機種」が「RM-500」または「RM-200F」の場合：10 ～ 80 局	10 局
		「機種」が「RM-200FW」の場合：なし、20 ～ 80 局 **ご注意** RM-200FW と組み合わせて使用する RM-220FW は、1 台につき 20 局備えていますので、20 局単位で設定してください。	なし

* 業務用リモコンと拡張ユニットの組み合わせ



メ　モ

RM-500 に接続できる拡張ユニットはありません。スイッチ数の設定に応じて、80 局まで対応できます。

1-2-3-1 業務 RM 構成設定				
No.	機種	ID	スイッチ数	[前 / 次] 改画面 [決定] 編集 [戻る] 戻る
1	RM-500	00	10 局	
2	RM-500	01	10 局	
3	RM-500	02	10 局	
4	RM-500	03	10 局	

次ページへ

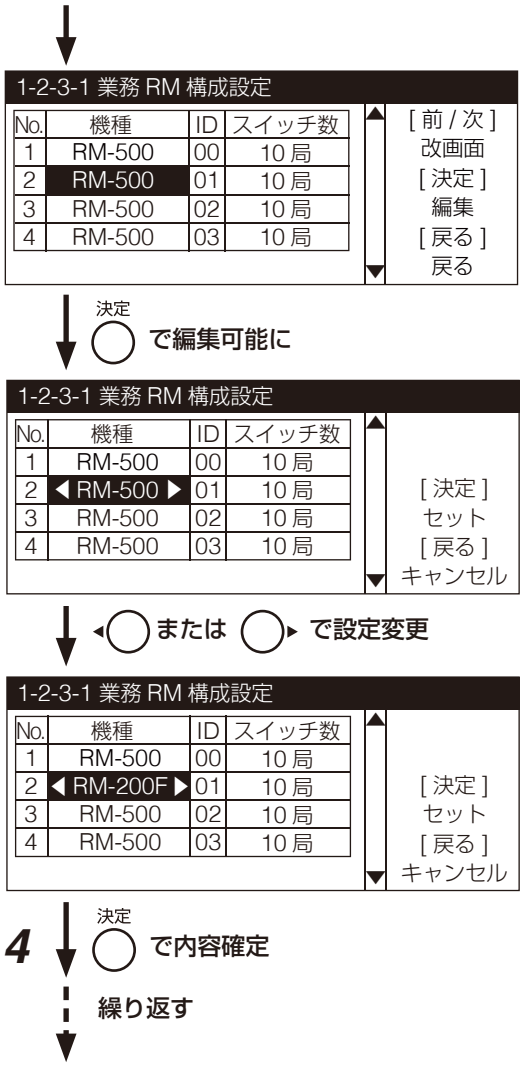
「1-2-3 業務 RM 設定」（上記）で「1 業務 RM 構成設定」決定時

1 **上下左右シフトキーでカーソルを移動させる。**

メ　モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

前ページから



2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで変更する。

4 決定キーを押す。

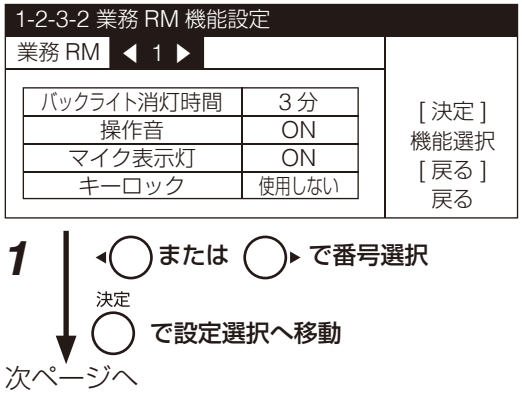
5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な項目をすべて設定する。

■ 業務 RM 機能設定（1-2-3-2）

業務用リモコン RM-500 を使用するときのみ、RM-500 固有の設定をします。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
バックライト消灯時間	RM-500 の操作をしていないときに、液晶画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。 バックライトを点灯させると、暗い所でも見やすくなりますが、点灯時間が長くなるほど、バックライトの寿命が短くなります。	常時 OFF、1 分～ 15 分（1 分間隔）、常時 ON	3 分
操作音	RM-500 の各キーを押したときに操作確認音を鳴らすかどうかを設定します。	ON、OFF	ON
マイク表示灯	マイク使用中にマイク表示灯を点灯させるかどうかを設定します。	ON、OFF	ON
キーロック	キーロック機能*を使用するかどうかを設定します。	使用する、使用しない	使用しない

* RM-500 操作面の各キーについて、キーロック解除以外の操作を無効にする機能。



「1-2-3 業務 RM 設定」（P. 22）で「2 業務 RM 機能設定」決定時

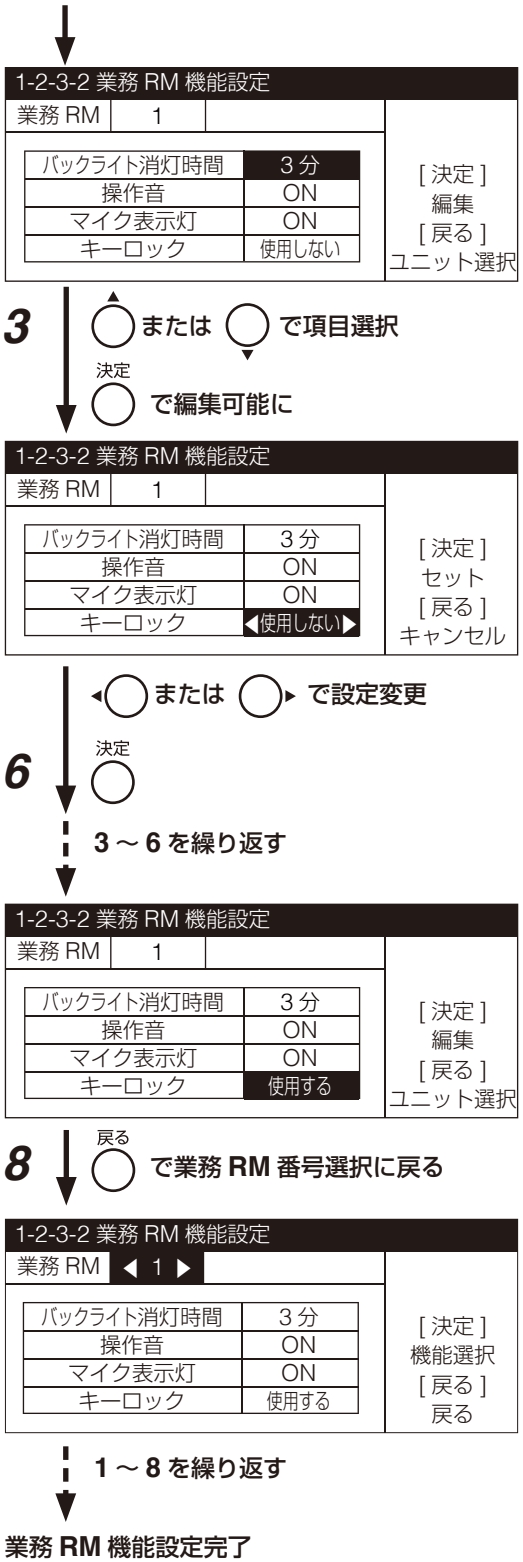
1 左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

ご注意

「機種」が「RM-500」に設定されている業務用リモコンしか選択できません。

2 決定キーを押す。

前ページから



カーソルが設定選択に移動します。

3 **上下シフトキーでカーソルを移動させる。**

4 **決定キーを押す。**

編集ができるようになります。

5 **左右シフトキーで設定内容を選択する。**

6 **決定キーを押す。**
設定内容が決定されます。

7 **手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

8 **戻るキーを押す。**

業務 RM 番号選択に戻ります。

9 **手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての業務 RM について設定する。**

■ 本体・EX 電源パネル設定（1-2-4）

FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）および非常系統拡張パネルに接続する電源パネルを設定します。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	電源パネルを接続するユニットを選択。	EP *1、EX1 *2、EX2 *2、EX3 *2	―
機種	選択したユニットに接続する電源パネルの機種*3、*4 を設定。	（「電源機種系列」および「業務停電放送」の設定により異なる）*5	（「電源機種系列」および「業務停電放送」の設定により異なる）*5

*1 非常用操作パネル FS-2500EP。

*2 非常系統拡張パネル FS-2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の非常系統拡張パネルを表します。

*3 FS-2006DS には以下の 2 種類があります。使用目的に合わせて設定してください。

FS-2006DS（非常）	非常用の電源として設置している FS-2006DS。
FS-2006DS（業務）	業務停電放送を行うときに、業務用の電源として設置している FS-2006DS。

非常用と業務用では、FS-2006DS の電源用途設定スイッチの設定が異なります。（☞ 別冊の設置説明書「業務停電放送をするときの設定」）

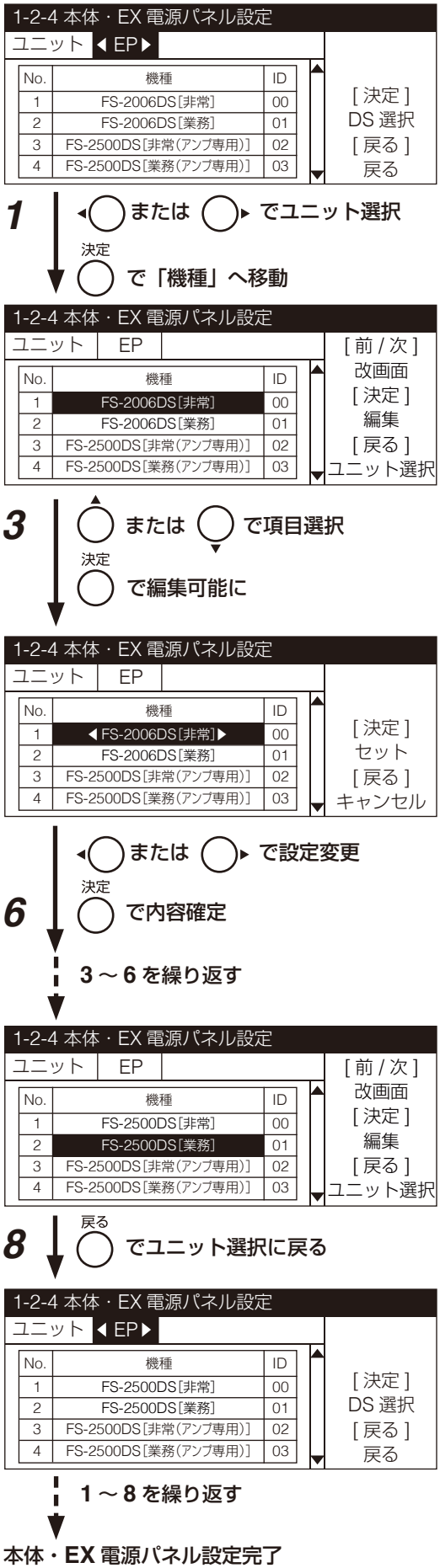
*4 FS-2500DS には以下の 4 種類があります。使用目的に合わせて設定してください。

FS-2500DS［非常］	制御部電源とパワーアンプ用で非常用の電源として設置している FS-2500DS。
FS-2500DS［業務］	業務停電放送を行うときに、制御部電源とパワーアンプ用で業務用の電源として設置している FS-2500DS。
FS-2500DS［非常（アンプ専用）］	パワーアンプ用で非常用の電源として設置している FS-2500DS。
FS-2500DS［業務（アンプ専用）］	業務停電放送を行うときに、パワーアンプ用で業務用の電源として設置している FS-2500DS。

非常用と業務用では、FS-2500DS の電源用途設定スイッチの設定が異なります。（☞ 別冊の設置説明書「業務停電放送をするときの設定」）

*5 「電源機種系列」および「業務停電放送」の設定により、設定範囲および初期設定は以下のようになります。

電源機種系列	業務停電放送	設定範囲	初期設定
FS2000 系	無効	FS-2050DS、FS-2100DS、FS-2006DS（非常）、―	FS-2050DS
	有効	FS-2050DS、FS-2100DS、FS-2050GS、FS-2100GS、FS-2006DS［非常］、FS-2006DS［業務］、―	
FS2500 系	無効	FS-2500DS［非常］、FS-2500DS［非常（アンプ専用）］、FS-2006DS［非常］、―	FS-2500DS［非常］
	有効	FS-2500DS［非常］、FS-2500DS［業務］、FS-2500DS［非常（アンプ専用）］、FS-2500DS［業務（アンプ専用）］、FS-2006DS［非常］、FS-2006DS［業務］、―	



「1-2 機器構成設定」（P. 18）で「4 本体・EX 電源パネル設定」決定時

1 **左右シフトキーで「ユニット」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

カーソルが「機種」に移動します。

3 **上下シフトキーでカーソルを移動させる。**

ID ごとに電源パネルの機種を設定します。

メ　モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

4 **決定キーを押す。**

「機種」が編集可能になります。

5 **左右シフトキーで「機種」を選択する。**

6 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

7 **手順 3 ～ 6 を繰り返し、選択したユニットに接続するすべての電源パネルの機種を設定する。**

8 **戻るキーを押す。**

カーソルが「ユニット」に移動します。

9 **手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべてのユニットに接続する電源パネルの機種を設定する。**

■ アンプ設定（1-2-5）

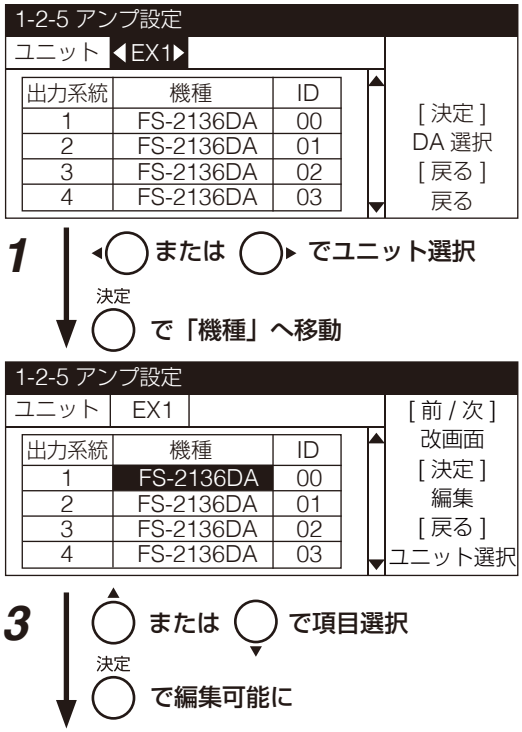
FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）および非常系統拡張パネルに接続するパワーアンプパネルの構成を登録します。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	パワーアンプパネルまたはパワーアンプフレームを接続するユニットを選択。	EP＊1、EX1＊2、EX2＊2、EX3＊2	―
機種	選択したユニットに接続するパワーアンプパネルまたはパワーアンプフレームの機種と台数を設定。	「電源機種系列」が「FS2000 系」の場合： FS-2109DA、FS-2118DA、FS-2136DA、FS-2136DA×2＊3、FS-2136DA×3＊3、―＊4 「FS2500 系」の場合：FS-2500DF、―＊4	「電源機種系列」が「FS2000 系」の場合： FS-2136DA 「FS2500 系」の場合： FS-2500DF

＊1 非常用操作パネル FS-2500EP。
＊2 非常系統拡張パネル FS-2500EX。システム構成に応じて表示されます。
＊3 出力に対して、パワーアンプパネル 2 台または 3 台を並列運転で使用するとき。
＊4 一番下の出力系統のみ選択可。ただし、非常系統拡張パネルを使用するときは、非常用操作パネルのすべての出力系統に選択可能です。

メ　モ（「電源機種系列」が「FS2000 系」の場合のみ）

- 各パワーアンプパネルの ID は、決まり次第、自動で表示されます。
- 出力系統とは「DA LINK OUT」に接続されたパワーアンプの出力で、「DA LINK OUT」の番号で示されます。「1-1-3 システム動作モード設定」（P. 17）が「通常」の場合は 1 ～ 8 で表示され、「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合は「1-1」～「1-8」、「2-1」～「2-8」、…、「4-1」～「4-8」で表示されます。
- 機種の設定は、「1-1-3 システム動作モード設定」（P. 17）が「通常」の場合は出力系統 1 から順に設定し、「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合は「1-1」、「2-1」、「3-1」、「4-1」から設定してください。
- 機種を削除するときは一番下から削除してください。
- アンプを増設または削除するときは、P. 179「付録：設定についての補足」および別冊の設置説明書「付録：パワーアンプパネル、ジャンクションパネルの接続について」に従って、ジャンクションパネルや出力系統設定画面が自動的に調整されます。



「1-2 機器構成設定」（P. 18）で「5 アンプ設定」決定時

1 **左右シフトキーで「ユニット」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

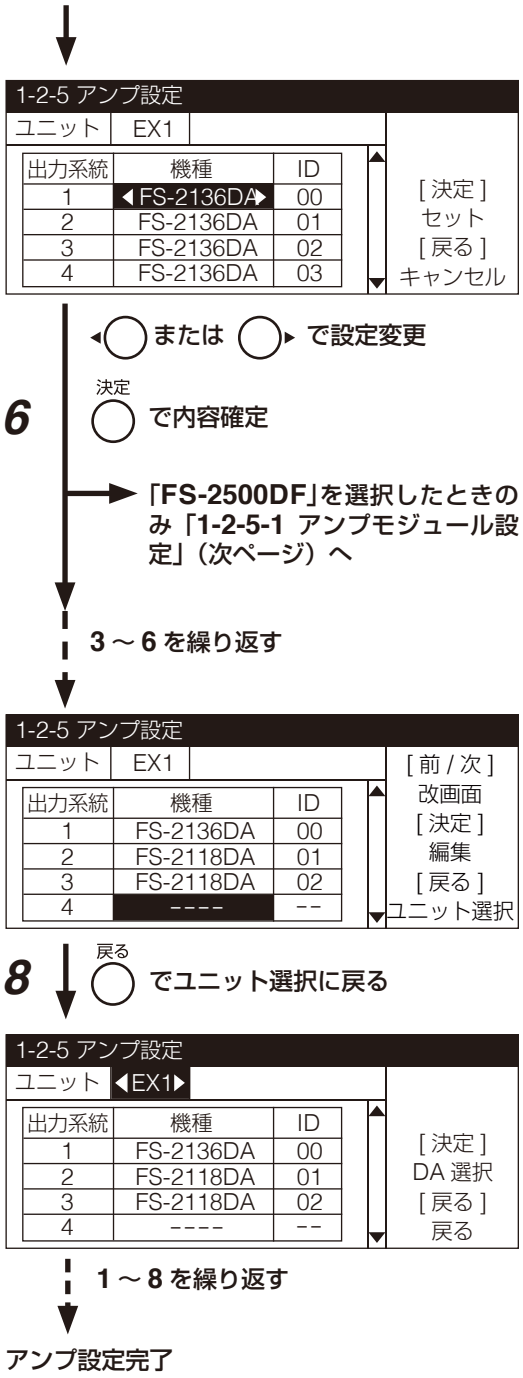
カーソルが「機種」に移動します。

3 **上下シフトキーでカーソルを移動させる。**

4 **決定キーを押す。**

次ページへ

前ページから



「機種」が編集可能になります。

5 左右シフトキーで「機種」を選択する。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

ご注意

「電源機種系統」の設定が「FS2500 系」の場合に「機種」で「FS-2500DF」を選択して決定キーを押したときのみ「1-2-5-1 アンプモジュール設定」（P. 29）が表示されるので、FS-2500DF のデジタルパワーアンプモジュールの構成および接続する出力系統を設定してください。

7 手順 3 ～ 6 を繰り返し、選択したユニットに接続するすべてのパワーアンプパネルの機種を設定する。

8 戻るキーを押す。

カーソルが「ユニット」に移動します。

9 手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべてのユニットに接続するパワーアンプパネルの機種を設定する。

■ アンプモジュール設定（1-2-5-1）

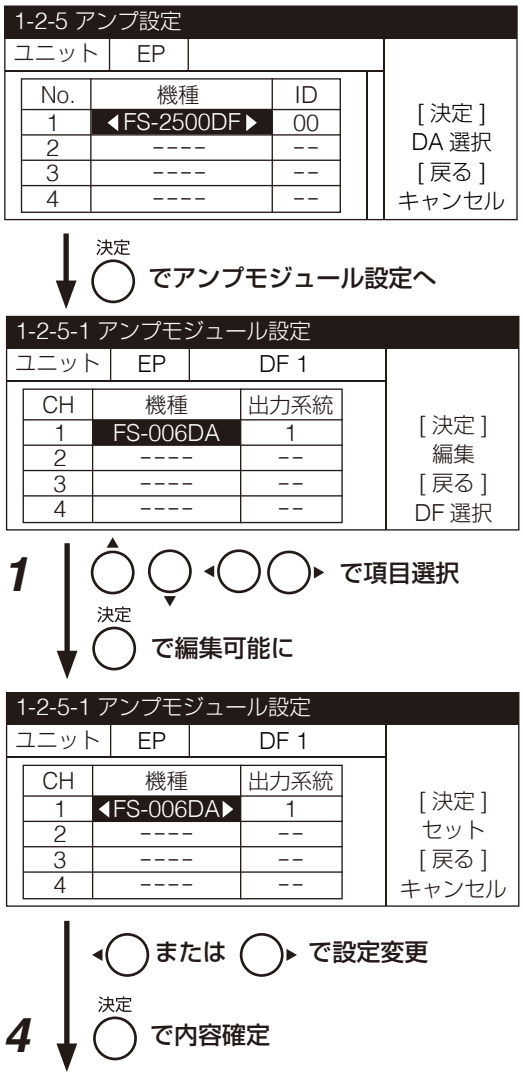
パワーアンプフレームに収納するデジタルパワーアンプモジュールの構成を登録します。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
機種	パワーアンプフレームのモジュールスロットに収納するデジタルパワーアンプモジュールの機種を選択。	FS-006DA、FS-012DA、FS-024DA	FS-006DA
出力系統	デジタルパワーアンプモジュールを接続する非常用操作パネルおよび非常系統拡張パネルの出力系統を設定。*1	非常用操作パネル　：1 非常系統拡張パネル：1 ～ 8*2	1

*1 並列運転をするデジタルパワーアンプモジュールは同じ出力系統を設定します。
*2 出力系統は自由に設定できますが、非常系統拡張パネル 1 台につき 1 から順に連番で割り付けられるようにしてください。

メ　モ

- 出力系統とは「DA LINK OUT」に接続されたパワーアンプの出力で、「DA LINK OUT」の番号で示されます。「1-1-3 システム動作モード設定」（P. 17）が「通常」の場合は 1 ～ 8 で表示され、「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合は「1-1」～「1-8」、「2-1」～「2-8」、…、「4-1」～「4-8」で表示されます。
- 機種の設定は、「1-1-3 システム動作モード設定」（P. 17）が「通常」の場合は出力系統 1 から順に設定し、「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合は「1-1」、「2-1」、「3-1」、「4-1」から設定してください。
- 機種を削除するときは一番下から削除してください。
- アンプを増設または削除するときは、P. 179「付録：設定についての補足」および別冊の設置説明書「付録：パワーアンプパネル、ジャンクションパネルの接続について」に従って、ジャンクションパネルや出力系統設定画面が自動的に調整されます。



次ページへ

「1-2-5 アンプ設定」（P. 27）の**手順 6**（前ページのご注意参照）で「機種：FS-2500DF」決定時

アンプ設定画面の機種選択（左図の画面）で「FS-2500DF」に設定したときのみ、アンプモジュール設定画面に移動します。

1 **上下左右シフトキーで設定項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

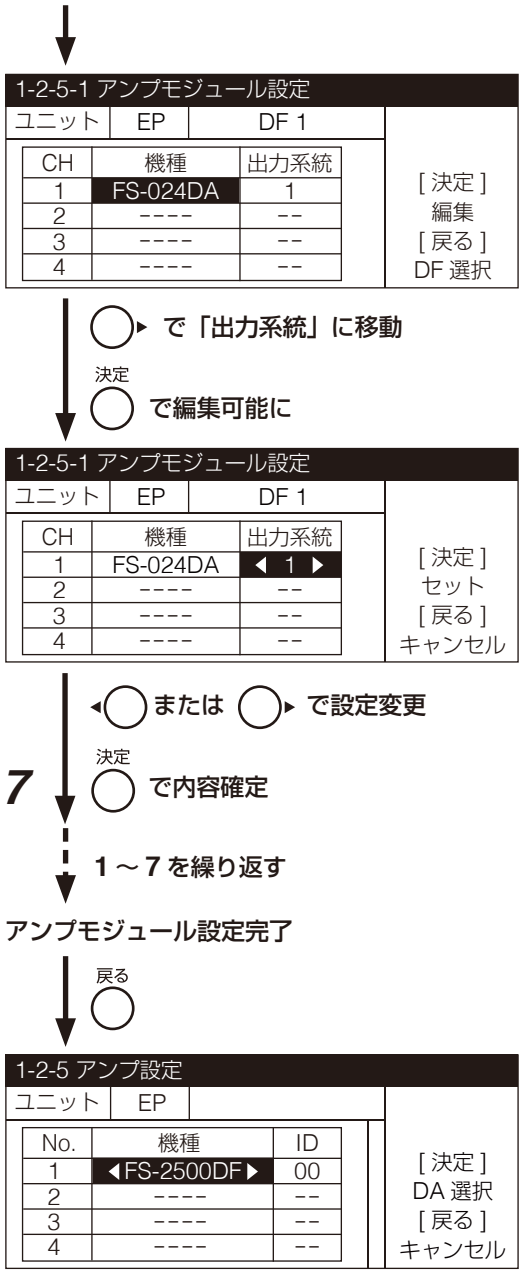
選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

4 **決定キーを押す。**

内容が確定します。

前ページから



5 右シフトキーを押す。

カーソルが「出力系統」に移動します。

6 左右シフトキーで設定を変更する。

7 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

8 手順 1 ～ 7 を繰り返し、使用するすべてのチャンネルに挿入するパワーアンプモジュールの機種を設定する。

9 戻るキーを押す。

「1-2-5 アンプ設定」（P. 27）の画面に戻ります。

■ ジャンクションパネル設定（1-2-6）

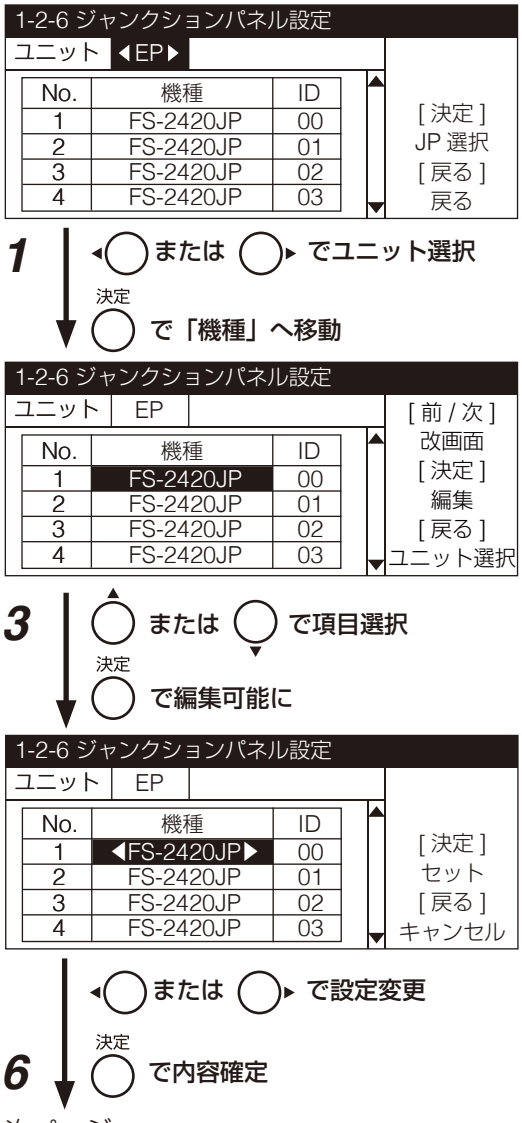
FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）および非常系統拡張パネルに接続するジャンクションパネルの構成を登録します。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	ジャンクションパネルを接続するユニットを選択。	EP＊1、EX1＊2、EX2＊2、EX3＊2	—
機種	選択したユニットに接続するジャンクションパネルの機種を設定。	FS-2120JP、FS-2110JP、FS-2420JP、—＊3	システム動作モード設定が「標準」の場合：FS-2120JP システム動作モード設定が「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合：FS-2420JP

＊1 非常用操作パネル FS-2500EP。
＊2 非常系統拡張パネル FS-2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の非常系統拡張パネルを表します。
＊3 一番下のジャンクションパネルのみ選択可。ただし、非常系統拡張パネルを使用するときは、非常用操作パネルの No. 1 のジャンクションパネルの機種に選択可能です。

メ　モ

- 機種の設定は No. 1 から順に設定してください。
- 機種を削除するときは一番下から削除してください。
- 出力系統数を超えて FS-2110JP を追加することはできません。
- ジャンクションパネルを増設または削除するときは、P. 179「付録：設定についての補足」および別冊の設置説明書「付録：パワーアンプパネル、ジャンクションパネルの接続について」に従って、出力系統画面が自動的に調整されます。



次ページへ

「1-2 機器構成設定」（P. 18）で「6 ジャンクションパネル設定」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「機種」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

メ　モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

4 決定キーを押す。

「機種」が編集可能になります。

5 左右シフトキーで「機種」を選択する。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

前ページから

3 ～ 6 を繰り返す

1-2-6 ジャンクションパネル設定

ユニット | EP

No.	機種	ID
1	FS-2420JP	00
2	FS-2420JP	01
3	FS-2420JP	02
4	FS-2420JP	03

[前 / 次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] ユニット選択

8 戻る ◯ でユニット選択に戻る

1-2-6 ジャンクションパネル設定

ユニット ◀EP▶

No.	機種	ID
1	FS-2420JP	00
2	FS-2420JP	01
3	FS-2420JP	02
4	FS-2420JP	03

[決定] JP 選択
[戻る] 戻る

1 ～ 8 を繰り返す

ジャンクションパネル設定完了

7 手順 3 ～ 6 を繰り返し、選択したユニットに接続するすべてのジャンクションパネルの機種を設定する。

8 戻るキーを押す。

カーソルが「ユニット」に移動します。

9 手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべてのユニットに接続するジャンクションパネルの機種を設定する。

■ 出力系統設定（1-2-7）

FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）および非常系統拡張パネルの出力系統に回線番号を登録します。この設定により、非常用操作パネルおよび非常系統拡張パネルの音声出力をスピーカー回線に設定することができます。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	スピーカー回線を接続するユニットを選択。	EP *1、EX1 *2、EX2 *2、EX3 *2	—
JP	選択したユニットに接続されているジャンクションパネルを選択。	（設定された JP 番号）*3	—
系統	接続する回線番号を設定。	（選択、未選択）	—

*1 非常用操作パネル FS-2500EP。
*2 非常系統拡張パネル FS-2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の非常系統拡張パネルを表します。
*3「1-2-6 ジャンクションパネル設定」（P. 31）で表示されている「No.」です。「No. 1」は ID（アドレス設定）「00」、「No. 2」はアドレス設定「01」、…のようになっています。

メ　モ

「1-1-3 システム動作モード設定」（P. 17）が「通常」の場合は「1-2-5 アンプ設定」（P. 27）の「出力系統 1」～「出力系統 8」にスピーカー回線の割り付けを行い、「1-1-3 システム動作モード設定」（P. 17）が「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合は「出力系統 1-1」～「出力系統 1-8」、…、「出力系統 4-1」～「出力系統 4-8」にスピーカー回線の割り付けを行います。

1-2-7 出力系統設定

ユニット ◀EP▶ JP 1

	1-5	6-10	11-15	16-20
系統 1	●	●	●	●

[決定] JP 選択
[戻る] 戻る

1 ◀◯ または ◯▶ でユニット選択

決定 ◯ で「JP」へ移動

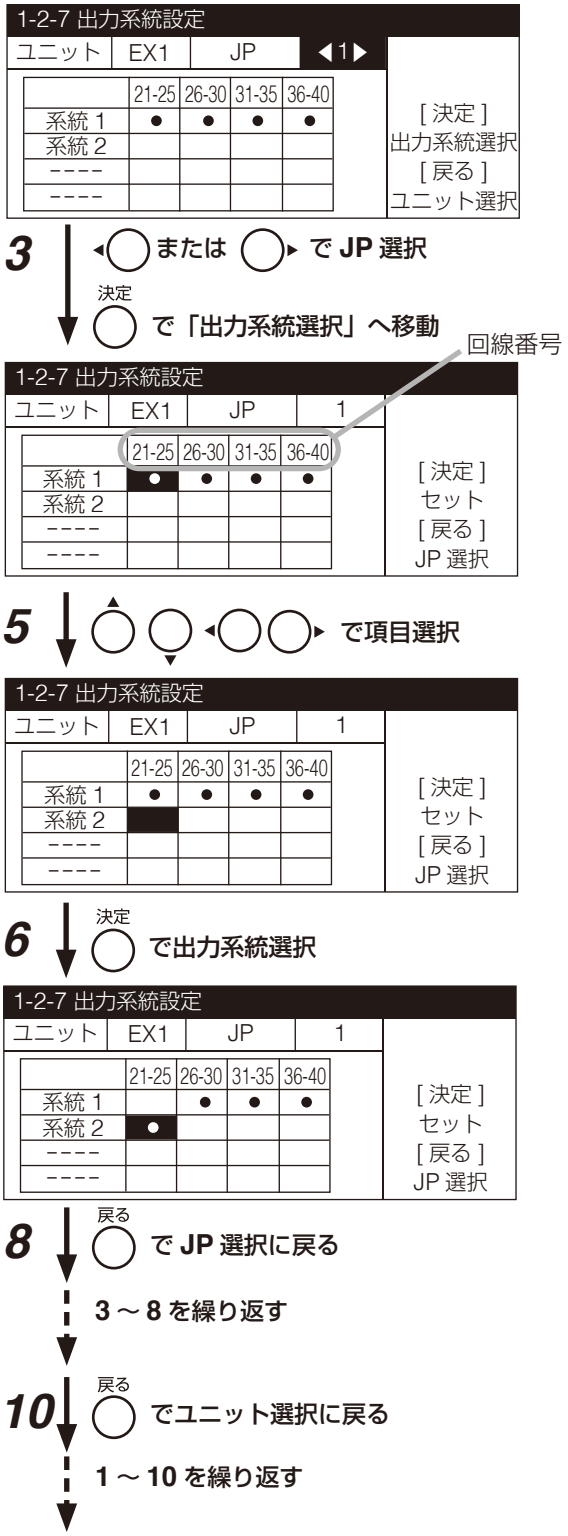
「1-2 機器構成設定」（P. 18）で「7 出力系統設定」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

次ページへ

前ページから



カーソルが「JP」に移動します。

3 左右シフトキーで「JP」を選択する。

4 決定キーを押す。

系統選択が編集可能になります。

5 上下左右シフトキーで、追加したい回線にカーソルを移動させる。

6 決定キーを押す。

出力系統と回線の接続を表す「●」マークが追加されます。

7 手順 5 と 6 を繰り返して、必要なだけ回線を追加する。

8 戻るキーを押す。

JP 選択に戻ります。

9 手順 3 ～ 8 を繰り返して、すべてのジャンクションパネルについて設定する。

10 戻るキーを押す。

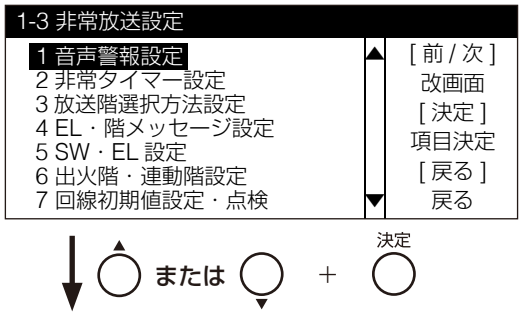
ユニット選択に戻ります。

11 手順 1 ～ 10 を繰り返して、すべてのユニットについて設定する。

メ モ

- 各回線は 1 つの出力系統にしかつながりません。
- すでに別の出力系統に「●」マークが設定されている回線を選択し、決定キーを押したときは、別の出力系統に表示されていた「●」マークが削除され、新たに選択した出力系統に「●」マークが追加されます。
- 「●」マークが設定されている位置にカーソルを合わせて決定キーを押すと、クリアできます。
- 回線選択中に戻るキーを押すと、ジャンクションパネルの選択に戻ります。
- 「●」の設定には決まりがあります。P. 179「付録：設定についての補足」をご確認ください。
- 正しく設定できていないときはエラーダイアログが表示されます。エラーダイアログが表示されたときは、P. 184「付録：エラーダイアログ表示時の対処」をご確認ください。

■ 非常放送設定（1-3）



各設定項目の参照先へ

「1 システム設定」（P. 15）で「3 非常放送設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 音声警報設定	下記（1-3-1）
2 非常タイマー設定	P. 36（1-3-2）
3 放送階選択方法設定	P. 37（1-3-3）
4 EL・階メッセージ設定	P. 38（1-3-4）
5 SW・EL 階設定	P. 40（1-3-5）
6 出火階・連動階設定	P. 44（1-3-6）
7 回線初期値設定・点検	P. 45（1-3-7）
8 回線グループ設定	P. 53（1-3-8）
9 EL 制御設定	P. 55（1-3-9）

■ 音声警報設定（1-3-1）

発信機起動時、感知器起動時などの非常放送の音声警報放送を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲*1	初期設定
手動・発信機起動	発信機や非常電話、手動で非常放送を起動したときの音声警報放送を設定。	火災、発報	火災
感知器発報	感知器起動時の感知器発報放送を設定。	連動、連動停止	連動
発報放送回数*2	感知器発報放送の繰り返し回数を設定。	2 ～ 5 回	2 回
発報放送繰返し設定*2	感知器発報放送の繰り返し方法を設定。	なし、繰り返し、継続	なし
発報放送間隔*3	感知器発報放送を連続で出力する時の間隔を設定。	0 分 00 秒～ 5 分 59 秒	2 分 00 秒
警報言語	音声警報放送を行う言語を設定。日本語に加えて、任意の言語を選択でき、最大 4 言語の音声警報メッセージを放送することができます。*1	日本語、二ヶ国語、三ヶ国語、四ヶ国語	日本語

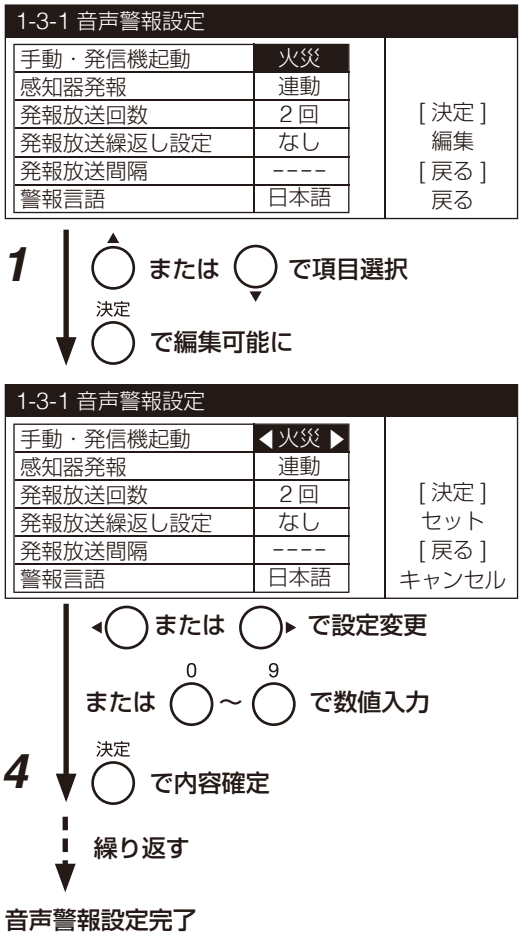
*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。

設定項目	設定範囲	説明
手動・発信機起動	火災	起動がかかると、感知器発報放送なしに、すぐに火災放送をします。（「火災」モード）
	発報	起動時に、感知器発報放送をします。（「発報」モード） 非常電話や発信機での起動のときは、感知器発報放送に続いて火災放送をします。
感知器発報	連動	感知器での起動時に、感知器発報放送をします。（「発報連動」モード）
	連動停止	感知器での起動時に、感知器発報放送をしません。（「発報連動停止」モード） 操作する人に対して、非常用操作パネルと非常用リモコンのモニタースピーカーから「火災音信号」と現場の確認と操作を指示する「音声メッセージ」が出ます。
発報放送繰返し設定	なし	感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送します。
	繰り返し	感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送し、そのあと「発報放送間隔」で設定された間隔をおいて、再び繰り返します。ただし、フロントマイクによる放送や放送復旧のあとは、発報放送は繰り返し放送されません。
	継続	感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送し、そのあと「発報放送間隔」で設定された間隔をおいて、再び繰り返します。フロントマイクによる放送や放送復旧のあとも繰り返し放送されます。
警報言語	日本語	日本語で音声警報メッセージが流れます。
	二ヶ国語	日本語・英語で音声警報メッセージが流れます。
	三ヶ国語	日本語・英語・中国語*4 で音声警報メッセージが流れます。
	四ヶ国語	日本語・英語・中国語・韓国語*5 で音声警報メッセージが流れます。

*2 手動・発信機起動を「火災」、感知器発報を「連動停止」に設定した場合は、設定不要です。
*3 発報放送繰返し設定を「なし」に設定した場合は、設定不要です。
*4 設定支援ソフトウェアを使用して第三言語と第四言語を入れ換えると、中国語を韓国語に変更できます。
*5 設定支援ソフトウェアを使用して第三言語と第四言語を入れ換えると、中国語と韓国語の順番を入れ換えることができます。

ご注意

工場出荷時に搭載されたメッセージ以外を放送する場合は、所轄消防署の許可を得た上で、設定してください。



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「1 音声警報設定」決定時

1 **上下シフトキーで設定項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

発報放送間隔の場合のみ、数字キーで入力する。

4 **決定キーを押す。**

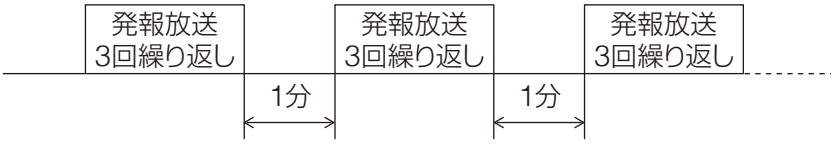
設定内容が決定されます。

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

[設定例]

発報放送の繰り返し方法を「繰返し」または「継続」に設定したときは、発報放送回数や発報放送間隔の設定により次のように放送されます。

（1）発報放送 3 回を 1 分間隔で放送するとき
- 発報放送回数を 3 回に設定します。
- 発報放送間隔を 1 分に設定します。



（2）発報放送を繰り返し連続で放送するとき
- 発報放送回数を 2 回に設定します。
- 発報放送間隔を 0 秒に設定します。

■ 非常タイマー設定（1-3-2）

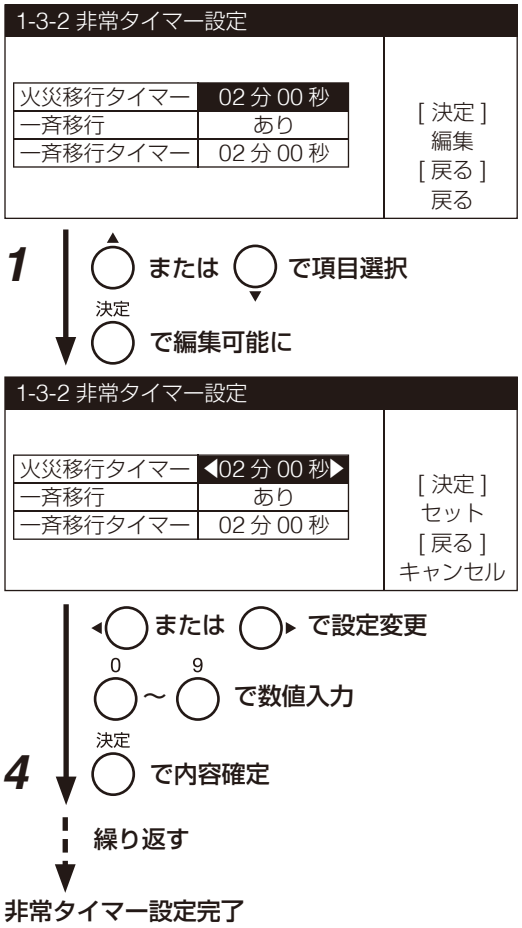
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲*1	初期設定
火災移行タイマー	感知器起動や手動で非常放送を起動したときに、発報放送開始または火災音信号鳴動開始から、一定時間経過後に火災放送を開始させるための火災放送移行タイマーの時間を設定。	1 秒～ 99 分 59 秒（1 秒単位）	2 分 00 秒
一斉移行	火災放送開始または火災放送移行タイマーのタイムアップから、一定時間経過後に一斉火災放送を開始するための一斉移行タイマー機能のあり／なしの設定をします。	あり、なし	あり
一斉移行タイマー*2	一斉移行タイマー機能「あり」のときのタイマーの時間を設定します。	0 秒～ 99 分 59 秒（1 秒単位）	2 分 00 秒

*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定項目	設定範囲	説明
一斉移行	あり	一斉移行タイマーの機能を使用します。 「一斉移行タイマー」で設定された時間の経過後に一斉の火災放送を開始します。
	なし	一斉移行タイマーの機能を使用しません。 自動的に一斉火災放送が開始することはありません。

*2 一斉移行の設定を「なし」に設定した場合は、設定不要です。



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「2 非常タイマー設定」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

時間の場合は、数字キーで入力する。

4 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

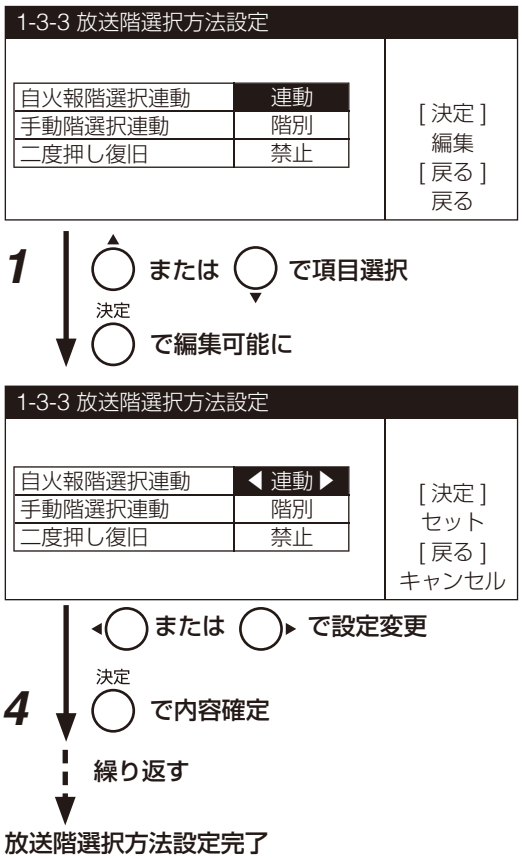
■ 放送階選択方法設定（1-3-3）

非常放送が起動したときの放送階の選択のしかたを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲*	初期設定
自火報階選択連動	自動火災報知設備などから階別信号が入力されたときに、非常放送をする階の選択のしかたを設定。	連動、一斉	連動
手動階選択連動	手動で非常放送を起動したときに非常放送をする階の選択のしかたを設定。	階別、連動	階別
二度押し復旧	一度選択した放送階選択スイッチを再度押すことにより回線選択を解除できるようにするかどうかを設定。	禁止、許可	禁止

* 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定項目	設定範囲	説明
自火報階選択連動	連動	出火階（起動のあった階）と、その直上階などの連動階に放送されます。（「連動」モード）
	一斉	すべての階に放送されます。（「連動一斉」モード）
手動階選択連動	階別	手動で選択した放送階のみに放送されます。
	連動	手動で選択した放送階と、その直上階などの連動階に放送されます。
二度押し復旧	禁止	二度押しによる回線選択の解除を禁止します。（二度押ししたときのスイッチ操作は無効となります。）
	許可	二度押しによる回線選択の解除を許可します。



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「3 放送階選択方法設定」決定時

1 **上下シフトキーで設定項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

4 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

■ EL・階メッセージ設定（1-3-4）

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）に階メッセージを設定します。階別信号入力端子がメイクしたときに、階情報を含んだ音声警報を出力できるようにするためです。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
EL 番号	ジャンクションパネルの階別信号入力端子の番号を選択。	1 ～最大 EL 数	—
階メッセージ	階メッセージ番号*を選択。	1 ～ 640、—（階情報なし）	EL1：6、EL2：7、 …、EL75：80、EL76 ～：—

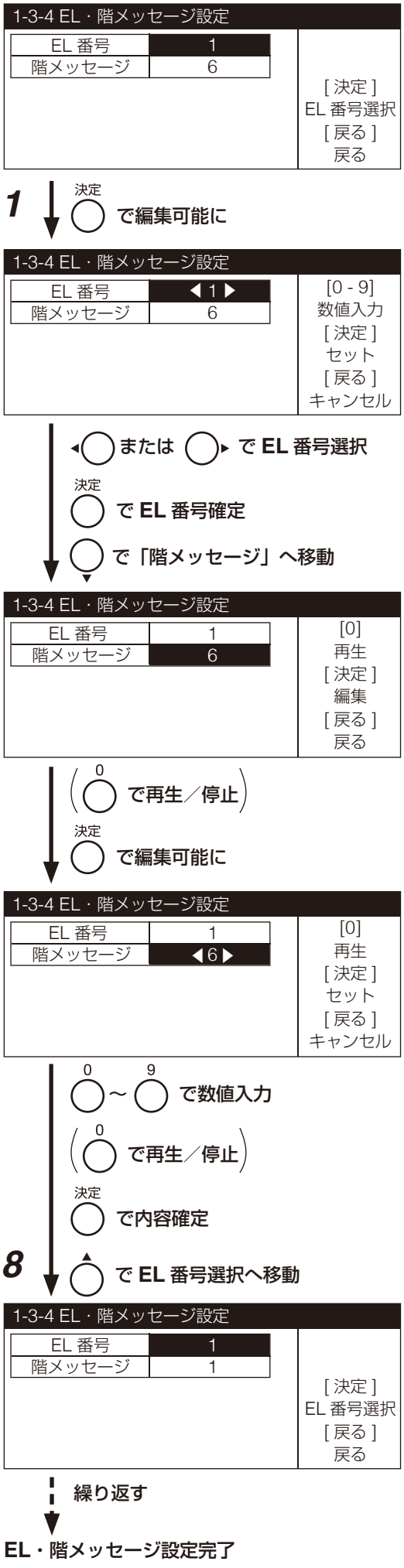
* 工場出荷時は以下のとおり、階メッセージ 1 ～ 80 番までが登録されています。

番号	名称
1	地下 1 階
2	地下 2 階
3	地下 3 階
4	地下 4 階
5	地下 5 階
6	1 階
7	2 階
8	3 階
9	4 階
10	5 階
11	6 階
12	7 階
13	8 階
14	9 階
15	10 階
16	11 階
17	12 階
18	13 階
19	14 階
20	15 階
21	16 階
22	17 階
23	18 階
24	19 階
25	20 階
26	21 階
27	22 階
28	23 階
29	24 階
30	25 階

番号	名称
31	26 階
32	27 階
33	28 階
34	29 階
35	30 階
36	屋上
37	駐車場
38	地下駐車場
39	屋上駐車場
40	バックヤード
41	エントランスホール
42	体育館
43	体育館 1 階
44	体育館 2 階
45	講堂
46	階段
47	東階段
48	西階段
49	南階段
50	北階段
51	中央階段
52	塔屋
53	エスカレーター
54	エレベーター
55	エレベーターシャフト
56	エレベーター機械室
57	機械室
58	風除室
59	本館地下 1 階
60	本館 1 階

番号	名称
61	本館 2 階
62	本館 3 階
63	本館 4 階
64	本館 5 階
65	本館 6 階
66	本館屋上
67	本館塔屋
68	本館階段
69	本館エレベーター
70	新館地下 1 階
71	新館 1 階
72	新館 2 階
73	新館 3 階
74	新館 4 階
75	新館 5 階
76	新館 6 階
77	新館屋上
78	新館塔屋
79	新館階段
80	新館エレベーター

※ 番号：階メッセージ番号
　名称：階名称



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「4 EL・階メッセージ設定」決定時

1 カーソルが「EL 番号」位置にある状態で、決定キーを押す。

編集可能になります。

2 左右シフトキーで「EL 番号」を選択する。

3 決定キーを押す。

EL 番号が確定し、その EL 番号の「階メッセージ」が表示されます。

4 上下シフトキーで「階メッセージ」を選択する。

メ　モ

[0] キーを押すと、表示されている番号の階メッセージを再生して確認できます。再生中は非常 RM の放送モニターが停止します。
もう一度 [0] キーを押すと、階メッセージを停止できます。

5 決定キーを押す。

「階メッセージ」が編集できるようになります。

6 数字キーで階メッセージ番号を入力する。

メ　モ

[0] キーを押すと、表示されている番号の階メッセージを再生して確認できます。再生中は非常 RM の放送モニターが停止します。
もう一度 [0] キーを押すと、階メッセージを停止できます。

7 決定キーを押す。

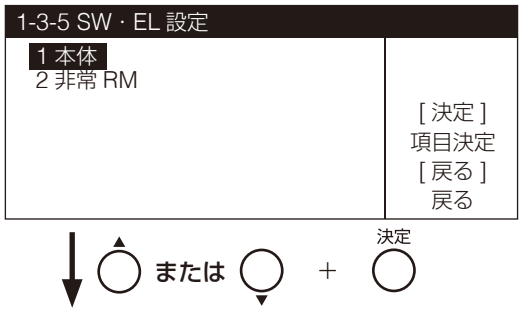
設定内容が決定されます。

8 上下シフトキーで「EL 番号」を選択する。

9 手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての EL 番号に階メッセージを設定する。

■ SW・EL 設定（1-3-5）

FS-2500 本体と非常用リモコンの放送階選択スイッチについて設定します。
まず、設定するユニットを選択します。



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「5 SW・EL 設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 本体	下記（1-3-5-1）
2 非常 RM	P. 42（1-3-5-2）

■ 本体（1-3-5-1）

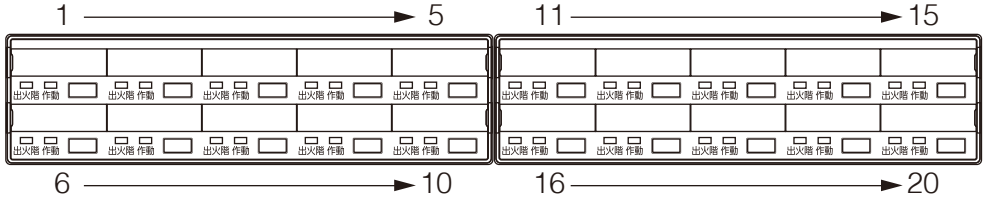
FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）に接続する増設操作パネルの放送階選択スイッチについて設定します。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲*1	初期設定
SW 番号	放送階選択スイッチの番号*2 を選択。	1 ～	―
用途	放送階選択スイッチの用途を選択。	非常、業務、兼用、BGM1 ～ 4、未使用	兼用
業務緊急*3	放送階選択スイッチの用途を「業務」または「兼用」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定。	なし、あり	なし
出力回線	放送階選択スイッチの回線登録を個別／グループのどちらかに設定。	個別、グループ	個別
回線番号または回線グループ番号	放送階選択スイッチに回線番号または回線グループ番号*4 を登録。	1 ～ グループ 1 ～	スイッチ番号と同じ番号
EL 番号または EL グループ番号*5	放送階選択スイッチにジャンクションパネルの階別信号入力端子の番号または EL グループ番号*6 を登録。	EL1 ～ EL グループ 1 ～	スイッチ番号と同じ番号

*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

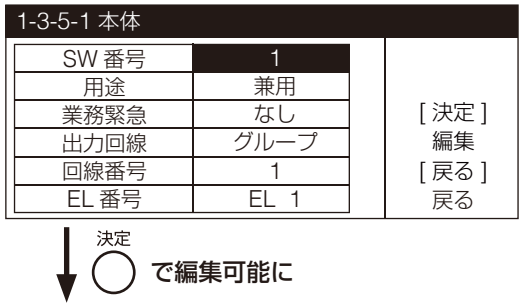
設定項目	設定範囲	説明
用途	非常	放送階選択スイッチを非常放送用途で使用します。業務放送では使用できません。
	業務	放送階選択スイッチを業務放送用途で使用します。非常放送では使用できません。
	兼用	非常放送・業務放送の両方の用途で使用します。
	BGM1 ～ 4*7	ミックスバス（BGM）に割り付けた音声入力に接続された演奏機器から BGM 音源のみの放送を行うときに使用します。非常放送では使用できません。
	未使用	放送階選択スイッチを使用しません。
業務緊急	なし	通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。
	あり	業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。
出力回線	個別	放送階選択スイッチについて、スピーカー回線を 1 つ登録します。
	グループ	放送階選択スイッチについて、回線グループを登録します。回線グループへのスピーカー回線の登録は、「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で行います。

*2 番号は次のとおりです。下図は FS-2520EP の操作部の例ですが、他の機種も同様です。



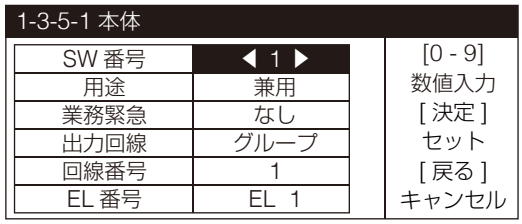
*3 用途の設定を「業務」または「兼用」にした場合のみ設定できます。
*4 回線グループを使用するときは「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）であらかじめ設定しておいてください。
*5 用途の設定を「非常」または「兼用」にした場合のみ設定できます。
*6 EL グループを使用するときは「1-3-9 EL 制御設定」（P. 55）であらかじめ設定しておいてください。
*7 用途の設定を「BGM1 ～ 4」にするときは「1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定」（P. 62）であらかじめ設定しておいてください。

「1-3-5 SW・EL 設定」（P. 40）で「1 本体」決定時



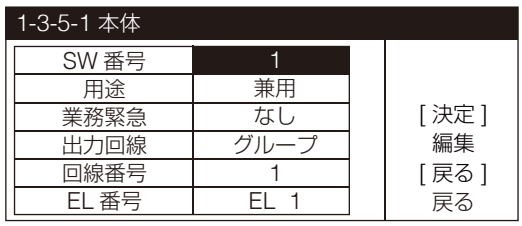
1 **カーソルが「SW 番号」位置にある状態で、決定キーを押す。**

編集可能になります。



2 **左右シフトキーで「SW 番号」を選択するか、数字キーで番号を入力する。**

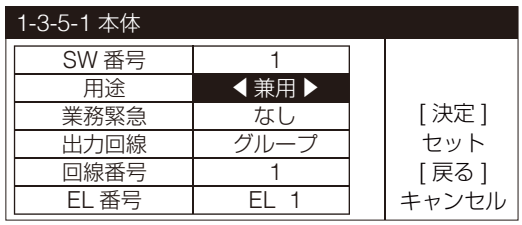
3 **決定キーを押す。**



4 **上下シフトキーでカーソルを移動させる。**

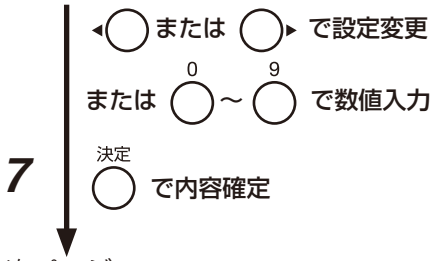
5 **決定キーを押す。**

編集可能になります。



6 **左右シフトキーで設定内容を選択する。**

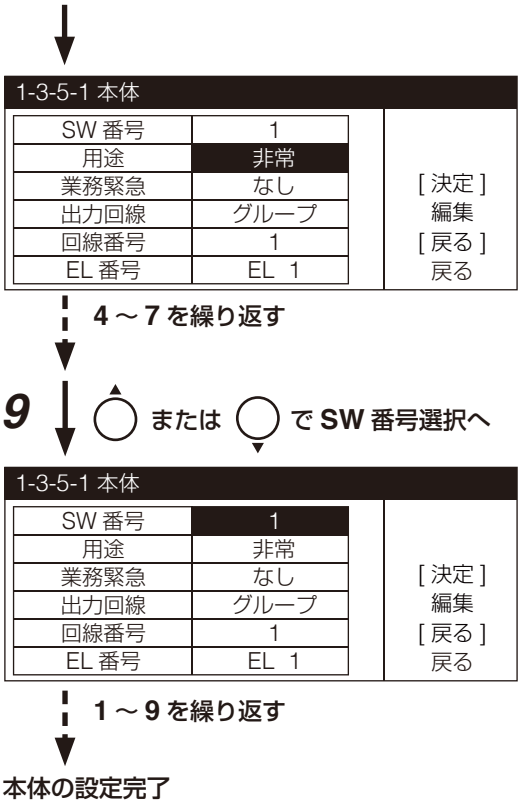
回線番号と EL 番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。



7 **決定キーを押す。**

次ページへ

前ページから



設定内容が決定されます。

8 **手順 4 ～ 7 を繰り返し、手順 3 で決定した「SW 番号」の「用途」から「EL 番号」までで必要な設定をすべて行う。**

9 **上下シフトキーでカーソルを「SW 番号」位置に移動させる。**

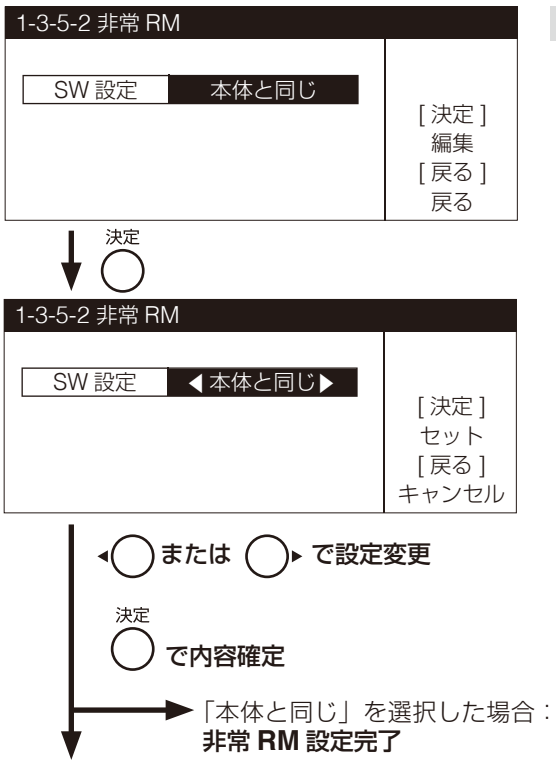
10 **手順 1 ～ 9 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

■ 非常 RM（1-3-5-2）

非常用リモコンの放送階選択スイッチについて設定します。本体と同じ設定にするか個別に設定するかを選択できます。
個別に設定する場合の設定項目は本体と同じです。（☞ P. 40）

ご注意

本体と同じ設定にする場合は、すべての非常用リモコンの放送階選択スイッチ数を本体と同じにしてください。



「1-3-5 SW・EL 設定」（P. 40）で「2 非常 RM」決定時

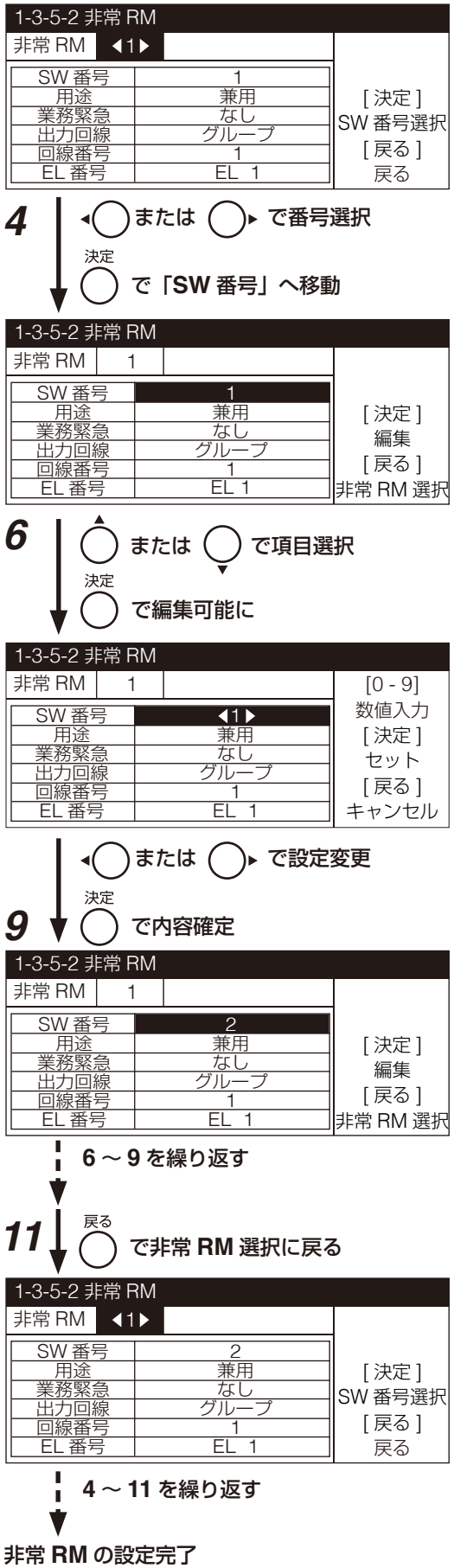
1 **決定キーを押す。**

編集可能になります。

2 **左右シフトキーで「本体と同じ」か「個別設定」を選択する。**

3 **決定キーを押す。**

「本体と同じ」を選択した場合は、設定終了です。戻るキーで前の画面に戻ってください。
「個別設定」を選択した場合は、非常用リモコンの階選択スイッチを設定する画面が表示されます。**手順 4** 以降に進んでください。



4 **左右シフトキーで非常 RM を選択する。**

5 **決定キーを押す。**

カーソルが「SW 番号」に移動します。

6 **上下シフトキーでカーソルを移動させる。**

7 **決定キーを押す。**

編集可能になります。

8 **左右シフトキーで設定内容を選択する。**
回線番号と EL 番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

9 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

10 **手順 6 ～ 9 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

11 **戻るキーを押す。**
「非常 RM」の選択に戻ります。

12 **手順 4 ～ 11 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

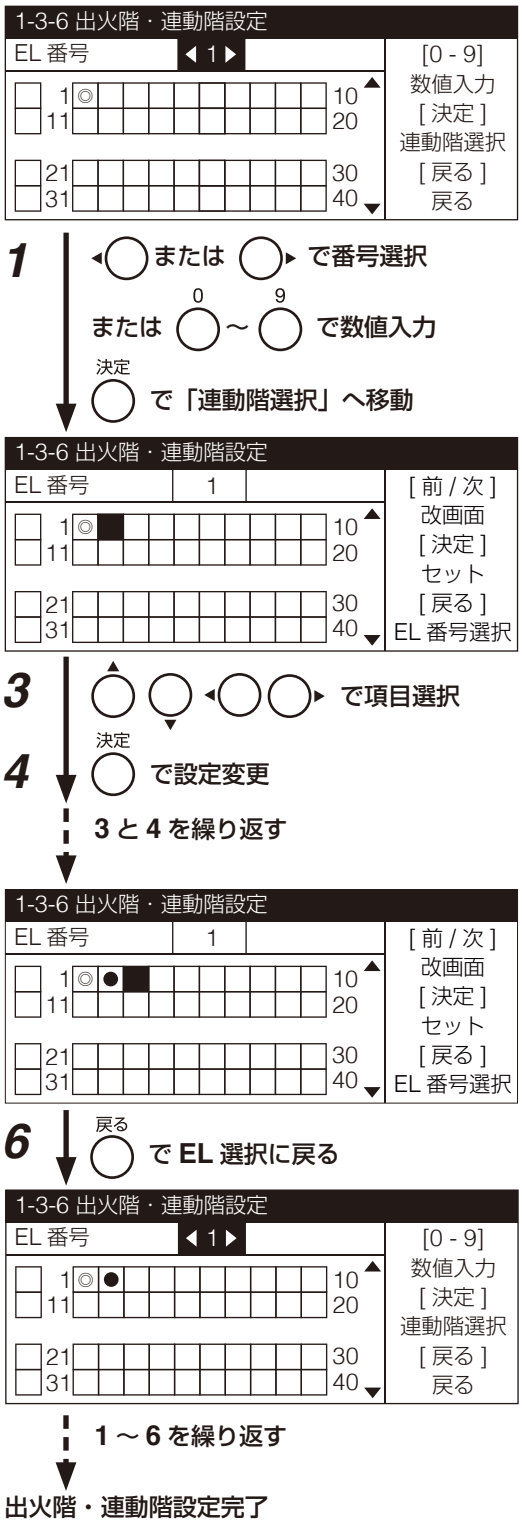
■ 出火階・連動階設定（1-3-6）

出火階と連動階を結びつけます。ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）または EL グループ*がメイクされたときに連動する EL または EL グループ*を設定します。
1 つの出火階に最大 639 の連動階が設定できます。

* EL グループを使用するときは「1-3-9 EL 制御設定」（P. 55）であらかじめ設定しておいてください。

ご注意

以下の場合における連動階設定については、自治体により異なります。
所轄消防署にご確認のうえ、設定を行ってください。
（1）地下階から起動があったときの 1 階への連動
（2）各階から起動があったときのエレベーター、階段への連動
（3）エレベーター、階段から起動があったときの連動



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「6 出火階・連動階設定」決定時

1 左右シフトキーで「EL 番号」または「EL グループ番号」を選択するか、数字キーで番号を入力する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「連動階選択」に移動します。

画面内に表示されている「◎」マークは出火階、「●」マークは連動階を表します。出火階は変更できません。

3 上下左右シフトキーでカーソルを移動させる。

メ　モ

左端のマスを選択すると、その行が一括選択できます。

4 決定キーを押す。

連動階を表す「●」マークが追加されます。
すでに「●」マークが設定されている場合は「●」マークが削除されます。

5 手順 3 と 4 を繰り返し、連動階をすべて設定する。

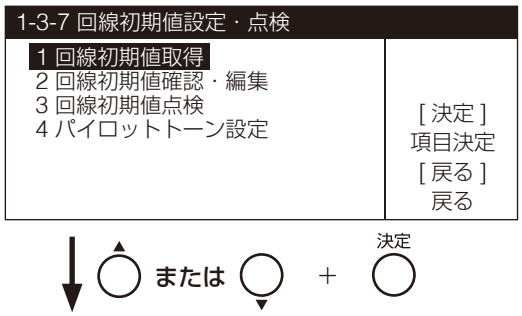
6 戻るキーを押す。

EL 選択に戻ります。

7 手順 1 ～ 6 を繰り返し、すべての EL 番号に連動階を設定する。

■ 回線初期値設定・点検（1-3-7）

ジャンクションパネルに接続されている各スピーカー回線のインピーダンスを実測または設定します。
スピーカーから音を出して良い場合は「1 回線初期値取得」（下記）で実測を行い、音声を出力できない場合は「2 回線初期値確認・編集」（P. 47）で手動で設定します。
実測後に特定の回線のみ手動で変更することもできます。



各設定項目の参照先へ

「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「7 回線初期値設定・点検」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

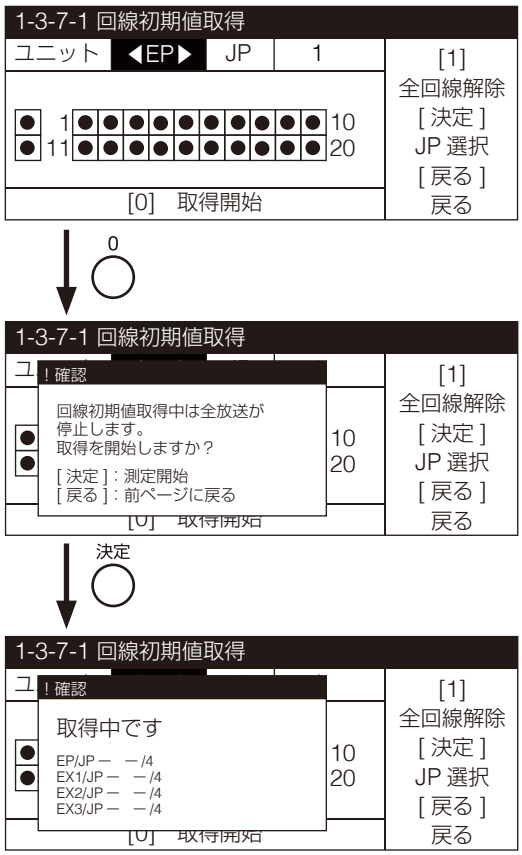
設定項目	参照先
1 回線初期値取得	下記（1-3-7-1）
2 回線初期値確認・編集	P. 47（1-3-7-2）
3 回線初期値点検	P. 50（1-3-7-3）
4 パイロットトーン設定	P. 53（1-3-7-7）

■ 回線初期値取得（1-3-7-1）

ジャンクションパネルに接続されているスピーカー回線を選択してインピーダンスを実測します。
スピーカーから測定用の音声が出力されます。
この設定に入ったときは、すべてのスピーカー回線がインピーダンス測定対象になっています。

● すべてのスピーカー回線の測定を行う場合（全スピーカーから音を出して良い場合）

すべてのスピーカー回線から音を出して良い場合は、以下の手順で回線インピーダンスの測定を行います。



回線インピーダンス測定完了

「1-3-7 回線初期値設定･点検」（上記）で「1 回線初期値取得」決定時

初期設定ではすべてのスピーカー回線が選択された状態になっています。

1 ［0］キーを押す。

確認ダイアログが表示されます。

2 決定キーを押す。

測定が開始されます。
選択されているスピーカー回線について回線インピーダンスの初期値を取得します。

回線インピーダンスの取得が終わると回線を選択する画面に戻ります。

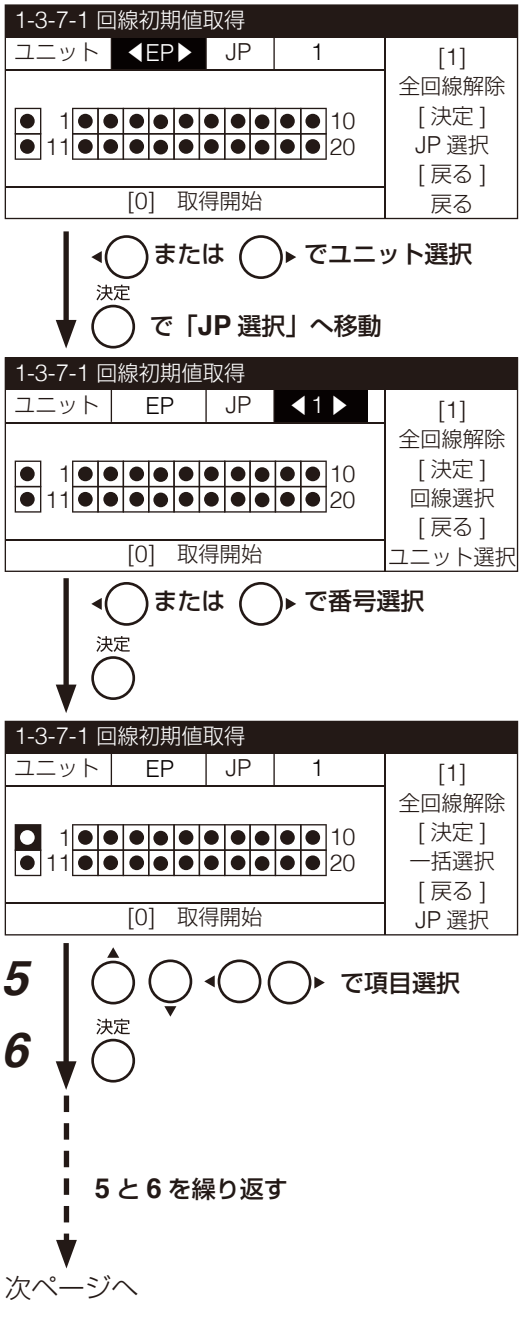
● スピーカー回線を選択して測定を行う場合（一部のスピーカーのみ音を出して良い場合）

一部のスピーカーのみ音を出して良い場合は、スピーカー回線を選択して実測できます。
以下のように、スピーカー回線を選択した後で回線インピーダンスの測定を行ってください。

設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	スピーカー回線が接続されたユニットを選択。	EP＊1、EX1＊2、EX2＊2、EX3＊2	—
JP	選択したユニットに接続されているジャンクションパネルを選択。	（設定された JP 番号＊3）	—
回線	スピーカー回線の選択状態を設定。	（選択、未選択）	（選択）

＊1 非常用操作パネル FS-2500EP。
＊2 非常系統拡張パネル FS-2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の非常系統拡張パネルを表します。
＊3「1-2-6 ジャンクションパネル設定」（P. 31）で表示されている「No.」です。「No. 1」は ID（アドレス設定）「00」、「No. 2」はアドレス設定「01」、…のようになっています。



次ページへ

「1-3-7 回線初期値設定･点検」（上記）で「1 回線初期値取得」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「JP 選択」に移動します。

3 左右シフトキーで JP 番号を選択する。

4 決定キーを押す。

スピーカー回線が選択可能になります。

5 上下左右シフトキーでカーソルを移動させる。

メ　モ

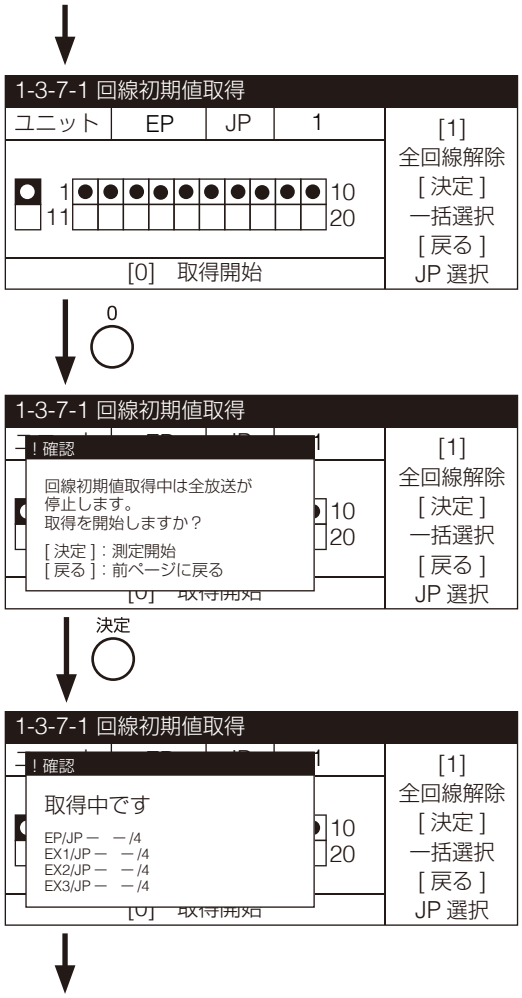
左端のマスを選択すると、その行が一括選択できます。
［1］キーを押すとすべてのスピーカー回線をインピーダンス測定対象から外します。

6 決定キーを押す。

「●」マークが設定されている場合は「●」マークが削除されインピーダンス測定対象から外されます。
「●」マークが設定されていない場合は「●」マークが追加されインピーダンス測定対象になります。

7 手順 5 と 6 を繰り返し、測定対象のスピーカー回線をすべて設定する。

前ページから



回線インピーダンス測定完了

8 **[0] キーを押す。**

確認ダイアログが表示されます。

9 **決定キーを押す。**

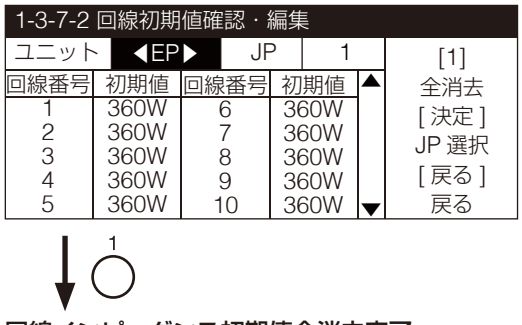
測定が開始されます。
選択されているスピーカー回線について回線インピーダンスの初期値を取得します。

回線インピーダンスの取得が終わると回線を選択する画面に戻ります。

■ 回線初期値確認・編集（1-3-7-2）

● 手動で初期値を全消去するとき

手動で回線インピーダンスの初期値を全消去することができます。スピーカーからの音声は出力されません。全消去後は、アンプ設定と出力系統設定により各回線に割り当てられたアンプに応じて、初期値欄の数値が変更されます。



回線インピーダンス初期値全消去完了

「1-3-7 回線初期値設定・点検」（P. 45）で「2 回線初期値確認・編集」決定時

手順：[1] キーを押す。

すべてのジャンクションパネルについて回線インピーダンスの初期値が全消去されます。
全消去後は、電源機種系列の設定およびアンプ設定と出力系統設定により各回線に割り当てられたアンプの定格出力に応じて、初期値欄に以下の値が表示されます。

電源機種系列	アンプ定格出力	初期値
FS2000 系	360 W 以上	360 W
	360 W 未満	アンプ定格出力
FS2500 系	ー	360 W

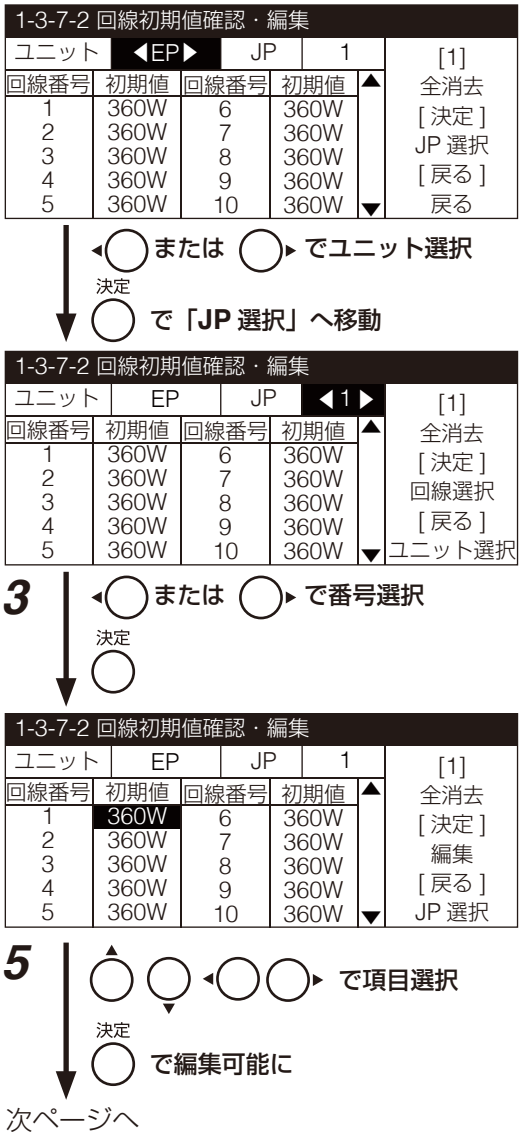
● 手動で初期値を編集するとき（スピーカーから音声を出力できない場合）

回線インピーダンスを編集し、接続されているスピーカーの公称インピーダンスを入力することで、スピーカーから音を出さずに、回線インピーダンスの初期値を手動で変更することができます。
回線インピーダンス測定後に特定の回線のみ手動で変更することもできます。

設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	スピーカー回線が接続されたユニットを選択。	EP＊1、EX1＊2、EX2＊2、EX3＊2	—
JP	選択したユニットに接続されているジャンクションパネルを選択。	（設定された JP 番号＊3）	—
初期値	回線インピーダンスの初期値を設定。	0W（1W 未満）～ 360W＊4	360W＊5

＊1 非常用操作パネル FS-2500EP。
＊2 非常系統拡張パネル FS-2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の非常系統拡張パネルを表します。
＊3「1-2-6 ジャンクションパネル設定」（P. 31）で表示されている「No.」です。「No. 1」は ID（アドレス設定）「00」、「No. 2」はアドレス設定「01」、…のようになっています。
＊4 電源機種系列が「FS2000 系」でアンプ定格出力が 360 W 未満の場合は、アンプ定格出力の値が設定範囲の最大値となります。
＊5 工場出荷時は、機器構成の設定に関係なく、初期値欄に「360W」と表示されます。



次ページへ

「1-3-7 回線初期値設定・点検」（P. 45）で「2 回線初期値確認・編集」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「JP 選択」に移動します。

3 左右シフトキーで JP 番号を選択する。

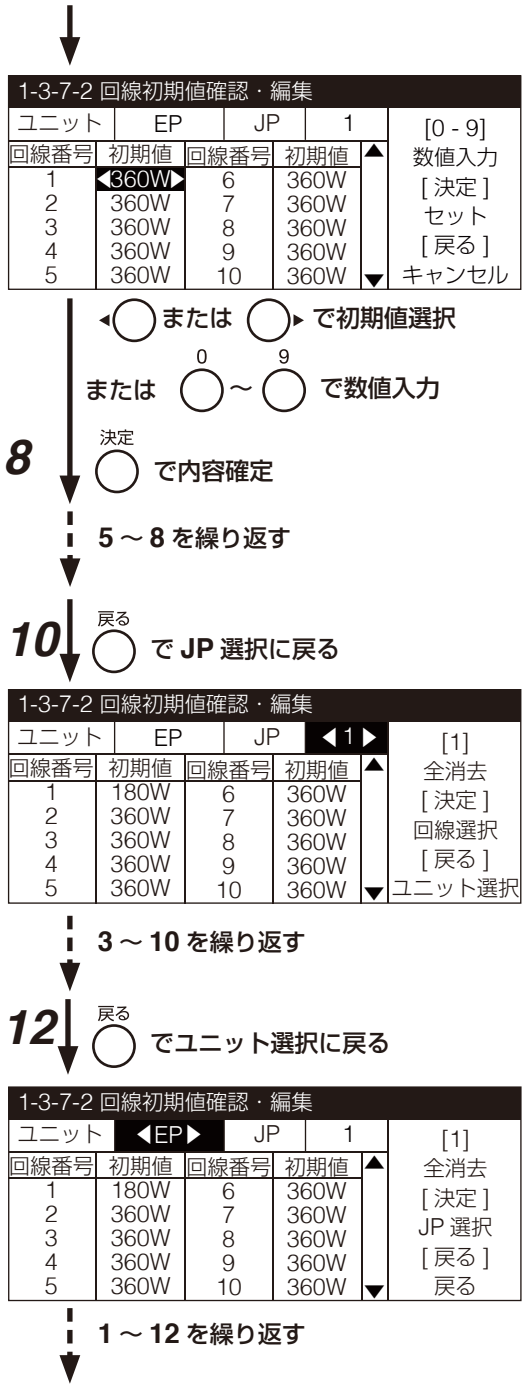
4 決定キーを押す。

カーソルが「回線番号選択」に移動します。

5 上下左右シフトキーで設定項目を選択する。

6 決定キーを押す。

前ページから



初期値が編集できるようになります。

7 **左右シフトキーで初期値を選択するか、数字キーで数値を入力する。**

8 **決定キーを押す。**

9 **手順 5 ～ 8 を必要なだけ繰り返す。**

10 **戻るキーを押す。**

「JP 選択」に戻ります。

11 **手順 3 ～ 10 を必要なだけ繰り返す。**

12 **戻るキーを押す。**

「ユニット選択」に戻ります。

13 **手順 1 ～ 12 を必要なだけ繰り返す。**

● 回線インピーダンスの初期値を確認するとき

「1-3-7 回線初期値設定・点検」（P. 45）で「2 回線初期値確認・編集」決定時に前キーまたは次キーを押すか、編集の手順と同様の操作で画面を遷移させ、設定変更をしなければ、初期値の確認のみ行えます。

メ モ

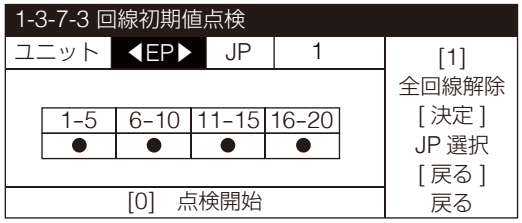
以下の状態のとき、初期値は次のように表示されます。

- 回線がオープン状態となっているとき：「1W 未満」
- 回線が過負荷状態となっているとき　：「OVER」

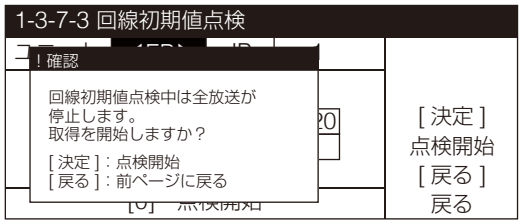
■ 回線初期値点検（1-3-7-3）

スピーカー回線のインピーダンス値が適切な値に設定されているか、テストトーンを出力して確認をします。非常用ジャンクションパネルが FS-2110JP/2120JP のときはジャンクションパネル単位、FS-2420JP のときは 5 回線単位でスピーカー回線の指定ができます。

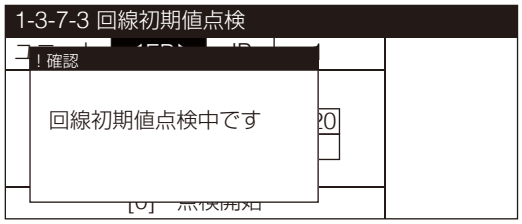
● すべてのスピーカー回線の点検を行う場合（全スピーカーから音を出して良い場合）



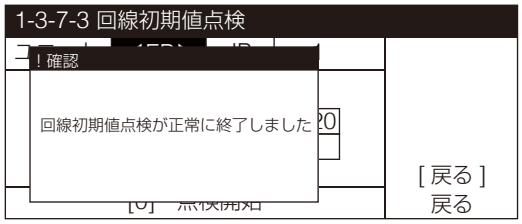
0



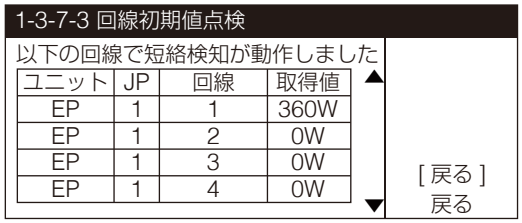
決定



（異常がない場合）



（異常があった場合）



「1-3-7 回線初期値設定・点検」（P. 45）で「3 回線初期値点検」決定時

初期設定ではすべてのスピーカー回線が選択された状態になっています。

1 **［0］キーを押す。**

確認ダイアログが表示されます。

2 **決定キーを押す。**

測定が開始されます。
すべてのスピーカー回線について点検します。

点検の結果、異常がなかったときは左に示す表示がされます。

異常があったときは、左のような表示がされますので回線インピーダンスが正しくなるように修正してください。

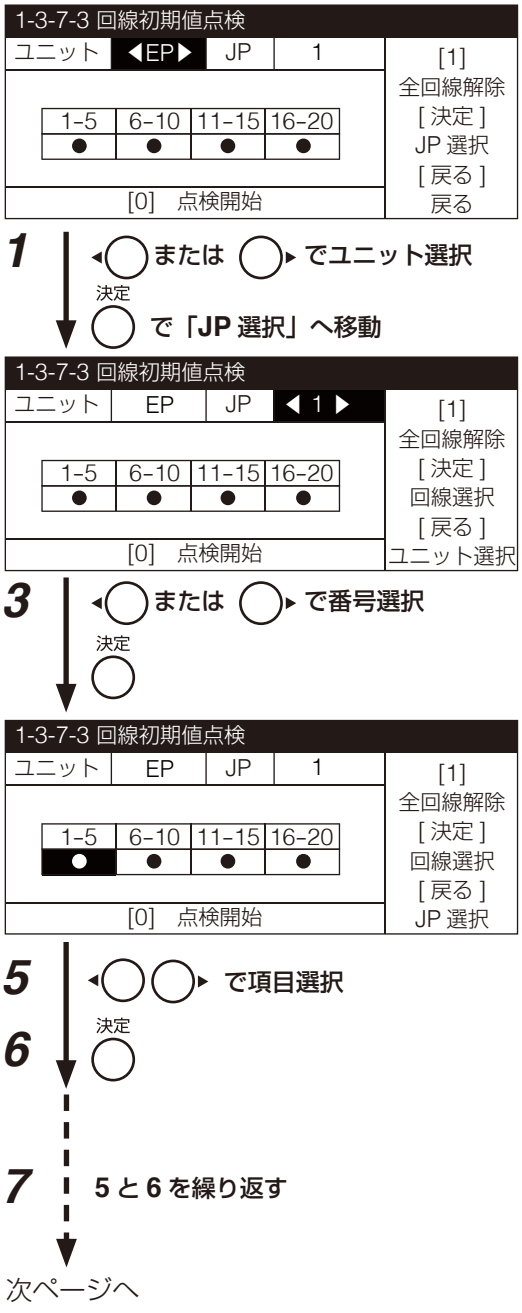
● スピーカー回線を選択して点検を行う場合（一部のスピーカーのみ音を出して良い場合）

一部のスピーカーのみ音を出して良い場合は、スピーカー回線を選択して点検できます。
以下のように、スピーカー回線を選択した後で回線インピーダンスの点検を行ってください。

設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	スピーカー回線が接続されたユニットを選択。	EP＊1、EX1＊2、EX2＊2、EX3＊2	—
JP	選択したユニットに接続されているジャンクションパネルを選択。	（設定された JP 番号＊3）	—
回線	スピーカー回線の選択状態を設定。	（選択、未選択）	（選択）

＊1 非常用操作パネル FS-2500EP。
＊2 非常系統拡張パネル FS-2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の非常系統拡張パネルを表します。
＊3「1-2-6 ジャンクションパネル設定」（P. 31）で表示されている「No.」です。「No. 1」は ID（アドレス設定）「00」、「No. 2」はアドレス設定「01」、…のようになっています。



次ページへ

「1-3-7 回線初期値設定・点検」（P. 45）で「3 回線初期値点検」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「JP 選択」に移動します。

3 左右シフトキーで JP 番号を選択する。

4 決定キーを押す。

スピーカー回線が選択可能になります。

5 左右シフトキーで設定項目を選択する。

メ モ
［1］キーを押すとすべてのスピーカー回線を点検対象から外します。

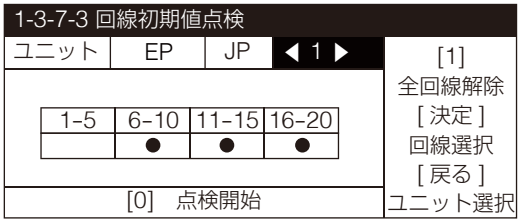
6 決定キーを押す。

「●」マークが設定されている場合は「●」マークが削除され点検対象から外されます。
「●」マークが設定されていない場合は「●」マークが追加され点検対象になります。

7 手順 5 と 6 を必要なだけ繰り返す。

前ページから

戻る
◯ で JP 選択に戻る

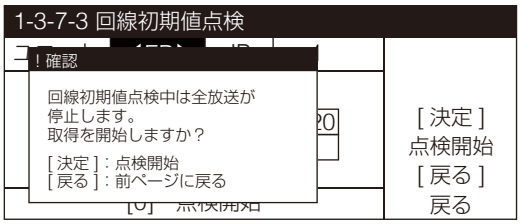


3 ～ 7 を繰り返す

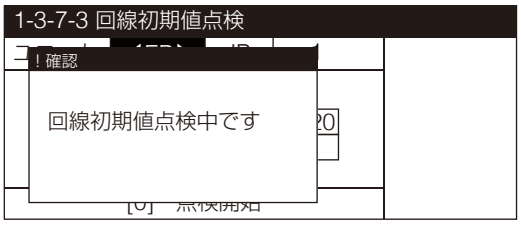
10 戻る
◯ でユニット選択に戻る

1 ～ 10 を繰り返す

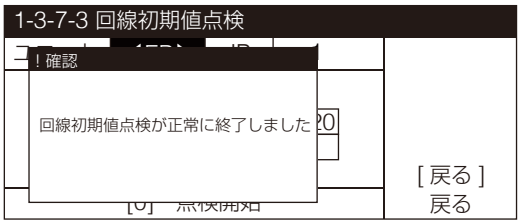
0
◯



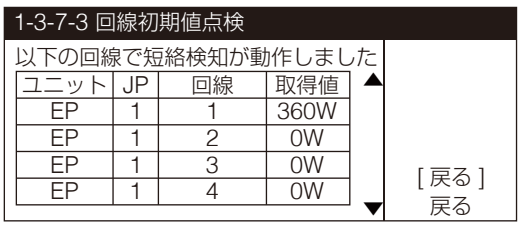
決定
◯



（異常がない場合）



（異常があった場合）



8 **戻るキーを押す。**

「JP 選択」に戻ります。

9 **手順 3 ～ 7 を必要なだけ繰り返す。**

10 **戻るキーを押す。**

「ユニット選択」に戻ります。

11 **手順 1 ～ 10 を必要なだけ繰り返す。**

12 **［0］キーを押す。**

確認ダイアログが表示されます。

13 **決定キーを押す。**

測定が開始されます。
すべてのスピーカー回線について点検します。

点検の結果、異常がなかったときは左に示す表示がされます。

異常があったときは、左のような表示がされますので回線インピーダンスが正しくなるように修正してください。
詳細については、当社営業所へお問い合わせください。

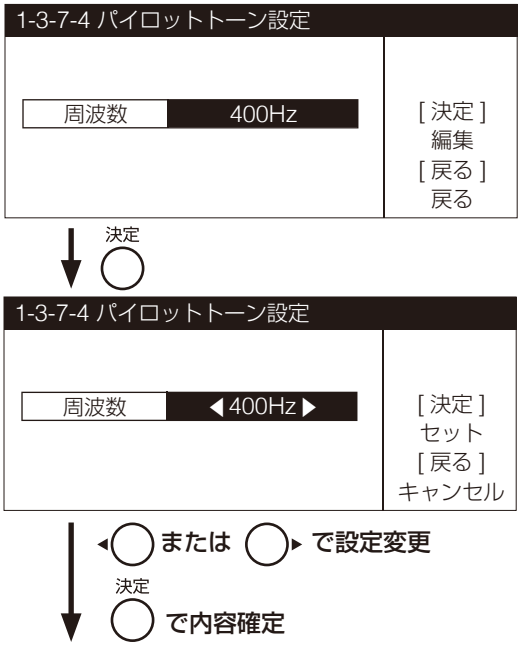
■ パイロットトーン設定（1-3-7-4）

電源機種系列が FS2500 系の場合のみ、スピーカー回線のインピーダンス取得時のパイロットトーンの周波数が選択できます。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
周波数	パイロットトーンの周波数を設定。	400Hz、1kHz	400Hz

ご注意

電源機種系列が FS2000 系の場合は、変更できません。パイロットトーンは 1kHz 固定となります。



「1-3-7 回線初期値設定･点検」（P. 45）で「4 パイロットトーン設定」決定時

1 **決定キーを押す。**

編集可能になります。

2 **左右シフトキーで設定を変更する。**

3 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

■ 回線グループ設定（1-3-8）

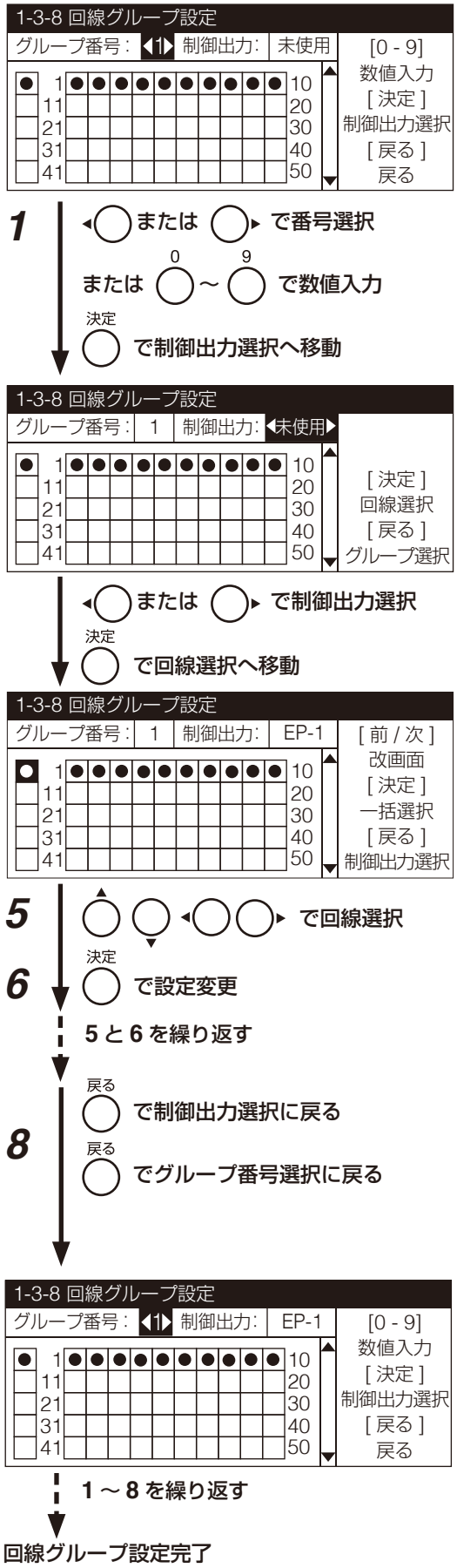
複数のスピーカー回線および 1 つの制御出力を 1 つの回線グループとして登録します。スピーカー回線のみまたは制御出力のみ登録することもできます。500 グループまで登録できます。
ここで設定したグループを放送階選択スイッチ、通常・緊急一斉スイッチなどに割り当てることによって、登録されている複数回線に一斉に放送したり、制御出力を起動したりすることができます。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
グループ番号	回線グループ番号を選択。	1 ～ 500 *1	—
制御出力	非常用操作パネル、業務用リモコン RM-500、非常系統拡張パネル、またはプリアンプマトリクスパネルの制御出力を選択。	未使用、EP-1、EP-2、業務 RM1 ～業務 RM8、EX1-1 ～ EX3-2、PM1-1 ～ PM3-10 *2	未使用
回線番号	回線番号を選択。	1 ～ 640	グループ番号と同じ回線番号

*1 グループ番号 500 は、全回線選択で固定されており、変更できません。
*2 例えば「EP-1」は非常用操作パネルの制御出力端子 1、「業務 RM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の業務用リモコンの制御出力端子、「EX1-1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の非常系統拡張パネルの制御出力端子 1、「PM1-1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）のプリアンプマトリクスパネルの制御出力端子 1 を表します。

ご注意

制御出力のみを回線グループとして登録することはできますが、制御出力のみを割り当て、スピーカー回線を割り当てていない回線グループは、一斉 SW 設定「1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定」（P. 67）、「1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定」（P. 69）、「1-4-2-4-3 一斉 SW 設定」（P. 78）、および「1-4-4 制御入力設定」（P. 84）で各スイッチまたは制御入力に割り当てることはできません。



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「8 回線グループ設定」決定時

1 左右シフトキーで「グループ番号」を選択するか、数字キーで番号を入力する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「制御出力」に移動します。

3 左右シフトキーで制御出力を選択する。

4 決定キーを押す。

カーソルが「回線選択」に移動します。

5 上下左右シフトキーで、追加／削除したい回線にカーソルを移動させる。

メ　モ

- 左端のマスを選択すると、その行が一括選択できます。
- 各出力のジャンクションパネルに FS-2110JP が含まれた場合、その直後の 10 回線は空き番号となります。空き番号には「●」マークを追加することができません。

6 決定キーを押す。

放送する回線を表す「●」マークが追加されます。
すでに「●」マークが設定されているときは「●」マークが削除されます。

7 手順 5 と 6 を繰り返し、必要な回線をすべて登録する。

8 戻るキーを 2 回押す。

グループ番号選択に戻ります。

メ　モ

「制御出力選択」または「回線選択」の状態のときに、数字キーでグループ番号を入力すると、グループ番号を変更することができます。

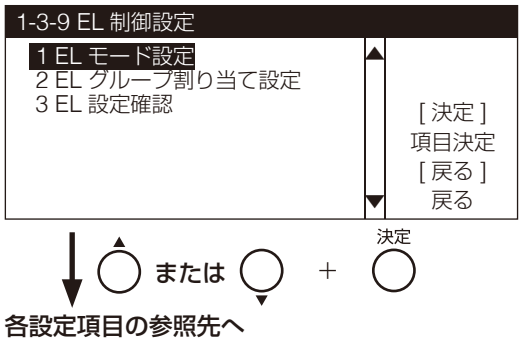
9 手順 1 ～ 8 を繰り返し、必要な数だけグループを設定する。

ご注意

回線番号が未選択かつ制御出力が未使用のグループ番号については、設定保存時に初期設定に戻ります。

■ EL 制御設定（1-3-9）

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）の制御についての設定および確認をします。



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「9 EL 制御設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 EL モード設定	下記（1-3-9-1）
2 EL グループ割り当て設定	P. 56（1-3-9-2）
3 EL 設定確認	P. 57（1-3-9-3）

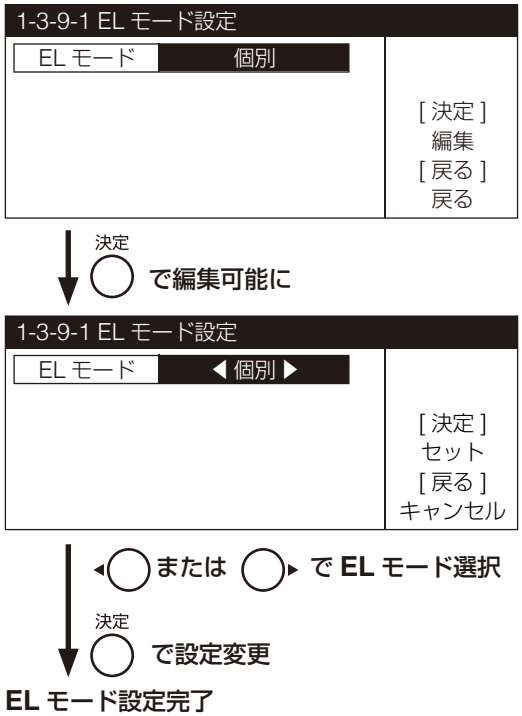
■ EL モード設定（1-3-9-1）

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）の制御についてのモードを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
EL モード	ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）を個別で行うか、グループで行うかを選択。	個別、グループ	個別

メ　モ

1 つの階に対して音声警報の階情報を変えることなどを目的として複数の階別信号が接続されている場合に EL グループを使用します。
複数の階別信号を 1 つの EL グループに割り付けると、いずれの階別信号が ON になっても同じ放送階選択スイッチの出火階表示灯が点灯し、それらの放送階選択スイッチに設定されたスピーカー回線に放送がされます。



「1-3 非常放送設定」（P. 34）で「9 EL 制御設定」決定時

1 **決定キーを押す。**

編集可能になります。

2 **左右シフトキーでモードを選択する。**

3 **決定キーを押す。**

メ　モ

「グループ」を選択した場合は、戻るボタンを押して、「1-3-9 EL 制御設定」（前ページ）に戻り、「2 EL グループ割り当て設定」を選択して、EL グループを割り当ててください。

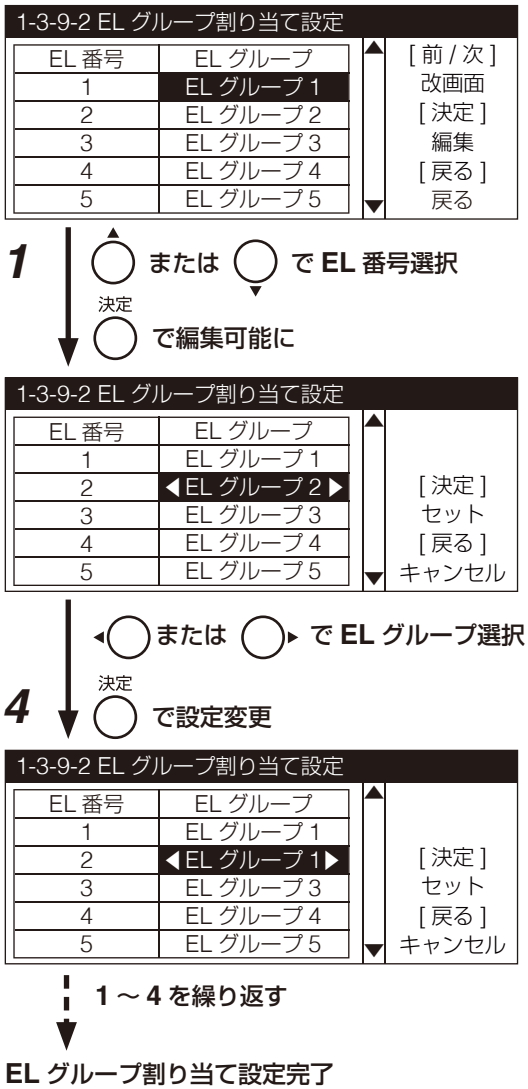
■ EL グループ割り当て設定（1-3-9-2）

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）に EL グループを割り当てます。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
EL グループ	ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）に EL グループ番号を登録。	EL グループ 1 ～ 640	EL 番号：1 はグループ 1、EL 番号：2 はグループ 2、…

ご注意

「1-3-9-1 EL モード設定」（P. 55）が「個別」に設定されているときは、編集できません。閲覧のみ可能です。



「1-3-9 EL 制御設定」（P. 55）で「2 EL グループ割り当て設定」決定時

1 **上下シフトキーで「EL 番号」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

編集可能になります。

3 **左右シフトキーで「EL グループ番号」を選択する。**

4 **決定キーを押す。**

EL グループ番号が変更されます。

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、すべての EL 番号に任意の EL グループ番号を割り当てる。**

■ EL 設定確認（1-3-9-3）

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子（EL）への入力により選択されるスピーカー回線を確認できます。

1-3-9-3 EL 設定確認

EL	回線	EL	回線	EL	回線	EL	回線
1	1	6	6	11	11	16	16
2	2	7	7	12	12	17	17
3	3	8	8	13	13	18	18
4	4	9	9	14	14	19	19
5	5	10	10	15	15	20	20

「1-3-9 EL 制御設定」（P. 55）で「3 EL 設定確認」決定時

手順：上下シフトキーで前画面または次画面に移動し、設定内容を確認する。

メ　モ

- 回線グループ割り当てになっている場合は、回線欄に「G1」のように表示されます。
- 1 つの EL に複数のスピーカー回線が割り当てられている場合は、回線欄に「…」のように表示されます。
- スピーカー回線が割り当てられていない場合は、回線欄に「---」のように表示されます。

■ 機器制御設定（1-4）

1-4 機器制御設定

1 音声入力設定
2 SW 設定
3 ファンクション SW 設定
4 制御入力設定
5 制御出力設定

[決定]
項目決定
[戻る]
戻る

各設定項目の参照先へ

「1 システム設定」（P. 15）で「4 機器制御設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 音声入力設定	下記（1-4-1）
2 SW 設定	P. 65（1-4-2）
3 ファンクション SW 設定	P. 81（1-4-3）
4 制御入力設定	P. 84（1-4-4）
5 制御出力設定	P. 88（1-4-5）

■ 音声入力設定（1-4-1）

1-4-1 音声入力設定

1 外部放送音声入力設定
2 音声入力接続設定
3 ミックスバス設定
4 ミュート設定

[決定]
項目決定
[戻る]
戻る

各設定項目の参照先へ

「1-4 機器制御設定」（上記）で「1 音声入力設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 外部放送音声入力設定	P. 58（1-4-1-1）
2 音声入力接続設定	P. 59（1-4-1-2）
3 ミックスバス設定	P. 62（1-4-1-3）
4 ミュート設定	P. 63（1-4-1-4）

■ 外部放送音声入力設定（1-4-1-1）

非常用操作パネルに設けられている外部放送音声入力の用途を設定します。設定項目は以下のとおりです。

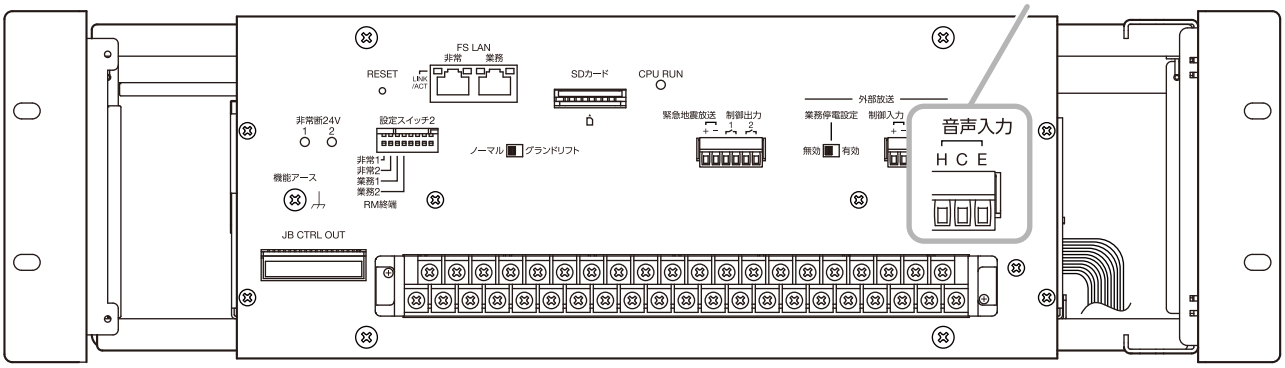
設定項目	設定内容	設定範囲*	初期設定
用途	外部放送音声入力の用途を選択。	本体マイクとミックス、ミックスバス 4	本体マイクとミックス

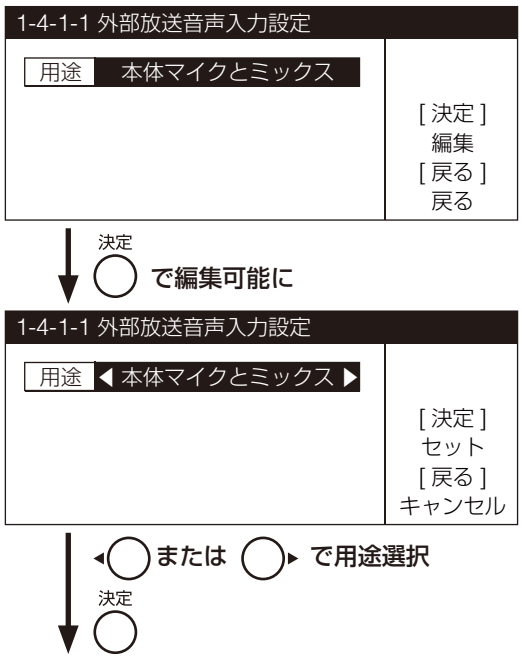
* 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定範囲	説明
本体マイクとミックス	外部放送入力は、常に本体マイクとミックスして放送されます。
ミックスバス 4	外部放送入力はミックスバス 4 に設定され、本体マイク放送とは独立した音声入力として放送されます。ミックスバス 4 は外部放送入力とプリアンプマトリクスパネルでの共用なので、この部分をミックスバス 4 に設定すると、プリアンプマトリクスパネルでミックスバス 4 は使用できません。 ミックスバスの詳細については、別冊の操作説明書「ミックスバス放送」をお読みください。

FS-2500EP 端子部

外部放送音声入力端子





「1-4-1 音声入力設定」（P. 57）で「1 外部放送音声入力設定」決定時

1 **決定キーを押す。**

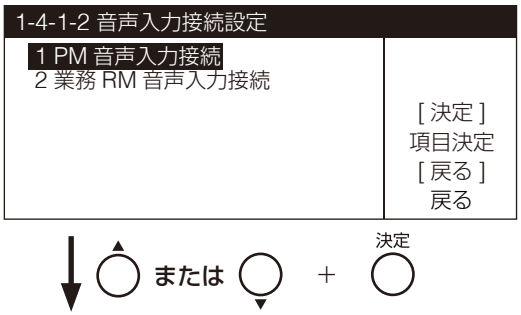
「用途」が編集できるようになります。

2 **左右シフトキーで用途を選択する。**

3 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

■ 音声入力接続設定（1-4-1-2）



「1-4-1 音声入力設定」（P. 57）で「2 音声入力接続設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 PM 音声入力接続	P. 59（1-4-1-2-1）
2 業務 RM 音声入力接続	P. 61（1-4-1-2-2）

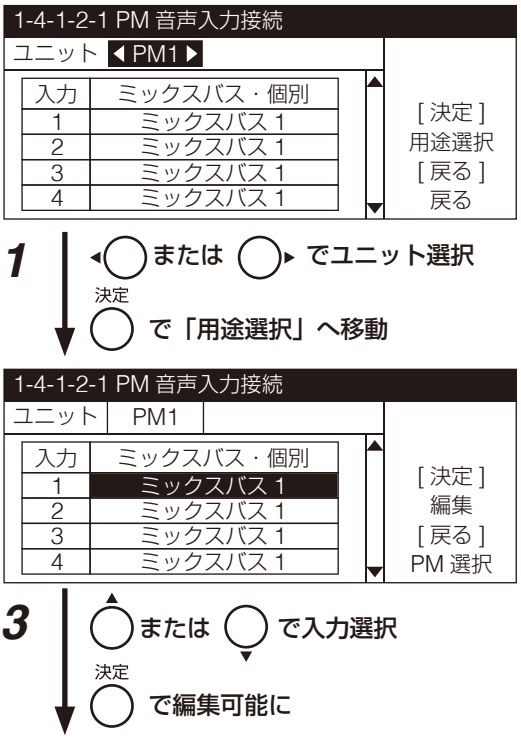
■ PM 音声入力接続（1-4-1-2-1）

プリアンプマトリクスパネルの音声入力に何を接続するかを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	プリアンプマトリクスパネルを選択。	PM1 *1、PM2 *1、PM3 *1	―
ミックスバス・個別*2	個別かミックスバスかを音声入力端子 1 ～ 8 それぞれに設定。	外部音源、接点式 RM、業務 RM、ミックスバス 1 ～ 4	PM1 入力：ミックスバス 1 PM2 入力：ミックスバス 2 PM3 入力：ミックスバス 3

*1 例えば「PM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）のプリアンプマトリクスパネルを表します。
*2 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定範囲	説明
外部音源	外部音源を接続します。
接点式 RM	接点式リモコンを接続します。入力 1 ～ 4 に対してのみ設定可能です。
業務 RM	業務用リモコンを接続します。入力 1 ～ 4 に対してのみ設定可能です。
ミックスバス 1 ～ 4	プリアンプマトリクスパネルの入力 1 ～ 8 をミックスして出力します。 1 つのミックスバスに複数のプリアンプマトリクスパネルの音声入力や、プリアンプマトリクスパネルと FS-2500EP の外部放送入力を割り付けることはできません。



次ページへ

「1-4-1-2 音声入力接続設定」（上記）で「1 PM 音声入力接続」決定時

1 **左右シフトキーでユニットを選択する。**

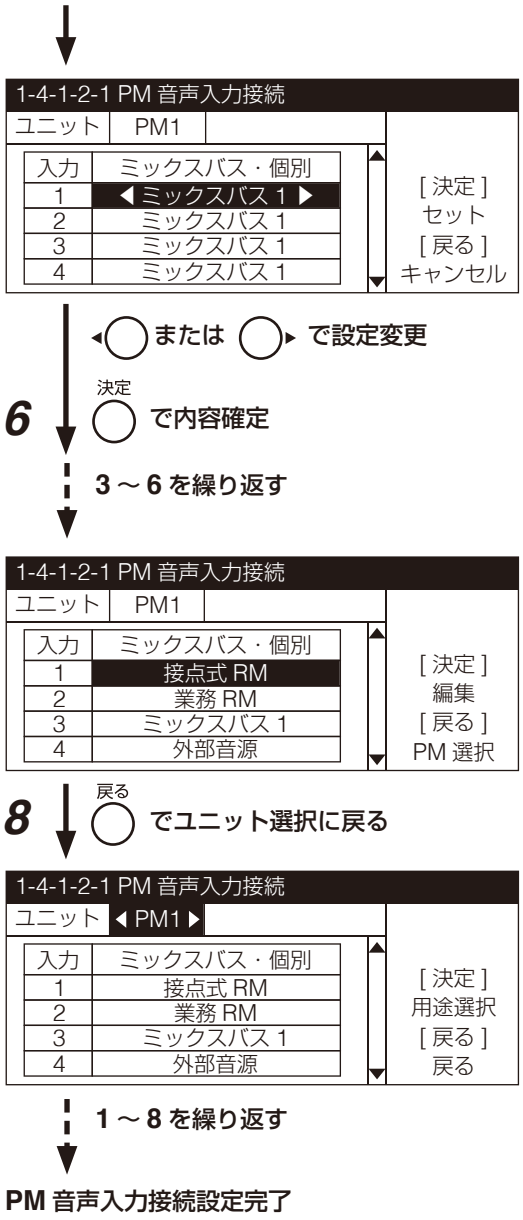
2 **決定キーを押す。**

カーソルが「ミックスバス・個別（用途選択）」に移動します。

3 **上下シフトキーでカーソルを移動させる。**

4 **決定キーを押す。**

前ページから



用途が選択可能になります。

5 **左右シフトキーで用途を選択する。**

6 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

7 **手順 3 ～ 6 を繰り返し、すべての入力の用途を設定する。**

8 **戻るキーを押す。**

ユニット選択に戻ります。

9 **手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべてのプリアンプマトリクスパネルの用途を設定する。**

■ 業務 RM 音声入力接続（1-4-1-2-2）

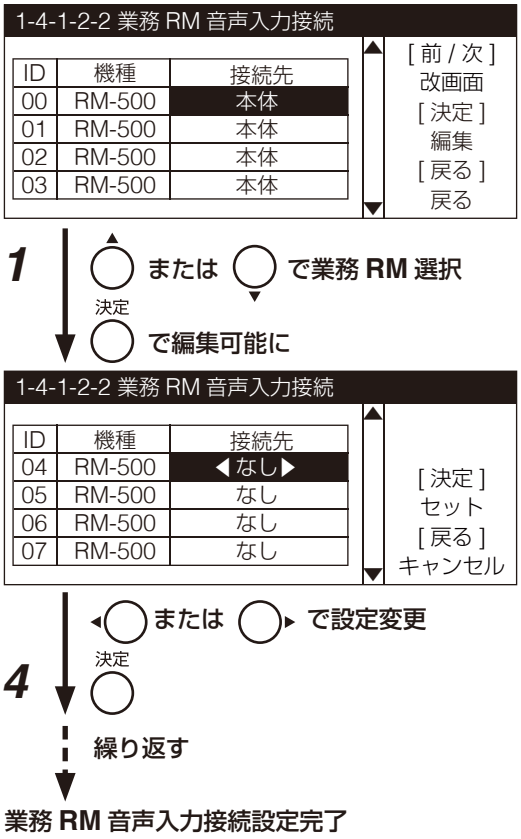
業務用リモコンの音声をどこに接続するかを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
接続先	業務用リモコンの接続先を選択。	本体*1、PM1 音声入力 1 ～ PM1 音声入力 4、PM2 音声入力 1 ～ PM2 音声入力 4、PM3 音声入力 1 ～ PM3 音声入力 4*2、なし	ID00 ～ 03：本体 ID04 ～ 07：なし

*1 非常用操作パネル FS-2500EP。
*2 例えば「PM1 音声入力 1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）のプリアンプマトリクスパネルの音声入力端子 1 を表します。
「1-4-1-2-1 PM 音声入力接続」（P. 59）で「業務 RM」に設定された音声入力のみ選択できます。

ご注意

- 業務用リモコンの音声入力接続先は、必ず本体またはプリアンプマトリクスパネルの音声入力端子に設定してください。
  接続先が「なし」に設定された業務用リモコンがあると、設定を終了できません。
- 本体またはプリアンプマトリクスパネルの 1 つの音声入力端子に接続する業務用リモコンが 4 台以下となるように設定してください。
  同じ接続先に設定された業務用リモコンが 5 台以上あると、設定を終了できません。
- 業務用リモコンを 5 台以上使用する場合に設定範囲に PM が表示されていないときは、「1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）（P. 18）で機器構成にプリアンプマトリクスパネルを追加した上、「1-4-1-2-1 PM 音声入力接続」（P. 59）で業務用リモコンを接続するプリアンプマトリクスパネルの音声入力端子を「業務 RM」に設定してください。



「1-4-1-2 音声入力接続設定」（P. 59）で「2 業務 RM 音声入力接続」決定時

1 **上下シフトキーで項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

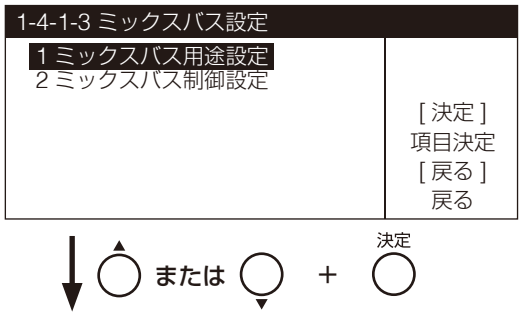
「接続先」が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで接続先を選択する。**

4 **決定キーを押す。**

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、すべての業務用リモコンの接続先を設定する。**

■ ミックスバス設定（1-4-1-3）



「1-4-1 音声入力設定」（P. 57）で「1 ミックスバス設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 ミックスバス用途設定	下記 （1-4-1-3-1）
2 ミックスバス制御設定	P. 63（1-4-1-3-2）

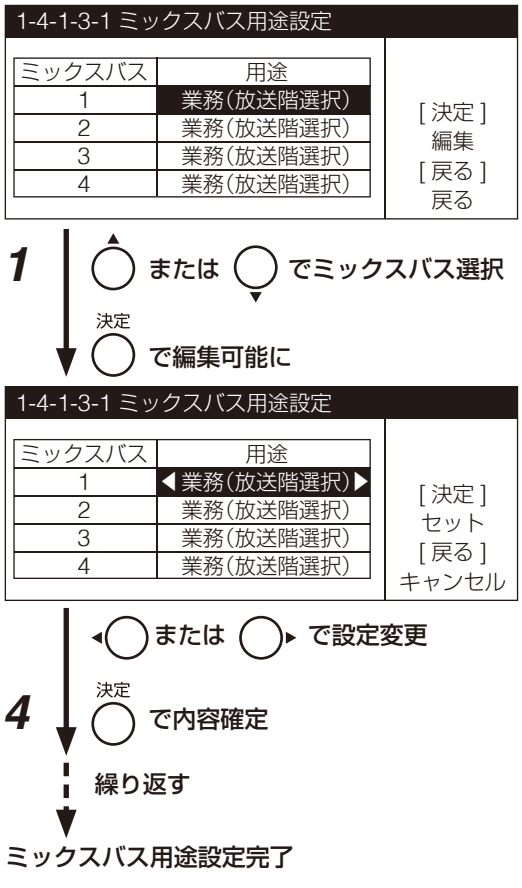
■ ミックスバス用途設定（1-4-1-3-1）

ミックスバス 1 ～ 4 *1 の用途を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲*2	初期設定
用途	ミックスバスの用途を選択。	業務（放送階選択）、業務（制御入力）、BGM1 ～ 4	業務（放送階選択）

*1 ミックスバスの詳細については、別冊の操作説明書「ミックスバス放送」をお読みください。
*2 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定範囲	説明
業務（放送階選択）	用途を「業務」または「兼用」に設定した放送階選択スイッチから起動できます。
業務（制御入力）	業務放送として、制御入力から起動できます。
BGM1 ～ 4	用途を「BGM1 ～ 4」に設定した放送階選択スイッチまたは用途を「BGM 放送」に設定した制御入力から起動できます。用途が同じ BGM 番号に設定されたミックスバス放送は、それらの優先度や業務放送動作設定に従ってミキシングして放送されます。



「1-4-1-3 ミックスバス設定」（上記）で「1 ミックスバス用途設定」決定時

1 **上下シフトキーで項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

4 **決定キーを押す。**

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

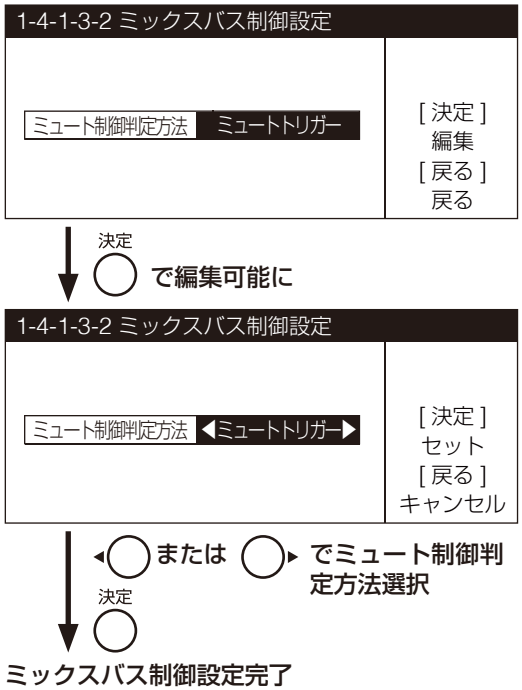
■ ミックスバス制御設定（1-4-1-3-2）

ミックスバスのミュート制御判定方法を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲*	初期設定
ミュート制御判定方法	ミックスバスのミュート制御判定方法を選択。	ミュートトリガー、優先度のみ	ミュートトリガー

* 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定範囲	説明
ミュートトリガー	ミュートトリガーによるミュート制御が行われている放送の中から、最も優先度が高い放送に従ってミュート制御が行われます。
優先度のみ	ミュートトリガーによるミュート制御の ON/OFF に関わらず、すべての起動中の放送の中から、最も優先度の高い放送に従ってミュート制御が行われます。



「1-4-1-3 ミックスバス設定」（P. 62）で「2 ミックスバス制御設定」決定時

1 **決定キーを押す。**

「ミュート制御判定方法」が編集できるようになります。

2 **左右シフトキーでミュート制御判定方法を選択する。**

3 **決定キーを押す。**
設定内容が決定されます。

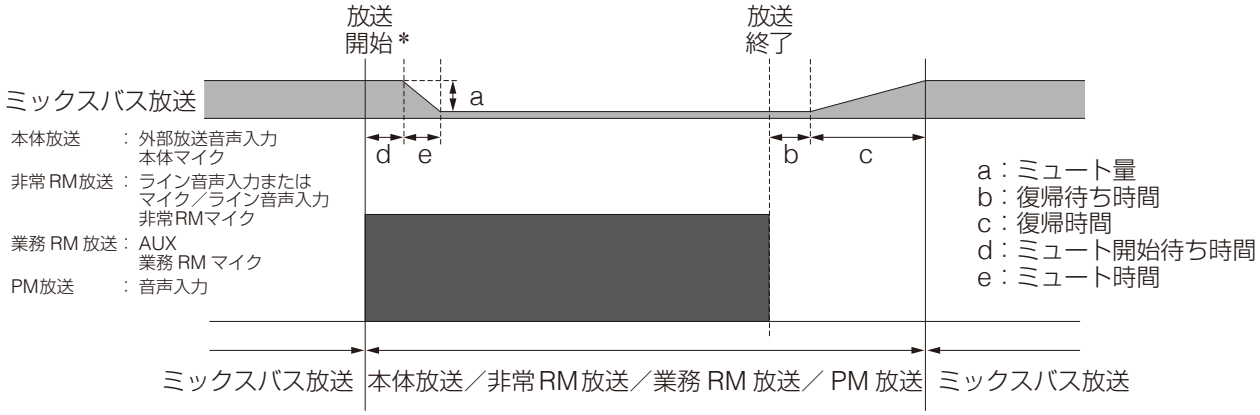
■ ミュート設定（1-4-1-4）

ミックスバスの音声について、ミュート制御の詳細を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ミックスバス番号	ミックスバス番号を選択。	1 ～ 4	—
ミュート開始待ち時間	放送開始から減衰が始まるまでの時間を設定。	0 ～ 10 秒	0 秒
ミュート時間	元のレベルから「ミュート量」で設定されたレベルに低下するまでの時間を設定。	0 ～ 10 秒	0 秒
ミュート量	放送を開始*したときのミックスバスの減衰量を設定。	– ∞、–50 ～ –10 dB	–40 dB
復帰待ち時間	入力信号がなくなった後にミックスバスが元のレベルへ復帰開始するまでの時間を設定。	1 ～ 10 秒	2 秒
復帰時間	ミックスバスが元のレベルへ復帰するまでの時間を設定。	0 ～ 10 秒	1 秒

* 放送開始のタイミングは、各音源のミュートトリガー設定によります。（☞ P. 91「1-5-1 業務放送動作設定」）

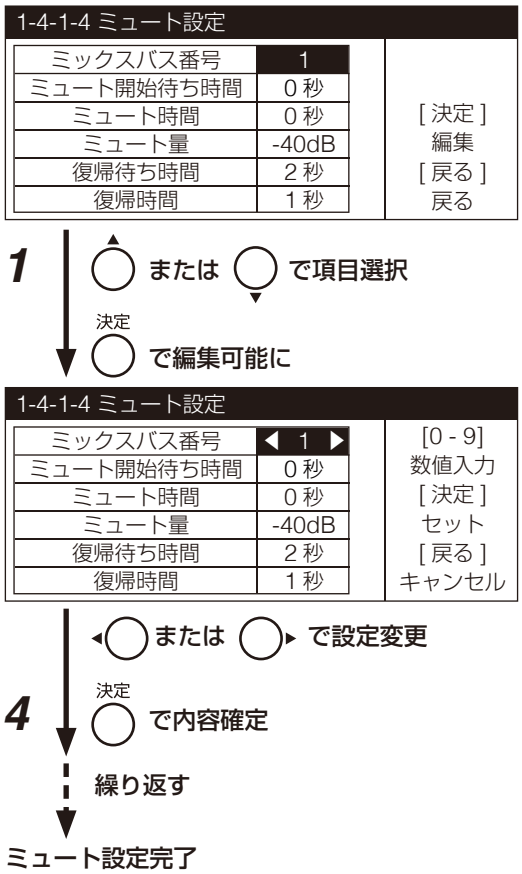
ミュート制御の動作は下図のようになります。



* 放送開始のタイミングは、各音源のミュートトリガー設定によります。（☞ P. 91「1-5-1 業務放送動作設定」）

ご注意

EV 放送の場合は、ミュート設定に関係なく、放送開始から終了まで、ミックスバス放送が常にカットされます。



「1-4-1 音声入力設定」（P. 57）で「4 ミュート設定」決定時

1 **上下シフトキーで項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

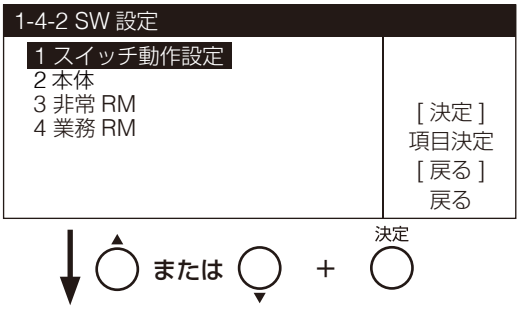
選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

4 **決定キーを押す。**

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

■ SW 設定（1-4-2）



「1-4 機器制御設定」（P. 57）で「2 SW 設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 スイッチ動作設定	P. 65（1-4-2-1）
2 本体	P. 66（1-4-2-2）
3 非常 RM	P. 69（1-4-2-3）
4 業務 RM	P. 72（1-4-2-4）

■ スイッチ動作設定（1-4-2-1）

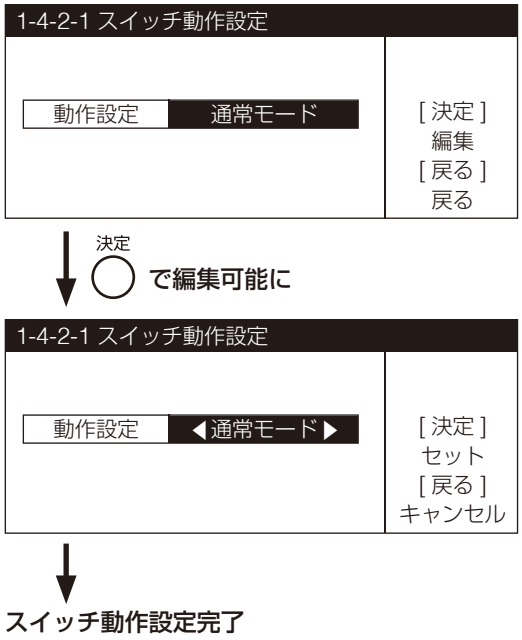
一斉スイッチおよび業務放送でグループ登録されている放送階選択スイッチを操作したときの回線制御方法を選択します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
動作設定	回線制御方法を設定。	通常モード、独立制御モード	通常モード

メ　モ

「通常モード」、「独立制御モード」でグループ登録されている放送階選択スイッチを操作したときの回線制御方法は次のようになります。

通常モード	**・作動表示灯が消灯している放送階選択スイッチを操作したとき** その放送階選択スイッチに登録されているスピーカー回線がオンになり、作動表示灯が点灯します。 また、登録されているスピーカー回線がすべてオンになった放送階選択スイッチの作動表示灯も点灯します。 **・作動表示灯が点灯している放送階選択スイッチを操作したとき** その放送階選択スイッチに登録されているスピーカー回線がオフになり、作動表示灯が消灯します。 また、登録されているスピーカー回線が一部でもオフになった放送階選択スイッチの作動表示灯も消灯します。 スピーカー回線がグループ登録された放送階選択スイッチ操作後に別の放送階選択スイッチを操作して、スピーカー回線の一部キャンセルも可能です。 通常一斉スイッチおよび緊急一斉スイッチもスピーカー回線の登録が可能で、それらの作動表示灯とともにスピーカー回線がグループ登録された放送階選択スイッチと同様に機能します。
独立制御モード	**・作動表示灯が消灯している放送階選択スイッチを操作したとき** その放送階選択スイッチに登録されているスピーカー回線がオンになり、作動表示灯が点灯します。「1-5-7 作動表示灯設定」（P. 102）が「通常」の場合は、同時に作動表示灯が点灯する放送階選択スイッチはありません。「回線動作中 ON」の場合は、オンになったスピーカー回線が個別登録されている放送階選択スイッチの作動表示灯も点灯します。また、登録されているグループ内のスピーカー回線がすべてオンになった放送階選択スイッチの作動表示灯も点灯します。 **・作動表示灯が点灯している放送階選択スイッチを操作したとき** その放送階選択スイッチに登録されているスピーカー回線がオフになり、作動表示灯が消灯します。ただし、そのスピーカー回線の中で、作動表示灯が点灯している他の放送階選択スイッチにも登録されているものは、オンを継続します。 「1-5-7 作動表示灯設定」（P. 102）が「回線動作中 ON」の場合は、操作の結果、登録されているスピーカー回線がすべてオンである放送階選択スイッチの作動表示灯は点灯します。また、登録されているスピーカー回線が一部でもオフである放送階選択スイッチの作動表示灯は消灯します。 各放送階選択スイッチは独立して制御されるため、通常モードのようなスピーカー回線の一部キャンセルは行えません。 通常一斉スイッチおよび緊急一斉スイッチは業務放送で使用可能な放送階選択スイッチを一度にオンにするスイッチとして働き、放送階選択スイッチに対してのスピーカー回線登録を行えません。また、「1-5-7 作動表示灯設定」（P. 102）が「回線動作中 ON」の場合は作動表示灯も点灯しません。 **ご注意** 一斉選択状態は出力回線グループ番号 500 とは異なり、放送階選択スイッチのいずれかに割り当てられている回線／グループ番号がオンになります。異なる放送階選択スイッチで同じ回線に対する「緊急あり」「緊急なし」の設定が混在する場合は、「緊急あり」の設定が適用されます。



「1-4-2 SW 設定」（P. 65）で「1 スイッチ動作設定」決定時

1 決定キーを押す。

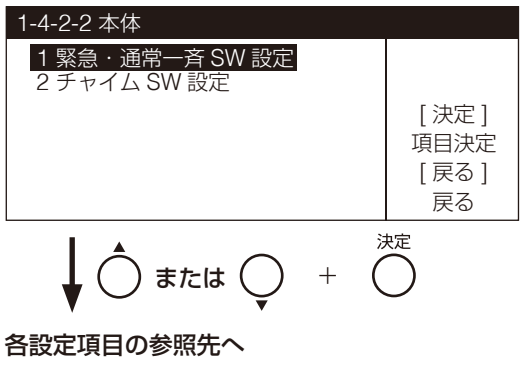
編集できるようになります。

2 左右シフトキーで設定を変更する。

3 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

■ 本体（1-4-2-2）



「1-4-2 SW 設定」（P. 65）で「2 本体」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 緊急・通常一斉 SW 設定	P. 67（1-4-2-2-1）
2 チャイム SW 設定	P. 68（1-4-2-2-2）

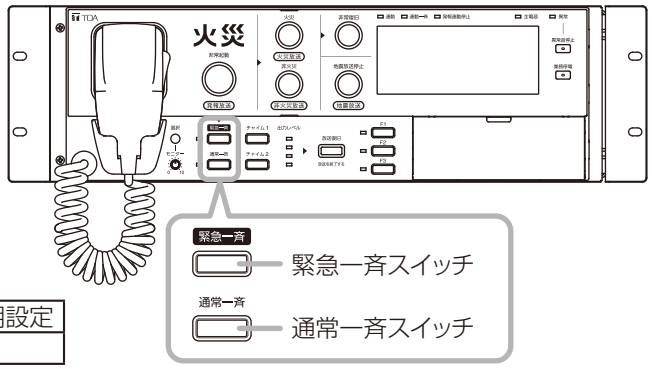
ご注意

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」(P. 65)で「独立制御モード」に設定した場合、回線は一斉選択に固定となり、「1 緊急・通常一斉 SW 設定」項目は設定できません。

■ 緊急・通常一斉 SW 設定（1-4-2-2-1）

FS-2500 本体の緊急一斉放送スイッチおよび通常一斉放送スイッチについて、回線グループ番号を設定します。

FS-2500EP



設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
回線グループ	回線グループ番号*を選択。	1 ～ 500	500

*「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で登録した回線グループ番号のいずれか。

ご注意

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」（P. 65）で「独立制御モード」に設定した場合は、右のように表示されます。
回線は一斉選択に固定となり、この項目は設定できません。特定回線に放送したいときは、「1-4-2-1 スイッチ動作設定」で「通常モード」に変更してください。

1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定	
独立制御モード設定です。 特定回線に放送する場合は、 スイッチ動作設定を 通常モードに変更してください。	[戻る] 戻る

1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定		
スイッチ	回線グループ	[決定] 編集 [戻る] 戻る
緊急一斉	500	
通常一斉	500	

1 ▲ または ▼ で項目選択

決定 で編集可能に

1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定		
スイッチ	回線グループ	[0 - 9] 数値入力 [決定] セット [戻る] キャンセル
緊急一斉	◀500▶	
通常一斉	500	

◀ または ▶ で番号選択

または 0 ～ 9 で数値入力

4 決定

繰り返す

通常・緊急一斉 SW 設定完了

「1-4-2-2 本体」（P. 66）で「1 緊急・通常一斉 SW 設定」決定時

1 **上下シフトキーで項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで番号を選択するか、数字キーで番号を入力する。**

ご注意

スピーカー回線が割り当てられていない回線グループ番号を選択することはできません。

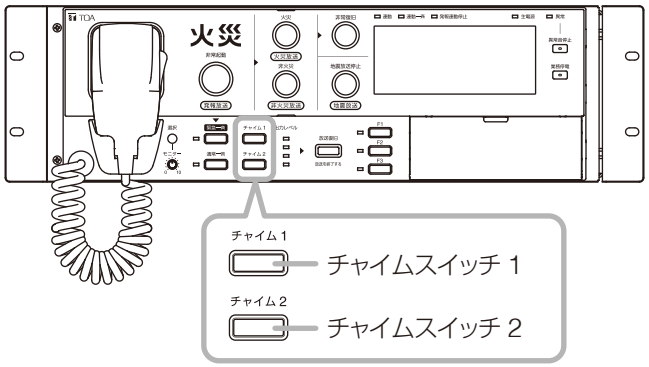
4 **決定キーを押す。**

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

■ チャイム SW 設定（1-4-2-2-2）

FS-2500 本体のチャイムスイッチ 1 または、チャイムスイッチ 2 について、スイッチを押したときに鳴る音源を設定します。

FS-2500EP

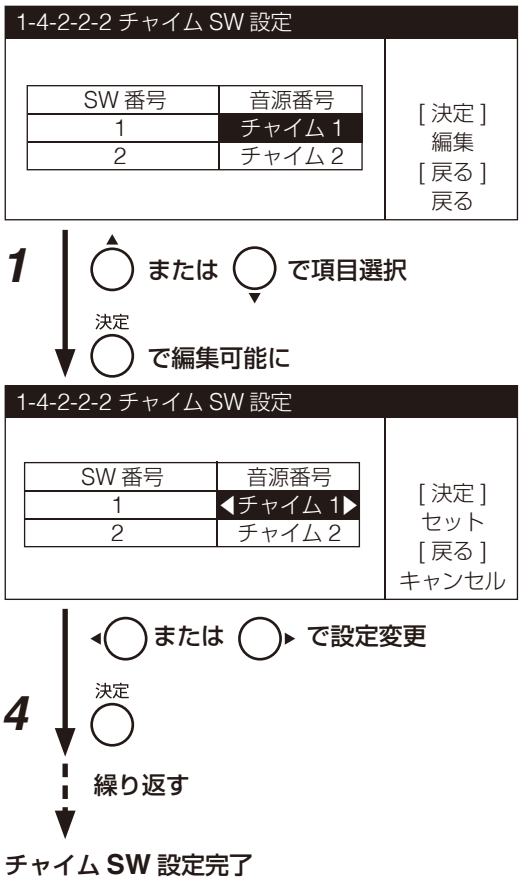


設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
音源番号	音源番号を選択。	未使用、チャイム 1 ～ 4 *	チャイムスイッチ 1：チャイム 1 チャイムスイッチ 2：チャイム 2

* チャイム音源は以下のとおりです。

音源番号	音源の内容
チャイム 1	上り 4 音
チャイム 2	下り 4 音
チャイム 3	2 音
チャイム 4	ゴング



「1-4-2-2 本体」（P. 66）で「2 チャイム SW 設定」決定時

1 **上下シフトキーで項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

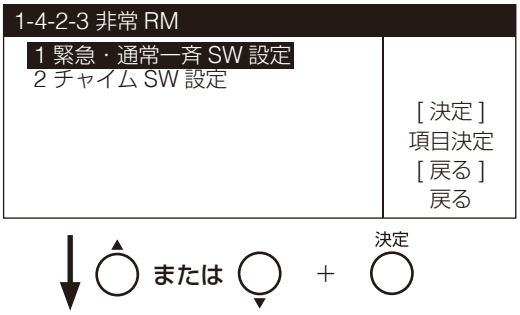
選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

4 **決定キーを押す。**

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

■ 非常 RM（1-4-2-3）



「1-4-2 SW 設定」（P. 65）で「3 非常 RM」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 緊急・通常一斉 SW 設定	下記（1-4-2-3-1）
2 チャイム SW 設定	P. 71（1-4-2-3-2）

ご注意

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」(P. 65)で「独立制御モード」に設定した場合、回線は一斉選択に固定となり、「1 緊急・通常一斉 SW 設定」項目は設定できません。

■ 緊急・通常一斉 SW 設定（1-4-2-3-1）

非常用リモコンの緊急一斉放送スイッチおよび通常一斉放送スイッチについて、回線グループ番号を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
非常 RM 番号	非常 RM 番号*1 を選択。	1 ～ 16	―
回線グループ	回線グループ番号*2 を選択。	1 ～ 500	500

*1「1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）」（P. 18）で登録した「非常 RM」の台数分のみ選択可。
非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定された以下の ID に対応します。

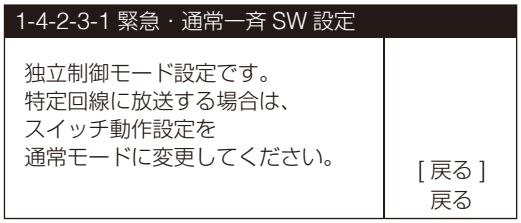
非常 RM 番号	ID（アドレススイッチの設定）
1	00
2	01
⋮	⋮
10	09

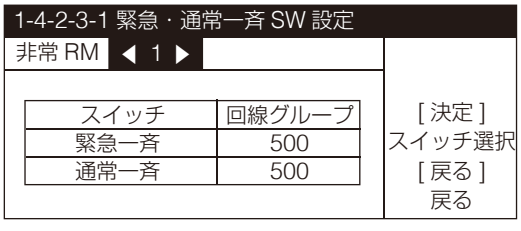
非常 RM 番号	ID（アドレススイッチの設定）
11	0A
12	0B
⋮	⋮
16	0F

*2「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で登録した回線グループ番号のいずれか。

ご注意

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」（P. 65）で「独立制御モード」に設定した場合は、右のように表示されます。
回線は一斉選択に固定となり、この項目は設定できません。特定回線に放送したいときは、「1-4-2-1 スイッチ動作設定」で「通常モード」に変更してください。





1 または で番号選択

決定 で「回線グループ」へ移動

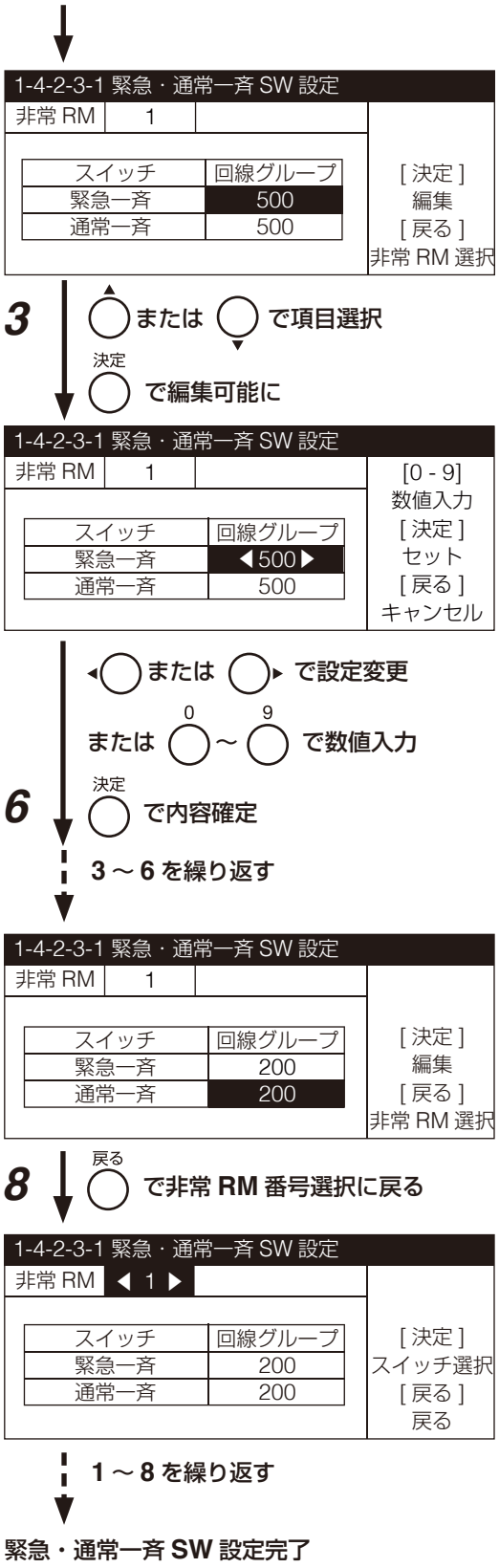
次ページへ

「1-4-2-3 非常 RM」（上記）で「1 緊急・通常一斉 SW 設定」決定時

1 **左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

前ページから



カーソルが「回線グループ」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

回線グループが選択可能になります。

5 左右シフトキーで回線グループ番号を選択するか数字キーで番号を入力する。

ご注意

スピーカー回線が割り当てられていない回線グループ番号を選択することはできません。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

7 手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

8 戻るキーを押す。

非常 RM 番号選択に戻ります。

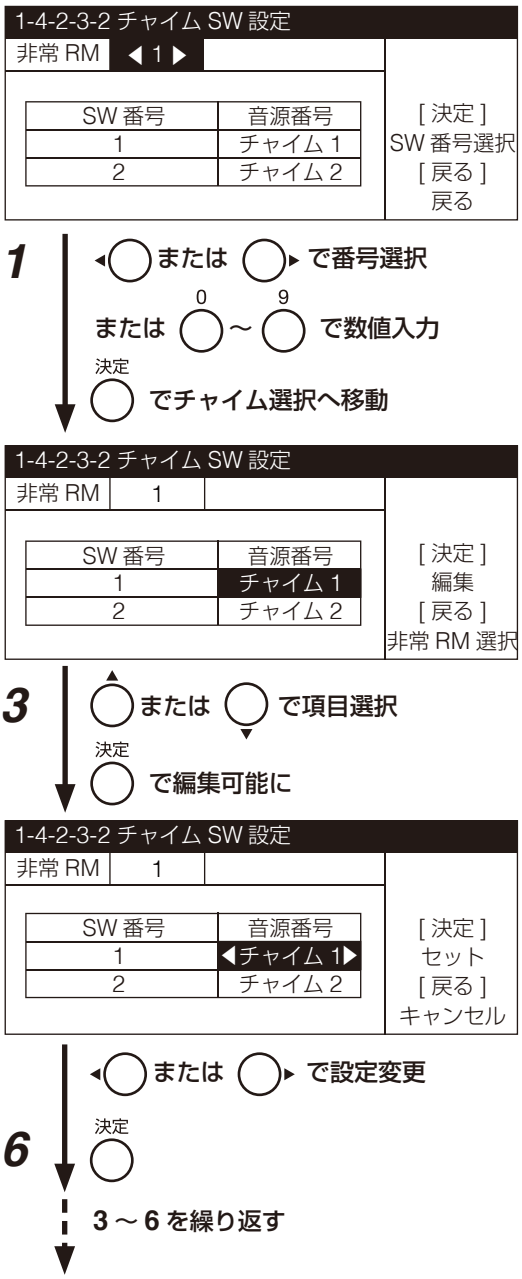
9 手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての非常 RM のスイッチを設定する。

■ チャイム SW 設定（1-4-2-3-2）

非常用リモコンのチャイムスイッチ 1 または、チャイムスイッチ 2 について、スイッチを押したときに鳴る音源を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
非常 RM 番号	非常 RM 番号*1 を選択。	1 ～ 16	―
音源番号	音源番号を選択。	未使用、チャイム 1 ～ 4*2	チャイムスイッチ 1：チャイム 1 チャイムスイッチ 2：チャイム 2

*1「1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）」（P. 18）で登録した「非常 RM」の台数分のみ選択可。
非常 RM 番号と ID の対応については、P. 69 を参照してください。
*2 チャイム音源は FS-2500 本体と同様です。（☞ P. 68）



次ページへ

「1-4-2-3 非常 RM」（P. 69）で「2 チャイム SW 設定」決定時

1 左右シフトキーで非常 RM 番号を選択するか、数字キーで番号を入力する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「音源番号」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

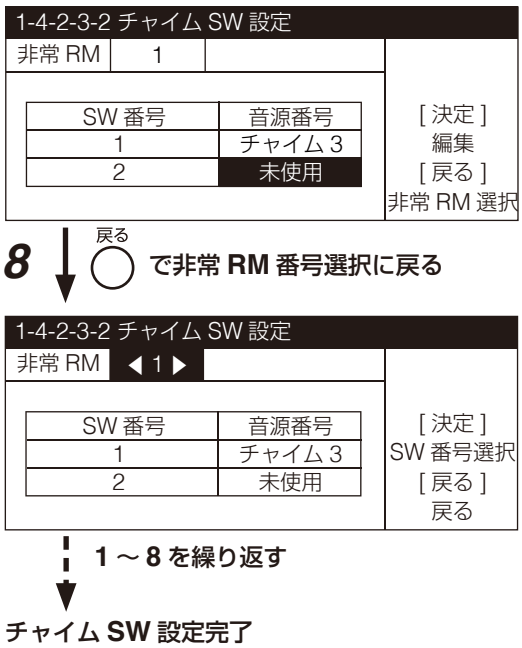
音源番号が選択可能になります。

5 左右シフトキーで音源番号を選択する。

6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

7 手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

前ページから

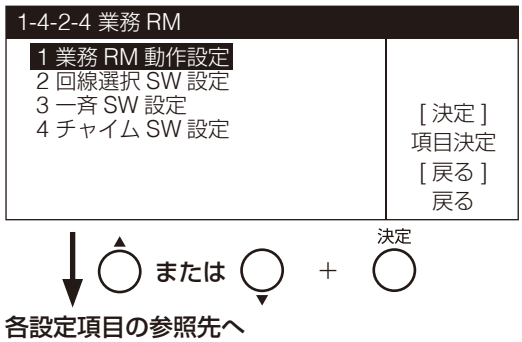


8 **戻るキーを押す。**

非常 RM 番号選択に戻ります。

9 **手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての非常 RM のスイッチを設定する。**

■ 業務 RM（1-4-2-4）



「1-4-2 SW 設定」（P. 65）で「4 業務 RM」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 業務 RM 動作設定	下記（1-4-2-4-1）
2 回線選択 SW 設定	P. 76（1-4-2-4-2）
3 一斉 SW 設定	P. 78（1-4-2-4-3）
4 チャイム SW 設定	P. 80（1-4-2-4-4）

■ 業務 RM 動作設定（1-4-2-4-1）

業務用リモコンの動作を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
業務 RM 番号	業務 RM 番号*1 を選択。	1 ～ 8	—
PTT/LOCK	業務用リモコンのトークキーを押したときの動作方式を選択。（RM-500、RM-200F のみ選択可）	PTT、LOCK*2	RM-500、RM-200F：LOCK RM-200FW：PTT（固定）
タイムアウト	LOCK 動作設定時に、放送をタイムアウトさせる時間を選択。（PTT 動作設定時は設定不要）	連続、 1 ～ 20 分	連続
プリセレクト*3	放送開始時にプリセレクト機能を使用するか、使用しないかを選択。（RM-500 のみ設定可）	使用しない、 使用する*4	使用しない
自動復旧*3	トークキーのオフにより放送を終了するかどうかを選択。（RM-500 のみ設定可）	あり、なし	あり
AUX	AUX 入力を使用するかどうかを選択。 （RM-500、RM-200F のみ設定可）	使用しない、 使用する*5	使用しない
AUX ミュート	AUX 入力を使用する場合、マイク使用時に AUX 入力をミュートするかどうかを設定。（RM-500 のみ設定可）	しない、する	しない

*1 業務 RM 番号は業務用リモコンのアドレススイッチで設定された以下の ID に対応します。

業務 RM 番号	ID（アドレススイッチの設定）
1	00
2	01
3	02
4	03

業務 RM 番号	ID（アドレススイッチの設定）
5	04
6	05
7	06
8	07

*2 RM-500、RM-200F の場合のみ選択可。RM-200FW は PTT に固定。
それぞれの動作は以下のとおりです。

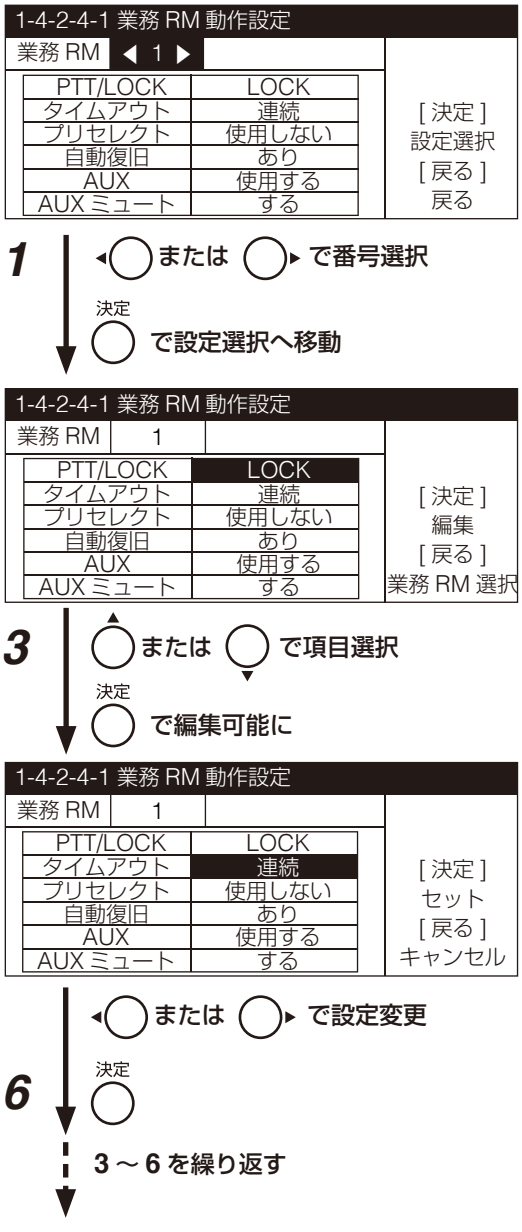
設定範囲	説明
PTT	トークキーを押している間だけ放送することができます。キーを離すと放送が終了します。
LOCK	トークキーを押すと放送が開始され、もう一度押すと放送が終了します。

*3 RM-500 の場合のみ表示される設定項目。
それぞれの設定により、動作は以下のようになります。

プリセレクト設定	プリセレクトの動作	自動復旧設定	自動復旧の動作
使用しない	放送階を選択した時点で放送を開始します。	あり	トークキーをオフにした時点で放送を終了します。
		なし	トークキーをオフにしても放送を継続します。
使用する	放送階の選択で予備選択状態に移行し、トークキーまたは AUX キーの操作で放送を開始します。	あり	トークキーまたは AUX キーをオフにすると放送階の予備選択状態に戻ります。
		なし	トークキーまたは AUX キーをオフにしても放送を継続します。

*4 プリセレクトの設定は、「1-4-2-1 スイッチ動作設定」（P. 65）で「独立制御モード」に設定したときは、「使用しない」に固定され、設定できません。先にプリセレクトを「使用する」に設定した上で「独立制御モード」に変更したときも、「使用しない」に書き換えられます。

*5 RM-500 の場合、「使用する」に設定したときは、「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」（P. 74）で詳細について設定できます。



次ページへ

「1-4-2-4 業務 RM」（P. 72）で「1 業務 RM 動作設定」決定時

1 左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが設定選択に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

5 左右シフトキーで設定内容を選択する。

6 決定キーを押す。

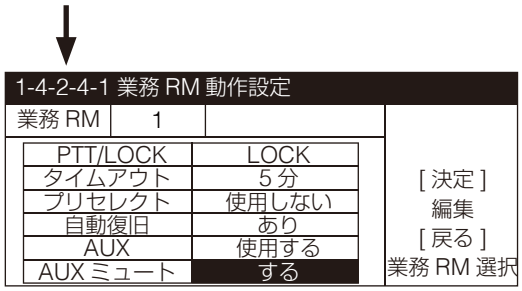
設定内容が決定されます。

ご注意

RM-500 の場合に、「AUX ミュート」で「する」を選択して決定キーを押したときのみ「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」（P. 74）が表示されるので、AUX ミュートの詳細を設定してください。

7 手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

前ページから



8 戻る ○ **で業務 RM 番号選択に戻る**

8 戻るキーを押す。

業務 RM 番号選択に戻ります。

1 ～ 8 を繰り返す

9 手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての業務 RM について設定する。

業務 RM 動作設定完了

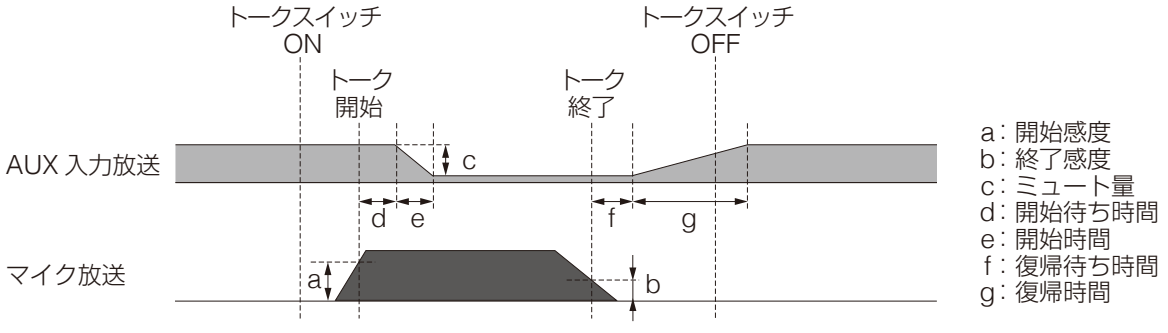
■ 業務 RM AUX ミュート設定（1-4-2-4-1-1）

RM-500 の場合に AUX 入力を使用するときのみ、AUX ミュートの詳細について設定します。
設定項目は以下のとおりです。

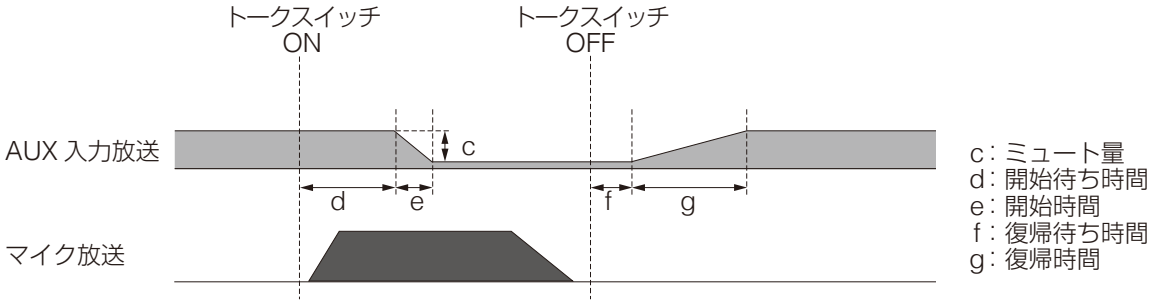
設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
トリガー	AUX 入力のミュートトリガーを選択。	音声レベル*、トークスイッチ	音声レベル
ミュート量	マイク放送を開始したときの AUX 入力の減衰量を設定。	–10 dB ～ –50 dB（1 dB 間隔）、– ∞ dB	–40 dB
開始待ち時間	マイク放送開始から減衰が始まるまでの時間を設定。	0 秒～ 10 秒（1 秒間隔）	0 秒
開始時間	元のレベルから「ミュート量」で設定されたレベルに低下するまでの時間を設定。	0 秒～ 10 秒（1 秒間隔）	0 秒
復帰待ち時間	マイク放送が終了した後に AUX 入力の放送音量が元のレベルへ復帰開始するまでの時間を設定。	1 秒～ 10 秒（1 秒間隔）	2 秒
復帰時間	AUX 入力の放送音量が元のレベルへ復帰するまでの時間を設定。	0 秒～ 10 秒（1 秒間隔）	1 秒

*「音声レベル」に設定したときは、「1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定」（P. 75）で開始感度と終了感度を設定できます。

［ミュート制御の動作（トリガー：音声レベルの場合）］



［ミュート制御の動作（トリガー：トークスイッチの場合)］



1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定		
トリガー	音声レベル	
ミュート量	-40dB	
開始待ち時間	0 秒	［決定］
開始時間	0 秒	編集
復帰待ち時間	2 秒	［戻る］
復帰時間	1 秒	戻る

1 ◯ または ◯ で項目選択

決定 ◯ で編集可能に

1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定		
トリガー	◀音声レベル▶	
ミュート量	-40dB	
開始待ち時間	0 秒	［決定］
開始時間	0 秒	感度選択
復帰待ち時間	2 秒	［戻る］
復帰時間	1 秒	キャンセル

◀◯ または ◯▶ で設定変更

4 決定 ◯ で内容確定

繰り返す

業務 RM AUX ミュート設定完了

「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」（P. 72）で RM-500 について「AUX ミュート：する」決定時

1 **上下シフトキーで項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

4 **決定キーを押す。**

ご注意

「トリガー」で「音声レベル」に設定したときは感度も設定できます。「音声レベル」を選択して決定キーを押すと、「1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定」（下記）が表示されるので、感度を設定してください。

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

■ 業務 RM AUX ミュート感度設定（1-4-2-4-1-2）

RM-500 の AUX 入力のトリガーが「音声レベル」のときにミュート制御が機能する AUX 入力信号のレベルを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
開始感度	ミュート制御を開始する AUX 入力信号のレベルを設定。	–40 dB ～ –1 dB（1 dB 間隔）	–30 dB
終了感度	ミュート制御を終了する AUX 入力信号のレベルを設定。	–50 dB ～ –30 dB（1 dB 間隔）	–40 dB
初期化	上記 2 つの設定を初期設定の値に戻す。	実行	—

1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定		
開始感度	-30dB	［決定］
終了感度	-40dB	編集
初期化	実行	［戻る］
		戻る

1 ◯ または ◯ で項目選択

決定 ◯ で編集可能に

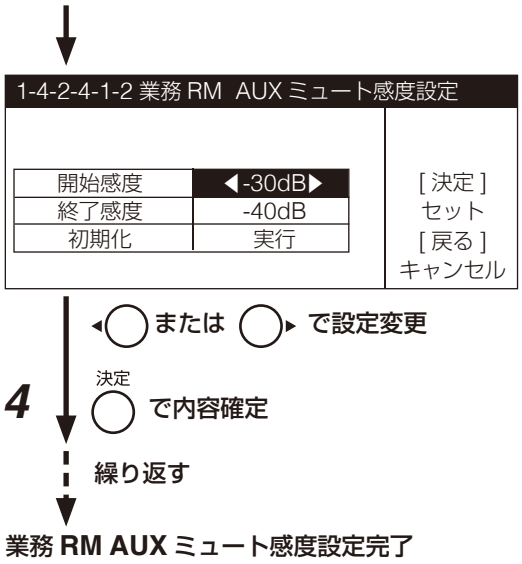
次ページへ

「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」（上記）で「ミュート：音声レベル」決定時

1 **上下シフトキーで項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

前ページから



選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。

メ　モ

「初期化」で「実行」を選択して決定すると、「開始感度」と「終了感度」が初期設定に戻ります。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 回線選択 SW 設定（1-4-2-4-2）

業務用リモコンの各回線選択キーについて、用途や通常放送／業務緊急モードの選択、出力回線を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

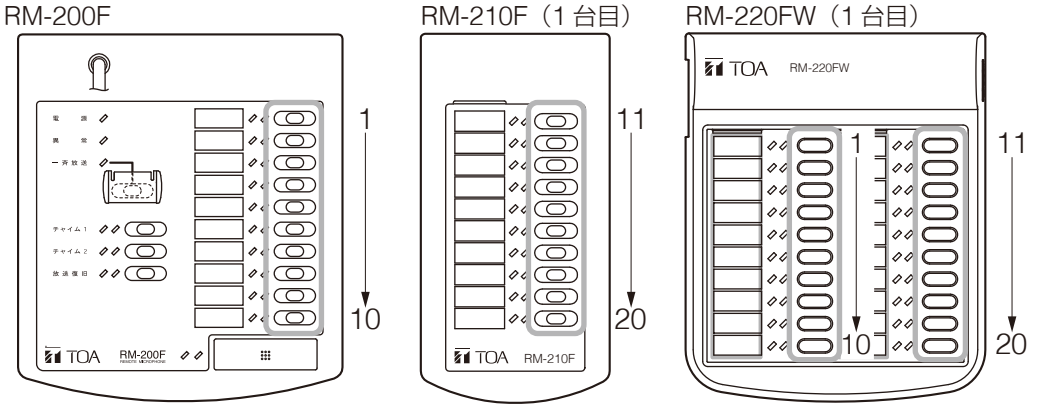
設定項目	設定内容	設定範囲*1	初期設定
業務 RM 番号	業務 RM 番号*2 を選択。	1 ～ 8	―
SW 番号	回線選択キーの番号*3 を選択。	1 ～最大スイッチ数	―
用途	回線選択キーの用途を選択。	業務、未使用	業務
業務緊急	通常放送／業務緊急モードを選択。（業務用途設定時のみ選択可）	なし、あり	なし
出力回線	出力をする回線について個別／グループを選択。	個別、グループ	個別
回線番号	回線番号または、回線グループの番号を選択。	1 ～最大回線数	（スイッチ番号と同じ番号）

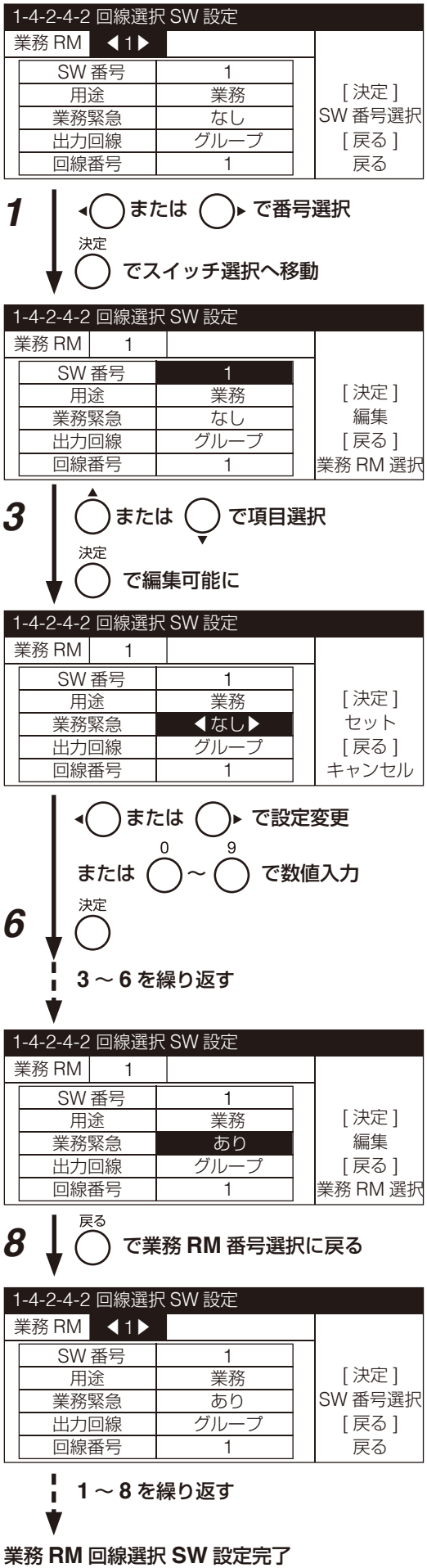
*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定項目	設定範囲	説明
用途	業務	回線選択キーを業務放送用途で使用します。
	未使用	回線選択キーを使用しません。
業務緊急	なし	通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。
	あり	業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。
出力回線	個別	回線選択キーについて、スピーカー回線を 1 つ登録します。
	グループ	回線選択キーについて、回線グループを登録します。 回線グループへのスピーカー回線の登録は、「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で行います。

*2 業務 RM 番号と ID の対応については、P. 72 を参照してください。

*3 回線選択キーの番号（SW 番号）は下図のとおりです。
RM-500 の場合は、液晶画面の 1 ページ目がキー番号 1 ～ 10、2 ページ目がキー番号 11 ～ 20、…のようになります。





「1-4-2-4 業務 RM」（P. 72）で「2 回線選択 SW 設定」決定時

1 **左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

カーソルがスイッチ選択に移動します。

3 **上下シフトキーでカーソルを移動させる。**

4 **決定キーを押す。**

編集ができるようになります。

5 **左右シフトキーで設定内容を選択する。**

SW 番号と回線番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

6 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

7 **手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

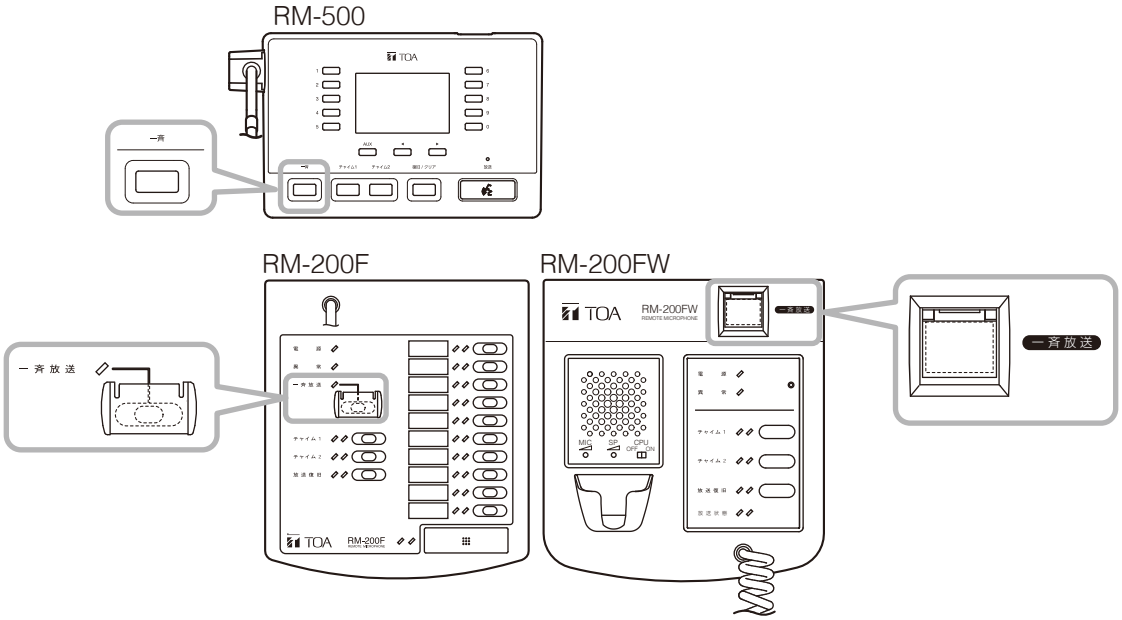
8 **戻るキーを押す。**

業務 RM 番号選択に戻ります。

9 **手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての業務 RM について設定する。**

■ 一斉 SW 設定（1-4-2-4-3）

業務用リモコンの一斉放送キーについて、通常放送／業務緊急モードの選択、回線グループ番号を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
業務 RM 番号	業務 RM 番号*1 を選択。	1 ～ 8	—
業務緊急	通常放送／業務緊急モードを選択。	なし、あり*2	なし
回線グループ	回線グループ番号*3 を選択。	1 ～ 500	500

*1 業務 RM 番号と ID の対応については、P. 72 を参照してください。

*2 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

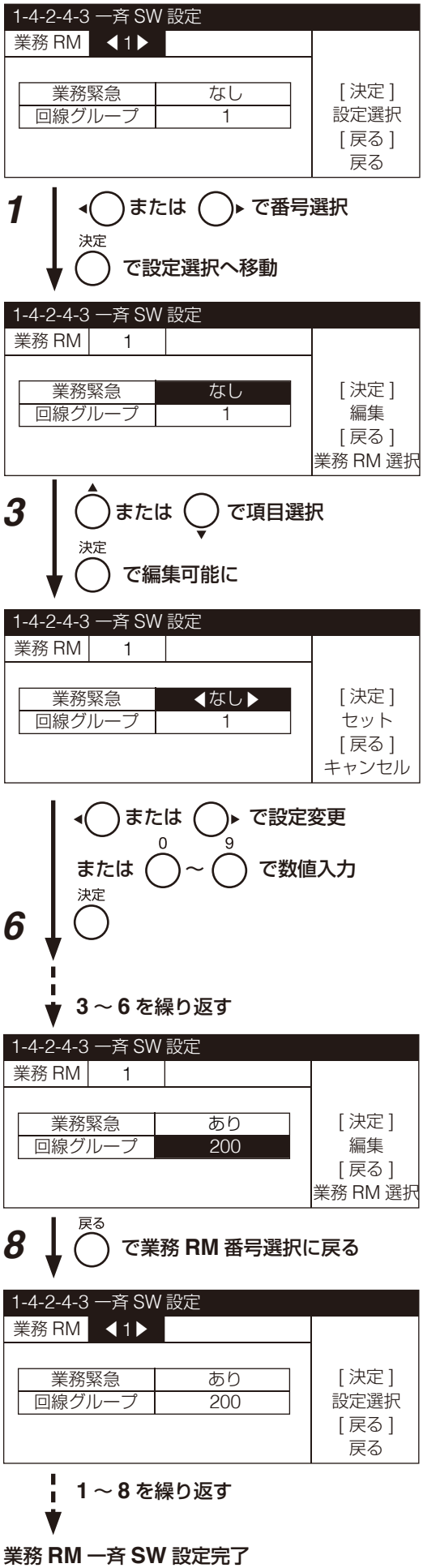
設定範囲	説明
なし	通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。
あり	業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

*3「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で登録した回線グループ番号のいずれか。

ご注意

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」（P. 65）で「独立制御モード」に設定した場合は、右のように表示されます。
回線は一斉選択に固定となり、この項目は設定できません。特定回線に放送したいときは、「1-4-2-1 スイッチ動作設定」で「通常モード」に変更してください。

1-4-2-4-3 一斉 SW 設定	
独立制御モード設定です。 特定回線に放送する場合は、 スイッチ動作設定を 通常モードに変更してください。	[戻る] 戻る



「1-4-2-4 業務 RM」（P. 72）で「3 一斉 SW 設定」決定時

1 左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが設定選択に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

5 左右シフトキーで設定内容を選択する。

回線グループは、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

ご注意

スピーカー回線が割り当てられていない回線グループ番号を選択することはできません。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

7 手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

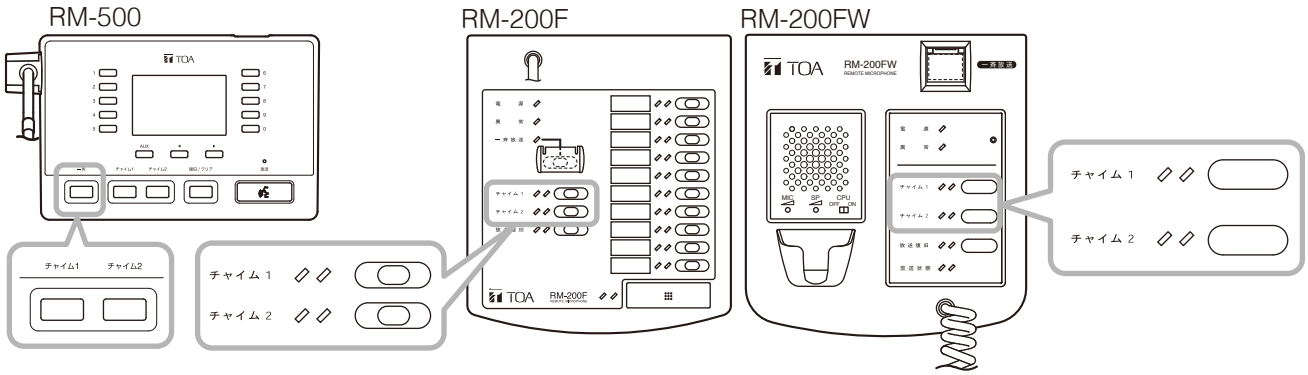
8 戻るキーを押す。

業務 RM 番号選択に戻ります。

9 手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての業務 RM について設定する。

■ チャイム SW 設定（1-4-2-4-4）

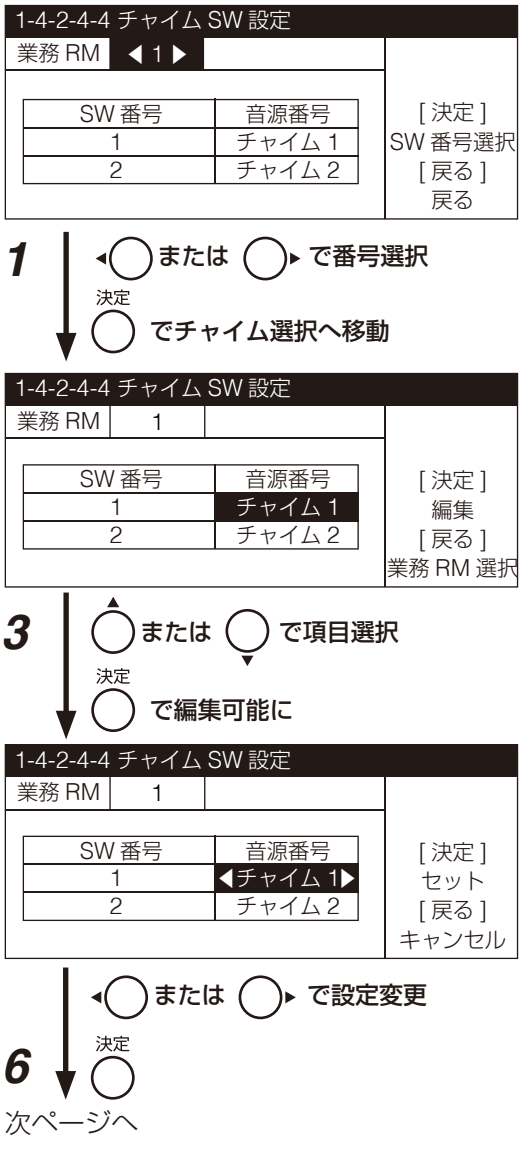
業務用リモコンのチャイムスイッチ 1 または、チャイムスイッチ 2 について、スイッチを押したときに鳴る音源を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
業務 RM 番号	業務 RM 番号*1 を選択。	1 ～ 8	—
音源番号	音源番号を選択。	未使用、チャイム 1 ～ 4*2	チャイムスイッチ 1：チャイム 1 チャイムスイッチ 2：チャイム 2

*1「1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）」（P. 18）で登録した「業務 RM」の台数分のみ選択可。
業務 RM 番号と ID の対応については、P. 72 を参照してください。
*2 チャイム音源は FS-2500 本体と同様です。（☞ P. 68）



次ページへ

「1-4-2-4 業務 RM」（P. 72）で「4 チャイム SW 設定」決定時

1 左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「音源番号」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

音源番号が選択可能になります。

5 左右シフトキーで音源番号を選択する。

6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

前ページから

3 ～ 6 を繰り返す

1-4-2-4-4 チャイム SW 設定

業務 RM	1	

SW 番号	音源番号
1	チャイム 3
2	未使用

[決定]
編集
[戻る]
業務 RM 選択

8 戻る で業務 RM 番号選択に戻る

1-4-2-4-4 チャイム SW 設定

業務 RM	◀ 1 ▶	

SW 番号	音源番号
1	チャイム 3
2	未使用

[決定]
SW 番号選択
[戻る]
戻る

1 ～ 8 を繰り返す

チャイム SW 設定完了

7 **手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

8 **戻るキーを押す。**

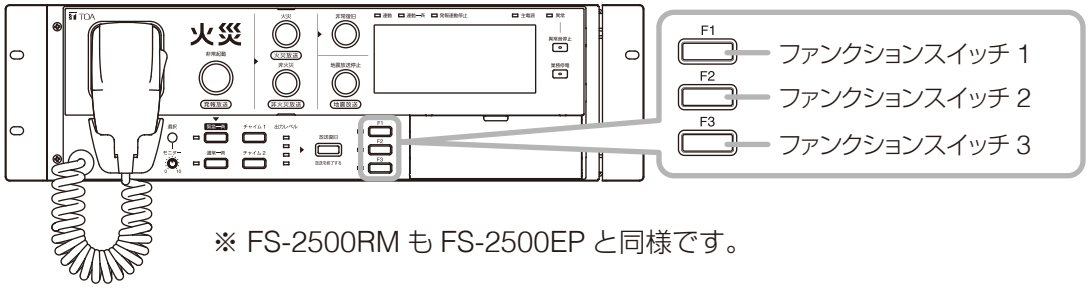
業務 RM 番号選択に戻ります。

9 **手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての業務 RM のスイッチを設定する。**

■ ファンクション SW 設定（1-4-3）

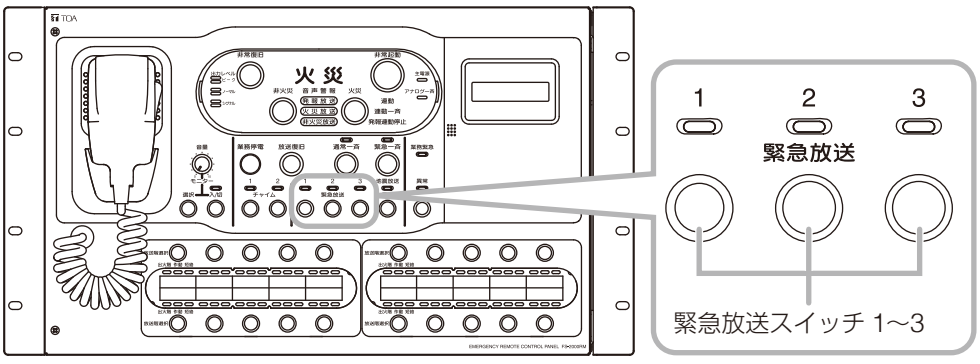
非常用操作パネル、非常用リモコン、集中非常用リモコンのファンクションスイッチおよび緊急放送スイッチについて、用途や音源などを設定します。

FS-2500EP



※ FS-2500RM も FS-2500EP と同様です。

FS-2000RM

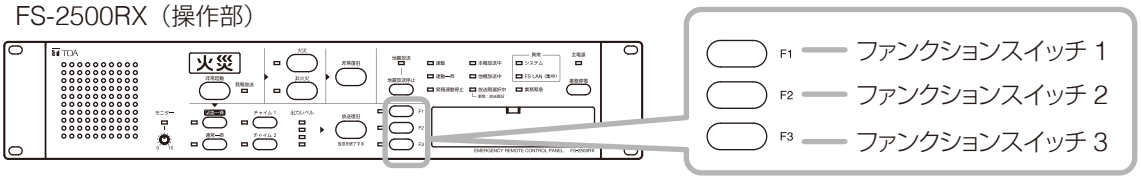


※ FS-1010RM/1020RM/1030RM も FS-2000RM と同様です。

ご注意

非常用リモコン FS-1010RM/1020RM/1030RM/2000RM を FS-2500 システムで使用する場合、緊急放送スイッチ 1 ～ 3 が非常用操作パネル FS-2500EP のファンクションスイッチ 1 ～ 3 と同じはたらきをします。緊急地震放送停止スイッチは地震放送停止用途に固定となり、緊急放送スイッチ 4 として使用することはできません。

FS-2500RX（操作部）



設定項目は以下のとおりです。システムで共通の設定となります。

設定項目	設定内容	設定範囲*1	初期設定
ファンクション	ファンクションスイッチの番号を選択。	F1 ～ F3	―
用途	用途を選択。	EV 放送、未使用	未使用
音源	音源番号*2 を選択。（EV 放送用途設定時のみ）	1 ～ 10	―
業務緊急	スピーカー回線へ放送を出力するモードを選択。（EV 放送用途設定時のみ）	なし、あり	―
出力回線	出力をする回線について個別／グループを選択。（EV 放送用途設定時のみ）	個別、グループ	―
回線番号	回線番号または、回線グループの番号*3 を選択。（EV 放送用途設定時のみ）	1 ～最大回線数	―

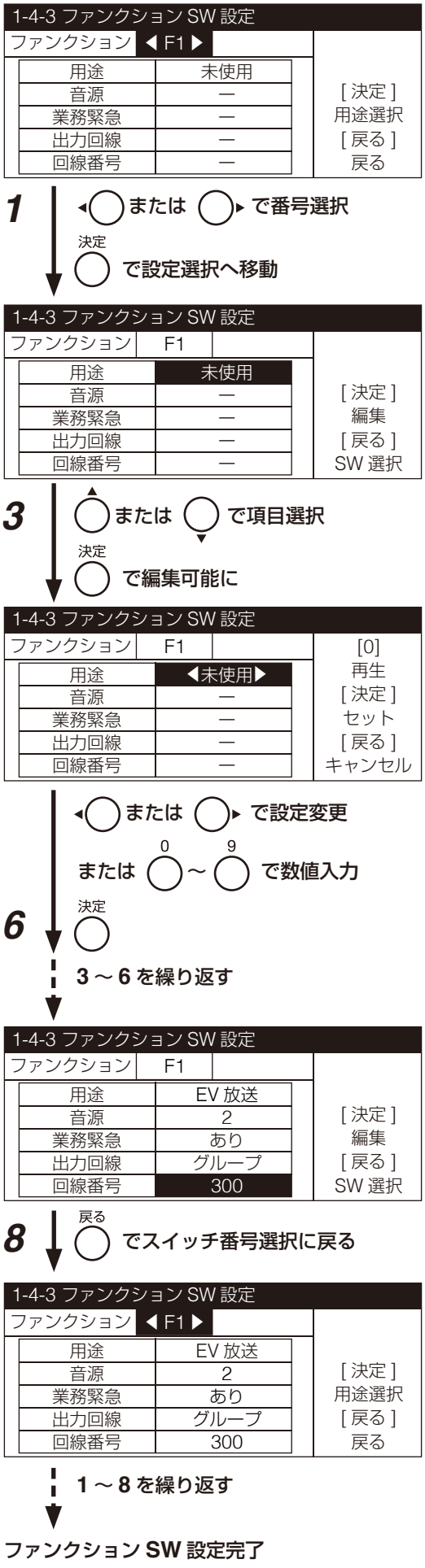
*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定項目	設定範囲	説明
用途	EV 放送	ファンクションスイッチを EV メッセージ放送の用途で使用します。
	未使用	ファンクションスイッチを使用しません。
業務緊急	なし	通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。
	あり	業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。
出力回線	個別	ファンクションスイッチについて、スピーカー回線を 1 つ登録します。
	グループ	ファンクションスイッチについて、回線グループを登録します。回線グループへのスピーカー回線の登録は、「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で行います。

*2 工場出荷時の EV メッセージは以下のとおりです。

番号	名称	内容
1	チャイム	ウエストミンスターの鐘
2	火災訓練［男声］	訓練放送です。【第 1 シグナル】火事です、火事です、火災が発生しました。 落ち着いて避難してください。【第 2 シグナル】
3	地震訓練［男声］	訓練放送です。【NHK チャイム音】 地震です。落ち着いて身を守ってください。（2 回繰り返し）
4	防犯（学校）［男声］	【防犯警報音】緊急事態が発生しました。先生の指示に従ってください。
5	放課後（学校）［女声］	まもなく下校時間になります。校庭や教室に残っている人は、後片付けをして早く帰りましょう。
6	防犯（一般）［男声］	【防犯警報音】緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従ってください。
7	蛍の光	蛍の光
8	開店（店舗）［女声］	本日はご来店いただき、誠にありがとうございます。お時間のお許しになる限り、どうぞごゆっくりお買い物をお楽しみください。
9	閉店（店舗）［女声］	本日はご来店いただき、誠にありがとうございました。またのお越しを従業員一同、こころよりお待ち申し上げております。
10	省エネ（一般）［女声］	リフレッシュタイムの時間です。胸を大きく張って疲れをほぐしましょう。 また、不要な電気は切って、職場の省エネにご協力ください。

*3「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で登録した回線グループ番号のいずれか。



「1-4 機器制御設定」（P. 57）で「3 ファンクション SW 設定」決定時

1 **左右シフトキーでファンクションスイッチの番号を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

カーソルが設定選択に移動します。

3 **上下シフトキーでカーソルを移動させる。**

4 **決定キーを押す。**

編集ができるようになります。

5 **左右シフトキーで設定内容を選択する。**

回線番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

6 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

7 **手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

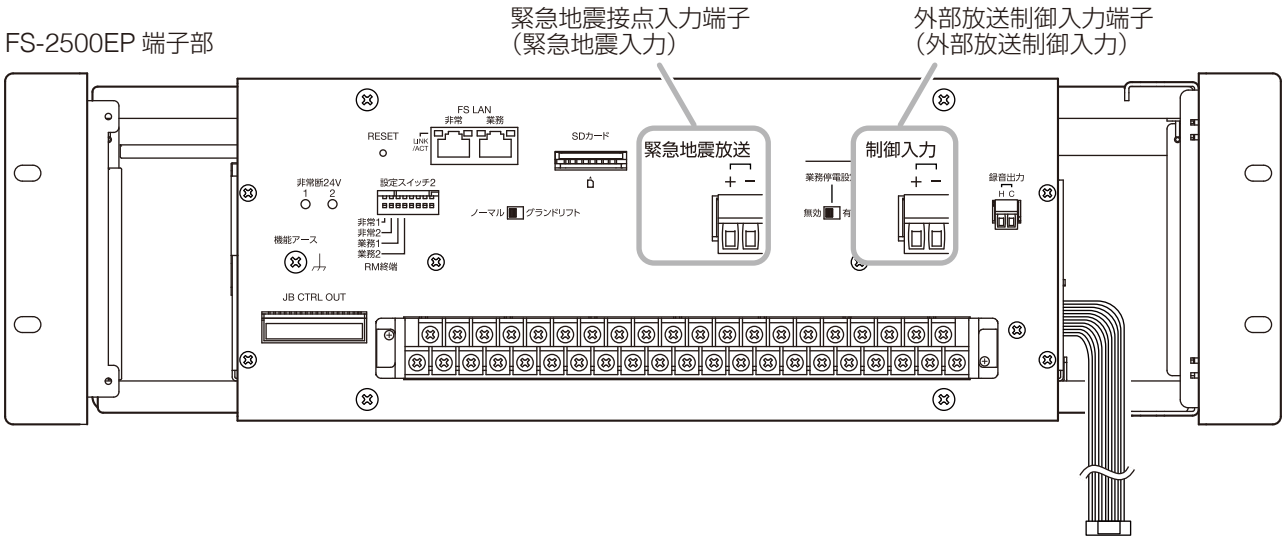
8 **戻るキーを押す。**

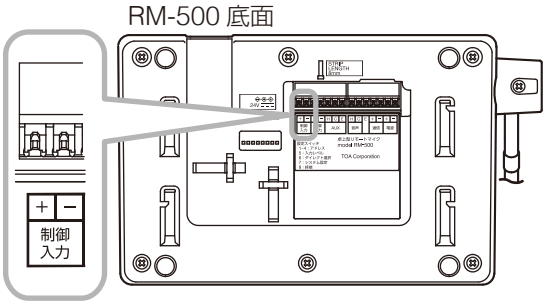
ファンクションスイッチ番号選択に戻ります。

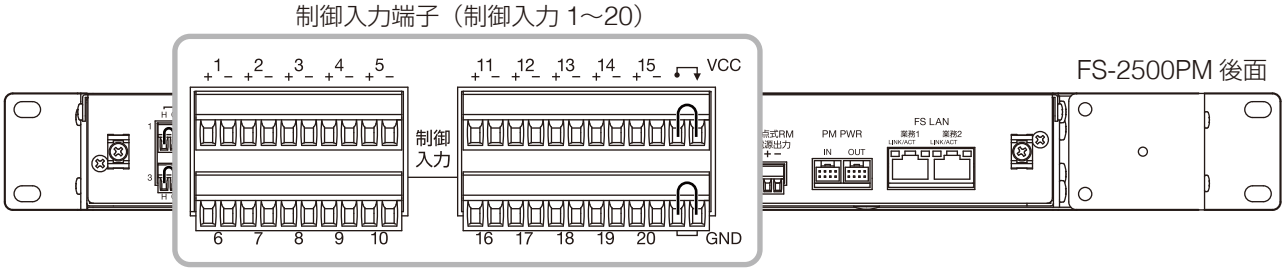
9 **手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべてのファンクションスイッチについて設定する。**

■ 制御入力設定（1-4-4）

非常用操作パネルの外部放送制御入力端子と緊急地震接点入力端子、業務用リモコン RM-500 の制御入力端子、およびプリアンプマトリクスパネルの制御入力端子 1 ～ 20 について設定します。







設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	制御入力を持つユニットを選択。	EP *1、業務 RM1 ～ 8 *2、PM1 ～ PM3 *3	―
名称	制御入力の種類または制御入力端子名称を選択。	EP：緊急地震入力、外部放送制御入力 業務 RM1 ～ 8 *2：制御入力 PM1 ～ 3 *3：制御入力 1 ～ 20	―
用途	用途を選択。	(「名称」の設定により異なる) *4	(「名称」の設定により異なる) *4
PM 音声入力	音源として、プリアンプマトリクスパネルの音声入力を選択。(個別放送用途時のみ)	1-1 ～ 3-8 *5	1-1
番号	用途で選択した内容に応じて、番号を選択。(緊急地震放送入力、EV 放送、EV 放送停止、接点式 RM チャイム、ミックスバス放送時のみ)	(「用途」の設定により異なる) *6	1 (「用途」の設定により番号の意味は異なる) *6
業務緊急	スピーカー回線へ放送を出力するモードを選択。(個別放送、回線選択、回線選択操作、ミックスバス放送、接点式 RM 放送用途時のみ)	なし、あり *7	なし
出力回線	出力をする回線について個別／グループを選択。	個別、グループ *7	個別
回線番号	回線番号または、回線グループの番号を選択。	1 ～最大回線数	1

*1 非常用操作パネル FS-2500EP。
*2 業務用リモコン RM-500。システム構成に応じて表示されます。
例えば「業務 RM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の RM-500 を表します。
*3 プリアンプマトリクスパネル FS-2500PM。システム構成に応じて表示されます。
例えば「PM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）のプリアンプマトリクスパネルを表します。
*4「名称」の設定により設定範囲および初期設定の詳細は以下のとおりです。

設定項目	名称の設定	設定範囲 *7	初期設定
用途	緊急地震入力	緊急地震放送、未使用	緊急地震放送
	外部放送　制御入力	EV 放送、EV 放送停止、PM 音声入力放送、ミックスバス放送、回線選択、BGM1 ～ 4 放送、時刻補正、未使用	未使用
	制御入力	回線選択操作、AUX 放送 *8、AUX スイッチ、未使用	未使用
	制御入力 1 ～ 20	EV 放送、EV 放送停止、接点式 RM 放送、接点式 RM チャイム、PM 音声入力放送、ミックスバス放送、回線選択、BGM1 ～ 4 放送、時刻補正、未使用	制御入力 1 ～ 8：未使用、制御入力 9 ～ 19：接点式 RM 放送、制御入力 20：接点式 RM チャイム

*5 例えば「1-1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）のプリアンプマトリクスパネルの音声入力 1 を表します。
*6 設定範囲および初期設定の詳細は以下のとおりです。

設定項目	用途の設定	設定範囲	備考
番号	緊急地震放送	1、2	1：NHK チャイム音、2：REIC チャイム音 ※「緊急地震放送のシグナル音に関する基準」（下記）参照
	EV 放送	1 ～ 3	ファンクションスイッチ番号
	EV 放送停止	1 ～ 3	ファンクションスイッチ番号
	接点式 RM チャイム	1 ～ 4	1：上り 4 音、2：下り 4 音、3：2 音、4：ゴング
	ミックスバス放送	1 ～ 4	ミックスバスの番号

*7 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定項目	設定範囲	説明
用途	緊急地震放送	緊急地震放送を行います。
	EV 放送	EV メッセージ放送を行います。
	EV 放送停止	EV メッセージ放送を停止します。
	PM 音声入力放送	プリアンプマトリクスパネルの音声入力端子に入力されている音源の放送を行います。
	接点式 RM 放送	接点式 RM 放送を行います。
	接点式 RM チャイム	内蔵のチャイム音源を放送します。
	ミックスバス放送	ミックスバス放送を行います。
	BGM1 ～ 4 放送	設定された番号の BGM 放送を行います。
	回線選択	回線選択を行います。
	時刻補正	時刻補正を行います。制御入力メイク時、FS-2500EP に設定された時刻の秒が 0 秒～ 29 秒の場合は 0 秒に補正し、30 秒～ 59 秒の場合は 1 分進めた後で 0 秒に補正します。
	回線選択操作*8、*9	RM-500 の回線選択操作を行います。
	AUX 放送*8、*10	RM-500 の AUX 放送を開始します。
	AUX スイッチ*10	AUX キーと同じ動作をします。
業務緊急	なし	通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。
	あり	業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。
出力回線	個別	設定対象の制御入力について、スピーカー回線を 1 つ登録します。
	グループ	設定対象の制御入力について、回線グループを登録します。 回線グループへのスピーカー回線の登録は、「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で行います。

*8 「1-4-2-1 スイッチ動作設定」（P. 65）で「独立制御モード」を選択したときは設定できません。
*9 画面表示上は「回線選択」と表示されます。
*10 「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」（P. 72）で AUX 入力を「使用しない」に設定した場合は設定できません。

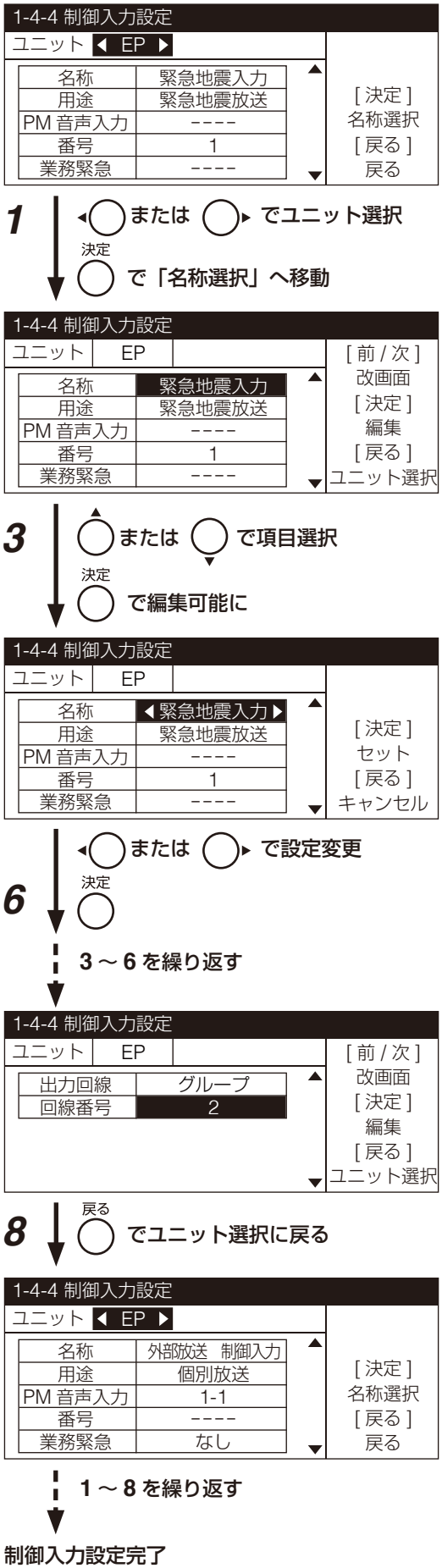
緊急地震放送のシグナル音に関する基準

緊急地震放送のシグナル音は、原則として、日本放送協会が作成した報知音（NHK チャイム音）を使用してください。
ただし、NHK チャイム音は、「緊急地震速報（警報）」*11 に整合している場合の使用に限定されるため、「緊急地震速報（警報）」*11 に整合していない場合や、騒音などで NHK チャイム音では聞き取りにくい条件下では、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会（REIC）が作成したサイン音を使用してください。

ご注意

- 緊急地震放送の NHK チャイム音は、「緊急地震速報（警報）」*11 または、予測される震度 5 弱以上の「緊急地震速報（業）」*12 の場合以外は使用禁止です。
- NHK チャイム音の著作権は、日本放送協会に属します。
- REIC サイン音の著作権は、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会に属します。

*11 最大震度 5 弱以上と予想した場合に、予想した震度が 4 以上の地域に対して気象庁が発表します。気象業務法に基づき、気象庁のみが発表します。
*12 許可事業者が提供する緊急地震速報。予報内容についての責任は、当該許可事業者が負います。



「1-4 機器制御設定」（P. 57）で「4 制御入力設定」決定時

1 左右シフトキーでユニットを選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「名称」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

ご注意

名称、用途の設定により、設定可能な項目が変わりますので、設定項目の上から順番に設定してください。

4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

5 左右シフトキーで設定内容を選択する。

ご注意

出力回線をグループ番号で選択するとき、スピーカー回線が割り当てられていない回線グループ番号を選択することはできません。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

7 手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

8 戻るキーを押す。

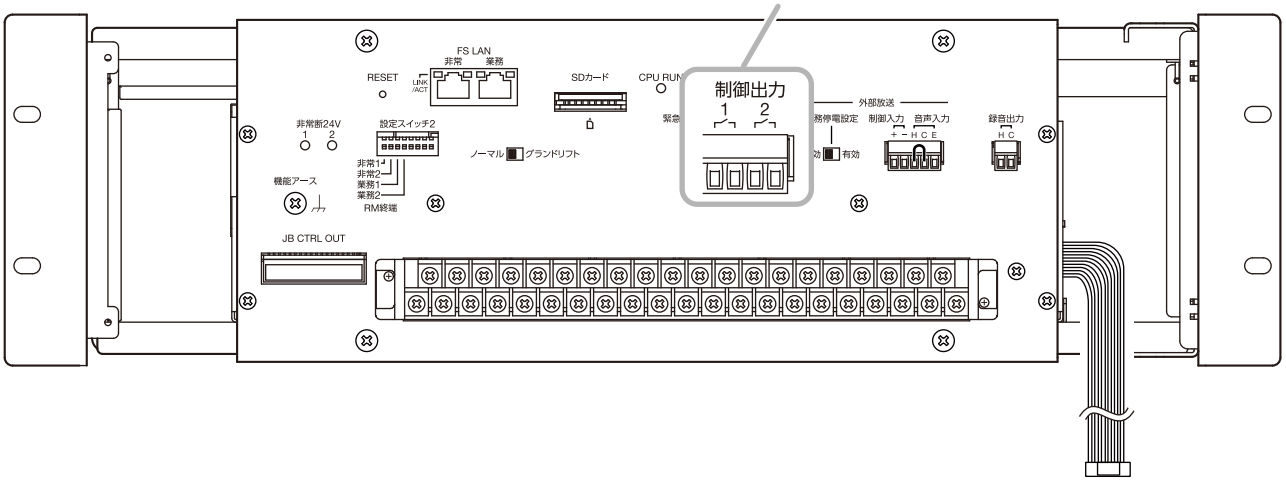
ユニット選択に戻ります。

9 手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての制御入力について設定する。

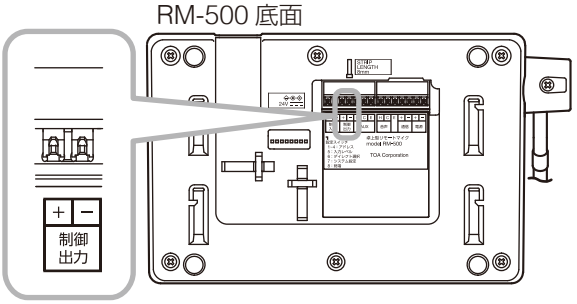
■ 制御出力設定（1-4-5）

非常用操作パネルの制御出力端子 1 ～ 2、業務用リモコン RM-500 の制御出力端子、プリアンプマトリクスパネルの制御出力端子 1 ～ 10、および非常系統拡張パネルの制御出力端子 1 ～ 2 の機能について設定します。

FS-2500EP 端子部

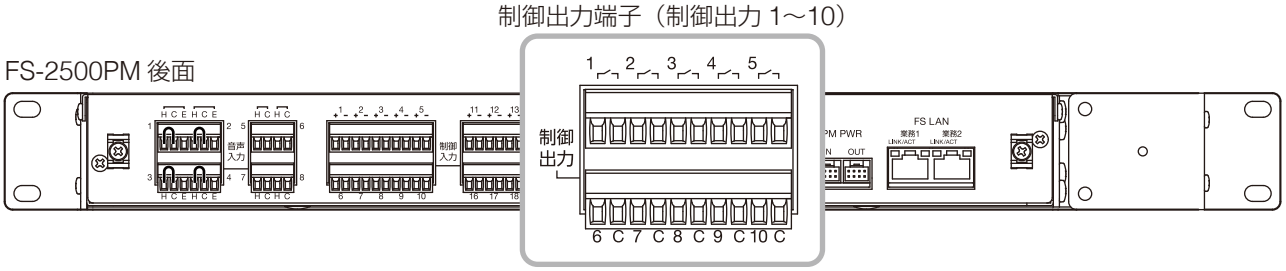


RM-500 底面



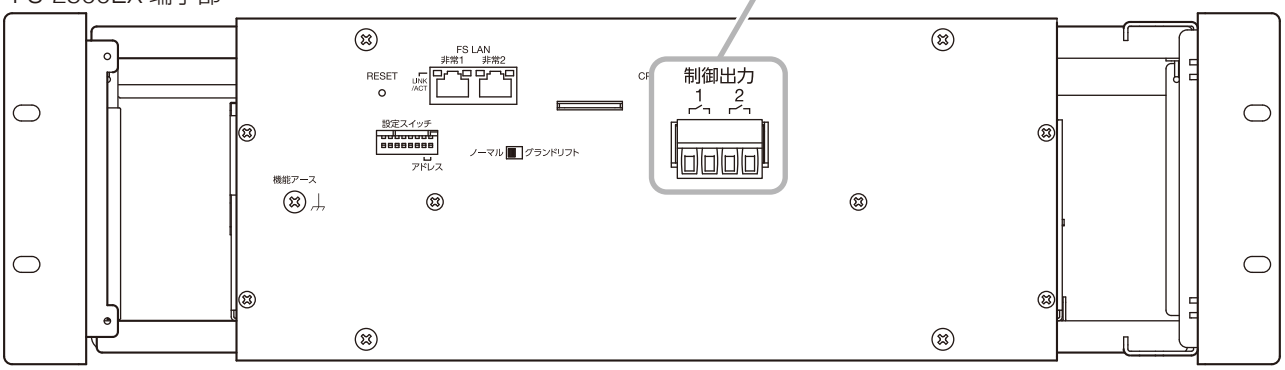
制御出力端子（制御出力 1～10）

FS-2500PM 後面



制御出力端子

FS-2500EX 端子部



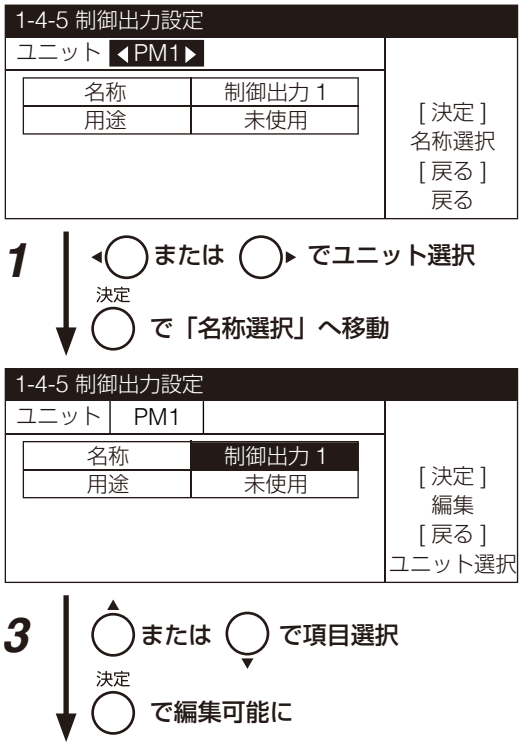
設定項目は以下のとおりです。ただし、RM-500 の場合は「放送中」、「業務放送中」、「業務緊急放送中」、「保守点検中」、「異常発生中」、「出力回線グループ連動」、「未使用」からの選択となります。また、RM-500 の制御出力は FS-2500EP、FS-2500EX、FS-2500PM の制御出力と比べて、1 秒程度遅れて出力されます。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	制御出力を持つユニットを選択。	EP *1、業務 RM1 ～ 8 *2、PM1 ～ PM3 *3、EX1 *4、EX2 *4、EX3 *4	—
名称	制御出力端子の番号を選択。	EP *1、EX1 *4、EX2 *4、EX3 *4 ：制御出力 1 ～ 2 業務 RM1 ～ 8 *2 ：制御出力 PM1 ～ PM3 *3 ：制御出力 1 ～ 10	—
用途	FS-2500 システムがどの状態にあるときに制御出力をメイクするかを選択。	音声警報出力中、発報放送中、火災放送中、非火災放送中、非常マイク放送中、火災一斉移行、緊急地震放送中、自機放送中*5、放送中（接点式 RM）*6、リモコン（接点式 RM）*6、業務放送中、業務緊急放送中、保守点検中、異常発生中、出力回線グループ連動*7、未使用	（制御出力端子により異なる）*8

*1 非常用操作パネル FS-2500EP。
*2 業務用リモコン RM-500。システム構成に応じて表示されます。
例えば「業務 RM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の RM-500 を表します。
*3 プリアンプマトリクスパネル FS-2500PM。システム構成に応じて表示されます。
例えば「PM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）のプリアンプマトリクスパネルを表します。
*4 非常系統拡張パネル FS-2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の非常系統拡張パネルを表します。
*5「ユニット」で「業務 RM1」～「業務 RM8」を選択したときのみ
*6「ユニット」で「PM1」「PM2」「PM3」を選択したときのみ
*7「1-3-8 回線グループ設定」（P. 53）で制御出力先に設定している場合に、用途が自動的に「出力回線グループ連動」になります。用途変更を行うときは、回線グループ設定で制御出力先から外してください。
*8 以下の制御出力以外は「未使用」が初期設定です。

ユニット	制御出力	初期設定
EP	1	火災放送中
EP	2	非火災放送中
PM1 ～ PM3	9	放送中（接点式 RM）
PM1 ～ PM3	10	リモコン（接点式 RM）
EX1	1	音声警報出力中

ユニット	制御出力	初期設定
EX1	2	発報放送中
EX2	1	火災一斉移行
EX2	2	非常マイク放送中
EX3	1	緊急地震放送中
EX3	2	業務放送中



次ページへ

「1-4 機器制御設定」（P. 57）で「5 制御出力設定」決定時

1 左右シフトキーでユニットを選択する。

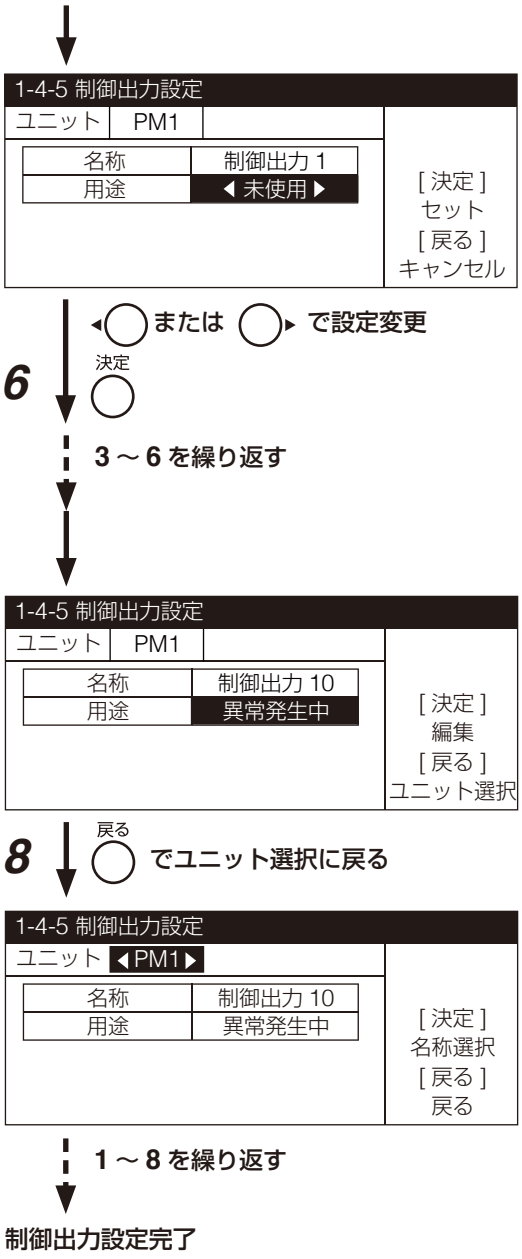
2 決定キーを押す。

カーソルが「名称」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

前ページから



編集ができるようになります。

5 **左右シフトキーで設定内容を選択する。**

6 **決定キーを押す。**
設定内容が決定されます。

7 **手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

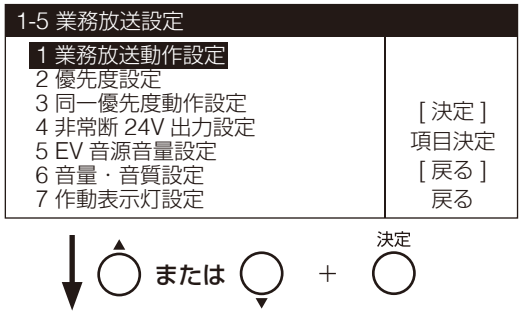
8 **戻るキーを押す。**

ユニット選択に戻ります。

9 **手順 1 ～ 8 を繰り返し、すべての制御出力について設定する。**

■ 業務放送設定（1-5）

各放送の優先度や連動チャイムの設定など、業務放送について設定します。



「1 システム設定」（P. 15）で「5 業務放送設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 業務放送動作設定	P. 91（1-5-1）
2 優先度設定	P. 93（1-5-2）
3 同一優先度動作設定	P. 94（1-5-3）
4 非常断 24V 出力設定	P. 95（1-5-4）
5 EV 音源音量設定	P. 96（1-5-5）
6 音量・音質設定	P. 99（1-5-6）
7 作動表示灯設定	P. 102（1-5-7）

■ 業務放送動作設定（1-5-1）

業務放送について、放送の種類ごとに、ミックスバス放送ミュート制御のトリガーおよび連動チャイムを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
業務放送	業務放送の種類を選択。	本体マイク放送、非常 RM1 ～ 16、業務 RM1 ～ 8、接点式 RM1 ～ 3、PM1 ～ 3、音声入力 1 ～ 8、ミックスバス 1 ～ 4	—
ミュートトリガー	ミックスバス放送と重なったときに、ミックスバス放送のミュート制御を開始するトリガー*1 を設定。	PM 音声入力、接点式 RM：制御入力、制御なし ミックスバス：制御入力、音声レベル、放送階選択、制御なし PM 音声入力、ミックスバス以外：音声レベル、放送階選択、トークスイッチ、制御なし	PM 音声入力放送、接点式 RM：制御入力 ミックスバス：音声レベル PM 音声入力放送、ミックスバス以外：音声レベル
ミュート対象	ミュート制御対象のミックスバス*2 を設定。	ミックスバス 1-4、ミックスバス 2-4、ミックスバス 3-4、ミックスバス 4、全てカット*3	ミックスバス 1-4
開始チャイム*4	放送を開始するときに鳴らすチャイム音源を選択。	チャイム 1 ～ 4*5、未使用	未使用
終了チャイム*4	放送を終了するときに鳴らすチャイム音源を選択。	チャイム 1 ～ 4*5、未使用	未使用

*1 ミックスバス放送のミュート制御の動作説明図（P. 64）の「放送開始」に該当します。設定範囲の詳細は以下のとおりです。

設定範囲	説明
制御入力	制御入力が ON になると、ミックスバス放送のミュート制御が開始し、OFF になると終了します。
音声レベル	音声レベルが開始感度になるとミックスバス放送のミュート制御が開始し、音声レベルが終了感度になると終了します。開始感度と終了感度は「1-5-1-1 音声レベル感度設定」（P. 92）で設定します。
放送階選択	放送階選択スイッチを押すとミックスバス放送のミュート制御が開始し、選択を解除すると終了します。
トークスイッチ	トークスイッチを押している間、ミックスバス放送のミュート制御が行われます。
制御なし	ミックスバス放送のミュート制御はされません。ミックスして放送されます。

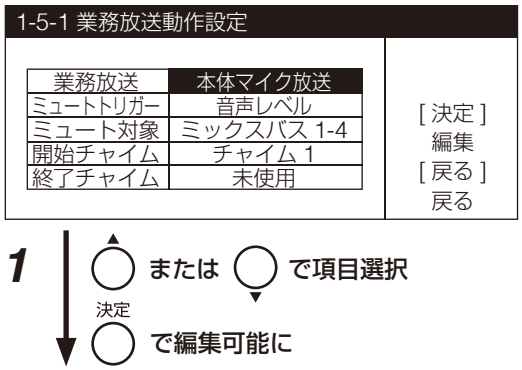
設定による動作の詳細については、別冊の操作説明書「ミックスバス放送ミュート制御とチャイム連動」を参照してください。

*2 業務放送で選択されているミックスバス放送が制御対象のミックスバス放送に含まれるときは、業務放送で選択されているミックスバス放送はミュート制御されず、それ以外のミックスバス放送がミュート制御されます。

*3「全てカット」を選択した場合はミュート動作とならず、ミュートトリガーの発生で即座にカットされ、ミュートトリガーの解除で即座に復帰します。
設定による動作の詳細については、別冊の操作説明書「ミックスバス放送ミュート制御とチャイム連動」を参照してください。

*4 業務放送の種類を「ミックスバス 1 ～ 4」に設定したときは、「開始チャイム」および「終了チャイム」は設定できません。

*5 チャイム音源は FS-2500 本体と同様です。（☞ P. 68）



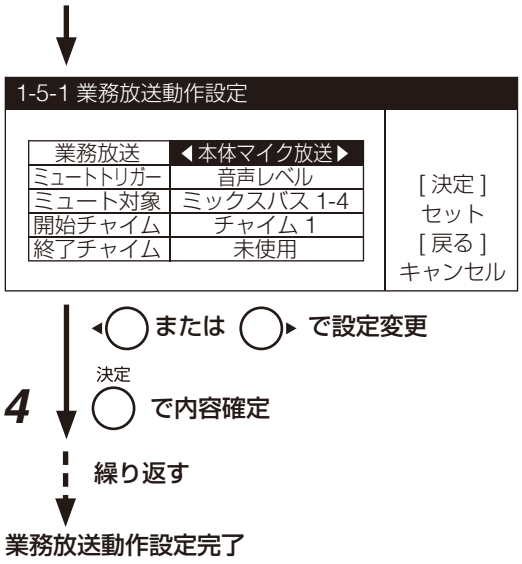
「1-5 業務放送設定」（P. 90）で「1 業務放送動作設定」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

次ページへ

前ページから



選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

ご注意

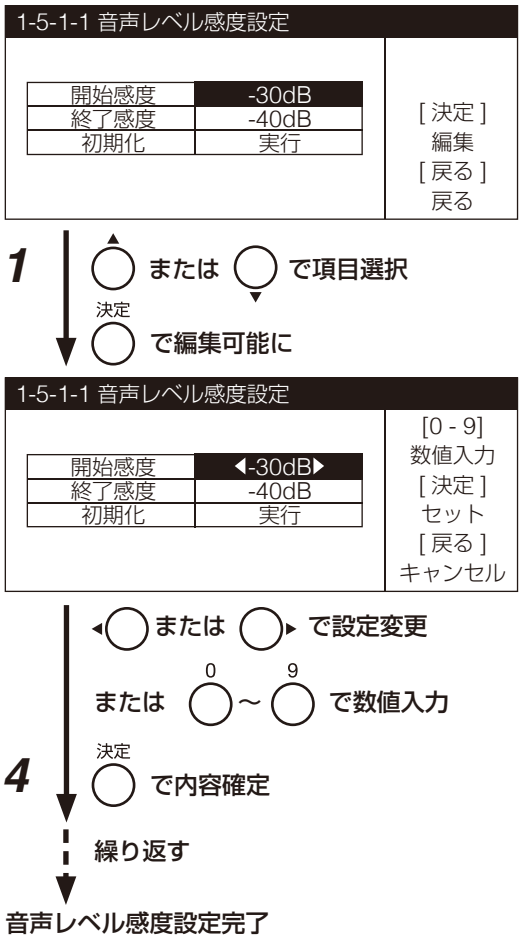
「ミュートトリガー」で「音声レベル」を選択して決定キーを押したときのみ、「1-5-1-1 音声レベル感度設定」（次項）が表示されるので、音声レベルを設定してください。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 音声レベル感度設定（1-5-1-1）

業務放送のミックスバス放送ミュートのミュートトリガーを「音声レベル」に設定したときのみ設定できます。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
開始感度	ミュート制御が機能する入力信号のレベルを設定。	–40 ～ –1 dB	–30 dB
終了感度	ミュート制御が終了する入力信号のレベルを設定。	–50 ～ 0 dB	–40 dB
初期化	上記 2 つの設定を初期設定の値に戻す。	実行	―



「1-5-1 業務放送動作設定」（P. 91）で「ミュートトリガー：音声レベル」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

数値の場合は、数字キーで入力する。

ご注意

終了感度は「開始感度＋ 0 ～－ 20 dB」の間で設定可能です。
上記範囲外の数値を入力すると、終了感度は自動的に「開始感度－ 10」の値になります。

4 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

メ　モ

「初期化」で「実行」を選択して決定すると、「開始感度」と「終了感度」が初期設定に戻ります。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 優先度設定（1-5-2）

各放送（BGM 放送、RM-1100 同士の放送を除く）について放送の優先度を設定します。
優先度は 1（優先度高）～ 60（優先度低）の範囲で設定可能です。
複数の放送の優先度を同じに設定することも可能です。
優先度についての詳細は、別冊の操作説明書「放送の優先度」をお読みください。

ご注意

- BGM 放送には優先度はありません。ミックスバス制御設定に従います。
  （☞ 別冊の操作説明書「ミックスバス放送ミュート制御とチャイム連動」）
- RM-1100 同士の優先度については、別冊の設置説明書「複数台接続時の優先順位の設定」をお読みください。

設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
優先度	放送の優先度を選択。	1 ～ 60	（放送の種類により異なる）*

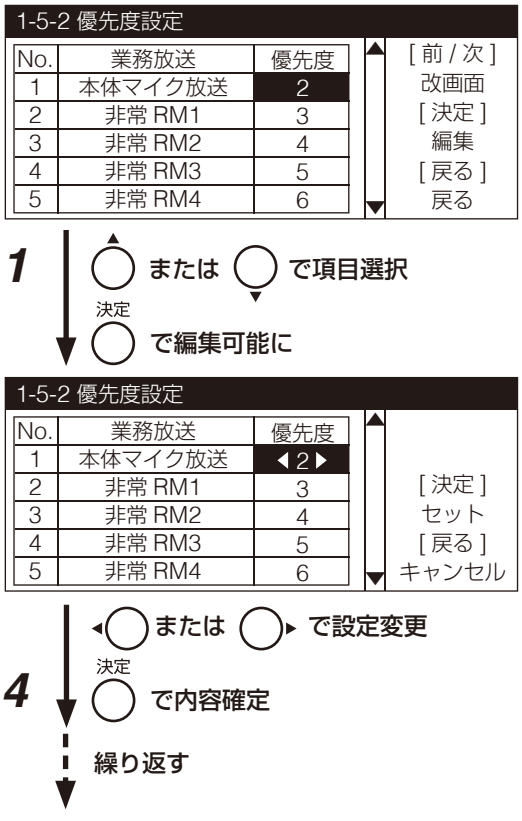
* 初期設定の詳細は下記のとおりです。

業務放送	優先度
本体マイク放送	2
非常 RM1 放送	3
非常 RM2 放送	4
非常 RM3 放送	5
⟨	⋮
非常 RM16 放送	18
業務 RM1 放送	19

業務放送	優先度
業務 RM2 放送	20
⟨	⋮
業務 RM8 放送	26
接点式 RM1 放送	27
接点式 RM2 放送	28
接点式 RM3 放送	29
EV 放送 1	1

業務放送	優先度
EV 放送 2	1
EV 放送 3	
PM1 音声入力 1 放送	31
⟨	
PM1 音声入力 8 放送	
PM2 音声入力 1 放送	
⟨	
PM2 音声入力 8 放送	

業務放送	優先度
PM3 音声入力 1 放送	31
⟨	
PM3 音声入力 8 放送	
ミックスバス 1	40
⟨	⋮
ミックスバス 4	43



「1-5 業務放送設定」（P. 90）で「2 優先度設定」決定時

1 **上下シフトキーで設定項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更する。**

4 **決定キーを押す。**
設定内容が決定されます。

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

■ 同一優先度動作設定（1-5-3）

同じ優先度の放送が複数同時に行われたときの動作を設定します。複数の放送を同じ優先度に設定していないときは、この設定は不要です。
設定項目は以下のとおりです。

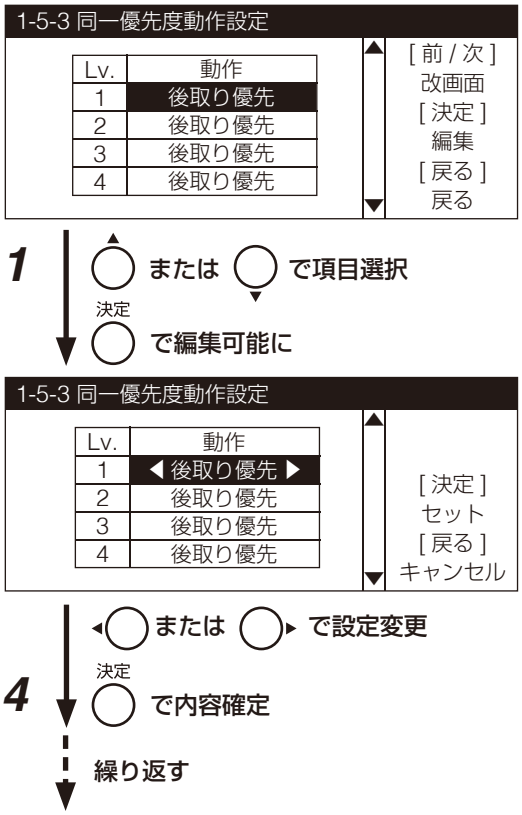
設定項目	設定内容	設定範囲*	初期設定
動作	優先度ごとに、同一優先度の放送が重なったときの動作を選択。	後取り優先、先取り優先	後取り優先

* 設定範囲の詳細は下記のとおりです。

設定範囲	説明
後取り優先	後に起動した方の放送が優先されます。
先取り優先	先に起動した方の放送が優先されます。 先に始めた放送が終了するまで、他の同一優先度の音源は放送できません。

メ　モ

同一優先度のミックスバス放送が同時に行われるときは、同一優先度動作設定に関わらずミキシングされて放送されます。



「1-5 業務放送設定」（P. 90）で「3 同一優先度動作設定」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 非常断 24 V 出力設定（1-5-4）

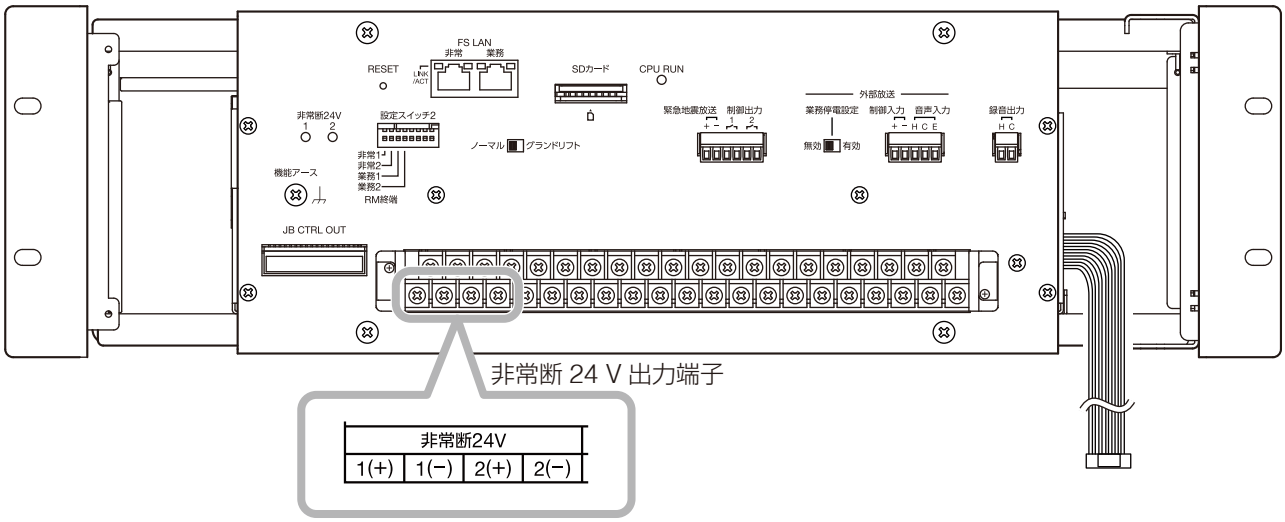
非常断 24 V 出力端子の業務放送中の動作を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

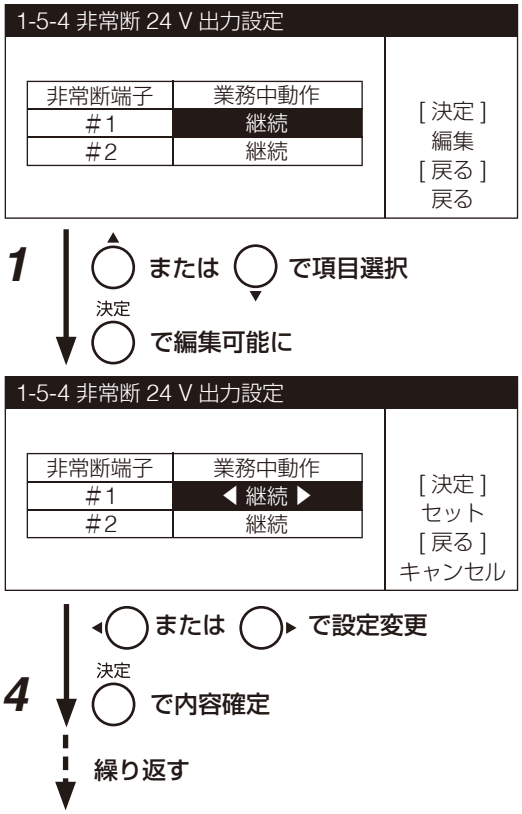
設定項目	設定内容	設定範囲*	初期設定
業務中動作	業務放送中の動作を選択。	継続、カット、緊急カット	継続

* 設定範囲の詳細は下記のとおりです。

設定範囲	説明
継続	業務放送中も継続して DC24 V を供給します。
カット	業務放送中に DC24 V の供給を遮断します。
緊急カット	通常放送モードの業務放送時は DC24 V を供給、業務緊急モードの業務放送時は DC24 V の供給を遮断します。

FS-2500EP 端子部





「1-5 業務放送設定」（P. 90）で「4 非常断 24 V 出力設定」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ EV 音源音量設定（1-5-5）

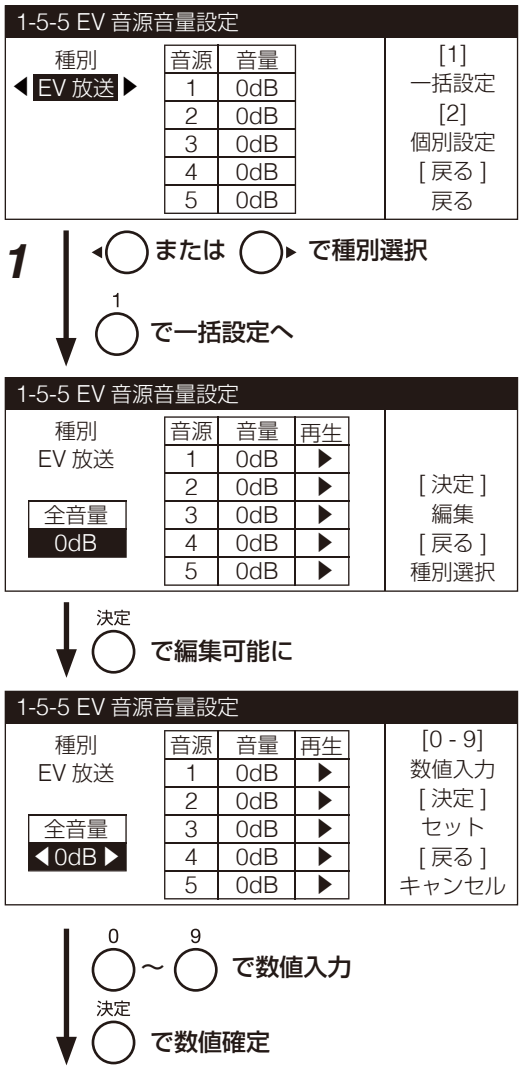
EV 放送、チャイム、点検音源の再生時の音量を設定します。
種別ごとに個別または一括で設定できます。
音量を設定した後に、モニタースピーカーで試聴することもできます。試聴中は非常 RM の放送モニターが停止します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
種別	音源の種別を選択。	EV 放送、チャイム、点検音源	EV 放送
音量	音源の再生時の音量を設定。	（音源により異なる）*	（音源により異なる）*

* 設定範囲と初期設定の詳細は下記のとおりです。

種別	音源番号	内容	設定範囲	初期設定
EV 放送	1 ～ 10	※ P. 82 の表を参照	–30 ～ 0 dB	0 dB
チャイム	1	上り 4 音	–30 ～ 0 dB	–10 dB
	2	下り 4 音		
	3	2 音		
	4	ゴング		
点検音源	1	点検開始（アナウンス）	–30 ～ 0 dB	–10 dB
	2	点検中（環境音）	–30 ～ 0 dB	–20 dB

[一括設定と音量確認のしかた（「種別」が「EV 放送」または「チャイム」のときのみ）]



音量確認は
次ページへ

「1-5 業務放送設定」（P. 90）で「5 EV 音源音量設定」決定時

1 **左右シフトキーで種別を選択する。**

2 **数字キー「1」を押す。**

ご注意

「種別」が「点検音源」のときは、個別設定のみです。「1」を押しても無効になります。

全音量設定欄が表示されます。

3 **決定キーを押す。**

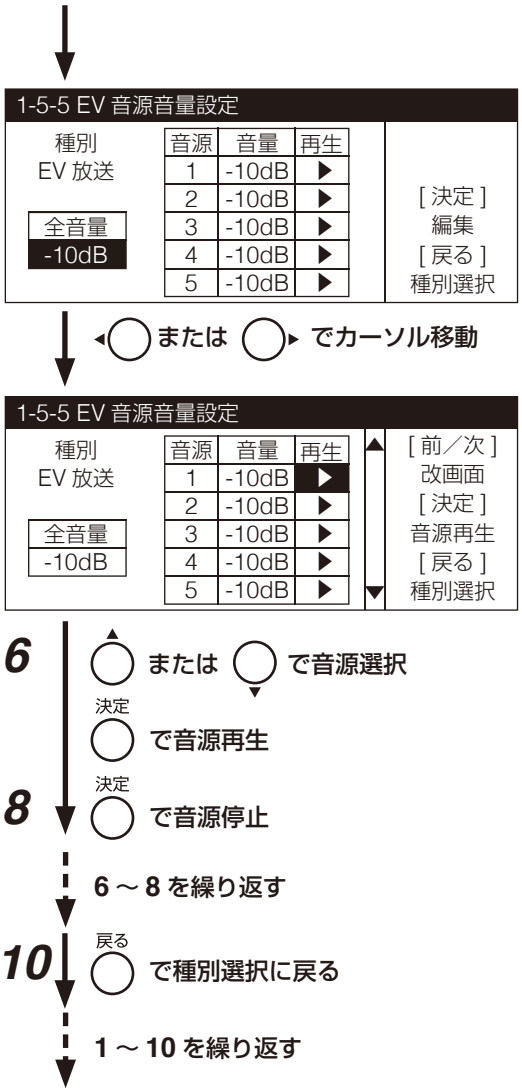
全音量が変更できるようになります。

4 **数字キーで数値を入力する。**

5 **決定キーを押す。**

すべての音源の音量が変更されます。

前ページから



5 音量を確認したいときは、左右シフトキーを押す。

カーソルが再生欄に移動します。

6 上下シフトキーで、再生したい音源を選択する。

7 決定キーを押す。
再生中はアイコンが■に変わります。
再生はエンドレスで行います。

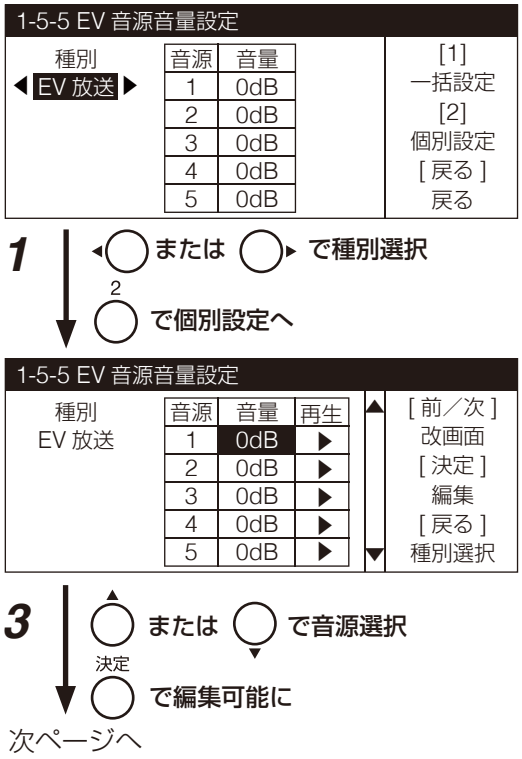
8 決定キーを押す。
再生が停止します。

9 必要に応じて、手順 6 ～ 8 を繰り返す。

10 戻るキーを押す。
種別選択に戻ります。

11 手順 1 ～ 10 を繰り返す。

[個別設定と音量確認のしかた]



「1-5 業務放送設定」(P. 90) で「5 EV 音源音量設定」決定時

1 左右シフトキーで種別を選択する。

2 数字キー「2」を押す。

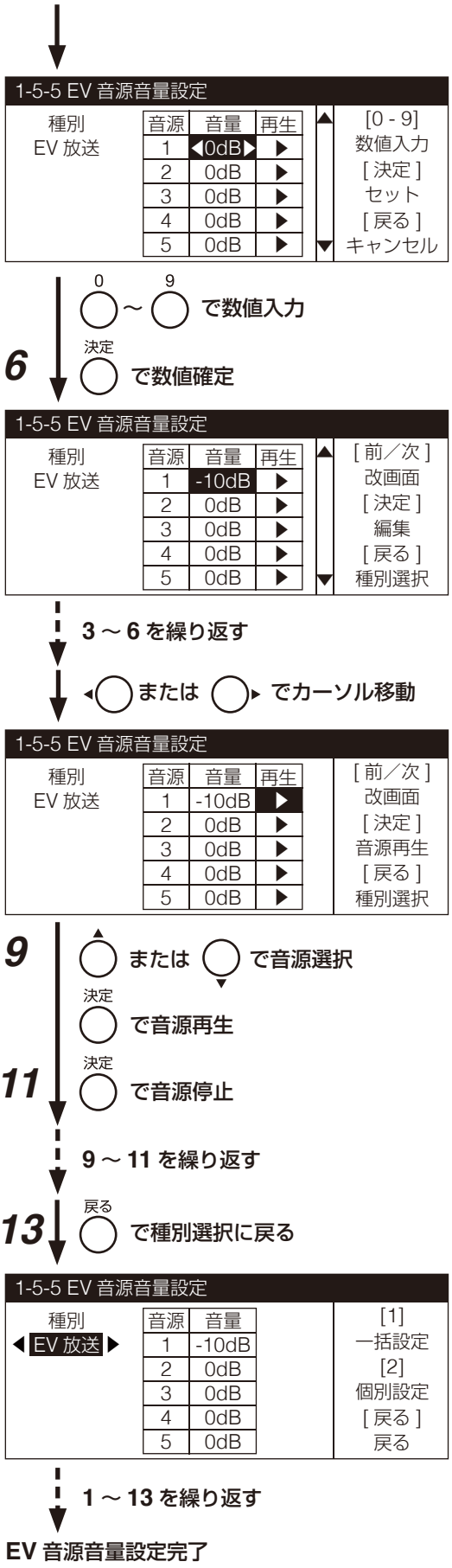
個別音量にカーソルが移動します。

3 上下シフトキーで音源を選択する。

4 決定キーを押す。

次ページへ

前ページから



音量が変更できるようになります。

5 **数字キーで数値を入力する。**

6 **決定キーを押す。**

音量が変更されます。

7 **必要に応じて、手順 3 ～ 6 を繰り返す。**

8 **音量を確認したいときは、左右シフトキーを押す。**

カーソルが再生欄に移動します。

9 **上下シフトキーで、再生したい音源を選択する。**

10 **決定キーを押す。**

再生中はアイコンが■に変わります。
再生はエンドレスで行います。

11 **決定キーを押す。**

再生が停止します。

12 **必要に応じて、手順 9 ～ 11 を繰り返す。**

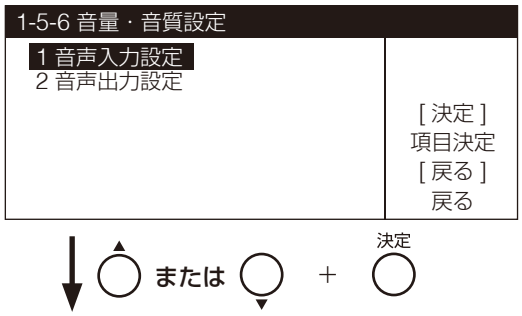
13 **戻るキーを押す。**

種別選択に戻ります。

14 **手順 1 ～ 13 を繰り返す。**

■ 音量・音質設定（1-5-6）

音声入出力の音量、音質などを設定します。



各設定項目の参照先へ

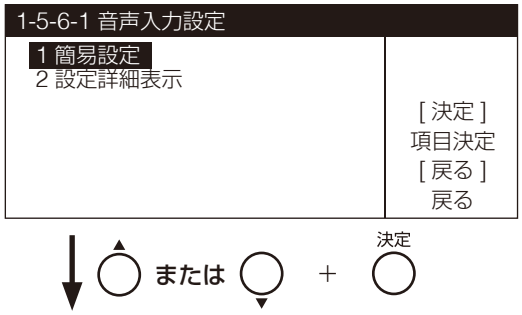
「1-5 業務放送設定」（P. 90）で「6 音量・音質設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

設定項目	参照先
1 音声入力設定	下記（1-5-6-1）
2 音声出力設定	P. 100（1-5-6-2）

■ 音声入力設定（1-5-6-1）

音声入力の音量、音質などを設定します。



各設定項目の参照先へ

「1-5-6 音量・音質設定」（上記）で「1 音声入力設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

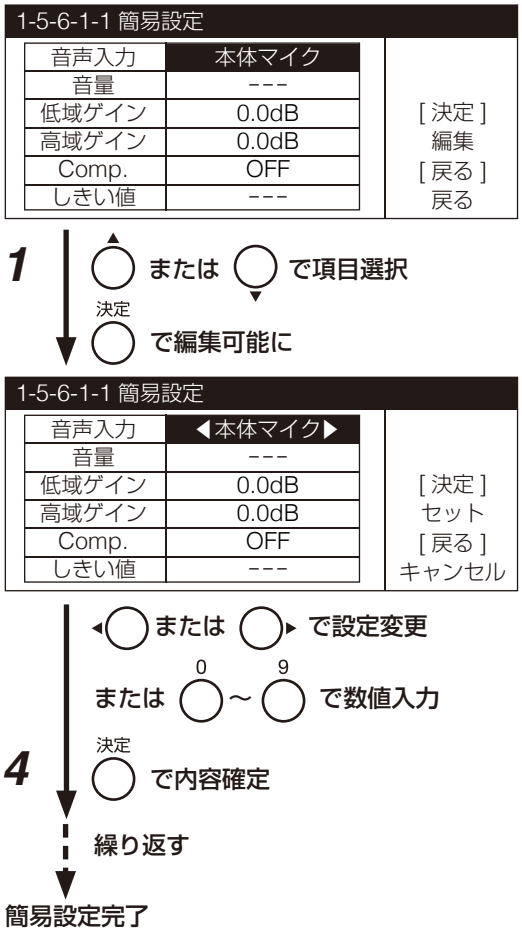
設定項目	参照先
1 簡易設定	下記（1-5-6-1-1）
2 設定詳細表示	P. 100（1-5-6-1-2）

■ 簡易設定（1-5-6-1-1）

各放送入力について音量や低域・高域ゲインなどの設定をします。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
音声入力	入力音源を選択。	本体マイク、外部放送入力、非常 RM *1、業務 RM *2、PM1 音声入力 1 ～ 8 *3、4、PM2 音声入力 1 ～ 8 *3、4、PM3 音声入力 1 ～ 8 *3、4、ミックスバス 1 ～ 4 *5、6	—
音量	音源ごとに入力音量を設定。 設定できるのは以下の音源のみ。*7 業務 RM、PM1 音声入力 1 ～ 4、PM2 音声入力 1 ～ 4、PM3 音声入力 1 ～ 4	0 ～ +12 dB、3 dB ステップ	0 dB
低域ゲイン	低域のゲインを設定。	−15.0 ～ +15.0 dB、0.5 dB ステップ	0.0 dB
高域ゲイン	高域のゲインを設定。	−15.0 ～ +15.0 dB、0.5 dB ステップ	0.0 dB
Comp.	コンプレッサーの ON/OFF を設定。	ON、OFF	OFF
しきい値	コンプレッサー使用時のしきい値を設定。	−20 ～ 0 dB、1 dB ステップ	−6 dB

*1 非常用リモコンが 1 台以上設定されている場合のみ表示されます。
*2 業務用リモコンが 1 台以上設定されている場合のみ表示されます。
*3 機器構成で設定された FS-2500PM の台数の中から、設定可能な音声入力のみ表示されます。
*4 ミックスバスに設定された PM 音声入力 5 ～ 8 は表示されません。
*5 FS-2500PM の音声入力が割り当てられていないミックスバスは表示されません。
*6「1-4-1-1 外部放送音声入力設定」（P. 58）で FS-2500EP の外部放送をミックスバス 4 として使用している場合、ミックスバス 4 は表示されません。音声入力の項目で「外部放送入力」を選択して設定してください。
*7 ここで「業務 RM」と表示される音源は、業務用リモコンのうち、音声入力を非常用操作パネル FS-2500EP に接続するもののみです。音声入力をプリアンプマトリクスパネル FS-2500PM に接続する業務用リモコンの音量は「PM 音声入力」の音源の方で設定します。ここで設定できない音源の音量は各機器の音量調節器で調節してください。



「1-5-6-1 音声入力設定」（P. 99）で「1 簡易設定」決定時

1 **上下シフトキーで設定項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

選択した部分が編集できるようになります。

3 **左右シフトキーで設定を変更するか数字キーで数値を入力する。**

4 **決定キーを押す。**

設定内容が決定されます。

5 **手順 1 ～ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。**

■ 設定詳細表示（1-5-6-1-2）

使用しません。

■ 音声出力設定（1-5-6-2）

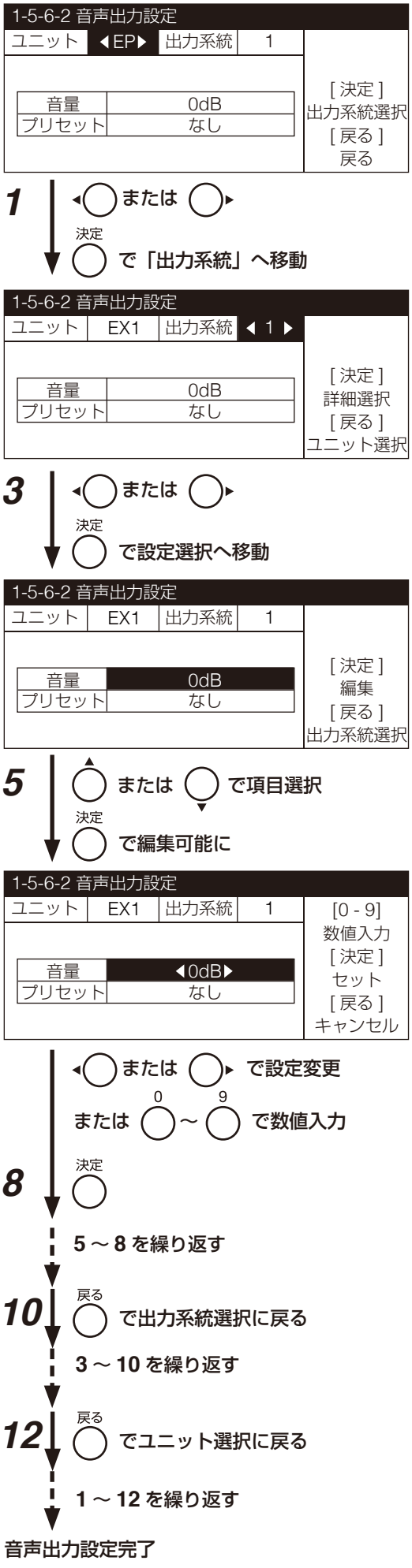
音声出力の音量、音質などを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
ユニット	出力系統を持つユニットを選択。	EP、EX1 ～ 3	—
出力系統	出力系統を選択。	EP　　: 1 EX1 ～ 3 : 1 ～ 8	—
音量	出力音量を設定。	–30 ～ 0 dB、1 dB ステップ	0 dB
プリセット	使用するプリセット*を選択。	なし、CM-1230、CM-1830A、CM-2330A、PC-2238、BS-34、SC-710AM、CS-153、CS-63、ユーザー設定 9 ～ 25 *	なし

* プリセットとして、以下のスピーカーに最適な音質設定を選択することができます。

名称	プリセットに適合するスピーカー
CM-1230	小型天井埋込スピーカー CM-1230、CM-1230T
CM-1830A	天井埋込型スピーカー CM-1830A、CM-1830AT
CM-2330A	天井埋込型スピーカー CM-2330A、CM-2330AT
PC-2238	露出型スピーカー PC-2238、PC-2238T
BS-34	木製壁掛型スピーカー BS-34、BS-34T
SC-710AM	ホーンスピーカー SC-710AM
CS-153	ワイドホーンスピーカー CS-153
CS-63	ワイドホーンスピーカー CS-63

ユーザー設定 9 ～ 25 は使用しません。
詳しくは当社営業所へお問い合わせください。



「1-5-6 音量・音質設定」(P. 99) で「2 音声出力設定」決定時

1 **左右シフトキーで「ユニット」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

カーソルが「出力系統」に移動します。

3 **左右シフトキーで「出力系統」を選択する。**

4 **決定キーを押す。**

カーソルが設定選択に移動します。

5 **上下シフトキーで設定項目を選択する。**

6 **決定キーを押す。**

選択した部分が編集できるようになります。

7 **左右シフトキーで設定値を選択するか、数字キーで数値を入力する。**

8 **決定キーを押す。**
設定内容が決定されます。

9 **必要に応じて、手順 5 ～ 8 を繰り返す。**

10 **戻るキーを押す。**
出力系統選択に戻ります。

11 **(ユニットが EX1 ～ 3 の場合のみ)手順 3 ～ 10 を繰り返して、すべての出力系統について設定する。**

12 **戻るキーを押す。**
ユニット選択に戻ります。

13 **(ユニットが EX1 ～ 3 の場合のみ)手順 1 ～ 12 を繰り返して、すべてのユニットについて設定する。**

■ 音声出力設定詳細表示（1-5-6-2-1）

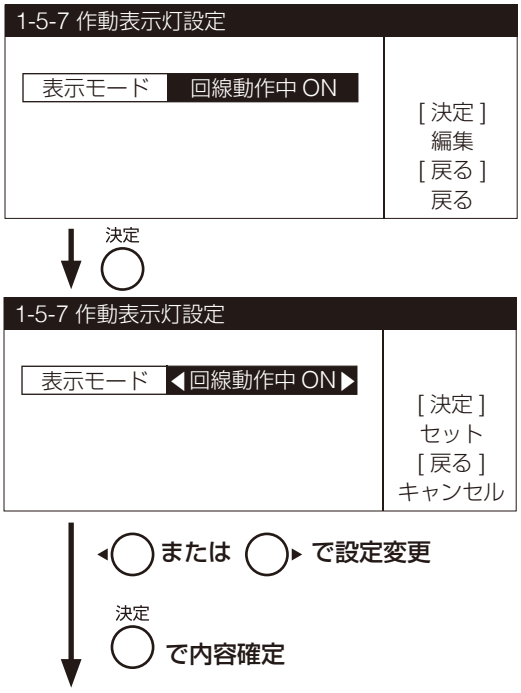
使用しません。

■ 作動表示灯設定（1-5-7）

放送階選択スイッチの作動表示灯の点灯方法を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
表示モード*	作動表示灯の点灯方法を設定。	回線動作中 ON、通常	回線動作中 ON

* 表示モードの設定による具体的な動作の違いについては、別冊の操作説明書「グループ放送」をお読みください。



「1-5 業務放送設定」(P. 90) で「7 作動表示灯設定」決定時

1 **決定キーを押す。**

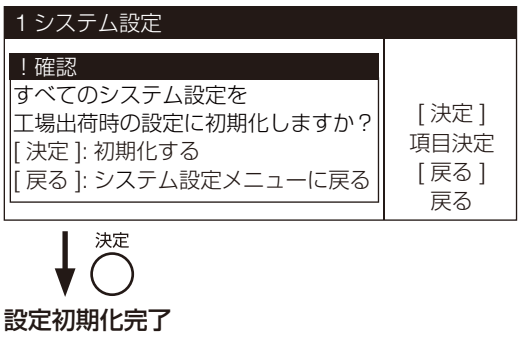
編集できるようになります。

2 **左右シフトキーで設定を変更する。**

3 **決定キーを押す。**
設定内容が決定されます。

■ 設定初期化（1-6）

FS-2500 本体の設定データを初期設定に戻すことができます。



「1 システム設定」(P. 15) で「6 設定初期化」決定時

確認画面が表示されます。

手順：決定キーを押す。
システム設定のすべての設定内容が初期設定になります。

ご注意
決定キーを押すとすぐに初期設定に変わり、放送中の場合は放送が停止します。

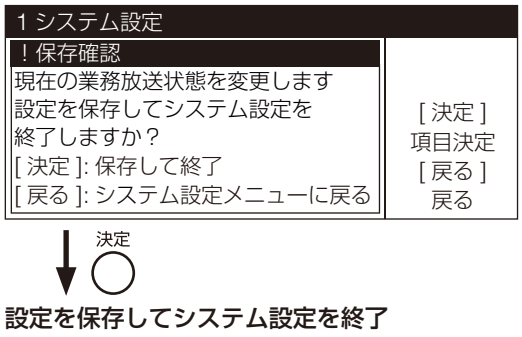
■ システム設定の終了（1-7）

システム設定が完了したら、設定した内容を保存して終了します。

ご注意

設定した内容を保存する、しないに関わらず、以下のシステム設定終了の操作を行って、「業務 RM 音声入力接続先が正しくありません。」と表示されたときは、「1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続」（P. 61）に戻って、接続先を設定し直してください。

[編集内容を保存してシステム設定を終了する]



設定を保存してシステム設定を終了

「1 システム設定」（P. 15）で「7 システム設定の終了」決定時

保存確認画面が表示されます。

手順：決定キーを押す。

システム設定の編集内容を保存してシステム設定を終了します。

ご注意

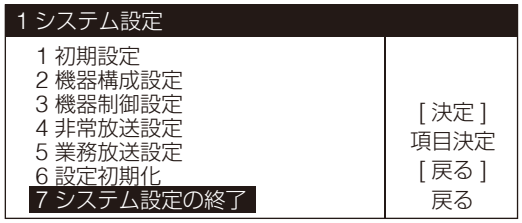
業務放送に関わる設定の変更を保存すると、放送中の業務放送が停止します。

設定が終わったら…

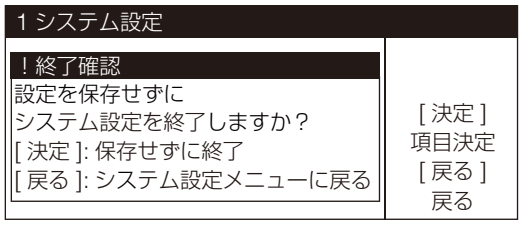
- 「2-1 自己診断」（P. 105）を行い、異常がないか、確認してください。
- 「2-2-4 設定・音源データ保存（EP → SD）」（P. 110）を行い、非常用操作パネル FS-2500EP に挿入された SD カードに FS-2500EP の設定データ、音源データを保存してください。

[編集内容を保存せずにシステム設定を終了するには…]

「1 システム設定」（P. 15）で「7 システム設定の終了」を選択した後、決定キーを押さずに、次のように操作します。



1 **戻るキーを押す。**



終了確認画面が表示されます。

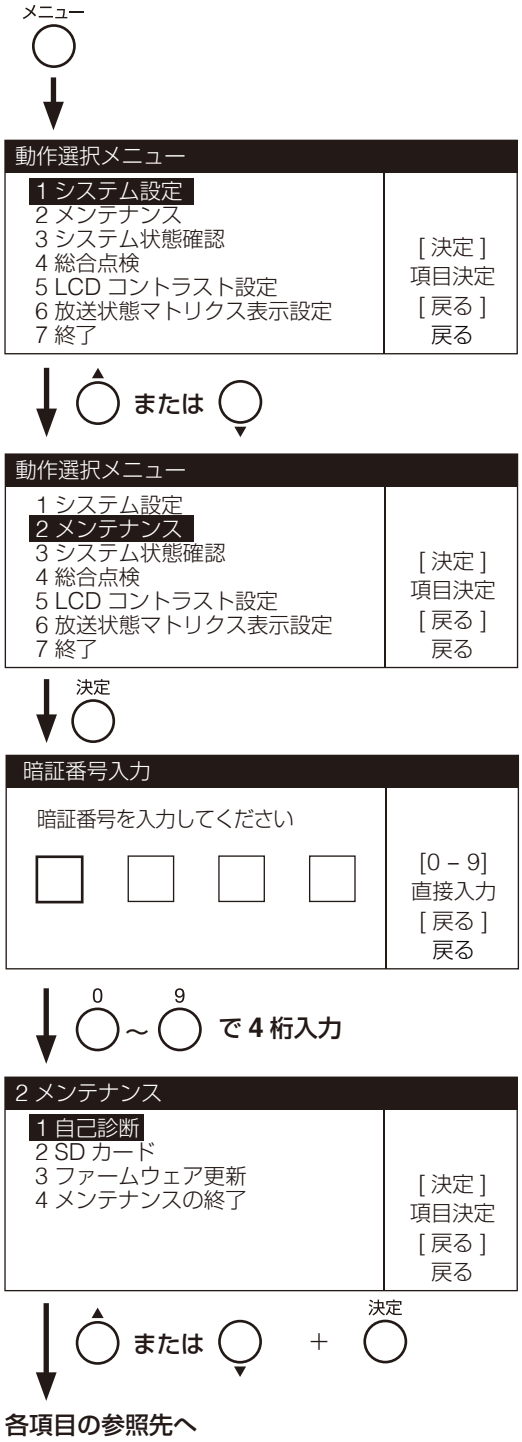
2 **決定キーを押す。**

システム設定の編集内容を保存せずに、システム設定を終了します。

設定を保存せずにシステム設定を終了

メンテナンス

■ メンテナンスモードに入る



1 **メニューキーを押す。**

2 **「2 メンテナンス」を選択し、決定する。**

3 **4 桁の暗証番号を入力する。**

初期設定：5555

4 **メニュー項目を選択し、決定する。**

項目	参照先
1 自己診断	P. 105（2-1）
2 SD カード	P. 107（2-2）
3 ファームウエア更新	P. 113（2-3）
4 メンテナンスの終了	P. 113（2-4）

■ 自己診断（2-1）

蓄電池点検やアンプ点検など、1 日 1 回の定期点検で行う内容を個別に確認できます。また、定期点検の開始時刻を設定します。
点検項目および設定項目は以下のとおりです。

点検項目	点検内容
全体確認	システムに異常がないか確認。
接続確認	機器の接続が正常に行われているか確認。
蓄電池点検	電源パネルの蓄電池の確認。
アンプ点検	アンプに異常がないか確認。

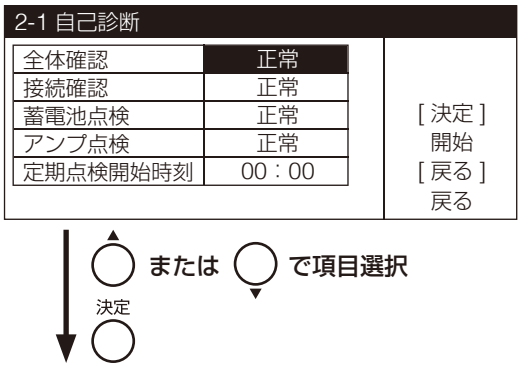
設定項目	設定内容	設定範囲	初期設定
定期点検開始時刻	1 日 1 回行う定期点検の開始時刻を設定。	00：00 ～ 23：59（1 分単位）	00：00

● 点検のしかた

以下の操作により、定期点検で行う内容を手動で個別に確認できます。

ご注意

点検は放送停止中に行ってください。



「2 メンテナンス」（P. 104）で「1 自己診断」決定時

1 **上下シフトキーで点検項目を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

選択した項目の点検が開始されます。

● 異常があったとき

- 点検の結果、異常があったときは異常表示灯が点滅し、異常警告音が鳴ります。
- CPU に異常があったときは RUN 表示灯が点灯または消灯し続けます。
- 異常警告音を停止させるには、異常音停止スイッチを押します。
- 異常音停止スイッチを押すと、異常表示灯の点滅が停止し、液晶画面に異常の内容が表示されます。ただし、異常が複数発生したときは、最新の異常のみ表示されます。

重　要

機器がいつでも正常に動作するように、点検を必ず実施してください。
異常が発生したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

ご注意

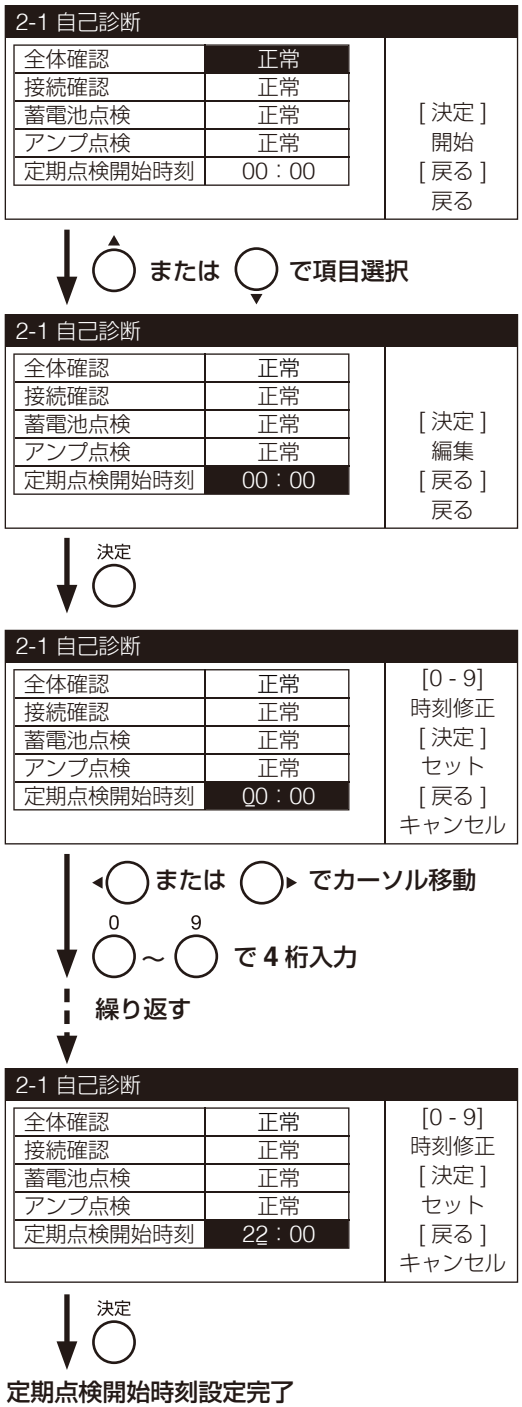
蓄電池の寿命は 4 年です。使用状態にかかわらず、これを過ぎると停電中の放送に問題を起こす恐れがあります。点検時のエラー発生の有無にかかわらず、すみやかに販売店または保守契約店へ連絡してください。
蓄電池の交換およびリサイクルについては別冊の設置説明書または操作説明書の「ニカド電池の交換について」「ニカド電池のリサイクルについて」をお読みください。

● 定期点検開始時刻を設定する

1 日 1 回行う定期点検の開始時刻を設定します。

ご注意

- 「1-1-1 時刻設定」（P. 16）で、時刻を正しく設定してください。
- 放送中に定期点検開始時刻になった場合は、放送停止後に定期点検を行います。
- 定期点検中に放送が開始された場合は、即座に点検が中止され、正確な点検が行えません。定期点検開始時刻は放送を行わない時刻に設定してください。



「2 メンテナンス」（P. 104）で「1 自己診断」決定時

1 上下シフトキーで「定期点検開始時刻」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソル位置を示すアンダーバーが表示され、時刻が変更できるようになります。

3 左右シフトキーでカーソルを移動させ、数字キーで時刻を入力する。

ご注意

無効な数値は入力できません。

4 手順 3 を繰り返し、変更が必要な部分すべてに数値を入力する。

5 決定キーを押す。

入力した定期点検時刻が設定されます。

■ SD カード（2-2）

SD カードを使用して各種データの読み込み／保存を行います。また、FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）と SD カード間での設定データの内容を比較します。
実施できる項目は以下のとおりです。

実施項目	実施内容
設定データ更新（SD → EP）	SD カードから FS-2500EP へ設定データを読み込みます。
設定･音源データ更新（SD → EP）	SD カードから FS-2500EP へ設定データと音源データを読み込みます。
設定データ保存（EP → SD）	FS-2500EP の設定データを SD カードに保存します。
設定･音源データ保存（EP → SD）	FS-2500EP の設定データと音源データを SD カードに保存します
履歴データ保存（EP → SD）	FS-2500EP の履歴データを SD カードに保存します。
設定データ比較（SD ⇔ EP）	FS-2500EP と SD カードの設定データと音源情報データの内容を比較します。

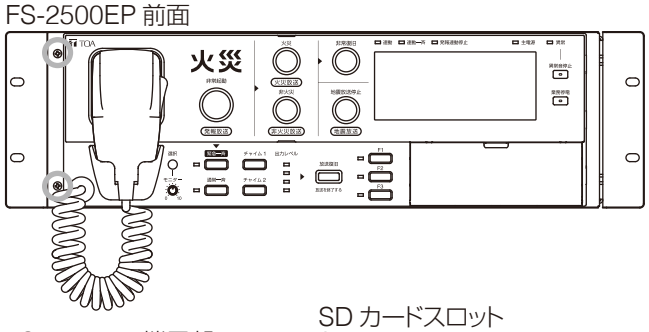
ご注意

- SD カード内には本操作で扱う以外のデータは保存しないでください。容量不足となる恐れがあります。
- SD カードのアクセス中にリセットや SD カードの挿抜をしないでください。
  故障の原因となる恐れがあります。
- 付属の SD カードを使用してください。

● SD カードの挿入のしかた

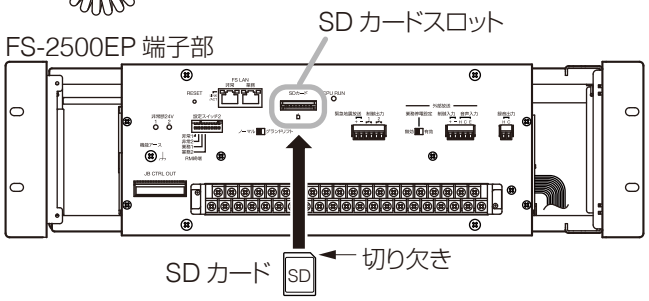
1 **FS-2500EP 前面のねじ 2 本を外して、扉を開く。**

FS-2500EP 前面



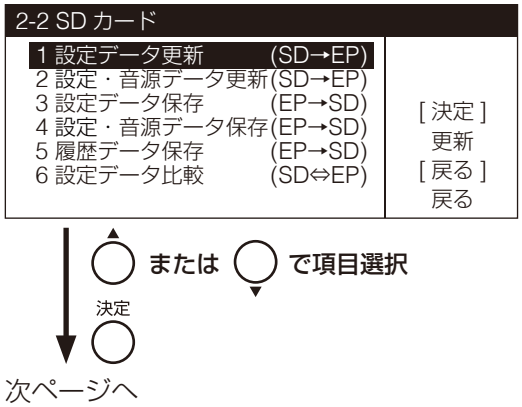
2 **FS-2500EP 端子部の SD カードスロットに SD カードを挿入する。**

SD カードのラベル面を上にし、切り欠きを右にして挿入してください。



■ 設定データ更新（SD → EP）（2-2-1）

SD カード内から FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）へ設定データを読み込みます。



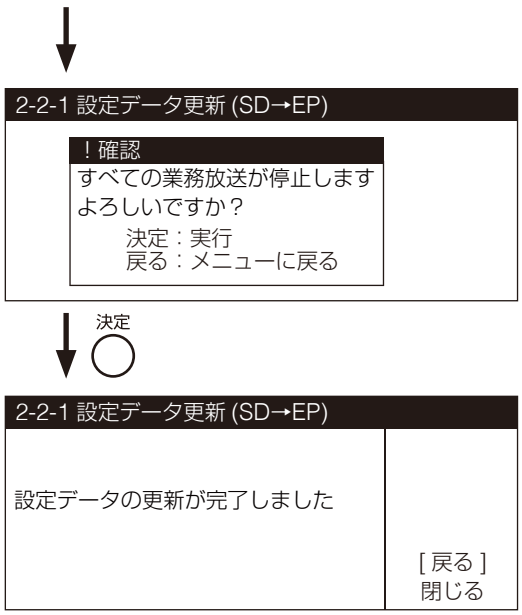
次ページへ

「2 メンテナンス」（P. 104）で「2 SD カード」決定時

1 **上下シフトキーで「1 設定データ更新（SD → EP）」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

前ページから



確認画面が表示されます。

3 **決定キーを押す。**

設定データの更新が始まります。

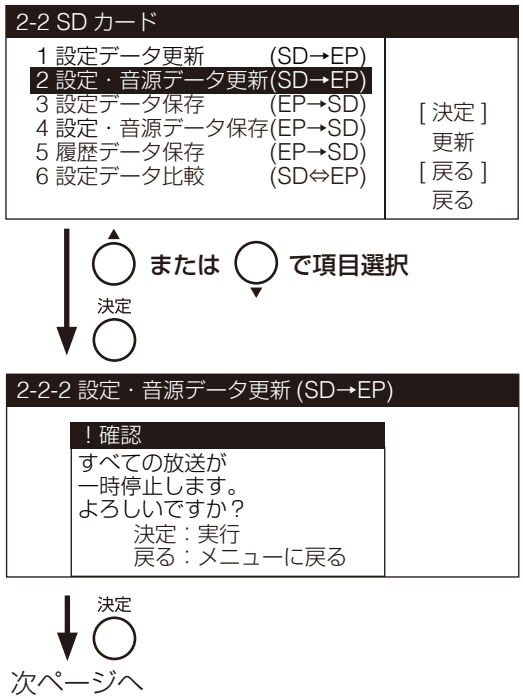
更新が完了すると、更新完了画面が表示されます。

■ 設定・音源データ更新（SD → EP）（2-2-2）

SD カード内から FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）へ設定データと音源データを読み込みます。

ご注意

- 設定・音源データ更新はシステム構成により 10 分～数時間程度かかります。その間は非常放送を含む放送が一切行えません。また、非常用リモコンおよび業務用リモコンとのデータ通信が停止するため、両リモコンに通信異常の表示がされます。
- 更新する設定データ上の FS-2500EX の機器構成と、実際に接続されている FS-2500EX の機器構成を合わせた状態で設定・音源データ更新を行ってください。FS-2500EX の機器構成が合っていないと、音源データの更新が正しく行えません。



次ページへ

「2 メンテナンス」（P. 104）で「2 SD カード」決定時

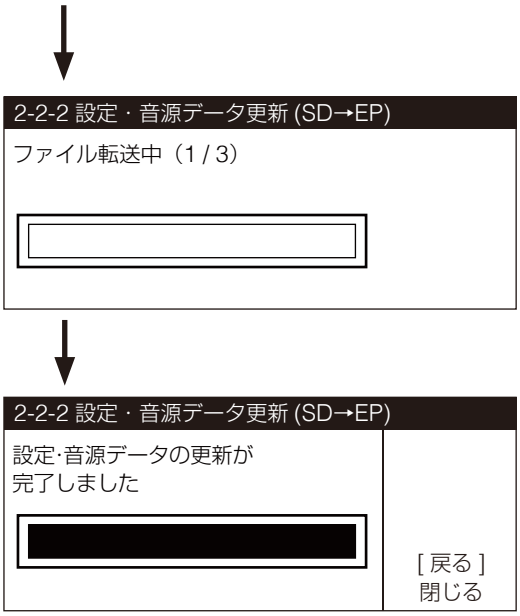
1 **上下シフトキーで「2 設定・音源データ更新 (SD → EP)」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

確認画面が表示されます。

3 **決定キーを押す。**

前ページから



ファイル転送が開始されます。

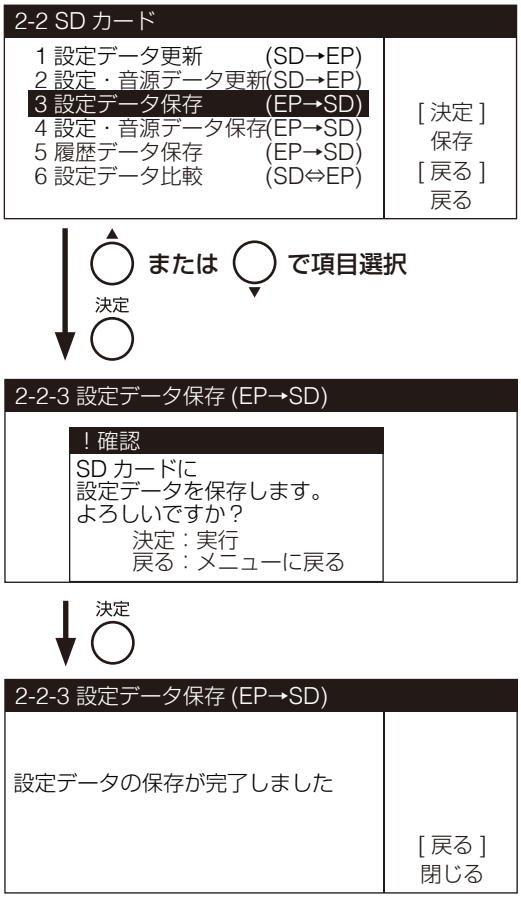
更新が完了すると、更新完了画面が表示されます。

※ エラーメッセージが表示された場合は、以下のように対応してください。

	エラーメッセージ	対応方法
①	SD カードが入っていません	SD カードを挿入してください。
②	内蔵音源の更新に失敗しました	もう一度やり直してください。
③	必要な音源データが不足しています	設定支援ソフトウェアで設定・音源データをもう一度アップロードしてください。
④	サポート外データがあります	

■ 設定データ保存（EP → SD）（2-2-3）

FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）の設定データを SD カードに保存します。



「2 メンテナンス」（P. 104）で「2 SD カード」決定時

1 **上下シフトキーで「3 設定データ保存（EP → SD)」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

確認画面が表示されます。

3 **決定キーを押す。**

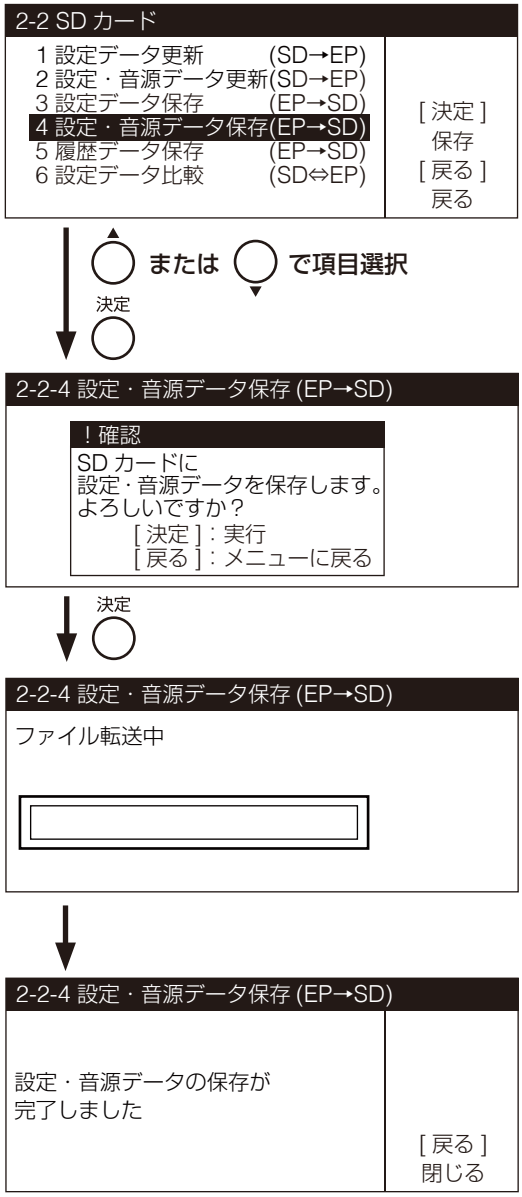
保存が完了すると、保存完了画面が表示されます。

■ 設定・音源データ保存（EP → SD）（2-2-4）

FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）の設定データと音源データを SD カードに保存します。

ご注意

設定・音源データ保存はシステム構成により 10 分～数時間程度かかります。その間は非常放送を含む放送が一切行えません。また、非常用リモコンおよび業務用リモコンとのデータ通信が停止するため、両リモコンに通信異常の表示がされます。



「2 メンテナンス」（P. 104）で「2 SD カード」決定時

1 **上下シフトキーで「4 設定・音源データ保存 (EP → SD)」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

確認画面が表示されます。

3 **決定キーを押す。**

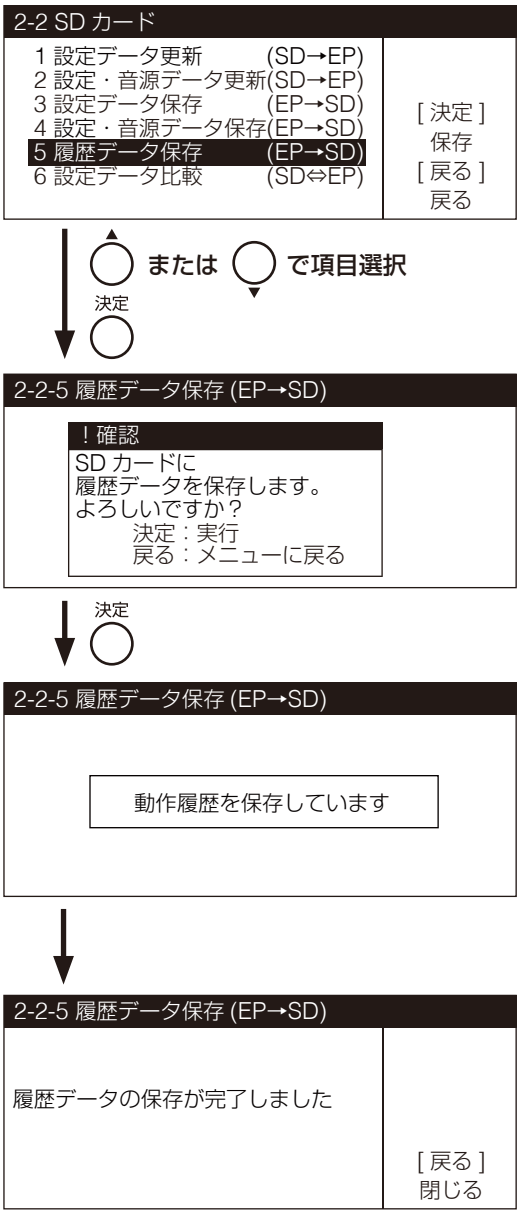
ファイル転送が開始されます。

保存が完了すると、保存完了画面が表示されます。

■ 履歴データ保存（EP → SD）（2-2-5）

FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）の履歴データを SD カードに保存します。
メニューから行う方法と設定スイッチで行う方法があります。

[メニューから行う方法]



「2 メンテナンス」（P. 104）で「2 SD カード」決定時

1 **上下シフトキーで「5 履歴データ保存（EP → SD)」を選択する。**

2 **決定キーを押す。**

確認画面が表示されます。

3 **決定キーを押す。**

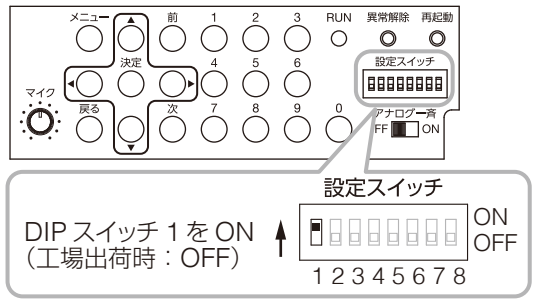
履歴データ保存中画面が表示されます。

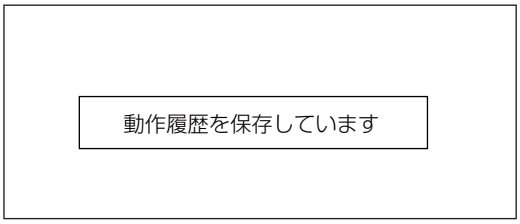
保存が完了すると、保存完了画面が表示されます。

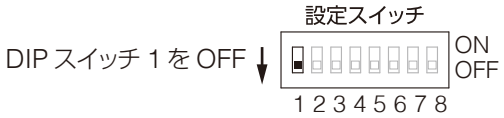
[設定スイッチで行う方法]

非常用操作パネル FS-2500EP 設定操作部の設定スイッチを使用して、履歴データを SD カードに保存することができます。

FS-2500EP 設定操作部







1 設定スイッチの DIP スイッチ 1 を ON にする。

このタイミングで履歴データが SD カードに保存されます。

メ　モ

設定スイッチが電源起動時に ON の状態であった場合は、保存されません。この場合は、一度 OFF にして再度 ON にしたタイミングで保存されます。

履歴データ保存中画面が表示されます。

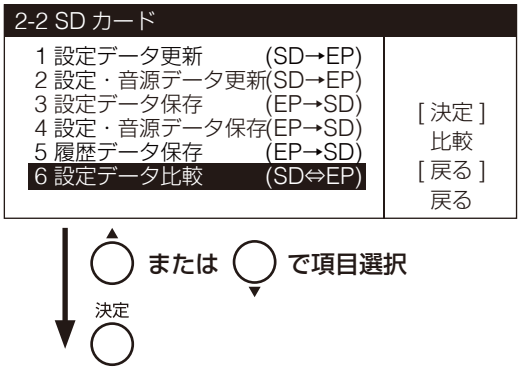
2 履歴データ保存中画面が消えてから、設定スイッチの DIP スイッチ 1 を OFF に戻す。

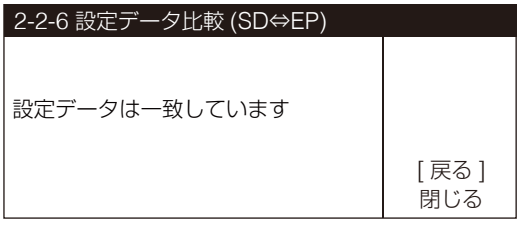
ご注意

履歴データを保存した後は、必ず DIP スイッチ 1 を OFF に戻してください。

■ 設定データ比較（SD ⇔ EP）（2-2-6）

FS-2500 本体（非常用操作パネル FS-2500EP）と SD カードの設定データおよび音源情報データの内容を比較します。





「2 メンテナンス」（P. 104）で「2 SD カード」決定時

1 上下シフトキーで「6 設定データ比較（EP ⇔ SD)」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認結果画面が表示されます。

左の画面は、設定データおよび音源情報データが一致しているときのものです。

※ エラーメッセージが表示された場合は、以下のように対応してください。

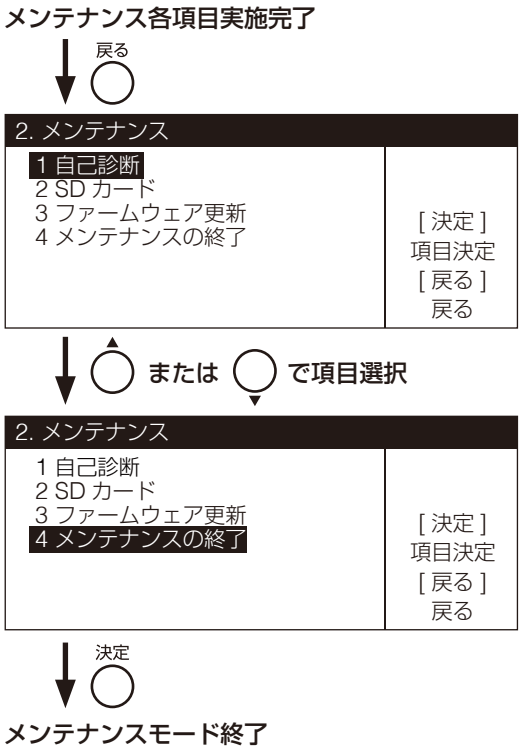
	エラーメッセージ	対応方法
①	SD カードが入っていません	SD カードを挿入してください。
②	設定データは一致していません	必要に応じて、設定データの保存・更新を行ってください。
③	設定データがありません	設定支援ソフトウェアで設定・音源データをもう一度アップロードしてください。
④	SD カードのファイルが開けません	

■ ファームウェア更新（2-3）

通常はこの機能を使用する必要はありません。
ファームウェアのアップデートについては当社営業所にお問い合わせください。

■ メンテナンスの終了（2-4）

各項目を実施後、メンテナンスモードを終了するときは、以下のように操作します。



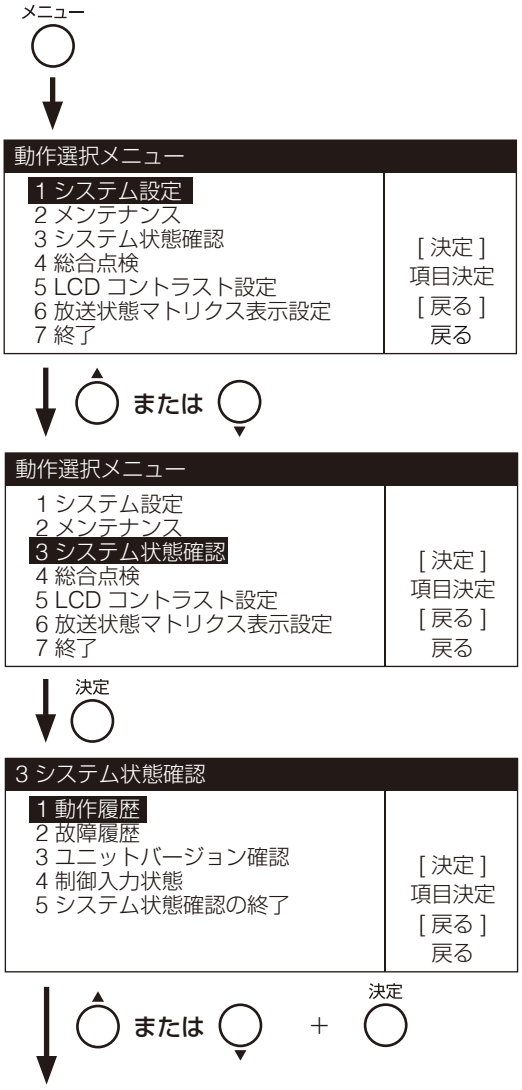
1 **メンテナンス各項目を実施後、戻るボタンを押す。**
メンテナンスメニューが表示されます。

2 **上下シフトキーで「4 メンテナンスの終了」を選択する。**

3 **決定キーを押す。**
メンテナンスモードが終了します。

システム状態確認

■ システム状態確認を始める



1 **メニューキーを押す。**

2 **「3 システム状態確認」を選択し、決定する。**

3 **メニュー項目を選択し、決定する。**

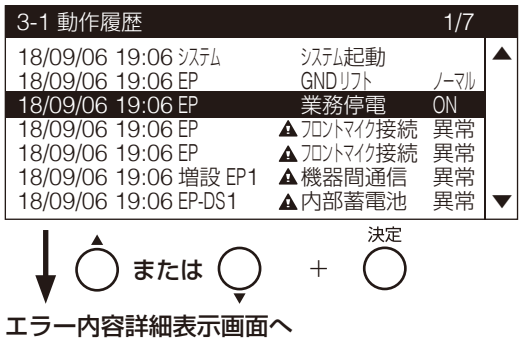
項目	参照先
1 動作履歴	P. 115（3-1）
2 故障履歴	P. 115（3-2）
3 ユニットバージョン確認	P. 116（3-3）
4 制御入力状態	P. 117（3-4）
5 システム状態確認の終了	P. 117（3-5）

■ 動作履歴（3-1）

システムの動作履歴を確認することができます。動作履歴は 30000 件まで保存できます。
動作履歴が 30000 件を超えた場合、古い履歴から上書きされていきます。

ご注意

- 「1-1-1 時刻設定」（P. 16）で、時刻を正しく設定しておいてください。
- FS-2500 本体で確認できるのは、電源投入後からの履歴のみです。
  電源投入前の履歴は、設定支援ソフトウェアを使用して、履歴ファイル表示画面を確認してください。



「3 システム状態確認」（P. 114）で「1 動作履歴」決定時

動作履歴のリストが表示されます。

手順：上下シフトキーで見たい履歴にカーソルを合わせ、決定キーを押す。

詳細内容が表示されます。

メ　モ

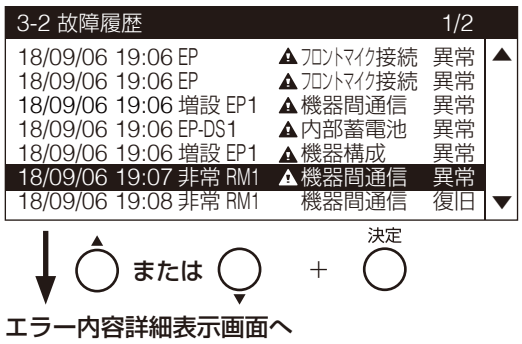
- 動作履歴のリスト表示で左右シフトキーを押すと、履歴表示が前後の 7 件に移動します。
- ⚠ アイコンは故障発生の履歴を表しています。

■ 故障履歴（3-2）

FS-2500EP の CPU によって検出されたシステムの故障履歴を確認することができます。
動作履歴（3-1）から故障履歴のみを抽出した内容が表示されます。
故障履歴は 10000 件まで保存できます。
故障履歴が 10000 件を超えた場合、古い履歴から上書きされていきます。

ご注意

- 「1-1-1 時刻設定」（P. 16）で、時刻を正しく設定しておいてください。
- FS-2500 本体で確認できるのは、電源投入後からの履歴のみです。



「3 システム状態確認」（P. 114）で「2 故障履歴」決定時

故障履歴のリストが表示されます。

手順：上下シフトキーで見たい履歴にカーソルを合わせ、決定キーを押す。

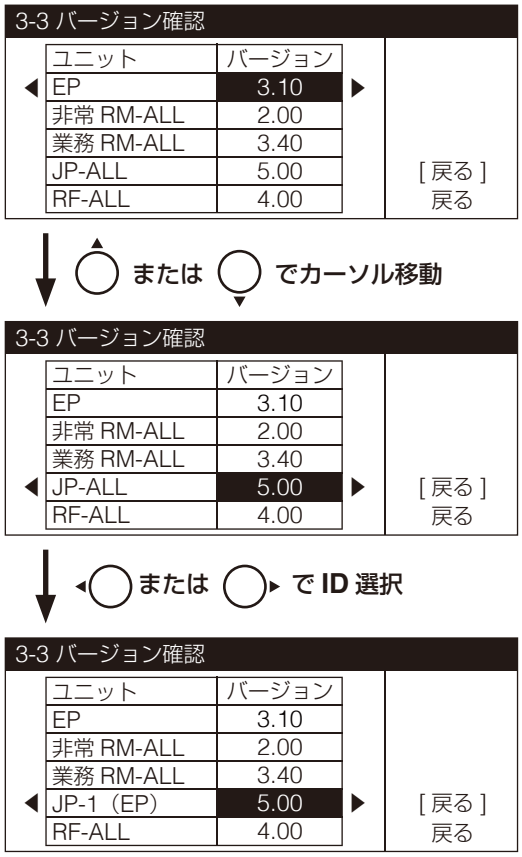
詳細内容が表示されます。

メ　モ

- 故障履歴のリスト表示で左右シフトキーを押すと、履歴表示が前後の 7 件に移動します。
- ⚠ アイコンは故障発生の履歴を表しています。

■ ユニットバージョン確認（3-3）

FS-2500EP、FS-2500PM、FS-2500EX、FS-2500RM、FS-2500RX、FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM、FS-2000RF、FS-2420JP/2110JP/2120JP および RM-500/200F/200FW のファームウェアのバージョンを確認します。



「3 システム状態確認」（P. 114）で「3 ユニットバージョン確認」決定時

バージョン確認画面（各機種のファームウェアバージョン）が表示されます。

メ　モ

- 「EP」にカーソルを合わせて、左右シフトキーを操作すると、「EX」および「PM」のバージョンも確認できます。
- 非常用リモコンやジャンクションパネルを複数台使用しているときは、上下シフトキーで「非常 RM-ALL」、「業務 RM-ALL」、「JP-ALL」、または「RF-ALL」にカーソルを合わせて、左右シフトキーで各ユニットのバージョンを確認できます。「ALL」で表示されているバージョン欄には、接続されているユニットのバージョンの中で一番新しいものが表示されます。

[画面での表示と ID（アドレススイッチ設定）の対応]

ユニット	ID
非常 RM-1	00
非常 RM-2	01
⋮	⋮
非常 RM-10	09
非常 RM-11	0A
⋮	⋮
非常 RM-16	0F

ユニット	ID
PM-1	00
PM-2	01
PM-3	02

ユニット	ID
EX-1	00
EX-2	01
EX-3	02

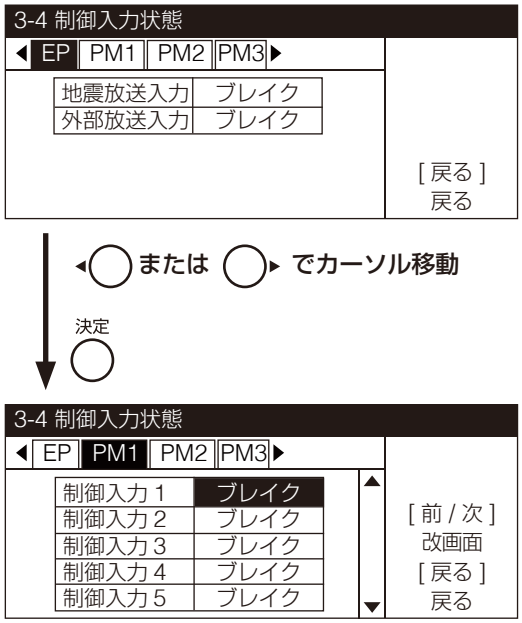
ユニット	ID
業務 RM-1	00
業務 RM-2	01
⋮	⋮
業務 RM-8	07

ユニット	ID
JP-1	00
JP-2	01
⋮	⋮
JP-8	07

ユニット	ID
RF-1	00
RF-2	01
RF-3	02
RF-4	03

■ 制御入力状態（3-4）

FS-2500EP の外部放送制御入力端子と緊急地震接点入力端子、および FS-2500PM の制御入力端子 1 ～ 20 について、現在の状態（メイク／ブレイク）を確認します。



「3 システム状態確認」（P. 114）で「4 制御入力状態」決定時

1 **左右シフトキーで、ユニットを選択する。**

例えば「PM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）のプリアンプマトリクスパネルを表します。

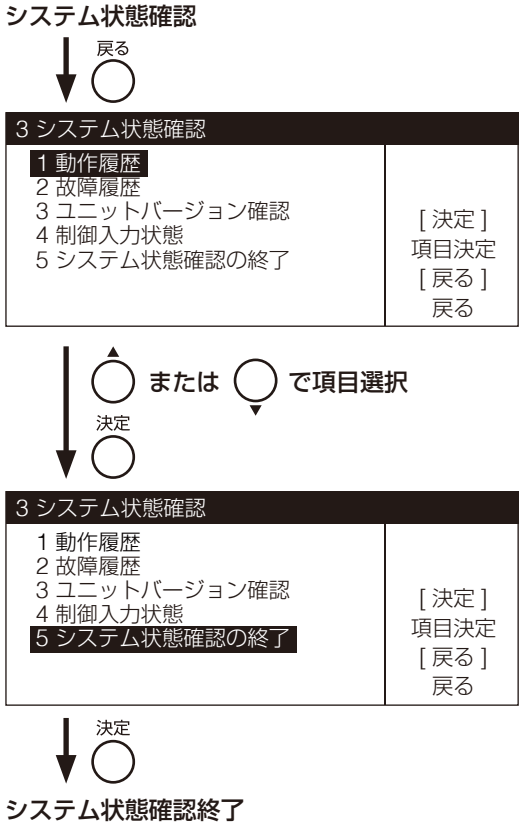
2 **決定キーを押す。**

制御入力欄にカーソルが移動します。

3 **上下シフトキーで画面表示を切り換えて確認する。**

■ システム状態確認の終了（3-5）

システム状態を確認した後、終了するときは、以下のように操作します。



1 **システム状態を確認した後、戻るボタンを押す。**

システム状態確認のメニューが表示されます。

2 **上下シフトキーで「5 システム状態確認の終了」を選択する。**

3 **決定キーを押す。**

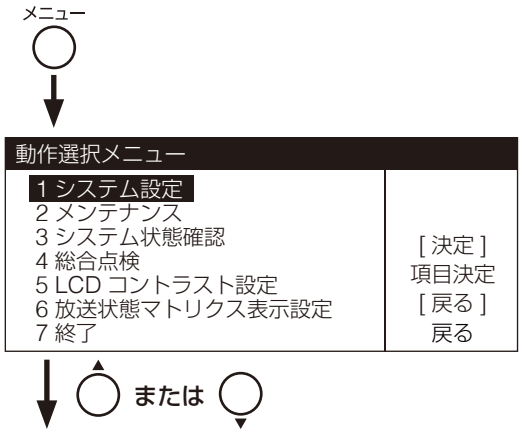
システム状態確認が終了します。

総合点検

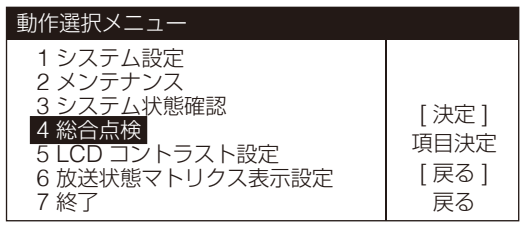
通常放送時に近い状態でシステムを動作させて、システム設定が正しくできているかを確認します。
通常放送時とは、以下の項目を設定できる点が異なります。

設定項目	内容	設定範囲	初期設定
SP 回線制御	実際にスピーカーから音声を出力するかどうかを設定。	出力しない、出力する	出力しない
非常断 24 V 制御	非常断 24 V 出力端子 1、2 からの出力を制御するかどうかを設定。	制御しない、#1 を制御、#2 を制御、#1 と #2 を制御	制御しない
状態出力	状態出力、EB 出力、および非常接点を制御するかどうかを設定。	制御しない、制御する	制御しない
点検音源	非常放送時に実際の音声警報メッセージを使用するか、動作確認用のメッセージを使用するかを設定。	確認音源、音声警報	確認音源
非常 RM モニター SP 出力	非常用リモコンのモニタースピーカーから音声を出力するかどうかを設定。	出力しない、出力する	出力しない
非常 LCD 表示	非常放送時に操作ガイドを表示するか EL、EF 信号の状態を表示するかを設定。	操作ガイド、EL 状態	操作ガイド

メニュー



または



決定

3 または

決定

次ページへ

1 **メニューキーを押す。**

2 **「4 総合点検」を選択し、決定する。**

総合点検画面が表示されます。

3 **上下シフトキーで、設定したい項目にカーソルを移動させる。**

「SP 回線制御」～「非常 LCD 表示」までで必要な項目を選択します。
設定変更の必要がないときは、**手順 8** へ進んでください。

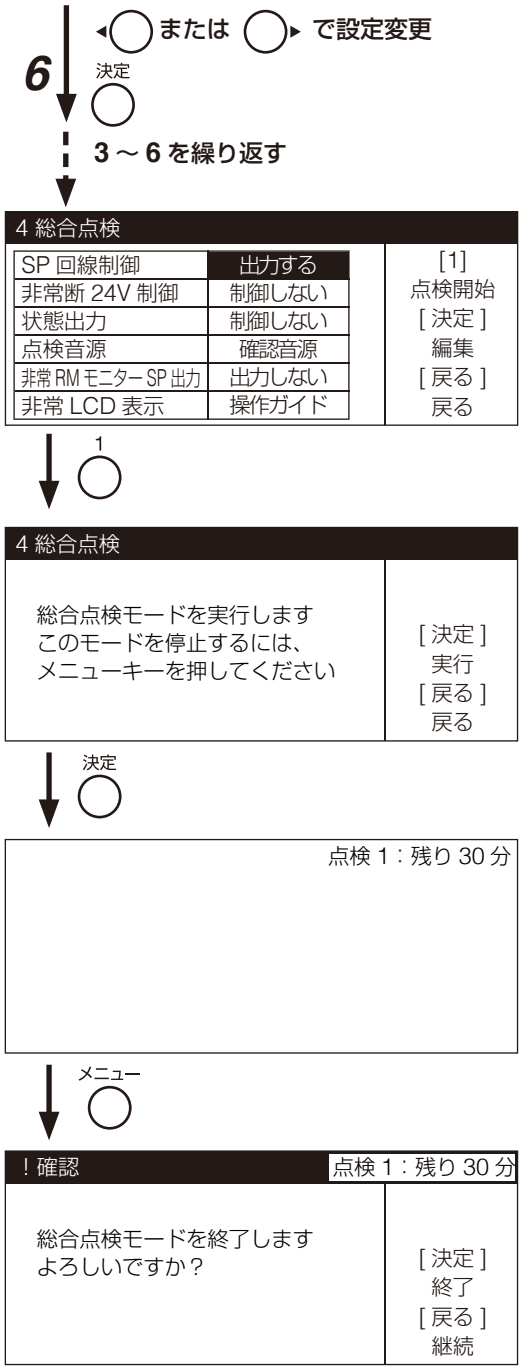
4 **決定キーを押す。**

編集できるようになります。

5 **左右シフトキーで設定を変更する。**

6 **決定キーを押す。**

前ページから



7 手順 3 ～ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

8 [1] キーを押す。

確認画面が表示されます。

9 放送が行われていないことを確認し、決定キーを押す。

システム動作確認が開始されます。

メ　モ

システム動作確認中は、画面右上に「点検 1」と点検が自動的に終了するまでの残り時間が表示されます。

10 確認が終わったら、メニューキーを押す。

確認画面が表示されます。

11 放送が行われていないことを確認し、決定キーを押す。

画面右上の「点検 1」表示が消え、システム動作確認が終了します。終了すると、「総合点検モードを終了しました」と表示されて、動作選択メニュー画面に戻ります。

ご注意

- 総合点検モードのまま放置すると通常の放送ができません。
- 無操作状態で 15 分経過すると総合点検モードの終了確認画面（「まもなく総合点検モードを自動的に終了します」のメッセージ表示）が表示されます。終了確認画面表示中に戻るキーを押すと、15 分延長することができます。操作しない状態のまま、さらに 15 分経過すると自動的に総合点検モードを終了します。

メ　モ

- FS-2500EP の操作部扉裏面にある点検音声入力を使用すると、フロントマイクの代わりに点検音声入力に接続された機器からの音声をマイク放送として放送できます。（☞ P. 185「付録：点検入力の使用方法」）
- 「非常 LCD 表示」で「EL 状態」を設定したときは、EL 信号が入力された後は EL 信号の状態が表示されます。右図のように、ON になっている EL 信号が反転して表示されます。
- 右図のような画面で、回線列は、1 つの EL に対して 1 つの個別回線が対応するときは「回線 No.」、1 つのグループ番号が対応するときは「G + グループ No.」、複数の回線・グループが対応するときは「･･･」、回線･グループが 1 つも割り当たっていないときは「---」で表示されます。

EL 状態表示　点検 1：残り 30 分

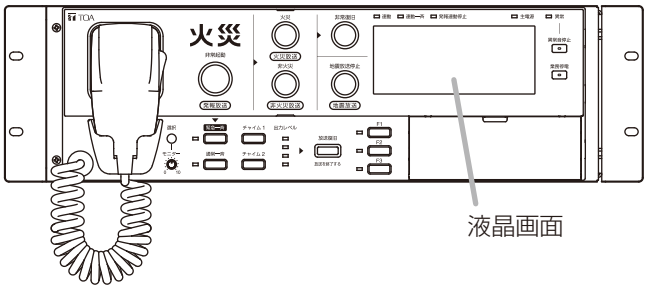
EL	回線	EL	回線	EL	回線	EL	回線
1	1	6	6	11	11	16	16
2	2	7	7	12	12	17	17
3	3	8	8	13	13	18	18
4	G 4	9	9	14	14	19	19
5	---	10	10	15	15	20	20

EF 状態：ブレイク

LCD コントラスト設定

非常用操作パネル FS-2500EP 前面の液晶画面のコントラストを 5 段階で設定できます。
工場出荷時は「標準」に設定されています。

FS-2500EP 前面



メニュー

動作選択メニュー	
1 システム設定 2 メンテナンス 3 システム状態確認 4 総合点検 5 LCD コントラスト設定 6 放送状態マトリクス表示設定 7 終了	[決定] 項目決定 [戻る] 戻る

動作選択メニュー	
1 システム設定 2 メンテナンス 3 システム状態確認 4 総合点検 5 LCD コントラスト設定 6 放送状態マトリクス表示設定 7 終了	[決定] 項目決定 [戻る] 戻る

決定

1 メニューキーを押す。

2 「5 LCD コントラスト設定」を選択し、決定する。

5 LCD コントラスト設定	
1 2 3 4 5 薄い 標準 濃い	[決定] セット [戻る] 戻る

LCD コントラスト設定画面が表示されます。

3 左右シフトキーで、設定したい濃さにカーソルを移動させる。

濃くしたいしときは右シフトキーを、薄くしたいときは左シフトキーを押して、カーソルを移動させます。

5 LCD コントラスト設定	
1 2 3 4 5 薄い 標準 濃い	[決定] セット [戻る] 戻る

決定

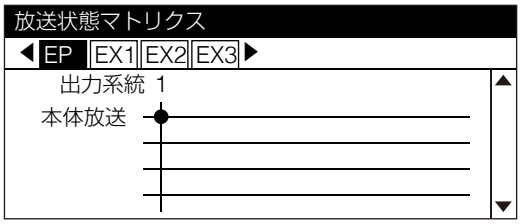
4 決定キーを押す。

LCD コントラスト設定終了

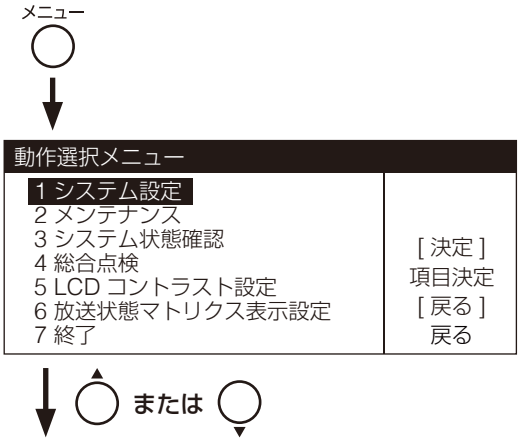
放送状態マトリクス表示設定

FS-2500EP および FS-2500RM 前面の液晶画面に放送状態マトリクスを表示するかどうか、設定します。
工場出荷時は「放送ガイド」に設定されています。
「マトリクス」に設定すると、非常放送、緊急地震放送のとき以外は、常時、放送状態マトリクスを表示します。

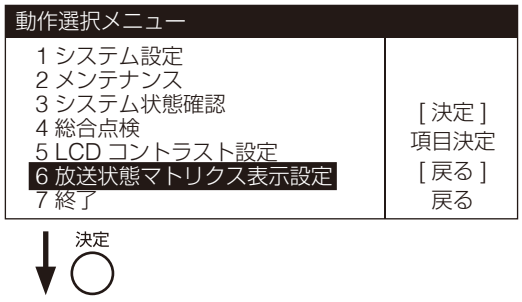
［放送状態マトリクス表示の例］



メニュー

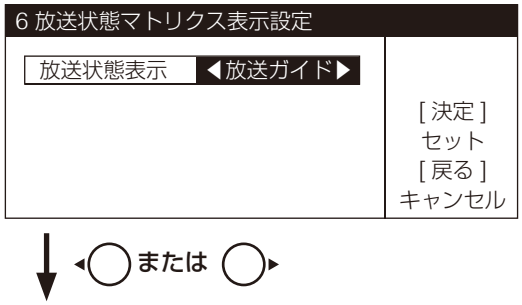


1 **メニューキーを押す。**



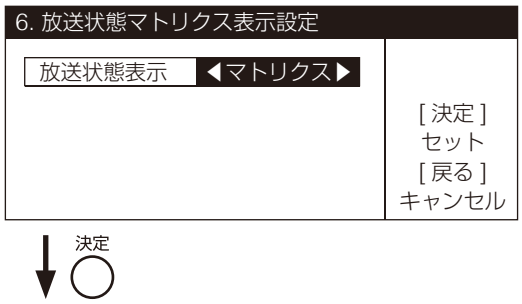
2 **「6 放送状態マトリクス表示設定」を選択し、決定する。**

決定



放送状態マトリクス表示設定画面が表示されます。

3 **左右シフトキーで、設定内容を選択する。**



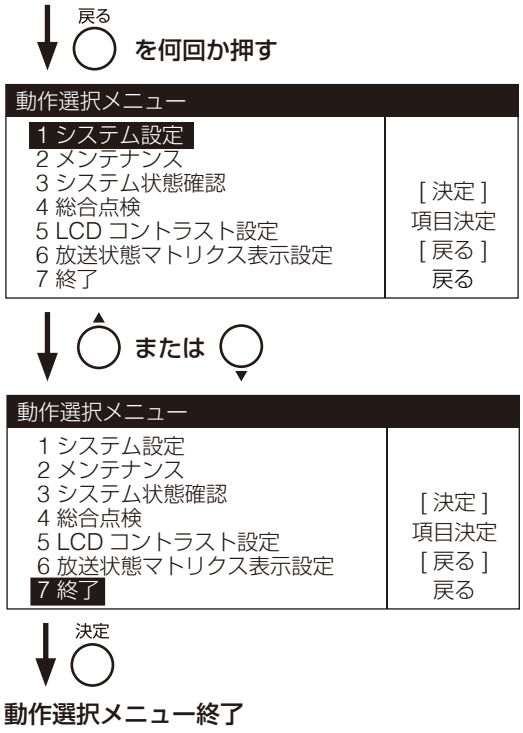
4 **決定キーを押す。**

決定

放送状態マトリクス表示設定終了

動作選択メニューの終了

動作選択メニューを終了させるには、以下のように操作してください。



1 **動作選択メニュー画面が表示されるまで、戻るキーを何回か押す。**

2 **動作選択メニュー画面が表示されたら、上下シフトキーで、「7 終了」にカーソルを移動させる。**

3 **決定キーを押す。**

動作選択メニューが終了します。

記名カードの取り付け

増設操作パネル、非常用リモコンパネルに、放送階選択スイッチおよびグループ選択スイッチの名称を記入した記名カードを取り付けます。

■ 記名カードの作成

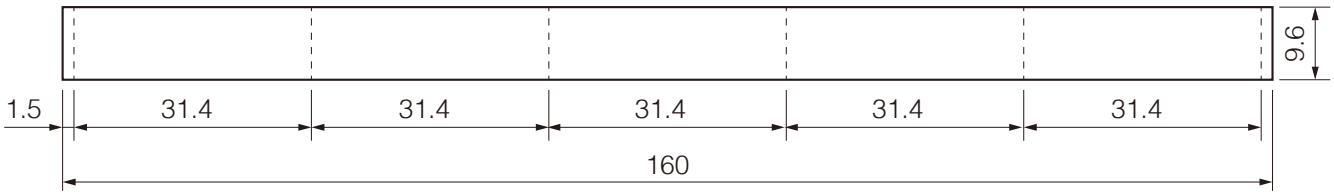
記名カードの作成方法は次の 5 通りあります。

(1) 増設操作パネルの付属品または増設操作パネルに取り付けられている記名カードを使用する。
増設操作パネルに取り付けられている場合は、取り出してください。記名カードに名称を直接記入します。

(2) 寸法図を基に、記名カードを作成する。
下図を基に記名カードを作成します。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
印刷後、はさみで切り取ってご使用ください。

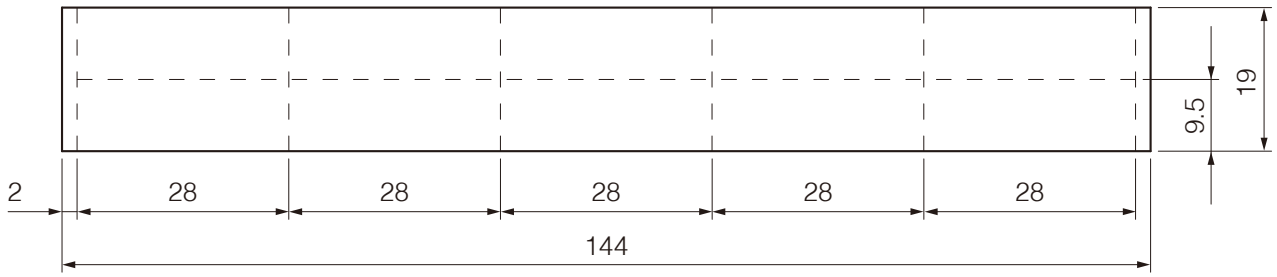
［寸法図（FS-2510EP、FS-2520EP の場合)］

単位：mm



［寸法図（FS-2010EP、FS-2020EP、FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM の場合)］

単位：mm



(3) P. 124、P. 125 の「手書き用コピー台紙（実寸)」をコピーする。
放送階選択スイッチに割り当てた名称を手書きします。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
はさみで切り取ってご使用ください。

(4) FS-2500 設定支援ソフトウェアを使用する。
FS-2500 設定支援ソフトウェアを使用して選択スイッチの名称を印刷します。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
印刷後、はさみで切り取ってご使用ください。

ご注意

パソコンの設定環境によっては、記名カードが正しい寸法で印刷されないことがあります。

(5) ラベルプリンターで記名カードを作成する。
ラベルプリンターで名称を印刷して貼り付けます。ラベルの仕様は以下のとおりです。

機種	テープ幅	長さ
FS-2510EP、FS-2520EP	9 mm 以下	30 mm 以内
FS-2010EP、FS-2020EP、FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM		27 mm 以内

[手書き用コピー台紙（FS-2510EP、FS-2520EP 専用)]

記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

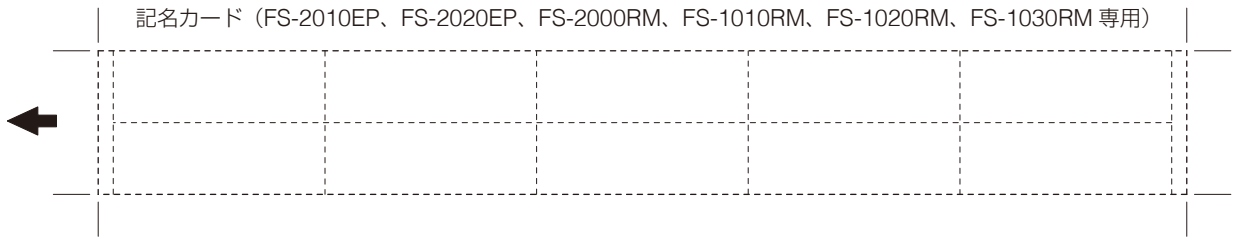
記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

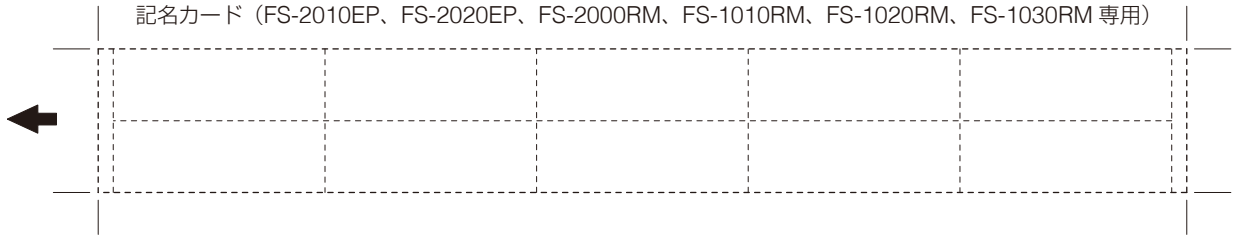
記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

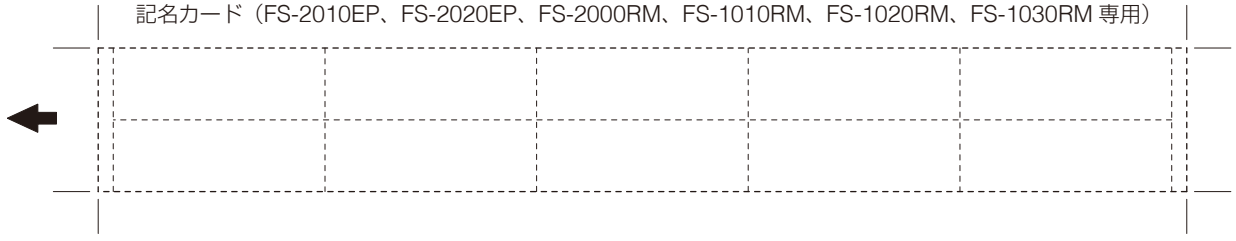
記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

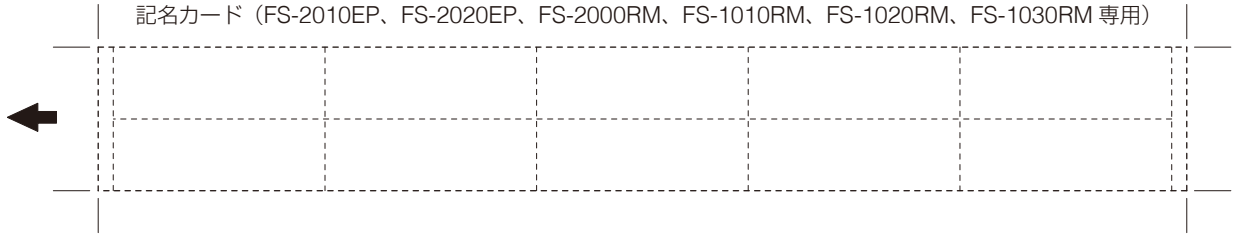
記名カード（FS-2510EP、FS-2520EP 専用）

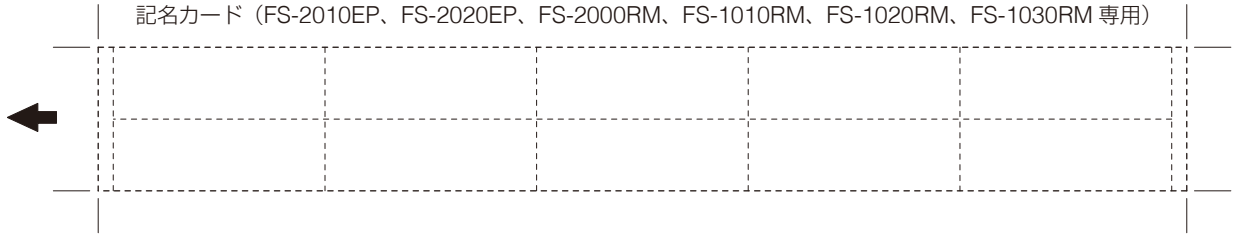
[手書き用コピー台紙(FS-2010EP、FS-2020EP、FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM 専用)]

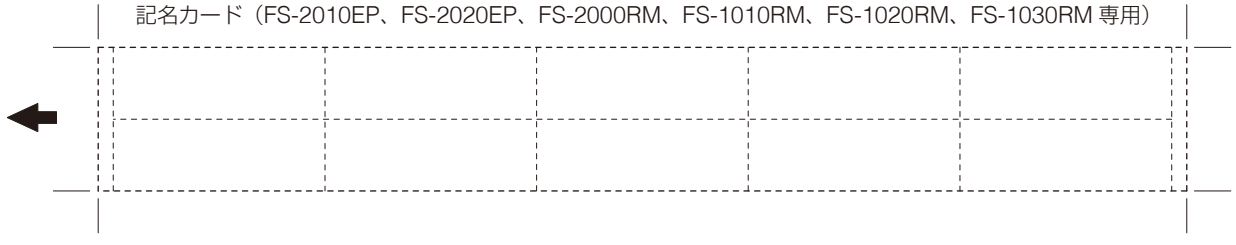


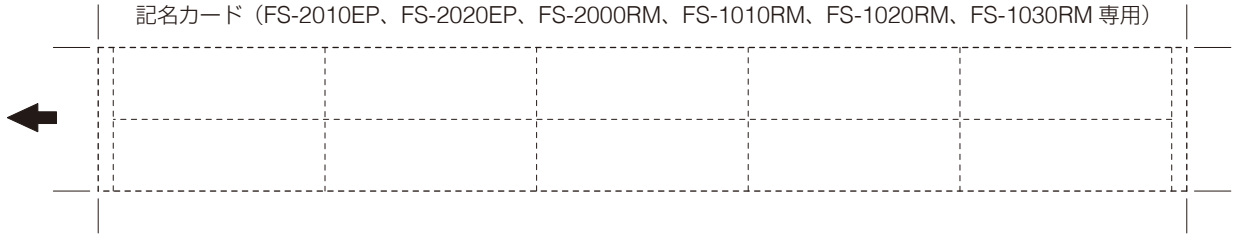










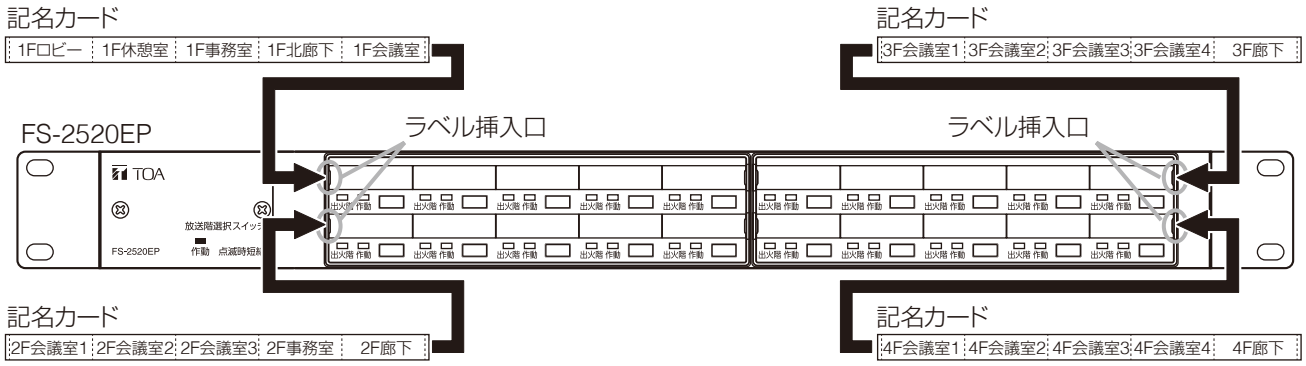


■ 記名カードの取り付け

記名カードを増設操作パネル、非常用リモコンパネルに取り付けます。

● FS-2510EP、FS-2520EP の場合

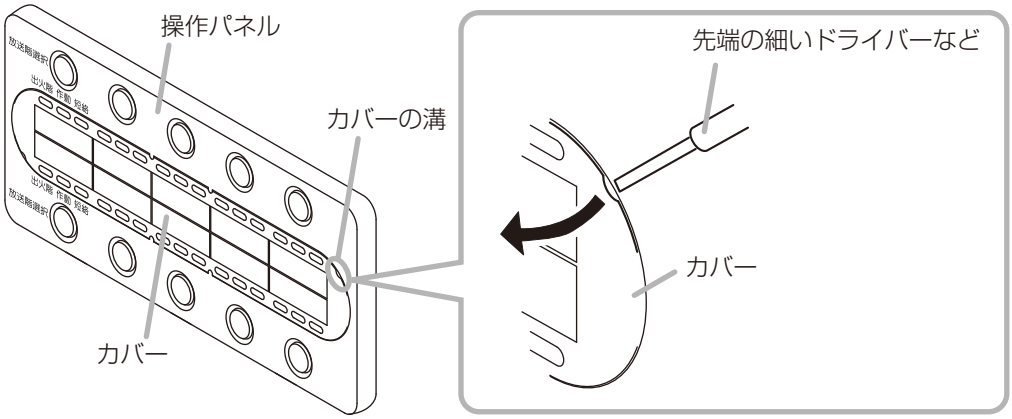
左右のラベル挿入口から記名カードを挿入します。



● FS-2010EP、FS-2020EP、FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM の場合

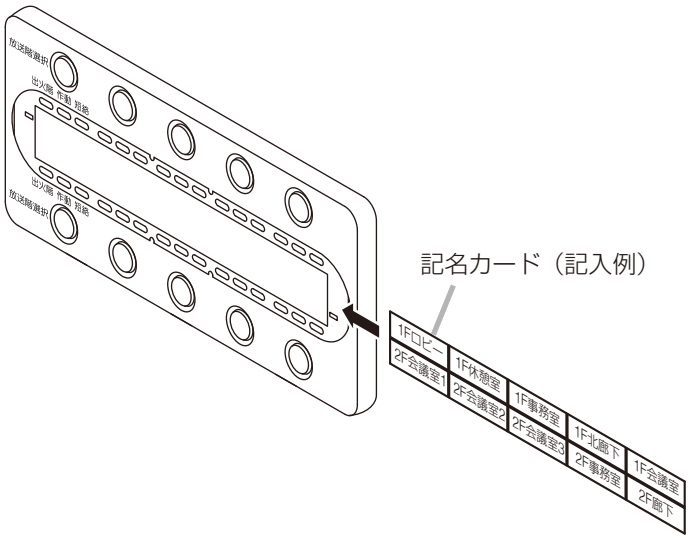
1 操作パネルのカバーを外す。

カバーをたわませて取り外します。カバーの溝にドライバーなどを入れて外すと、作業が容易に行えます。



2 記名カードを取り付ける。

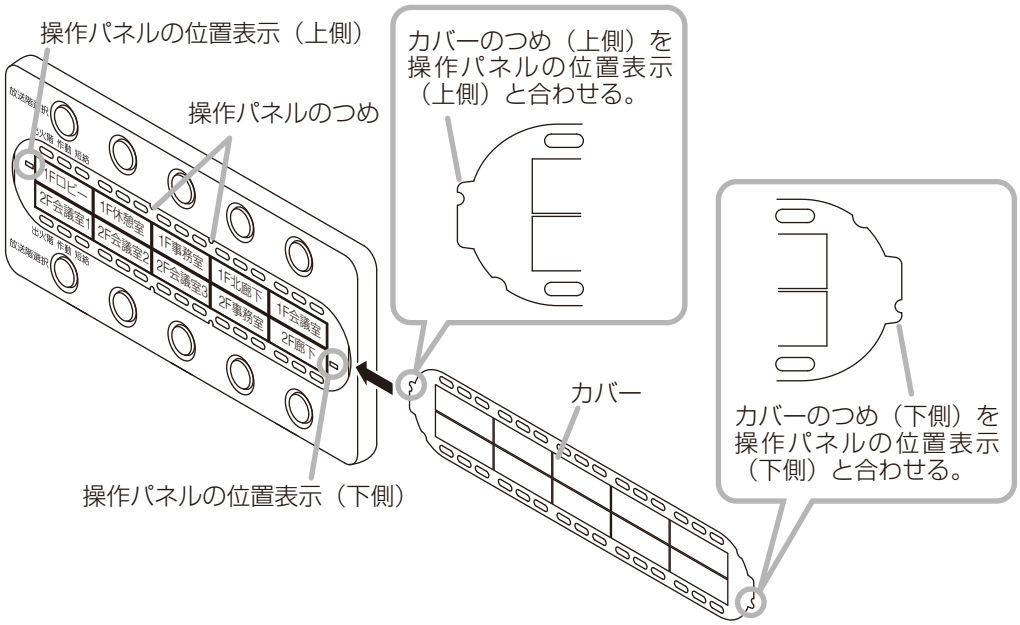
作成した記名カードを操作パネルにはめ込みます。



3 カバーを操作パネルに取り付ける。

カバーを操作パネルのつめの内側に差し込んで取り付けてください。

カバーは左右どちらからでも操作パネルに挿入できます。ただし、カバーには表裏がありますので、表裏を合わせるために、下図のようにカバー左右のつめ部分を操作パネルの位置表示と合わせて取り付けてください。



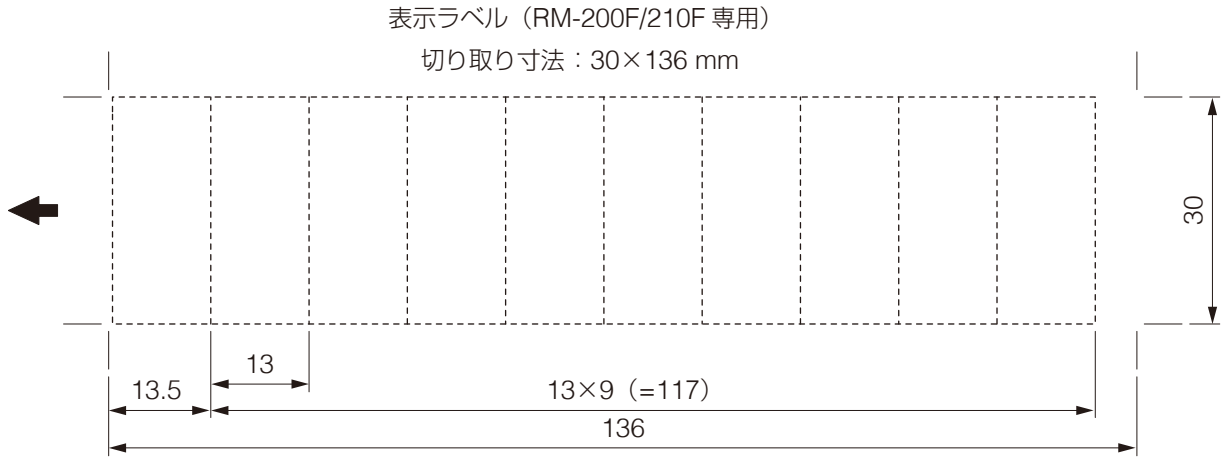
業務用リモコンの表示ラベルの取り付け

● RM-200F/210F の場合

1 次のいずれかの方法で RM-200F/210F 専用の表示ラベルを作成する。

いずれの場合も、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用し、印刷またはコピーした紙をガイドラインに合わせて切り取ってください。

1-1 下記の寸法図を基にパソコンなどで作成する。



1-2 次ページの「手書き用コピー台紙（実寸）」をコピーする。

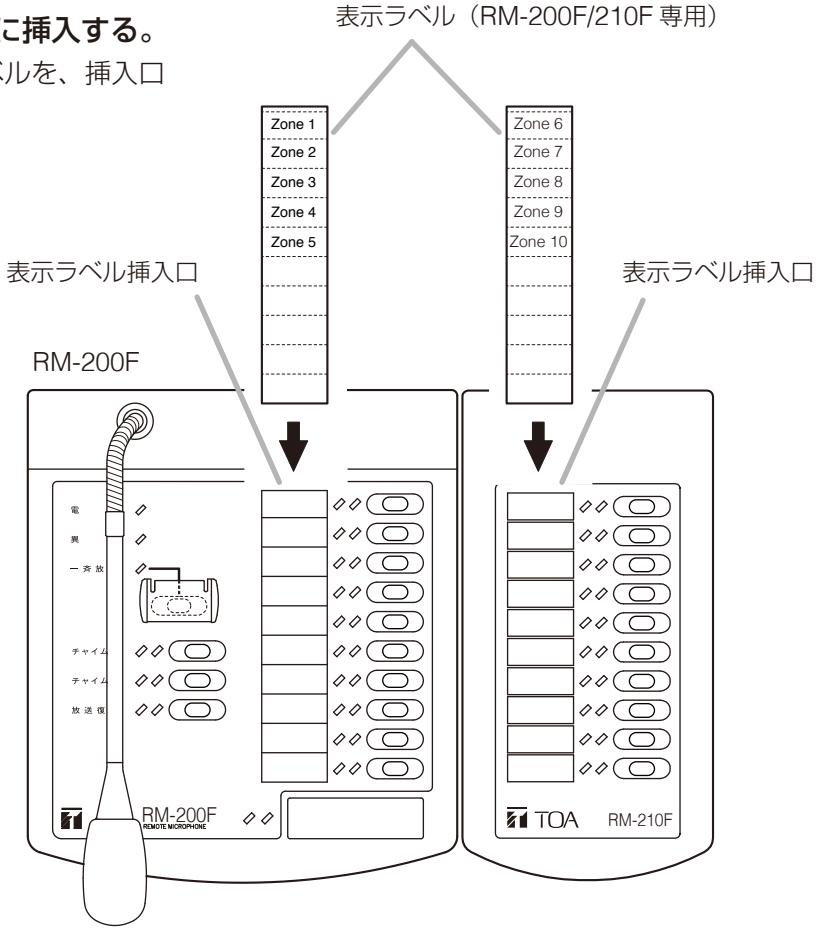
機能キーに割り当てた名称を手書きします。

1-3 FS-2500 設定支援ソフトウェアを使用する。

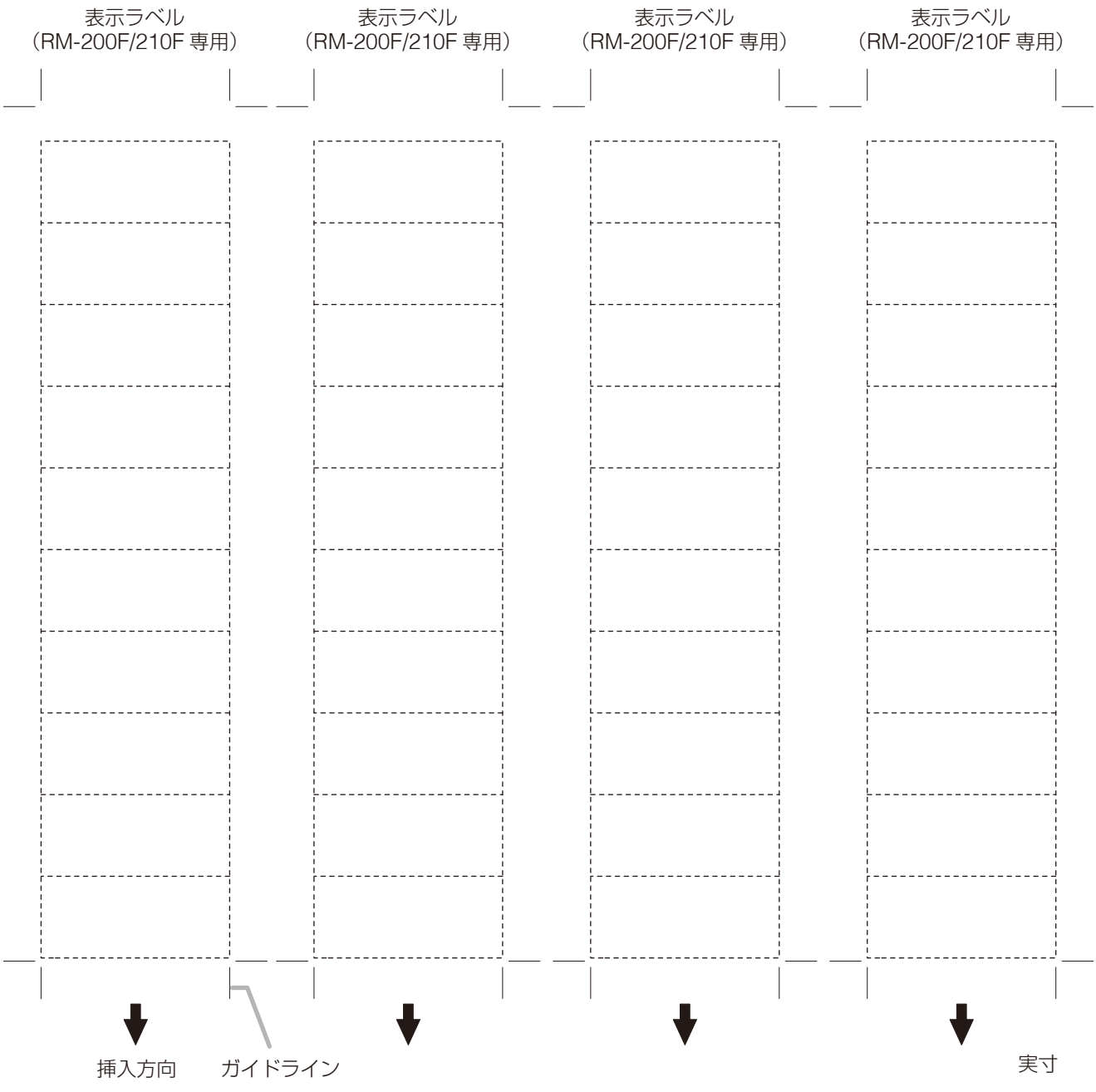
RM-200F と RM-210F の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。

2 表示ラベルを RM-200F/210F に挿入する。

指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。



[手書き用コピー台紙（RM-200F/210F 専用）]

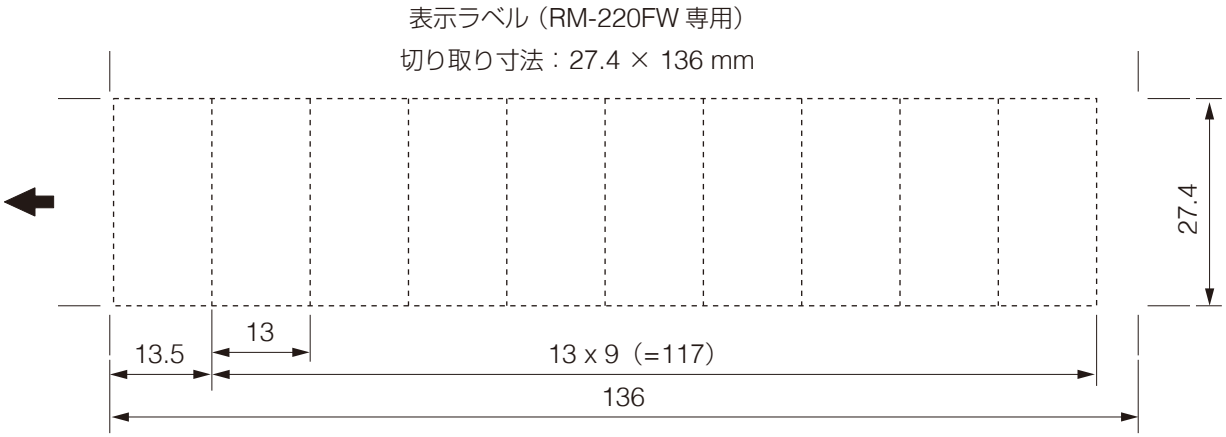


● RM-220FW の場合

1 次のいずれかの方法で RM-220FW 専用の表示ラベルを作成する。

いずれの場合も、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用し、印刷またはコピーした紙をガイドラインに合わせて切り取ってください。

1-1 下記の寸法図を基にパソコンなどで作成する。



1-2 次ページの「手書き用コピー台紙（実寸）」をコピーする。

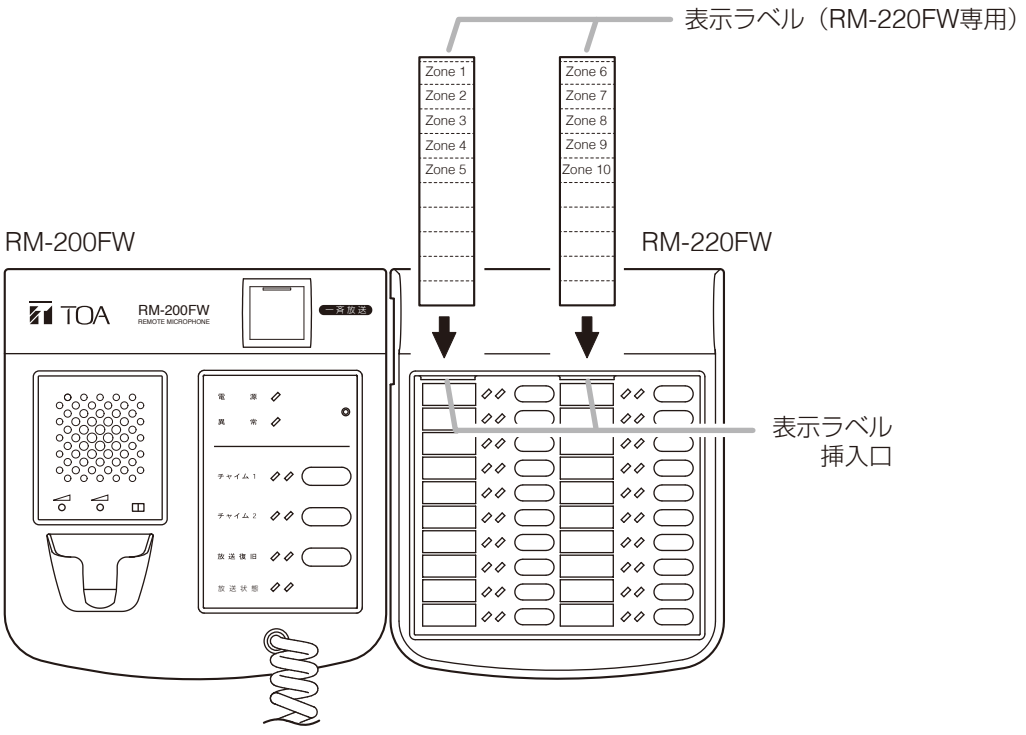
機能キーに割り当てた名称を手書きします。

1-3 FS-2500 設定支援ソフトウェアを使用する。

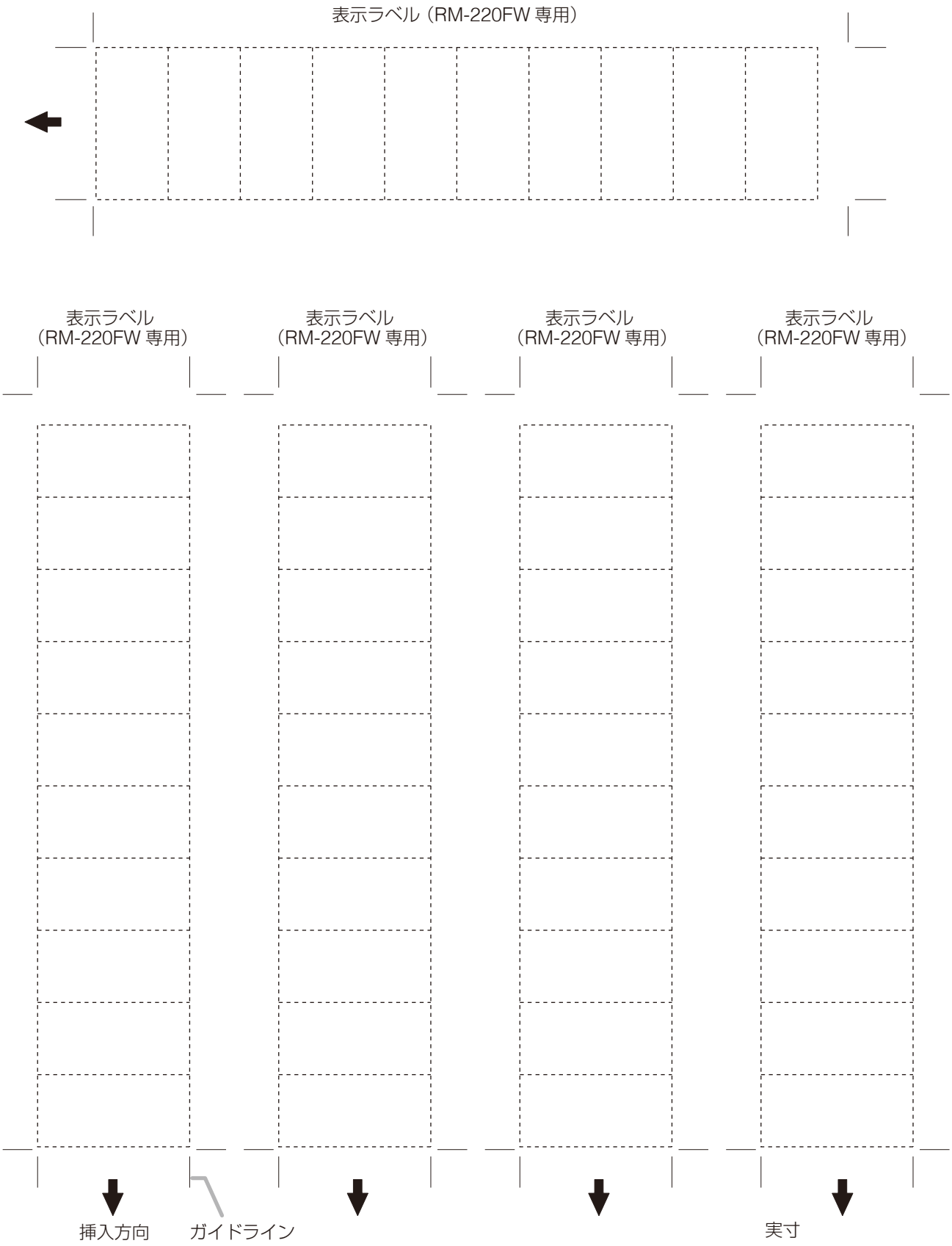
RM-220FW の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。

2 表示ラベルを RM-220FW に挿入する。

指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。



[手書き用コピー台紙（RM-220FW 専用)]



設定データの初期値

各設定データの初期値（工場出荷時の状態）は、以下のように設定されています。
設定データを初期値に戻す方法については、P. 102「設定初期化」をお読みください。

● 初期設定

「1-1-3 システム動作モード設定」

システム動作モード	(通常) / アンプ拡張 A / アンプ拡張 B

● 機器構成設定

「1-2-1 構成設定（本体･RM･PM･EX）」

増設操作パネル	***20*** 局
非常 RM	台 /(なし)
業務 RM	台 /(なし)
業務停電	有効 /(無効)
電源機種系列	(FS2500 系) / FS2000 系
本体電源パネル	***1*** 台
PM	台 /(なし)
EX	台 /(なし)
EX1 電源パネル	台 /(なし)
EX2 電源パネル	台 /(なし)
EX3 電源パネル	台 /(なし)

「1-2-2 非常 RM 設定」「1-2-2-1 非常 RM 電源設定」

No.	機種	ID	増設		電源	
					1 台目機種	2 台目機種
1	FS-2500RM	00	***20*** 局 / なし	あり /(なし)		
⋮		⋮			⋮	⋮
16		0F				

「1-2-3-1 業務 RM 構成設定」「1-2-3-2 業務 RM 機能設定」「1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続」

No.	機種	ID	スイッチ数	バックライト消灯時間	操作音	マイク表示灯	キーロック	接続先
1	RM-500	00	***10*** 局	常時 OFF/(***3*** 分)/ 常時 ON	(ON)/ OFF	(ON)/ OFF	(使用しない)/ 使用する	***本体***
⋮		⋮						
4		03						***なし***
5		04						
⋮		⋮						
8		07						

「1-2-4 本体・EX 電源パネル設定」

ユニット			EP	EX1	EX2	EX3
電源パネル	No.	ID	機種			
	1	00	***FS-2500DS［非常］***			
	⋮	⋮				
	20	13				
	21	14				
	22	15				

「1-2-5 アンプ設定」「1-2-5-1 アンプモジュール設定」

ユニット	機種	ID	CH	機種	出力系統
EP	***FS-2500DF***		1	***FS-006DA***	***1***
			2	―	―
			3	―	―
			4	―	―
EX1	***FS-2500DF***		1	***FS-006DA***	***1***
			2	―	―
			3	―	―
			4	―	―
EX2	***FS-2500DF***		1	***FS-006DA***	***1***
			2	―	―
			3	―	―
			4	―	―
EX3	***FS-2500DF***		1	***FS-006DA***	***1***
			2	―	―
			3	―	―
			4	―	―

「1-2-6 ジャンクションパネル設定」「1-2-7 出力系統設定」

[EP ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EP	1	***FS-2120JP***	00

回線番号

出力系統	1 | 20	|	|	|
1	○			

ユニット	JP	機種	ID
EP	2	―	01

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				

ユニット	JP	機種	ID
EP	3	―	02

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				

ユニット	JP	機種	ID
EP	4	―	03

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				

[EX1 ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EX1	1	***FS-2120JP***	00

回線番号

出力系統	21 ｜ 40	｜	｜	｜
1	○			
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	2	ー	01

回線番号

出力系統	｜	｜	｜	｜
1				
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	3	ー	02

回線番号

出力系統	｜	｜	｜	｜
1				
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	4	ー	03

回線番号

出力系統	｜	｜	｜	｜
1				
2				
3				
4				

[EX2 ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EX2	1	***FS-2120JP***	00

回線番号

出力系統	41 ｜ 60	｜	｜	｜
1	○			
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	2	ー	01

回線番号

出力系統	｜	｜	｜	｜
1				
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	3	ー	02

回線番号

出力系統	｜	｜	｜	｜
1				
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	4	ー	03

回線番号

出力系統	｜	｜	｜	｜
1				
2				
3				
4				

[EX3 ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EX3	1	***FS-2120JP***	00

回線番号

出力系統	61 | 80	|	|	|
1	○			
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	2	ー	01

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	3	ー	02

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				
2				
3				
4				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	4	ー	03

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				
2				
3				
4				

● 非常放送設定

「1-3-1 音声警報設定」

手動・発信機起動	(火災) / 発報
感知器発報	(連動) / 連動停止
発報放送回数	***2*** 回
発報放送繰返し設定	(なし) / 繰り返し / 継続
発報放送間隔	分　秒
警報言語	(日本語) / 二ヶ国語 / 三ヶ国語 / 四ヶ国語

「1-3-2 非常タイマー設定」

火災放送一斉移行タイマー	***2*** 分 ***00*** 秒
一斉移行機能	(あり) / なし
一斉移行タイマー	***2*** 分 ***00*** 秒

「1-3-3 放送階選択方法設定」

手動・発信機起動	(連動) / 一斉
手動階選択連動	(階別) / 連動
二度押し復旧	(禁止) / 許可

「1-3-4 EL・階メッセージ設定」

EL 番号	階情報	
	階メッセージ番号	階名称
1	***6***	***1 階***
2	***7***	***2 階***
3	***8***	***3 階***
⋮	⋮	⋮
30	***35***	***30 階***
31	***36***	***4 階***
⋮	⋮	⋮
75	***80***	***新館エレベーター***
76	***81***	ー
⋮	⋮	

※ 階メッセージ番号と階名称については
P. 38 を参照してください。

「1-3-6 出火階・連動階設定」

出火階（EL 番号・EL グループ番号） ＼ 連動階（EL 番号・EL グループ番号）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	…	28	29	30
1	◎	○												
2		◎	○											
3			◎	○										
4				◎	○									
5					◎	○								
6						◎	○				…			
7							◎	○						
8								◎	○					
9									◎	○				
10										◎				
⋮						⋮								
28												◎	○	
29													◎	○
30														◎

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-1 本体」

SW 番号	名称	用途								業務緊急	出力回線		EL
		非常	業務	兼用	BGM1	BGM2	BGM3	BGM4	未使用		個別 / グループ	回線 / グループ番号	番号 / グループ番号
1												***1***	***1***
2												***2***	***2***
3				○						***なし***	***個別***	***3***	***3***
⋮	⋮											⋮	⋮
20												***20***	***20***
21													
⋮	⋮								○	**ー**	**ー**	**ー**	**ー**
30													

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-2 非常 RM」

SW 設定	(本体と同じ) / 個別設定

「1-3-7-4 パイロットトーン設定」

周波数	(400Hz) / 1kHz

「1-3-8 回線グループ設定」

	回線番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	…	28	29	30
グループ番号	名称	制御出力														
1		未使用	○													
2				○												
3					○											
4						○										
5							○									
6								○					…			
7									○							
8										○						
9											○					
10												○				
⋮								⋮								
28														○		
29															○	
30																○
⋮																
498																
499																
500			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	…	○	○	○

「1-3-9-1 EL モード設定」

EL モード	(個別) / グループ

「1-3-9-2 EL グループ割り当て設定」

	EL 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	…	28	29	30
グループ番号	名称														
1		○													
2			○												
3				○											
4					○										
5						○									
6							○					…			
7								○							
8									○						
9										○					
10											○				
⋮							⋮								
28													○		
29														○	
30															○

● 機器制御設定

「1-4-1 音声入力設定」
→「1-4-1-1 外部放送音声入力設定」
「1-4-1-2 音声入力接続設定」

機器	音声入力	名称	本体マイクとミックス	ミックスバス1	ミックスバス2	ミックスバス3	ミックスバス4	外部音源	接点式RM	業務RM
EP	外部放送		○	／	／	／		／	／	／
PM1	音声入力1		／	○						
	⋮	⋮	／	○						
	音声入力4		／							
	音声入力5		／						／	／
	⋮	⋮	／	○					／	／
	音声入力8		／						／	／
PM2	音声入力1		／		○					
	⋮	⋮	／		○					
	音声入力4		／							
	音声入力5		／						／	／
	⋮	⋮	／		○				／	／
	音声入力8		／						／	／
PM3	音声入力1		／			○				
	⋮	⋮	／			○				
	音声入力4		／							
	音声入力5		／						／	／
	⋮	⋮	／			○			／	／
	音声入力8		／						／	／

「1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定」

ミックスバス	用途
1	
⋮	(業務(放送階選択)) / 業務(制御入力) / BGM 1 / BGM 2/ BGM 3/ BGM 4
4	

「1-4-1-3-2 ミックスバス制御設定」

ミュート制御判定方法	(ミュートトリガー) / 優先度のみ

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」

動作設定	(通常モード) / 独立制御モード

「1-4-1-4 ミュート設定」

ミックスバス番号	1	2	3	4
ミュート開始時間	***0*** 秒			
ミュート時間	***0*** 秒			
ミュート量	***−40*** dB			
復帰待ち時間	***2*** 秒			
復帰時間	***1*** 秒			

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定」

スイッチ	回線グループ番号
緊急一斉	***500***
通常一斉	***500***

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-2 チャイム SW 設定」

SW 番号 ＼ 音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-3 非常 RM」

「1-4-2-1 本体」と同じです。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」

PTT/LOCK	PTT /(LOCK)
タイムアウト	分 /(連続)
プリセレクト	使用する /(使用しない)
自動復旧	あり /(なし)
AUX	使用する /(使用しない)
AUX ミュート	する /(しない)

「1-4-2-4-1 業務 RM 設定」→「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」、「1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定」

トリガー	(音声レベル) / トークスイッチ
ミュート量	***−40*** dB
開始待ち時間	***0*** 秒
開始時間	***0*** 秒
復帰待ち時間	***2*** 秒
復帰時間	***1*** 秒

開始感度	***−30*** dB
終了感度	***−40*** dB

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定」

回線選択スイッチ	名称	用途		緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		業務	未使用			
1		○		***なし***	***個別***	***1***
2						***2***
3						***3***
⋮	⋮					⋮
20						***20***
21			○	***ー***	***ー***	***ー***
⋮	⋮					
30						

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-3 一斉 SW 設定」

スイッチ	名称	緊急	回線グループ番号
一斉		***なし***	***500***

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-4 チャイム SW 設定」

SW 番号 ＼ 音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

「1-4-3 ファンクション SW 設定」

ファンクションスイッチ	名称	用途		音源番号	緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		EV 放送	未使用				
F1			○	―	―	―	―
F2				―			
F3				―			

「1-4-4 制御入力設定」

ユニット	制御入力	名称	用途																番号	緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
			個別放送	BGM1 放送	BGM2 放送	BGM3 放送	BGM4 放送	回線選択	AUX 放送	AUX スイッチ	接点式 RM 放送	接点式 RM チャイム	緊急地震放送	EV 放送	EV 放送停止	ミックスバス放送	時刻補正	未使用				
EP	緊急地震入力												○						***1***	***緊急***	***グループ***	***500***
	外部放送制御入力																	○	―	***通常***	***グループ***	***500***
業務RM1	制御入力																	○	―	―	―	―
業務RM2	制御入力																					
業務RM3	制御入力																					
業務RM4	制御入力																					
業務RM5	制御入力																					
業務RM6	制御入力																					
業務RM7	制御入力																					
業務RM8	制御入力																					
PM1	制御入力 1																	○	―	―	―	―
	⋮	⋮																				
	制御入力 8																					
	制御入力 9										○								―	***通常***	***個別***	***1***
	⋮	⋮																				⋮
	制御入力 18																					***10***
	制御入力 19																				***グループ***	***500***
	制御入力 20											○							***3***	―	―	―
PM2	制御入力 1																	○	―	―	―	―
	⋮	⋮																				
	制御入力 8																					
	制御入力 9										○								―	***通常***	***個別***	***1***
	⋮	⋮																				⋮
	制御入力 18																					***10***
	制御入力 19																				***グループ***	***500***
	制御入力 20											○							***3***	―	―	―
PM3	制御入力 1																	○	―	―	―	―
	⋮	⋮																				
	制御入力 8																					
	制御入力 9										○								―	***通常***	***個別***	***1***
	⋮	⋮																				⋮
	制御入力 18																					***10***
	制御入力 19																				***グループ***	***500***
	制御入力 20											○							***3***	―	―	―

「1-4-5 制御出力設定」

ユニット	制御出力	名称	用途															
			音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	自機放送中	業務放送中	業務緊急放送中	放送中（接点式RM）	リモコン（接点式RM）	保守点検中	異常発生中	出力回線グループ連動	未使用
EP	制御出力 1				○					／			／	／				
	制御出力 2					○				／			／	／				
業務 RM1	制御入力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				○
業務 RM2	制御入力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM3	制御入力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM4	制御入力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM5	制御入力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM6	制御入力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM7	制御入力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM8	制御入力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
PM1	制御出力 1									／								○
	⋮	⋮								／								
	制御出力 8									／								
	制御出力 9									／			○					
	制御出力 10									／				○				
PM2	制御出力 1									／								○
	⋮	⋮								／								
	制御出力 8									／								
	制御出力 9									／			○					
	制御出力 10									／				○				
PM3	制御出力 1									／								○
	⋮	⋮								／								
	制御出力 8									／								
	制御出力 9									／			○					
	制御出力 10									／				○				
EX1	制御出力 1		○							／			／	／				
	制御出力 2			○						／			／	／				
EX2	制御出力 1						○			／			／	／				
	制御出力 2							○		／			／	／				
EX3	制御出力 1								○	／			／	／				
	制御出力 2									／	○		／	／				

● 業務放送設定

「1-5-1 業務放送動作設定」

業務放送＼業務放送動作	ミュートトリガー					ミュート対象					開始チャイム					終了チャイム				
	音声レベル	放送階選択	トークスイッチ	制御入力	制御なし	ミックスバス 1 ― 4	ミックスバス 2 ― 4	ミックスバス 3 ― 4	ミックスバス 4	全てカット	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング	未使用	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング	未使用
本体マイク放送	○					○									○					○
非常 RM1 放送																				
⋮																				
非常 RM16 放送																				
業務 RM1 放送																				
⋮																				
業務 RM8 放送																				
接点式 RM1 放送				○																
⋮																				
接点式 RM3 放送																				
PM1 音声入力 1 放送																				
⋮																				
PM1 音声入力 8 放送																				
PM2 音声入力 1 放送																				
⋮																				
PM2 音声入力 8 放送																				
PM3 音声入力 1 放送																				
⋮																				
PM3 音声入力 8 放送																				
ミックスバス 1	○																			
⋮																				
ミックスバス 4																				

「1-5-1-1 音声レベル感度設定」

業務放送＼音声レベル	開始感度	終了感度
本体マイク放送	***−30*** dB	***−40*** dB
非常 RM1 放送		
⋮		
非常 RM16 放送		
業務 RM1 放送		
⋮		
業務 RM8 放送		
ミックスバス 1		
⋮		
ミックスバス 4		

「1-5-3 同一優先度動作設定」

優先度	動作
1	(後取り優先) / 先取り優先
⋮	
60	

「1-5-4 非常断 24 V 出力設定」

非常断端子	業務中動作
# 1	(継続) / カット / 緊急カット
# 2	(継続) / カット / 緊急カット

「1-5-5 EV 音源音量設定」

音源	音量
EV 放送 1	***0*** dB
⋮	
EV 放送 10	
チャイム 1	***−10*** dB
⋮	
チャイム 4	
点検音源 1	***−10*** dB
点検音源 2	***−20*** dB

「1-5-7 作動表示灯設定」

表示モード	(回線動作中 ON) / 通常

「1-5-2 優先度設定」

業務放送	優先度（1 ～ 60）
本体マイク放送	***2***
非常 RM1 放送	***3***
非常 RM2 放送	***4***
非常 RM3 放送	***5***
⋮	⋮
非常 RM16 放送	***18***
業務 RM1 放送	***19***
業務 RM2 放送	***20***
⋮	⋮
業務 RM8 放送	***26***
接点式 RM1 放送	***27***
接点式 RM2 放送	***28***
接点式 RM3 放送	***29***
EV 放送 1	***1***
EV 放送 2	
EV 放送 3	
PM1 音声入力 1 放送	***31***
⋮	
PM1 音声入力 8 放送	
PM2 音声入力 1 放送	
⋮	
PM2 音声入力 8 放送	
PM3 音声入力 1 放送	
⋮	
PM3 音声入力 8 放送	
ミックスバス 1	***40***
⋮	⋮
ミックスバス 4	***43***

「1-5-6-1 音声入力設定」→「1-5-6-1-1 簡易設定」

音声入力	音量	低域ゲイン	高域ゲイン	Comp.	しきい値
本体マイク		***0 dB***	***0 dB***	ON /OFF	***–6 dB***
外部放送入力					
非常 RM					
業務 RM	***0 dB***				
PM1 音声入力 1	***0 dB***				
⋮					
PM1 音声入力 4					
PM1 音声入力 5					
⋮					
PM1 音声入力 8					
PM2 音声入力 1	***0 dB***				
⋮					
PM2 音声入力 4					
PM2 音声入力 5					
⋮					
PM2 音声入力 8					
PM3 音声入力 1	***0 dB***				
⋮					
PM3 音声入力 4					
PM2 音声入力 5					
⋮					
PM2 音声入力 8					
ミックスバス 1	***0 dB***				
⋮					
ミックスバス 4					

「1-5-6-2 音声出力設定」

ユニット	出力系統	音量	プリセット
EP	1	***0 dB***	*なし*
EX1	1		
	⋮		
	8		
EX2	1		
	⋮		
	8		
EX3	**1**		
	⋮		
	8		

設定表の記入方法

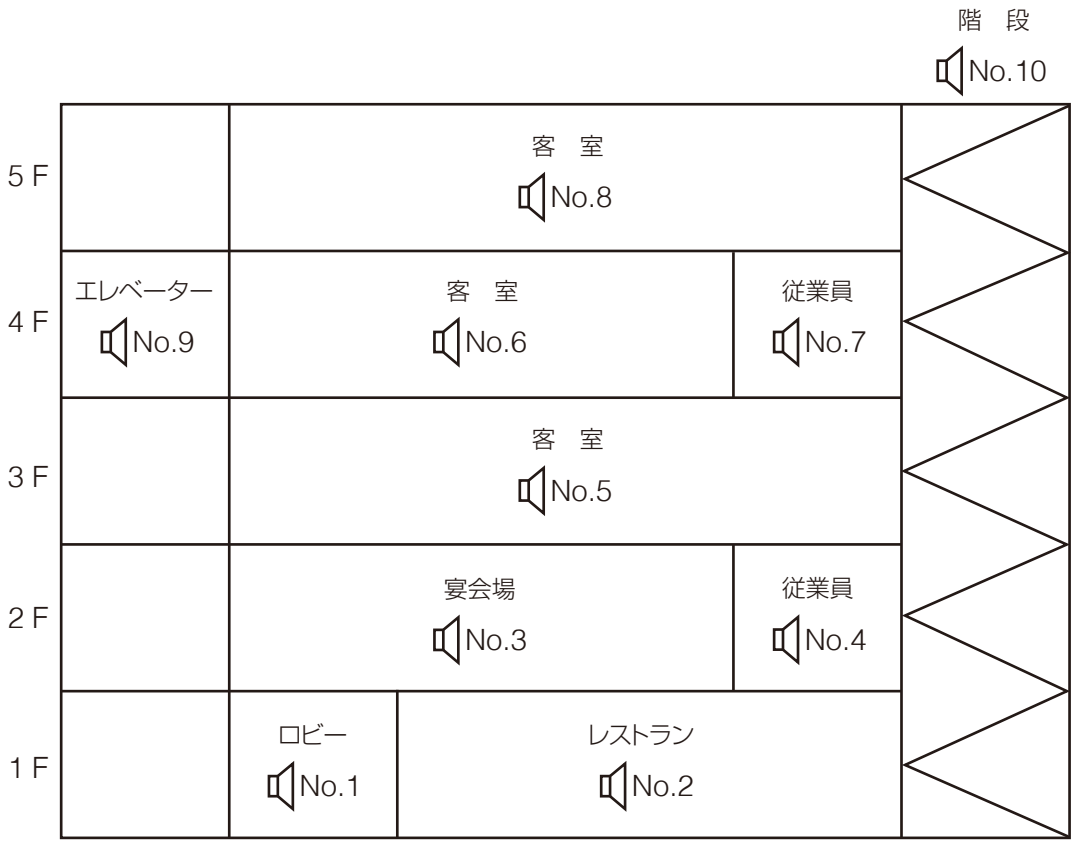
■ 設定表の記入にあたって

- システム設定を始める前に、設定表に設定内容を記入してください。設定した内容の保存や、設定を容易にするために必ず記入をしてください。
- 本書の最後にある設定表をコピーしてお使いください。
- 決められた機器の仕様に従って記入してください。
- 設定内容についての詳細は、P. 15「システム設定」をお読みください。

■ システム構成例①（電源機種系列：FS2000 系）

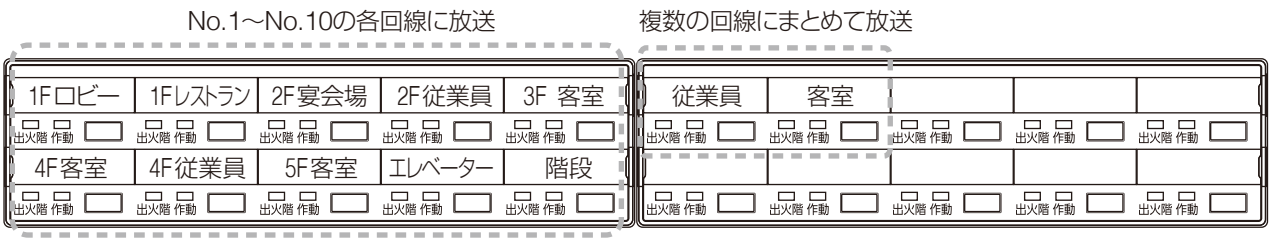
システム構成例①では、720 W、40 局以下のシステムについて、以下のようなホテルを例にあげて、設定表の記入方法を説明します。

[建物の構成]

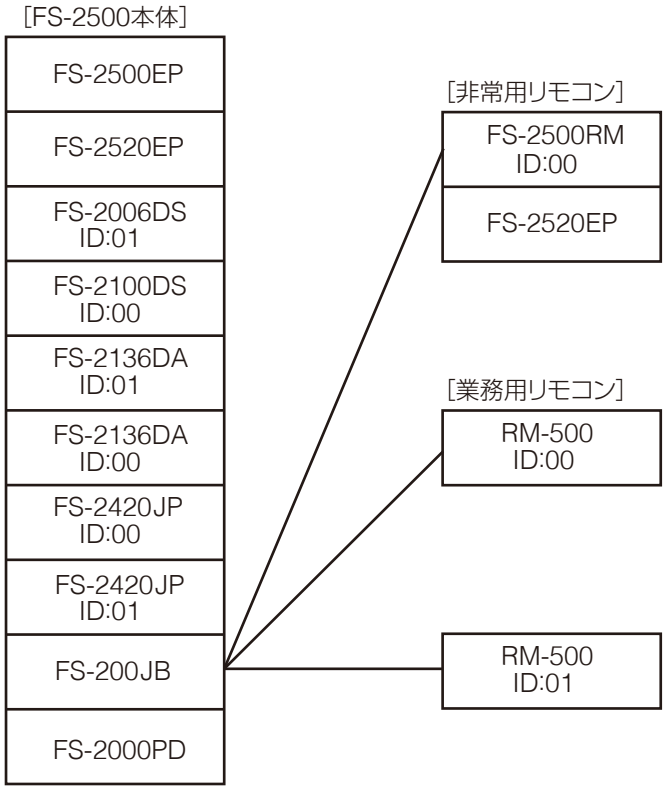


※ No.1 ～ No.10 はスピーカー回線の番号です。

[放送階選択スイッチへの割り当て]



[システム例]



以下の設定表の記入例は、上図のシステム構成のように設置した場合です。
「設定表」（P. 159）にある項目でも、設定例では記入不要なものについては、省略している部分があります。

● 初期設定

「1-1-3 システム動作モード設定」

システム動作モード	(通常) / アンプ拡張 A / アンプ拡張 B

● 機器構成設定

「1-2-1 構成設定（本体･RM･PM･EX)」

増設操作パネル	***20*** 局
非常 RM	***1*** 台 / なし
業務 RM	***2*** 台 / なし
業務停電	有効 / (無効)
電源機種系列	FS2500 系 / (FS2000 系)
本体電源パネル	***2*** 台
PM	台 / (なし)
EX	台 / (なし)

「1-2-2 非常 RM 設定」「1-2-2-1 非常 RM 電源設定」

No.	機種	ID	増設		電源	
					1 台目機種	2 台目機種
1	FS-2500RM	00	***20*** 局 / なし	あり / (なし)		
2		01	局 / なし	あり / なし		

「1-2-3-1 業務 RM 構成設定」「1-2-3-2 業務 RM 機能設定」「1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続」

No.	機種	ID	スイッチ数	バックライト消灯時間	操作音	マイク表示灯	キーロック	接続先
1	RM-500	00	***20*** 局 / なし	常時 OFF/ ***3*** 分 / 常時 ON	(ON) / OFF	(ON) / OFF	(使用しない) / 使用する	***本体***
2	RM-500	01	***20*** 局 / なし	常時 OFF/ ***3*** 分 / 常時 ON	(ON) / OFF	(ON) / OFF	(使用しない) / 使用する	***本体***
3		02	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	

「1-2-4 本体・EX 電源パネル設定」

ユニット			EP	EX1	EX2	EX3
電源パネル	No.	ID	機種			
	1	00	***FS-2100DS***			
	2	01	***FS-2006DS***			
	3	02				

「1-2-5 アンプ設定」

ユニット	出力系統	機種	ID
EP	1	***FS-2136DA × 2***	00

「1-2-6 ジャンクションパネル設定」「1-2-7 出力系統設定」

ユニット	JP	機種	ID
EP	1	***FS-2420JP***	00

回線番号

出力系統	1 | 5	6 | 10	11 | 15	16 | 20
1	○	○	○	○

ユニット	JP	機種	ID
EP	2	***FS-2420JP***	01

回線番号

出力系統	21 | 25	26 | 30	31 | 35	36 | 40
1	○	○	○	○

ユニット	JP	機種	ID
EP	3		02

回線番号

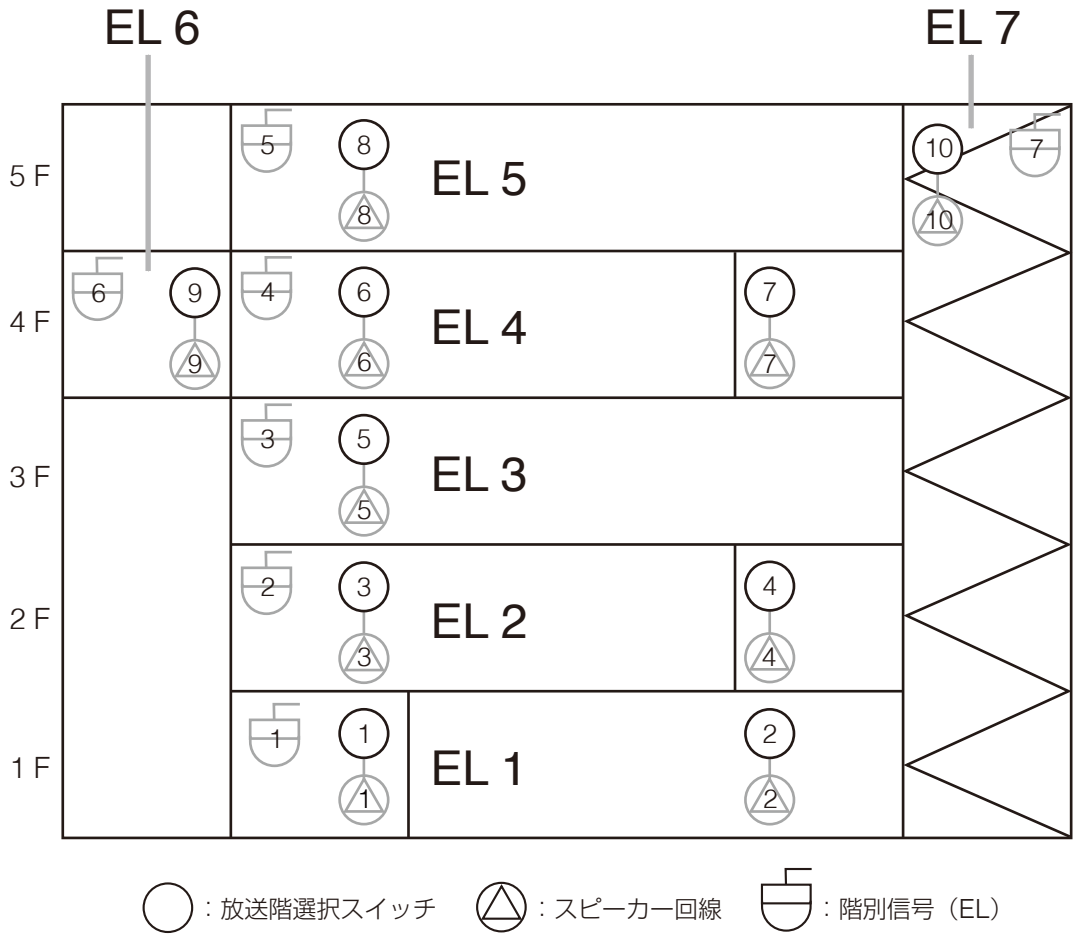
出力系統	|	|	|	|
1				

ユニット	JP	機種	ID
EP	4		03

回線番号

出力系統	|	|	|	|
1				

[EL 設定]
前述の記入例では、放送階選択スイッチに対して以下のように EL を設定しています。



● 非常放送設定

「1-3-1 音声警報設定」

手動・発信機起動	(火災) / 発報
感知器発報	(連動) / 連動停止
発報放送回数	***2*** 回
発報放送繰返し設定	(なし) / 繰り返し / 継続
発報放送間隔	分　秒
警報言語	(日本語) / 二ヶ国語 / 三ヶ国語 / 四ヶ国語

「1-3-2 非常タイマー設定」

火災放送一斉移行タイマー	***2*** 分 ***0*** 秒
一斉移行機能	(あり) / なし
一斉移行タイマー	***2*** 分 ***0*** 秒

「1-3-3 放送階選択方法設定」

自火報階選択連動	(連動) / 一斉
手動階選択連動	(階別) / 連動
二度押し復旧	(禁止) / 許可

「1-3-4 EL・階メッセージ設定」

EL 番号	階情報	
	階メッセージ番号	階名称
1	***6***	***1 階***
2	***7***	***2 階***
3	***8***	***3 階***
4	***9***	***4 階***
5	***10***	***5 階***
6	***54***	***エレベーター***
7	***46***	***階段***
8		
9		
10		

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-1 本体」

SW 番号	名称	用途								業務緊急	出力回線		EL
		非常	業務	兼用	BGM1	BGM2	BGM3	BGM4	未使用		個別 / グループ	回線 / グループ番号	番号 / グループ番号
1	***1F ロビー***			○						***なし***	***個別***	***1***	***1***
2	***1F レストラン***			○						***なし***	***個別***	***2***	***1***
3	***2F 宴会場***			○						***なし***	***個別***	***3***	***2***
4	***2F 従業員***			○						***なし***	***個別***	***4***	***2***
5	***3F 客室***			○						***なし***	***個別***	***5***	***3***
6	***4F 客室***			○						***なし***	***個別***	***6***	***4***
7	***4F 従業員***			○						***なし***	***個別***	***7***	***4***
8	***5F 客室***			○						***なし***	***個別***	***8***	***5***
9	***エレベーター***			○						***なし***	***個別***	***9***	***6***
10	***階段***			○						***なし***	***個別***	***10***	***7***
11	***従業員***		○							***なし***	***グループ***	***1***	***ー***
12	***客室***		○							***なし***	***グループ***	***2***	***ー***
13	***未使用***								○	***ー***	***ー***	***ー***	***ー***
14	***未使用***								○	***ー***	***ー***	***ー***	***ー***
15	***未使用***								○	***ー***	***ー***	***ー***	***ー***
16	***未使用***								○	***ー***	***ー***	***ー***	***ー***
17	***未使用***								○	***ー***	***ー***	***ー***	***ー***
18	***未使用***								○	***ー***	***ー***	***ー***	***ー***
19	***未使用***								○	***ー***	***ー***	***ー***	***ー***
20	***未使用***								○	***ー***	***ー***	***ー***	***ー***

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-2 非常 RM」

SW 設定	(本体と同じ) / 個別設定

「1-3-6 出火階・連動階設定」

出火階（EL 番号・EL グループ番号）			連動階（EL 番号・EL グループ番号）									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			1F	***2F***	***3F***	***4F***	***5F***	***エレベーター***	***階段***			
	1	***1F***	◎	○				○	○			
	2	***2F***		◎	○			○	○			
	3	***3F***			◎	○		○	○			
	4	***4F***				◎	○	○	○			
	5	***5F***					◎	○	○			
	6	***エレベーター***						◎	○			
	7	***階段***						○	◎			
	8									◎		
	9										◎	
	10											◎

「1-3-8 回線グループ設定」

グループ番号	名称	制御出力	回線番号 1 ***1F ロビー***	2 ***1F レストラン***	3 ***2F 宴会場***	4 ***2F 従業員***	5 ***3F 客室***	6 ***4F 客室***	7 ***4F 従業員***	8 ***5F 客室***	9 ***エレベーター***	10 ***階段***
1	***従業員***	***未使用***				○			○			
2	***客室***	***未使用***					○	○		○		
⋮	⋮	⋮					⋮					
500	***全館***	***未使用***	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「1-3-9-1 EL モード設定」

EL モード	(個別) / グループ

● 機器制御設定

「1-4-1 音声入力設定」→「1-4-1-1 外部放送音声入力設定」「1-4-1-2 音声入力接続設定」

機器	音声入力	名称	本体マイクとミックス	ミックスバス 1	ミックスバス 2	ミックスバス 3	ミックスバス 4	外部音源	接点式 RM	業務 RM
EP	外部放送	***定時放送***		／	／	／	○	／	／	／

「1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定」

ミックスバス	用途
1	(業務（放送階選択）) / 業務（制御入力） / BGM 1 / BGM 2/ BGM 3/ BGM 4
⋮	
4	

「1-4-1-4 ミュート設定」

ミックスバス番号	4
ミュート開始時間	***0*** 秒
ミュート時間	***0*** 秒
ミュート量	***−40*** dB
復帰待ち時間	***2*** 秒
復帰時間	***1*** 秒

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定」

スイッチ	回線グループ番号
緊急一斉	***500***
通常一斉	***500***

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-2 チャイム SW 設定」

SW 番号＼音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-3 非常 RM」
本体と同様に設定表に記入します。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」

PTT/LOCK	PTT /(LOCK)
タイムアウト	分 /(連続)
プリセレクト	使用する /(使用しない)
自動復旧	あり /(なし)
AUX	使用する /(使用しない)
AUX ミュート	する /(しない)

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成します。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定」

回線選択スイッチ	名称	用途		緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		業務	未使用			
1	***1F ロビー***	○		***なし***	***個別***	***1***
2	***1F レストラン***	○		***なし***	***個別***	***2***
3	***2F 宴会場***	○		***なし***	***個別***	***3***
4	***2F 従業員***	○		***なし***	***個別***	***4***
5	***3F 客室***	○		***なし***	***個別***	***5***
6	***4F 客室***	○		***なし***	***個別***	***6***
7	***4F 従業員***	○		***なし***	***個別***	***7***
8	***5F 客室***	○		***なし***	***個別***	***8***
9	***エレベーター***	○		***なし***	***個別***	***9***
10	***階段***	○		***なし***	***個別***	***10***
11	***従業員***	○		***なし***	***グループ***	***1***
12	***客室***	○		***なし***	***グループ***	***2***

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成します。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-3 一斉 SW 設定」

スイッチ	名称	緊急	回線グループ番号
一斉	***全館（通常）***	***なし***	***500***

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成します。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-4 チャイム SW 設定」

SW 番号＼音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成します。

「1-4-4 制御入力設定」

ユニット	制御入力	名称	用途																番号	緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
			個別放送	BGM1 放送	BGM2 放送	BGM3 放送	BGM4 放送	回線選択	AUX 放送	AUX スイッチ	接点式 RM 放送	接点式 RM チャイム	緊急地震放送	EV 放送	EV 放送停止	ミックスバス放送	時刻補正	未使用				
EP	緊急地震入力												○						***1***	***あり***	***グループ***	***500***
	外部放送制御入力															○			***4***	***あり***	***グループ***	***500***

「1-4-5 制御出力設定」

ユニット	制御出力	名称	用途															
			音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	自機放送中	業務放送中	業務緊急放送中	放送中（接点式 RM）	リモコン（接点式 RM）	保守点検中	異常発生中	出力回線グループ連動	未使用
EP	制御出力 1				○					／			／	／				
	制御出力 2						○			／			／	／				

● 業務放送設定

「1-5-1 業務放送動作設定」

業務放送動作 ＼ 業務放送	ミュートトリガー					ミュート対象					開始チャイム					終了チャイム				
	音声レベル	放送階選択	トークスイッチ	制御入力	制御なし	ミックスバス 1 ー 4	ミックスバス 2 ー 4	ミックスバス 3 ー 4	ミックスバス 4	全てカット	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング	未使用	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング	未使用
本体マイク放送			○	／					○						○					○
非常 RM1 放送			○	／					○						○					○
業務 RM1 放送	○			／					○						○					○
業務 RM2 放送	○			／					○						○					○
ミックスバス 4			／	／	○										○					○

「1-5-1-1 音声レベル感度設定」

音声レベル ＼ 業務放送	開始感度	終了感度
本体マイク放送	—	—
非常 RM1 放送	—	—
業務 RM1 放送	***–30*** dB	***–40*** dB
業務 RM2 放送	***–30*** dB	***–40*** dB

「1-5-4 非常断 24 V 出力設定」

非常断端子	業務中動作
# 1	(継続) / カット / 緊急カット
# 2	(継続) / カット / 緊急カット

「1-5-2 優先度設定」

業務放送	優先度（1 ～ 60）
本体放送	***3***
非常 RM1 放送	***4***
業務 RM1 放送	***5***
業務 RM2 放送	***5***
EV 放送 1	***1***
EV 放送 2	***1***
EV 放送 3	***1***
ミックスバス 4	***2***

「1-5-3 同一優先度動作設定」

優先度	動作
1	(後取り優先) / 先取り優先
2	(後取り優先) / 先取り優先
3	(後取り優先) / 先取り優先
4	(後取り優先) / 先取り優先
5	(後取り優先) / 先取り優先
6	(後取り優先) / 先取り優先
7	(後取り優先) / 先取り優先
8	(後取り優先) / 先取り優先
9	(後取り優先) / 先取り優先
10	(後取り優先) / 先取り優先

「1-5-5 EV 音源音量設定」

音源	音量
EV 放送メッセージ 1	***0*** dB
EV 放送メッセージ 2	***0*** dB
EV 放送メッセージ 3	***0*** dB
EV 放送メッセージ 4	***0*** dB
EV 放送メッセージ 5	***0*** dB
EV 放送メッセージ 6	***0*** dB
EV 放送メッセージ 7	***0*** dB
EV 放送メッセージ 8	***0*** dB
EV 放送メッセージ 9	***0*** dB
EV 放送メッセージ 10	***0*** dB
チャイム 1	***–10*** dB
チャイム 2	***–10*** dB
チャイム 3	***–10*** dB
チャイム 4	***–10*** dB
点検音源 1	***–10*** dB
点検音源 2	***–20*** dB

「1-5-6-1 音声入力設定」→「1-5-6-1-1 簡易設定」

音源	音量	低域ゲイン	高域ゲイン	Comp.	しきい値
業務 RM	***0*** dB	***0.0*** dB	***0.0*** dB	ON / (OFF)	***–6*** dB

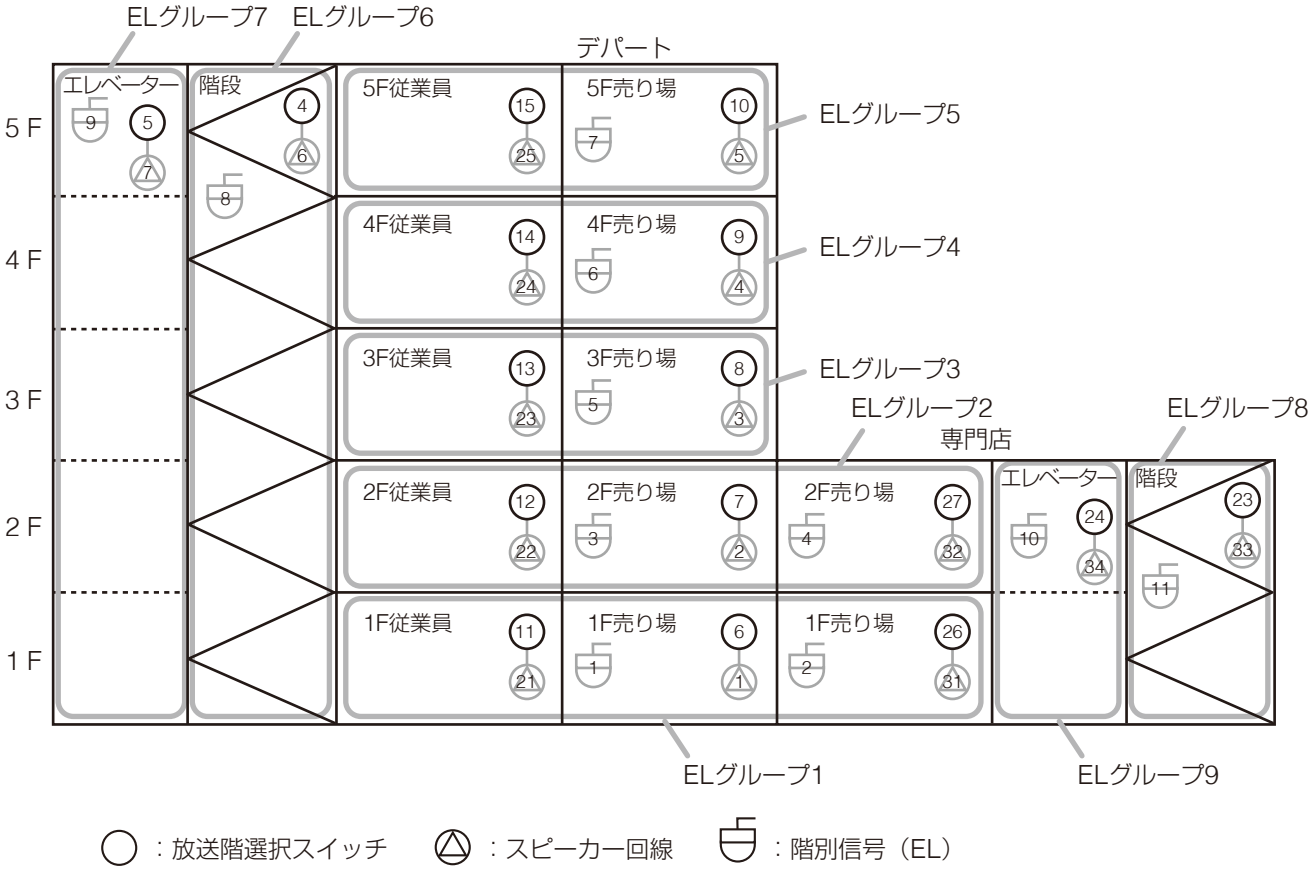
「1-5-7 作動表示灯設定」

表示モード	(回線動作中 ON) / 通常

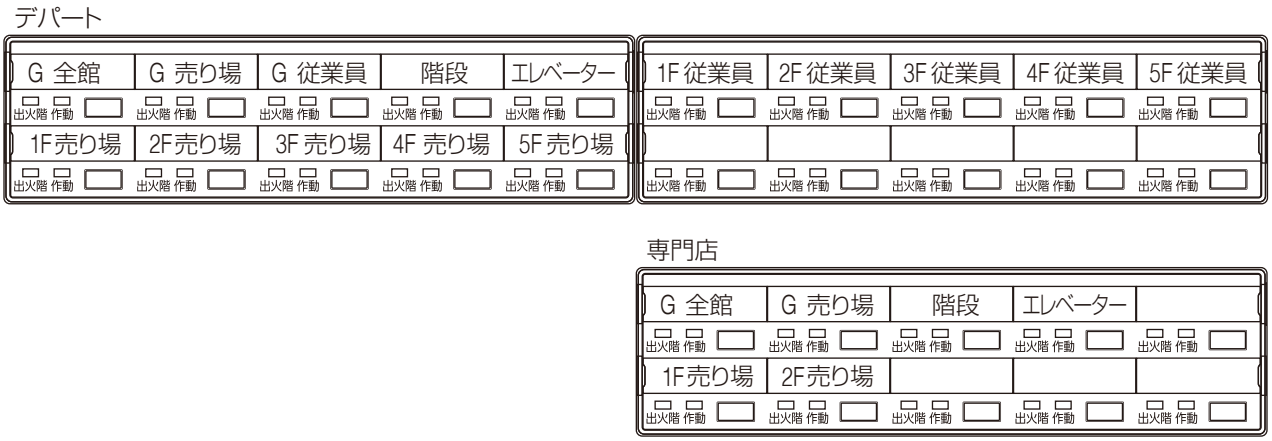
■ システム構成例②（電源機種系列：FS2500 系）

システム構成例②では、プリアンプマトリクスパネルおよび非常系統拡張パネルを使用したシステムについて、以下のようなデパートを例にあげて、設定表の記入方法を説明します。
この例では、EL1 と EL2 のいずれが ON になっても階選択スイッチ 6、11、26 の出火階表示灯を点灯させ、それらの放送階選択スイッチのエリアに放送するなどのために、EL グループを使用しています。

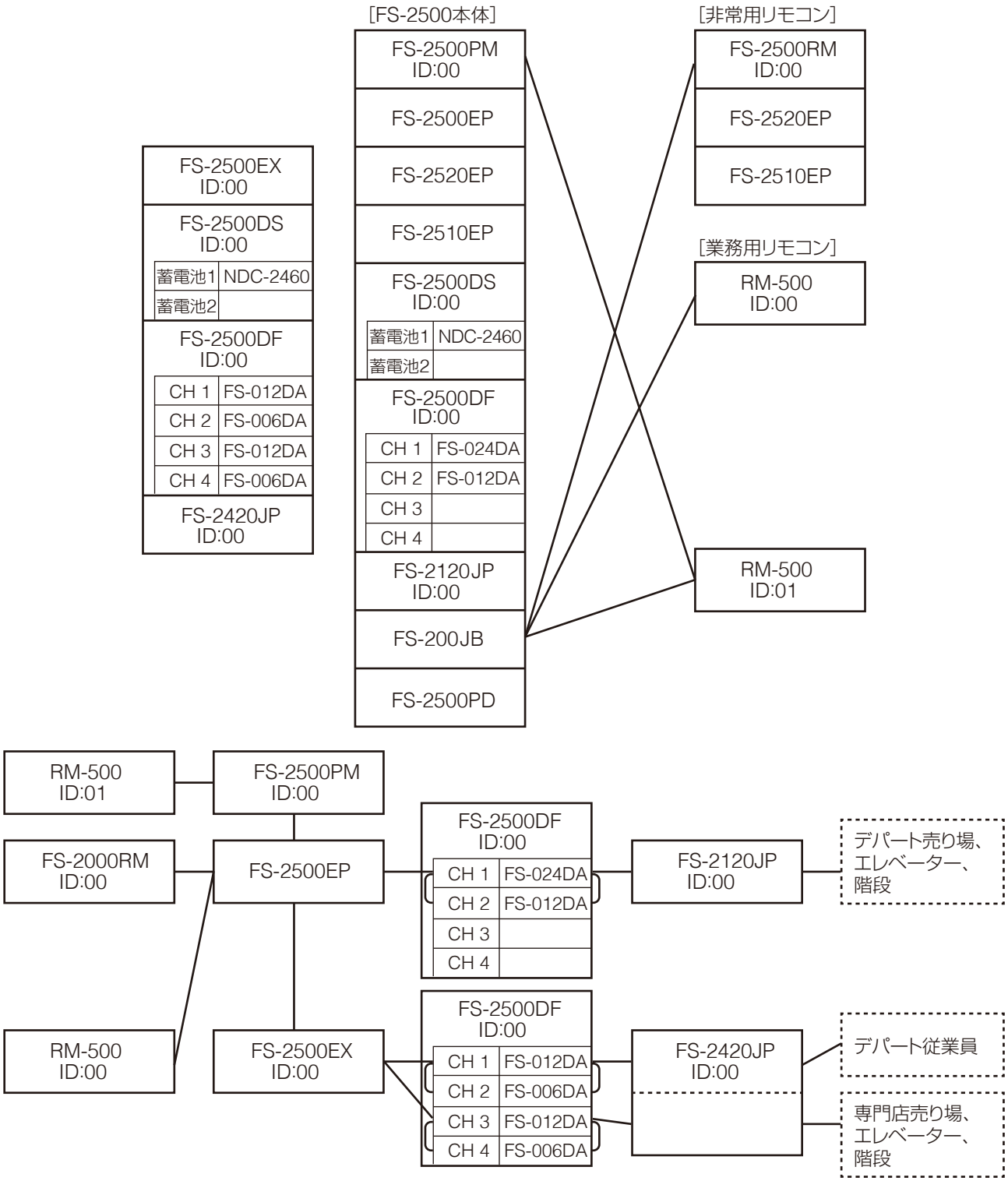
[建物の構成]



[放送階選択スイッチへの割り当て]



[システム例]



以下の設定表の記入例は、上図のシステム構成のように設置した場合です。
「設定表」（P. 159）にある項目でも、設定例では記入不要なものについては、省略している部分があります。

● 初期設定

「1-1-3 システム動作モード設定」

システム動作モード	(通常) アンプ拡張 A / アンプ拡張 B

● 機器構成設定

「1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）」

増設操作パネル	***30*** 局
非常 RM	***1*** 台 / なし
業務 RM	***2*** 台 / なし
業務停電	有効 /（無効）
電源機種系列	（FS2500 系）/ FS2000 系
本体電源パネル	***1*** 台
PM	***1*** 台 / なし
EX	***1*** 台 / なし
EX1 電源パネル	***1*** 台 / なし

「1-2-2 非常 RM 設定」「1-2-2-1 非常 RM 電源設定」

No.	機種	ID	増設		電源	
					1 台目機種	2 台目機種
1	***FS-2500RM***	00	***30*** 局 / なし	あり /（なし）		

「1-2-3-1 業務 RM 構成設定」「1-2-3-2 業務 RM 機能設定」「1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続」

No.	機種	ID	スイッチ数	バックライト消灯時間	操作音	マイク表示灯	キーロック	接続先
1	***RM-500***	00	***20*** 局 / なし	常時 OFF/ ***3*** 分 / 常時 ON	（ON）/ OFF	（ON）/ OFF	（使用しない）/ 使用する	***本体***
2	***RM-500***	01	***10*** 局 / なし	常時 OFF/ ***3*** 分 / 常時 ON	（ON）/ OFF	（ON）/ OFF	（使用しない）/ 使用する	***PM1-1***

「1-2-4 本体・EX 電源パネル設定」

ユニット			EP	EX1
電源パネル	No.	ID	機種	
	1	00	***FS-2500DS***	***FS-2500DS***

「1-2-5 アンプ設定」「1-2-5-1 アンプモジュール設定」

ユニット	機種	ID	CH	機種	出力系統
EP	***FS-2500DF***	00	1	***FS-024DA***	***1***
			2	***FS-012DA***	***1***
			3		
			4		
EX1	***FS-2500DF***	00	1	***FS-012DA***	***1***
			2	***FS-006DA***	***1***
			3	***FS-012DA***	***2***
			4	***FS-006DA***	***2***

「1-2-6 ジャンクションパネル設定」「1-2-7 出力系統設定」

[EP ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EP	1	***FS-2120JP***	00

回線番号

出力系統	1 | 20			
1	○			

[EX1 ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EX1	1	***FS-2420JP***	00

回線番号

出力系統	1 | 5	6 | 10	11 | 15	16 | 20
1	○	○		
2			○	○
3				
4				

● 非常放送設定

「1-3-1 音声警報設定」

手動・発信機起動	(火災) / 発報
感知器発報	(連動) / 連動停止
発報放送回数	***2*** 回
発報放送繰返し設定	(なし) / 繰り返し / 継続
発報放送間隔	分　秒
警報言語	(日本語) / 二ヶ国語 / 三ヶ国語 / 四ヶ国語

「1-3-2 非常タイマー設定」

火災放送一斉移行タイマー	***2*** 分 ***00*** 秒
一斉移行機能	(あり) / なし
一斉移行タイマー	***2*** 分 ***00*** 秒

「1-3-3 放送階選択方法設定」

自火報階選択連動	(連動) / 一斉
手動階選択連動	(階別) / 連動
二度押し復旧	(禁止) / 許可

「1-3-4 EL・階メッセージ設定」

EL 番号	階情報	
	階メッセージ番号	階名称
1	***6***	***1F***
2	***6***	***1F***
3	***7***	***2F***
4	***7***	***2F***
5	***8***	***3F***
6	***9***	***4F***
7	***10***	***5F***
8	***46***	***階段***
9	***54***	***エレベーター***
10	***54***	***エレベーター***
11	***46***	***階段***

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-1 本体」

SW 番号	名称	用途								業務緊急	出力回線		EL
		非常	業務	兼用	BGM1	BGM2	BGM3	BGM4	未使用		個別 / グループ	回線 / グループ番号	番号 / グループ番号
1	***デパート 全館***		○								***グループ***	***1***	
2	***デパート 売り場***		○								***グループ***	***2***	
3	***デパート 従業員***		○								***グループ***	***3***	
4	***デパート 階段***			○							***個別***	***6***	***6***
5	***デパート エレベーター***			○							***個別***	***7***	***7***
6	***デパート 1F売り場***			○							***個別***	***1***	***1***
7	***デパート 2F売り場***			○							***個別***	***2***	***2***
8	***デパート 3F売り場***			○							***個別***	***3***	***3***
9	***デパート 4F売り場***			○							***個別***	***4***	***4***
10	***デパート 5F売り場***			○							***個別***	***5***	***5***
11	***デパート 1F従業員***			○							***個別***	***21***	***1***
12	***デパート 2F従業員***			○							***個別***	***22***	***2***
13	***デパート 3F従業員***			○							***個別***	***23***	***3***
14	***デパート 4F従業員***			○							***個別***	***24***	***4***
15	***デパート 5F従業員***			○							***個別***	***25***	***5***
16									○				
17									○				
18									○				
19									○				
20									○				
21	***専門店 全館***		○								***グループ***	***4***	
22	***専門店 売り場***		○								***グループ***	***5***	
23	***専門店 階段***			○							***個別***	***33***	***8***
24	***専門店 エレベーター***			○							***個別***	***34***	***9***
25									○				
26	***専門店 1F売り場***			○							***個別***	***31***	***1***
27	***専門店 2F売り場***			○					○		***個別***	***32***	***2***
28									○				
29									○				
30									○				

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-2 非常 RM」

SW 設定	(本体と同じ) / 個別設定

「1-3-6 出火階・連動階設定」

出火階（EL 番号・EL グループ番号） ＼ 連動階（EL 番号・EL グループ番号）		1 1F	2 2F	3 3F	4 4F	5 5F	6 デパート階段	7 デパートエレベーター	8 専門店階段	9 専門店エレベーター
1	1F	◎	○				○	○	○	○
2	2F		◎	○			○	○	○	○
3	3F			◎	○		○	○		
4	4F				◎	○	○	○		
5	5F					◎	○	○		
6	デパート 階段						◎	○		
7	デパート エレベーター						○	◎		
8	専門店 階段								◎	○
9	専門店 エレベーター								○	◎

「1-3-8 回線グループ設定」

グループ番号	名称	制御出力	回線番号 1 デパート1F売り場	2 デパート2F売り場	3 デパート3F売り場	4 デパート4F売り場	5 デパート5F売り場	6 デパート階段	7 デパートエレベーター	…	21 デパート1F従業員	22 デパート2F従業員	23 デパート3F従業員	24 デパート4F従業員	25 デパート5F従業員	…	31 専門店1F売り場	32 専門店2F売り場	33 専門店階段	34 専門店エレベーター	…	40
1	デパート 全館	未使用	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○							
2	デパート 売り場	未使用	○	○	○	○	○															
3	デパート 従業員	未使用									○	○	○	○	○							
4	専門店 全館	未使用															○	○	○	○		
5	専門店 売り場	未使用															○	○				
500	全館	未使用	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		

「1-3-9-1 EL モード設定」

EL モード	個別 / グループ

「1-3-9-2 EL グループ割り当て設定」

グループ番号	名称	EL 番号 1 デパート1F売り場	2 専門店1F売り場	3 デパート2F売り場	4 専門店2F売り場	5 デパート3F売り場	6 デパート4F売り場	7 デパート5F売り場	8 デパート階段	9 デパートエレベーター	10 専門店エレベーター	11 専門店階段
1	1F	○	○									
2	2F			○	○							
3	3F					○						
4	4F						○					
5	5F							○				
6	デパート 階段								○			
7	デパート エレベーター									○		
8	専門店 階段											○
9	専門店 エレベーター										○	

● 機器制御設定

「1-4-1 音声入力設定」→「1-4-1-1 外部放送音声入力設定」「1-4-1-2 音声入力接続設定」

機器	音声入力	名称	本体マイクとミックス	ミックスバス1	外部音源	接点式RM	業務RM
EP	外部放送		○	／	／	／	／
PM1	音声入力1		／				○
	音声入力2		／	○			
	音声入力3		／	○			
	音声入力4		／	○			
	音声入力5		／		○		
	音声入力6		／		○		
	音声入力7		／		○		
	音声入力8		／		○		

「1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定」

ミックスバス	用途
1	業務（放送階選択）/ 業務（制御入力）/（BGM 1）/ BGM 2/ BGM 3/ BGM 4

「1-4-1-4 ミュート設定」

ミックスバス番号	1
ミュート開始時間	***0*** 秒
ミュート時間	***0*** 秒
ミュート量	***−40*** dB
復帰待ち時間	***2*** 秒
復帰時間	***0*** 秒

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定」

スイッチ	回線グループ番号
緊急一斉	***500***
通常一斉	***500***

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-2 チャイム SW 設定」

SW 番号 ＼ 音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-3 非常 RM」

本体と同様に設定表に記入します。

RM-500 ID = 00 の業務 RM 設定

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」

PTT/LOCK	（PTT）/ LOCK
タイムアウト	分 /（連続）
プリセレクト	使用する /（使用しない）
自動復旧	あり /（なし）
AUX	（使用する）/ 使用しない
AUX ミュート	（する）/ しない

「1-4-2-4-1 業務 RM 設定」→「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」、「1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定」

トリガー	音声レベル / トークスイッチ
ミュート量	***–40*** dB
開始待ち時間	***0*** 秒
開始時間	***0*** 秒
復帰待ち時間	***2*** 秒
復帰時間	***1*** 秒

開始感度	***–30*** dB
終了感度	***–40*** dB

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定」

回線選択スイッチ	名称	用途		緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		業務	未使用			
1	***デパート 全館***	○		***なし***	***グループ***	***1***
2	***デパート 売り場***	○		***なし***	***グループ***	***2***
3	***デパート 従業員***	○		***なし***	***グループ***	***3***
4	***デパート 階段***	○		***なし***	***個別***	***6***
5	***デパート エレベーター***	○		***なし***	***個別***	***7***
6	***デパート 1F 売り場***	○		***なし***	***個別***	***1***
7	***デパート 2F 売り場***	○		***なし***	***個別***	***2***
8	***デパート 3F 売り場***	○		***なし***	***個別***	***3***
9	***デパート 4F 売り場***	○		***なし***	***個別***	***4***
10	***デパート 5F 売り場***	○		***なし***	***個別***	***5***
11	***デパート 1F 従業員***	○		***なし***	***個別***	***21***
12	***デパート 2F 従業員***	○		***なし***	***個別***	***22***
13	***デパート 3F 従業員***	○		***なし***	***個別***	***23***
14	***デパート 4F 従業員***	○		***なし***	***個別***	***24***
15	***デパート 5F 従業員***	○		***なし***	***個別***	***25***
16			○			
17			○			
18			○			
19			○			
20			○			

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-3 一斉 SW 設定」

スイッチ	名称	緊急	回線グループ番号
一斉	***全館***	***なし***	***500***

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-4 チャイム SW 設定」

SW 番号 ＼ 音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

RM-500 ID = 01 の業務 RM 設定

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」

PTT/LOCK	PTT /（LOCK）
タイムアウト	分 /（連続）
プリセレクト	使用する /（使用しない）
自動復旧	あり /（なし）
AUX	（使用する）/ 使用しない
AUX ミュート	（する）/ しない

「1-4-2-4-1 業務 RM 設定」→「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」、「1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定」

トリガー	（音声レベル）/ トークスイッチ
ミュート量	***–40*** dB
開始待ち時間	***0*** 秒
開始時間	***0*** 秒
復帰待ち時間	***2*** 秒
復帰時間	***1*** 秒

開始感度	***–30*** dB
終了感度	***–40*** dB

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定」

回線選択スイッチ	名称	用途		緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		業務	未使用			
1	***専門店 全館***	○		***なし***	***グループ***	***4***
2	***専門店 売り場***	○		***なし***	***グループ***	***5***
3	***専門店 階段***	○		***なし***	***個別***	***33***
4	***専門店 エレベーター***	○		***なし***	***個別***	***34***
5	***専門店 1F 売り場***	○		***なし***	***個別***	***31***
6	***専門店 2F 売り場***	○		***なし***	***個別***	***32***
7			○	***なし***	***個別***	
8			○	***なし***	***個別***	
9			○	***なし***	***個別***	
10			○	***なし***	***個別***	

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-3 一斉 SW 設定」

スイッチ	名称	緊急	回線グループ番号
一斉	***全館***	***なし***	***500***

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-4 チャイム SW 設定」

SW 番号 ＼ 音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1	○			
チャイム 2		○		

「1-4-3 ファンクション SW 設定」

ファンクションスイッチ	名称	用途		音源番号	緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		EV 放送	未使用				
F1	***開店***	○		***8***	***なし***	***グループ***	***1***
F2	***閉店***	○		***9***	***なし***	***グループ***	***1***
F3			○				

「1-4-4 制御入力設定」

ユニット	制御入力	名称	用途																番号	緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
			個別放送	BGM1 放送	BGM2 放送	BGM3 放送	BGM4 放送	回線選択	AUX 放送	AUX スイッチ	接点式 RM 放送	接点式 RM チャイム	緊急地震放送	EV 放送	EV 放送停止	ミックスバス放送	時刻補正	未使用				
EP	緊急地震入力	***緊急地震放送***											○						***1***	***あり***	***グループ***	***500***
	外部放送制御入力																					
PM1	制御入力 1	***デパート BGM***		○															***1***	***なし***	***グループ***	***2***
	制御入力 2	***専門店 BGM***		○															***1***	***なし***	***グループ***	***5***
	制御入力 3																					
	⋮																					

「1-4-5 制御出力設定」

ユニット	制御出力	名称	用途																
			音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	自機放送中	業務放送中	業務緊急放送中	放送中（接点式 RM）	リモコン（接点式 RM）	保守点検中	異常発生中	出力回線グループ連動	未使用
EP	制御出力 1	***火災放送***			○													
	制御出力 2	***一斉火災放送***					○											

● 業務放送設定

「1-5-1 業務放送動作設定」

業務放送動作 / 業務放送	ミュートトリガー					ミュート対象					開始チャイム					終了チャイム				
	音声レベル	放送階選択	トークスイッチ	制御入力	制御なし	ミックスバス 1 ― 4	ミックスバス 2 ― 4	ミックスバス 3 ― 4	ミックスバス 4	全てカット	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング	未使用	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング	未使用
本体マイク放送			○	／		○									○					○
非常 RM1 放送			○	／		○									○					○
業務 RM1 放送	○			／		○									○					○
業務 RM2 放送	○			／		○									○					○
ミックスバス 1			／	／	○										○					○

「1-5-1-1 音声レベル感度設定」

音声レベル / 業務放送	開始感度	終了感度
本体マイク放送	―	―
非常 RM1 放送	―	―
業務 RM1 放送	***−30*** dB	***−40*** dB
業務 RM2 放送	***−30*** dB	***−40*** dB

「1-5-2 優先度設定」

業務放送	優先度（1 ～ 60）
本体マイク放送	***2***
非常 RM1 放送	***3***
業務 RM1 放送	***4***
業務 RM2 放送	***4***
EV 放送 1	***1***
EV 放送 2	***1***
ミックスバス 1	***40***

「1-5-3 同一優先度動作設定」

優先度	動作
1	(後取り優先) / 先取り優先
⋮	⋮
30	(後取り優先) / 先取り優先

「1-5-5 EV 音源音量設定」

音源	音量
EV 放送メッセージ 1	***0*** dB
EV 放送メッセージ 2	***0*** dB
EV 放送メッセージ 3	***0*** dB
EV 放送メッセージ 4	***0*** dB
EV 放送メッセージ 5	***0*** dB
EV 放送メッセージ 6	***0*** dB
EV 放送メッセージ 7	***0*** dB
EV 放送メッセージ 8	***0*** dB
EV 放送メッセージ 9	***0*** dB
EV 放送メッセージ 10	***0*** dB
チャイム 1	***−10*** dB
チャイム 2	***−10*** dB
チャイム 3	***−10*** dB
チャイム 4	***−10*** dB
点検音源 1	***−10*** dB
点検音源 2	***−20*** dB

「1-5-4 非常断 24 V 出力設定」

非常断端子	業務中動作
# 1	(継続) / カット / 緊急カット
# 2	継続 / カット / (緊急カット)

「1-5-6-1 音声入力設定」→「1-5-6-1-1 簡易設定」

音声入力	音量	低域ゲイン	高域ゲイン	Comp.	しきい値
業務 RM	***0*** dB	***0.0*** dB	***0.0*** dB	ON / (OFF)	***0*** dB
PM1 音声入力 1	***0*** dB	***0.0*** dB	***0.0*** dB	ON / (OFF)	***0*** dB
PM1 音声入力 2	***0*** dB	***0.0*** dB	***0.0*** dB	ON / (OFF)	***0*** dB
PM1 音声入力 3	***0*** dB	***0.0*** dB	***0.0*** dB	ON / (OFF)	***0*** dB
PM1 音声入力 4	***0*** dB	***0.0*** dB	***0.0*** dB	ON / (OFF)	***0*** dB

「1-5-7 作動表示灯設定」

表示モード	(回線動作中 ON) / 通常

設定表

● 初期設定

「1-1-3 システム動作モード設定」

システム動作モード	通常 / アンプ拡張 A / アンプ拡張 B

● 機器構成設定

「1-2-1 構成設定（本体・RM・PM・EX）」

増設操作パネル	局
非常 RM	台 / なし
業務 RM	台 / なし
業務停電	有効 / 無効
電源機種系列	FS2500 系 / FS2000 系
本体電源パネル	台
PM	台 / なし
EX	台 / なし
EX1 電源パネル	台 / なし
EX2 電源パネル	台 / なし
EX3 電源パネル	台 / なし

「1-2-2 非常 RM 設定」「1-2-2-1 非常 RM 電源設定」

No.	機種	ID	増設		電源	
					1 台目機種	2 台目機種
1		00	局 / なし	あり / なし		
2		01	局 / なし	あり / なし		
3		02	局 / なし	あり / なし		
4		03	局 / なし	あり / なし		
5		04	局 / なし	あり / なし		
6		05	局 / なし	あり / なし		
7		06	局 / なし	あり / なし		
8		07	局 / なし	あり / なし		
9		08	局 / なし	あり / なし		
10		09	局 / なし	あり / なし		
11		0A	局 / なし	あり / なし		
12		0B	局 / なし	あり / なし		
13		0C	局 / なし	あり / なし		
14		0D	局 / なし	あり / なし		
15		0E	局 / なし	あり / なし		
16		0F	局 / なし	あり / なし		

「1-2-3-1 業務 RM 構成設定」「1-2-3-2 業務 RM 機能設定」「1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続」

No.	機種	ID	スイッチ数	バックライト消灯時間	操作音	マイク表示灯	キーロック	接続先
1		00	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	
2		01	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	
3		02	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	
4		03	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	
5		04	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	
6		05	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	
7		06	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	
8		07	局 / なし	常時 OFF/ 分 / 常時 ON	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する	

「1-2-4 本体・EX 電源パネル設定」

ユニット			EP	EX1	EX2	EX3
電源パネル	No.	ID	機種			
	1	00				
	2	01				
	3	02				
	4	03				
	5	04				
	6	05				
	7	06				
	8	07				
	9	08				
	10	09				
	11	0A				
	12	0B				
	13	0C				
	14	0D				
	15	0E				
	16	0F				
	17	10				
	18	11				
	19	12				
	20	13				
	21	14				
	22	15				

「1-2-5 アンプ設定」（電源機種系列が「FS2000 系」でシステム動作モードが「通常」の場合）

ユニット	出力系統	機種	ID
EP	1		
EX1	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
EX2	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
EX3	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		

「1-2-5 アンプ設定」「1-2-5-1 アンプモジュール設定」
（電源機種系列が「FS2500 系」でシステム動作モードが「通常」の場合）

ユニット	機種	ID	CH	機種	出力系統
EP			1		
			2		
			3		
			4		
EX1			1		
			2		
			3		
			4		
			1		
			2		
			3		
			4		
EX2			1		
			2		
			3		
			4		
			1		
			2		
			3		
			4		
EX3			1		
			2		
			3		
			4		
			1		
			2		
			3		
			4		

「1-2-5 アンプ設定」（電源機種系列が「FS2000 系」でシステム動作モードが「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合）

出力系統		-1		-2		-3		-4		-5		-6		-7		-8	
ユニット	出力系統	機種	ID	機種	ID	機種	ID	機種	ID	機種	ID	機種	ID	機種	ID	機種	ID
EP	1																
EX1	1																
	2																
	3																
	4																
EX2	1																
	2																
	3																
	4																
EX3	1																
	2																
	3																
	4																

「1-2-5 アンプ設定」「1-2-5-1 アンプモジュール設定」（電源機種系列が「FS2500 系」でシステム動作モードが「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合）

ユニット	機種	ID	アンプモジュール							
			CH 1		CH 2		CH 3		CH 4	
			機種	出力系統	機種	出力系統	機種	出力系統	機種	出力系統
EP										
EX1										
EX2										
EX3										

「1-2-6 ジャンクションパネル設定」「1-2-7 出力系統設定」

[EP ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EP	1		00

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EP	2		01

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EP	3		02

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EP	4		03

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EP	5		04

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EP	6		05

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EP	7		06

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EP	8		07

回線番号

出力系統				

[EX1 ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EX1	1		00

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	2		01

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	3		02

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	4		03

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	5		04

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	6		05

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	7		06

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX1	8		07

回線番号

出力系統				

[EX2 ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EX2	1		00

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	2		01

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	3		02

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	4		03

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	5		04

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	6		05

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	7		06

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX2	8		07

回線番号

出力系統				

[EX3 ジャンクションパネル設定]

ユニット	JP	機種	ID
EX3	1		00

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	2		01

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	3		02

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	4		03

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	5		04

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	6		05

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	7		06

回線番号

出力系統				

ユニット	JP	機種	ID
EX3	8		07

回線番号

出力系統				

● 非常放送設定

「1-3-1 音声警報設定」

手動・発信機起動	火災 / 発報
感知器発報	連動 / 連動停止
発報放送回数	回
発報放送繰返し設定	なし / 繰り返し / 継続
発報放送間隔	分　秒
警報言語	日本語 / 二ヶ国語 / 三ヶ国語 / 四ヶ国語

「1-3-2 非常タイマー設定」

火災放送一斉移行タイマー	分　秒
一斉移行機能	あり / なし
一斉移行タイマー	分　秒

「1-3-3 放送階選択方法設定」

自火報階選択連動	連動 / 一斉
手動階選択連動	階別 / 連動
二度押し復旧	禁止 / 許可

「1-3-4 EL・階メッセージ設定」

EL 番号	階情報	
	階メッセージ番号	階名称
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

EL 番号	階情報	
	階メッセージ番号	階名称
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-1 本体」

SW 番号	名称	用途								業務緊急	出力回線		EL
		非常	業務	兼用	BGM1	BGM2	BGM3	BGM4	未使用		個別 / グループ	回線 / グループ番号	番号 / グループ番号
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													

「1-3-5 SW・EL 設定」→「1-3-5-2 非常 RM」

SW 設定	本体と同じ / 個別設定

非常用リモコンを使用し、本体と異なる SW 設定（個別設定）にする場合は、「1-3-5-1 本体」（前ページ）と同じ設定表を非常用リモコンの台数分作成してください。

「1-3-6 出火階・連動階設定」

出火階（EL 番号・EL グループ番号） ＼ 連動階（EL 番号・EL グループ番号）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1	◎																													
2		◎																												
3			◎																											
4				◎																										
5					◎																									
6						◎																								
7							◎																							
8								◎																						
9									◎																					
10										◎																				
11											◎																			
12												◎																		
13													◎																	
14														◎																
15															◎															
16																◎														
17																	◎													
18																		◎												
19																			◎											
20																				◎										
21																					◎									
22																						◎								
23																							◎							
24																								◎						
25																									◎					
26																										◎				
27																											◎			
28																												◎		
29																													◎	
30																														◎

「1-3-7-4 パイロットトーン設定」

周波数	400Hz / 1kHz

「1-3-8 回線グループ設定」

	回線番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
グループ番号	名称	制御出力																														
1																																
2																																
3																																
4																																
5																																
6																																
7																																
8																																
9																																
10																																
11																																
12																																
13																																
14																																
15																																
16																																
17																																
18																																
19																																
20																																
21																																
22																																
23																																
24																																
25																																
26																																
27																																
28																																
29																																
30																																

「1-3-9-1 EL モード設定」

EL モード	個別 / グループ

「1-3-9-2 EL グループ割り当て設定」

	EL 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
グループ番号	名称																														
1																															
2																															
3																															
4																															
5																															
6																															
7																															
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															
21																															
22																															
23																															
24																															
25																															
26																															
27																															
28																															
29																															
30																															

● 機器制御設定

「1-4-1 音声入力設定」→「1-4-1-1 外部放送音声入力設定」「1-4-1-2 音声入力接続設定」

機器	音声入力	名称	本体マイクとミックス	ミックスバス1	ミックスバス2	ミックスバス3	ミックスバス4	外部音源	接点式RM	業務RM
EP	外部放送			／	／	／		／	／	／
PM1	音声入力1		／							
	音声入力2		／							
	音声入力3		／							
	音声入力4		／							
	音声入力5		／							
	音声入力6		／							
	音声入力7		／							
	音声入力8		／							
PM2	音声入力1		／							
	音声入力2		／							
	音声入力3		／							
	音声入力4		／							
	音声入力5		／							
	音声入力6		／							
	音声入力7		／							
	音声入力8		／							
PM3	音声入力1		／							
	音声入力2		／							
	音声入力3		／							
	音声入力4		／							
	音声入力5		／							
	音声入力6		／							
	音声入力7		／							
	音声入力8		／							

「1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定」

ミックスバス	用途
1	業務（放送階選択）/ 業務（制御入力）/ BGM 1 / BGM 2/ BGM 3/ BGM 4
2	業務（放送階選択）/ 業務（制御入力）/ BGM 1 / BGM 2/ BGM 3/ BGM 4
3	業務（放送階選択）/ 業務（制御入力）/ BGM 1 / BGM 2/ BGM 3/ BGM 4
4	業務（放送階選択）/ 業務（制御入力）/ BGM 1 / BGM 2/ BGM 3/ BGM 4

「1-4-1-3-2 ミックスバス制御設定」

ミュート制御判定方法	ミュートトリガー / 優先度のみ

「1-4-1-4 ミュート設定」

ミックスバス番号	1	2	3	4
ミュート開始時間	秒	秒	秒	秒
ミュート時間	秒	秒	秒	秒
ミュート量	dB	dB	dB	dB
復帰待ち時間	秒	秒	秒	秒
復帰時間	秒	秒	秒	秒

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」

動作設定	通常モード / 独立制御モード

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定」

スイッチ	回線グループ番号
緊急一斉	
通常一斉	

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-2 本体」→「1-4-2-2-2 チャイム SW 設定」

SW 番号 ＼ 音源番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1				
チャイム 2				

「1-4-2 SW 設定」→「1-4-2-3 非常 RM」

非常用リモコンを使用するときは、「1-4-2-2 本体」（前ページ）の SW 設定と同じ設定表を非常用リモコンの台数分作成してください。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」

PTT/LOCK	PTT / LOCK
タイムアウト	分 / 連続
プリセレクト	使用する / 使用しない
自動復旧	あり / なし
AUX	使用する / 使用しない
AUX ミュート	する / しない

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成してください。

「1-4-2-4-1 業務 RM 設定」→「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」、「1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定」

トリガー	音声レベル / トークスイッチ
ミュート量	dB
開始待ち時間	秒
開始時間	秒
復帰待ち時間	秒
復帰時間	秒

開始感度	dB
終了感度	dB

※ 業務用リモコン RM-500 を複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成してください。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定」

回線選択スイッチ	名称	用途		緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		業務	未使用			
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成してください。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-3 一斉 SW 設定」

スイッチ	名称	緊急	回線グループ番号
一斉			

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成してください。

「1-4-2-4 業務 RM」→「1-4-2-4-4 チャイム SW 設定」

音源番号 / SW 番号	1：上り 4 音	2：下り 4 音	3：2 音	4：ゴング
チャイム 1				
チャイム 2				

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて上記設定表を作成してください。

「1-4-3 ファンクション SW 設定」

ファンクションスイッチ	名称	用途		音源番号	緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
		EV 放送	未使用				
F1							
F2							
F3							

「1-4-4 制御入力設定」

ユニット	制御入力	名称	用途																番号	緊急	個別 / グループ	回線 / グループ番号
			個別放送	BGM1 放送	BGM2 放送	BGM3 放送	BGM4 放送	回線選択	AUX 放送	AUX スイッチ	接点式 RM 放送	接点式 RM チャイム	緊急地震放送	EV 放送	EV 放送停止	ミックスバス放送	時刻補正	未使用				
EP	緊急地震入力		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／					
	外部放送制御入力								／	／	／	／	／									
業務 RM1	制御入力		／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／		／			
業務 RM2	制御入力		／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／		／			
業務 RM3	制御入力		／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／		／			
業務 RM4	制御入力		／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／		／			
業務 RM5	制御入力		／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／		／			
業務 RM6	制御入力		／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／		／			
業務 RM7	制御入力		／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／		／			
業務 RM8	制御入力		／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／		／			
PM1	制御入力 1								／	／			／									
	制御入力 2								／	／			／									
	制御入力 3								／	／			／									
	制御入力 4								／	／			／									
	制御入力 5								／	／			／									
	制御入力 6								／	／			／									
	制御入力 7								／	／			／									
	制御入力 8								／	／			／									
	制御入力 9								／	／			／									
	制御入力 10								／	／			／									
	制御入力 11								／	／			／									
	制御入力 12								／	／			／									
	制御入力 13								／	／			／									
	制御入力 14								／	／			／									
	制御入力 15								／	／			／									
	制御入力 16								／	／			／									
	制御入力 17								／	／			／									
	制御入力 18								／	／			／									
	制御入力 19								／	／			／									
	制御入力 20								／	／			／									

ユニット	制御入力	名称	用途																	番号	緊急	個別／グループ	回線／グループ番号
			個別放送	BGM1放送	BGM2放送	BGM3放送	BGM4放送	回線選択	AUX放送	AUXスイッチ	接点式RM放送	接点式RMチャイム	緊急地震放送	EV放送	EV放送停止	ミックスバス放送	時刻補正	未使用					
PM2	制御入力1								／	／			／										
	制御入力2								／	／			／										
	制御入力3								／	／			／										
	制御入力4								／	／			／										
	制御入力5								／	／			／										
	制御入力6								／	／			／										
	制御入力7								／	／			／										
	制御入力8								／	／			／										
	制御入力9								／	／			／										
	制御入力10								／	／			／										
	制御入力11								／	／			／										
	制御入力12								／	／			／										
	制御入力13								／	／			／										
	制御入力14								／	／			／										
	制御入力15								／	／			／										
	制御入力16								／	／			／										
	制御入力17								／	／			／										
	制御入力18								／	／			／										
	制御入力19								／	／			／										
	制御入力20								／	／			／										
PM3	制御入力1								／	／			／										
	制御入力2								／	／			／										
	制御入力3								／	／			／										
	制御入力4								／	／			／										
	制御入力5								／	／			／										
	制御入力6								／	／			／										
	制御入力7								／	／			／										
	制御入力8								／	／			／										
	制御入力9								／	／			／										
	制御入力10								／	／			／										
	制御入力11								／	／			／										
	制御入力12								／	／			／										
	制御入力13								／	／			／										
	制御入力14								／	／			／										
	制御入力15								／	／			／										
	制御入力16								／	／			／										
	制御入力17								／	／			／										
	制御入力18								／	／			／										
	制御入力19								／	／			／										
	制御入力20								／	／			／										

「1-4-5 制御出力設定」

ユニット	制御出力	名称	用途															
			音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	自機放送中	業務放送中	業務緊急放送中	放送中（接点式RM）	リモコン（接点式RM）	保守点検中	異常発生中	出力回線グループ連動	未使用
EP	制御出力 1									／			／	／				
	制御出力 2									／			／	／				
業務 RM1	制御出力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM2	制御出力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM3	制御出力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM4	制御出力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM5	制御出力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM6	制御出力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM7	制御出力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
業務 RM8	制御出力		／	／	／	／	／	／	／				／	／				
PM1	制御出力 1									／								
	制御出力 2									／								
	制御出力 3									／								
	制御出力 4									／								
	制御出力 5									／								
	制御出力 6									／								
	制御出力 7									／								
	制御出力 8									／								
	制御出力 9									／								
	制御出力 10									／								
PM2	制御出力 1									／								
	制御出力 2									／								
	制御出力 3									／								
	制御出力 4									／								
	制御出力 5									／								
	制御出力 6									／								
	制御出力 7									／								
	制御出力 8									／								
	制御出力 9									／								
	制御出力 10									／								
PM3	制御出力 1									／								
	制御出力 2									／								
	制御出力 3									／								
	制御出力 4									／								
	制御出力 5									／								
	制御出力 6									／								
	制御出力 7									／								
	制御出力 8									／								
	制御出力 9									／								
	制御出力 10									／								
EX1	制御出力 1									／			／	／				
	制御出力 2									／			／	／				
EX2	制御出力 1									／			／	／				
	制御出力 2									／			／	／				
EX3	制御出力 1									／			／	／				
	制御出力 2									／			／	／				

● 業務放送設定

「1-5-1 業務放送動作設定」

業務放送動作 / 業務放送	ミュートトリガー					ミュート対象					開始チャイム					終了チャイム				
	音声レベル	放送階選択	トークスイッチ	制御入力	制御なし	ミックスバス1－4	ミックスバス2－4	ミックスバス3－4	ミックスバス4	全てカット	1：上り4音	2：下り4音	3：2音	4：ゴング	未使用	1：上り4音	2：下り4音	3：2音	4：ゴング	未使用
本体マイク放送																				
非常 RM1 放送																				
非常 RM2 放送																				
非常 RM3 放送																				
非常 RM4 放送																				
非常 RM5 放送																				
非常 RM6 放送																				
非常 RM7 放送																				
非常 RM8 放送																				
非常 RM9 放送																				
非常 RM10 放送																				
非常 RM11 放送																				
非常 RM12 放送																				
非常 RM13 放送																				
非常 RM14 放送																				
非常 RM15 放送																				
非常 RM16 放送																				
業務 RM1 放送																				
業務 RM2 放送																				
業務 RM3 放送																				
業務 RM4 放送																				
業務 RM5 放送																				
業務 RM6 放送																				
業務 RM7 放送																				
業務 RM8 放送																				
接点式 RM1 放送																				
接点式 RM2 放送																				
接点式 RM3 放送																				
PM1 音声入力 1 放送																				
PM1 音声入力 2 放送																				
PM1 音声入力 3 放送																				
PM1 音声入力 4 放送																				
PM1 音声入力 5 放送																				
PM1 音声入力 6 放送																				
PM1 音声入力 7 放送																				
PM1 音声入力 8 放送																				
PM2 音声入力 1 放送																				
PM2 音声入力 2 放送																				
PM2 音声入力 3 放送																				
PM2 音声入力 4 放送																				
PM2 音声入力 5 放送																				
PM2 音声入力 6 放送																				
PM2 音声入力 7 放送																				
PM2 音声入力 8 放送																				

業務放送動作 / 業務放送	ミュートトリガー					ミュート対象					開始チャイム					終了チャイム				
	音声レベル	放送階選択	トークスイッチ	制御入力	制御なし	ミックスバス1ー4	ミックスバス2ー4	ミックスバス3ー4	ミックスバス4	全てカット	1：上り4音	2：下り4音	3：2音	4：ゴング	未使用	1：上り4音	2：下り4音	3：2音	4：ゴング	未使用
PM3 音声入力 1 放送																				
PM3 音声入力 2 放送																				
PM3 音声入力 3 放送																				
PM3 音声入力 4 放送																				
PM3 音声入力 5 放送																				
PM3 音声入力 6 放送																				
PM3 音声入力 7 放送																				
PM3 音声入力 8 放送																				
ミックスバス 1																				
ミックスバス 2																				
ミックスバス 3																				
ミックスバス 4																				

「1-5-1-1 音声レベル感度設定」

音声レベル / 業務放送	開始感度	終了感度
本体マイク放送	dB	dB
非常 RM1 放送	dB	dB
非常 RM2 放送	dB	dB
非常 RM3 放送	dB	dB
非常 RM4 放送	dB	dB
非常 RM5 放送	dB	dB
非常 RM6 放送	dB	dB
非常 RM7 放送	dB	dB
非常 RM8 放送	dB	dB
非常 RM9 放送	dB	dB
非常 RM10 放送	dB	dB
非常 RM11 放送	dB	dB
非常 RM12 放送	dB	dB
非常 RM13 放送	dB	dB
非常 RM14 放送	dB	dB
非常 RM15 放送	dB	dB
非常 RM16 放送	dB	dB

音声レベル / 業務放送	開始感度	終了感度
業務 RM1 放送	dB	dB
業務 RM2 放送	dB	dB
業務 RM3 放送	dB	dB
業務 RM4 放送	dB	dB
業務 RM5 放送	dB	dB
業務 RM6 放送	dB	dB
業務 RM7 放送	dB	dB
業務 RM8 放送	dB	dB
ミックスバス 1	dB	dB
ミックスバス 2	dB	dB
ミックスバス 3	dB	dB
ミックスバス 4	dB	dB

「1-5-2 優先度設定」

業務放送	優先度（1 ～ 60）
本体マイク放送	
非常 RM1 放送	
非常 RM2 放送	
非常 RM3 放送	
非常 RM4 放送	
非常 RM5 放送	
非常 RM6 放送	
非常 RM7 放送	
非常 RM8 放送	
非常 RM9 放送	
非常 RM10 放送	
非常 RM11 放送	
非常 RM12 放送	
非常 RM13 放送	
非常 RM14 放送	
非常 RM15 放送	
非常 RM16 放送	
業務 RM1 放送	
業務 RM2 放送	
業務 RM3 放送	
業務 RM4 放送	
業務 RM5 放送	
業務 RM6 放送	
業務 RM7 放送	
業務 RM8 放送	
接点式 RM1 放送	
接点式 RM2 放送	
接点式 RM3 放送	
EV 放送 1	
EV 放送 2	
EV 放送 3	
PM1 音声入力 1 放送	
PM1 音声入力 2 放送	
PM1 音声入力 3 放送	
PM1 音声入力 4 放送	
PM1 音声入力 5 放送	
PM1 音声入力 6 放送	
PM1 音声入力 7 放送	
PM1 音声入力 8 放送	
PM2 音声入力 1 放送	
PM2 音声入力 2 放送	
PM2 音声入力 3 放送	
PM2 音声入力 4 放送	
PM2 音声入力 5 放送	
PM2 音声入力 6 放送	
PM2 音声入力 7 放送	
PM2 音声入力 8 放送	
PM3 音声入力 1 放送	
PM3 音声入力 2 放送	
PM3 音声入力 3 放送	
PM3 音声入力 4 放送	
PM3 音声入力 5 放送	
PM3 音声入力 6 放送	
PM3 音声入力 7 放送	
PM3 音声入力 8 放送	
ミックスバス 1	
ミックスバス 2	
ミックスバス 3	
ミックスバス 4	

「1-5-3 同一優先度動作設定」

優先度	動作
1	後取り優先 / 先取り優先
2	後取り優先 / 先取り優先
3	後取り優先 / 先取り優先
4	後取り優先 / 先取り優先
5	後取り優先 / 先取り優先
6	後取り優先 / 先取り優先
7	後取り優先 / 先取り優先
8	後取り優先 / 先取り優先
9	後取り優先 / 先取り優先
10	後取り優先 / 先取り優先
11	後取り優先 / 先取り優先
12	後取り優先 / 先取り優先
13	後取り優先 / 先取り優先
14	後取り優先 / 先取り優先
15	後取り優先 / 先取り優先
16	後取り優先 / 先取り優先
17	後取り優先 / 先取り優先
18	後取り優先 / 先取り優先
19	後取り優先 / 先取り優先
20	後取り優先 / 先取り優先
21	後取り優先 / 先取り優先
22	後取り優先 / 先取り優先
23	後取り優先 / 先取り優先
24	後取り優先 / 先取り優先
25	後取り優先 / 先取り優先
26	後取り優先 / 先取り優先
27	後取り優先 / 先取り優先
28	後取り優先 / 先取り優先
29	後取り優先 / 先取り優先
30	後取り優先 / 先取り優先

優先度	動作
31	後取り優先 / 先取り優先
32	後取り優先 / 先取り優先
33	後取り優先 / 先取り優先
34	後取り優先 / 先取り優先
35	後取り優先 / 先取り優先
36	後取り優先 / 先取り優先
37	後取り優先 / 先取り優先
38	後取り優先 / 先取り優先
39	後取り優先 / 先取り優先
40	後取り優先 / 先取り優先
41	後取り優先 / 先取り優先
42	後取り優先 / 先取り優先
43	後取り優先 / 先取り優先
44	後取り優先 / 先取り優先
45	後取り優先 / 先取り優先
46	後取り優先 / 先取り優先
47	後取り優先 / 先取り優先
48	後取り優先 / 先取り優先
49	後取り優先 / 先取り優先
50	後取り優先 / 先取り優先
51	後取り優先 / 先取り優先
52	後取り優先 / 先取り優先
53	後取り優先 / 先取り優先
54	後取り優先 / 先取り優先
55	後取り優先 / 先取り優先
56	後取り優先 / 先取り優先
57	後取り優先 / 先取り優先
58	後取り優先 / 先取り優先
59	後取り優先 / 先取り優先
60	後取り優先 / 先取り優先

「1-5-4 非常断 24 V 出力設定」

非常断端子	業務中動作
# 1	継続 / カット / 緊急カット
# 2	継続 / カット / 緊急カット

「1-5-5 EV 音源音量設定」

音源	音量
EV 放送メッセージ 1	dB
EV 放送メッセージ 2	dB
EV 放送メッセージ 3	dB
EV 放送メッセージ 4	dB
EV 放送メッセージ 5	dB
EV 放送メッセージ 6	dB
EV 放送メッセージ 7	dB
EV 放送メッセージ 8	dB
EV 放送メッセージ 9	dB
EV 放送メッセージ 10	dB
チャイム 1	dB
チャイム 2	dB
チャイム 3	dB
チャイム 4	dB
点検音源 1	dB
点検音源 2	dB

「1-5-6-1 音声入力設定」→「1-5-6-1-1 簡易設定」

音声入力	音量	低域ゲイン	高域ゲイン	Comp.	しきい値
本体マイク		dB	dB	ON / OFF	dB
外部放送入力		dB	dB	ON / OFF	dB
非常 RM		dB	dB	ON / OFF	dB
業務 RM	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM1 音声入力 1	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM1 音声入力 2	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM1 音声入力 3	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM1 音声入力 4	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM1 音声入力 5		dB	dB	ON / OFF	dB
PM1 音声入力 6		dB	dB	ON / OFF	dB
PM1 音声入力 7		dB	dB	ON / OFF	dB
PM1 音声入力 8		dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 1	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 2	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 3	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 4	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 5		dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 6		dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 7		dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 8		dB	dB	ON / OFF	dB
PM3 音声入力 1	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 2	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 3	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 4	dB	dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 5		dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 6		dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 7		dB	dB	ON / OFF	dB
PM2 音声入力 8		dB	dB	ON / OFF	dB
ミックスバス 1		dB	dB	ON / OFF	dB
ミックスバス 2		dB	dB	ON / OFF	dB
ミックスバス 3		dB	dB	ON / OFF	dB
ミックスバス 4		dB	dB	ON / OFF	dB

「1-5-6-2 音声出力設定」

ユニット	出力系統	音量	プリセット
EP	1	dB	
EX1	1	dB	
	2	dB	
	3	dB	
	4	dB	
	5	dB	
	6	dB	
	7	dB	
	8	dB	
EX2	1	dB	
	2	dB	
	3	dB	
	4	dB	
	5	dB	
	6	dB	
	7	dB	
	8	dB	
EX3	1	dB	
	2	dB	
	3	dB	
	4	dB	
	5	dB	
	6	dB	
	7	dB	
	8	dB	

「1-5-7 作動表示灯設定」

表示モード	回線動作中 ON/ 通常

付録：設定についての補足

「1-2-5 アンプ設定」（P. 27）および「1-2-6 ジャンクションパネル設定」（P. 31）について、システムで自動的に入力または削除される部分があります。
「1-2-7 出力系統設定」（P. 32）については、設定の決まりがあります。
以下にその条件を記載しますので、参考にしてください。

■ パワーアンプパネルの設定（1-2-5）

● 入力するとき

ID は決定後自動的に表示されます。

［画面例］

1-2-5 アンプ設定

ユニット　EX1

出力系統	機種	ID
1	FS-2136DA	00
2	-----	--
3	-----	--
4	-----	--

［決定］
編集
［戻る］
ユニット選択

● 機種を追加するとき

FS-2110JP/2120JP のみ設定する場合、出力系統数と FS-2120JP および FS-2110JP の合計台数が一致するようジャンクションパネル設定の一番下に自動的に FS-2120JP が入力されます。

［例：出力系統 3 に機種を追加する］

① アンプ設定画面で機種を追加する。

1-2-5 アンプ設定

ユニット　EX1

出力系統	機種	ID
1	FS-2136DA	00
2	FS-2136DA×3	10
3	FS-2118DA	--
4	-----	--

［決定］
編集
［戻る］
ユニット選択

追加する。

② ジャンクションパネル設定画面に、該当する機種が自動的に入力される。

1-2-6 ジャンクションパネル設定

ユニット　EX1

No.	機種	ID
1	FS-2120JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2120JP	02
4	-----	--

［決定］
編集
［戻る］
ユニット選択

自動的に入力される。

メ　モ

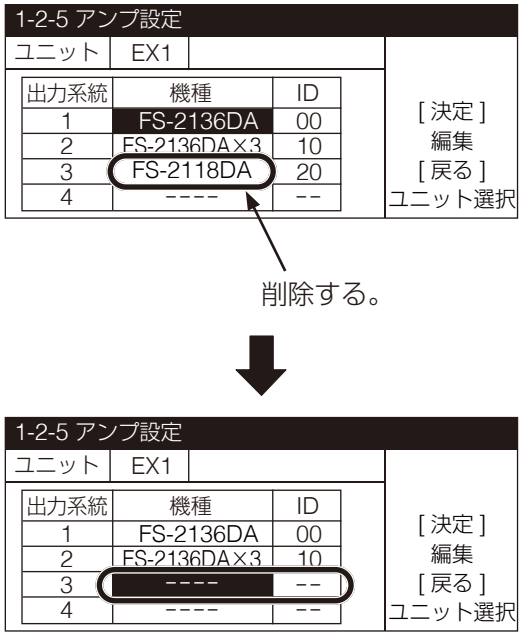
上記の設定例は電源機種系列の設定が「FS2000 系」の場合です。電源機種系列の設定が「FS2500 系」の場合は、「1-2-5-1 アンプモジュール設定」（P. 29）でアンプモジュールが追加され、出力系統が増えたときにジャンクションパネルが自動的に追加されます。

● 機種を削除するとき

FS-2110JP の台数が出力系統数を上回った場合、FS-2110JP の台数と出力系統数が同数になるまでジャンクションパネル設定の一番下から機種が削除されます。
この場合、削除されたジャンクションパネルに該当する出力系統設定のページが削除されます。

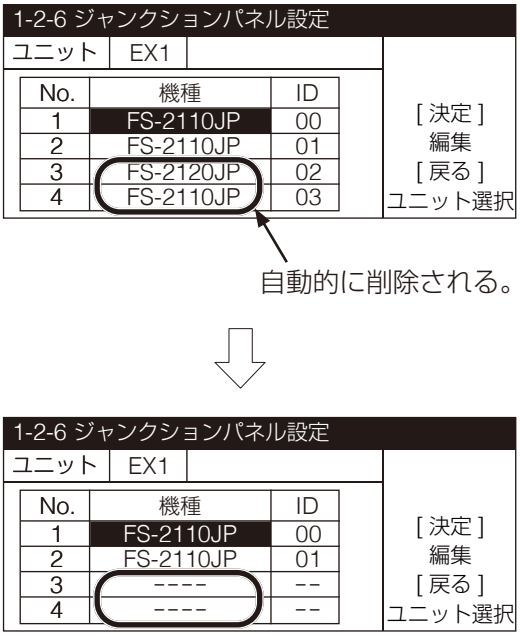
［例：出力系統 3 の機種を削除する］

① アンプ設定画面で機種を削除する。



② ジャンクションパネルの該当する機種が自動的に削除される。

FS-2110JP を 3 台設定していたときの画面例



左の例のように削除し、出力系統数が 2 になると、FS-2110JP が 2 台になるよう、1 番下からジャンクションパネルの機種が削除される。

メ　モ

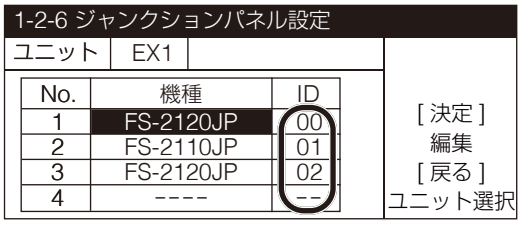
上記の設定例は電源機種系列の設定が「FS2000 系」の場合です。電源機種系列の設定が「FS2500 系」の場合は、「1-2-5-1 アンプモジュール設定」（P. 29）でアンプモジュールが削除され、出力系統が減ったときにジャンクションパネルが自動的に削除されます。

■ ジャンクションパネルの設定（1-2-6）

● 入力するとき

- ジャンクションパネルに入力可能な系統数の合計は、パワーアンプ出力系統数の合計以上になるように構成します。
  ※ 詳細は別冊の設置説明書「付録　パワーアンプパネル、ジャンクションパネルの接続・設定について」をお読みください。
- ID は No. 1 から「00」、「01」、「02」…と自動的に設定されます。

［例］



● 機種を追加するとき

ジャンクションパネル設定画面で機種を追加すると、出力系統設定画面に「JP」が追加されます。

［例：ジャンクションパネル No. 3 に機種を追加する］

① ジャンクションパネル設定画面で機種を追加する。

1-2-6 ジャンクションパネル設定

ユニット | EX1

No.	機種	ID
1	FS-2120JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2120JP	02
4	----	--

［決定］
編集
［戻る］
ユニット選択

追加する。

② 出力系統設定画面に、「JP3」の設定画面が追加される。

1-2-7 出力系統設定

ユニット | EX1 | JP ◀3▶

	41-60
系統 1	●
系統 2	
系統 3	

［決定］
出力系統選択
［戻る］
ユニット選択

● 機種を変更するとき

ジャンクションパネル設定画面で機種を変更すると、機種に応じて出力系統設定画面の設定内容が変更されます。

FS-2120JP → FS-2110JP、または FS-2110JP → FS-2120JP へ変更する場合

同出力系統に引き継ぎます。

［例］

・FS-2120JP

	1 | 20
系統 1	
系統 2	●
系統 3	

↔

・FS-2110JP

	1 | 10
系統 1	
系統 2	●
系統 3	

FS-2120JP → FS-2420JP、または FS-2110JP → FS-2420JP へ変更する場合

全回線とも同出力系統に引き継ぎます。

［例］

・FS-2120JP

	1 | 20
系統 1	
系統 2	●
系統 3	

→

・FS-2420JP

	1 | 5	6 | 10	11 | 15	16 | 20
系統 1				
系統 2	●	●	●	●
系統 3				

・FS-2110JP

	1 | 10
系統 1	
系統 2	●
系統 3	

→

・FS-2420JP

	1 | 5	6 | 10	11 | 15	16 | 20
系統 1				
系統 2	●	●	●	●
系統 3				

FS-2420JP → FS-2120JP、または FS-2420JP → FS-2110JP へ変更する場合

一番左側の回線の「●」を引き継ぎます。

［例］

・FS-2420JP

	1 – 5	6 – 10	11 – 15	16 – 20
系統 1	●			
系統 2		●		●
系統 3			●	

→

・FS-2120JP

	1 – 20
系統 1	●
系統 2	
系統 3	

・FS-2420JP

	1 – 5	6 – 10	11 – 15	16 – 20
系統 1	●			
系統 2		●		●
系統 3			●	

→

・FS-2110JP

	1 – 10
系統 1	●
系統 2	
系統 3	

● 機種を削除するとき

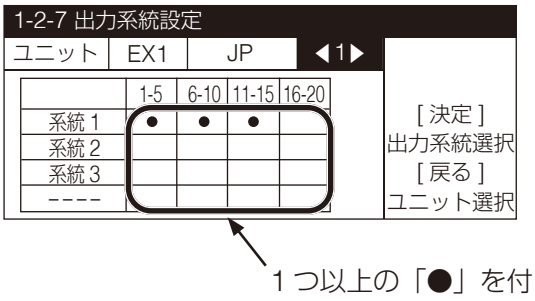
該当する出力系統設定のページが削除されます。

■ 出力系統の設定（1-2-7）

● 入力するとき

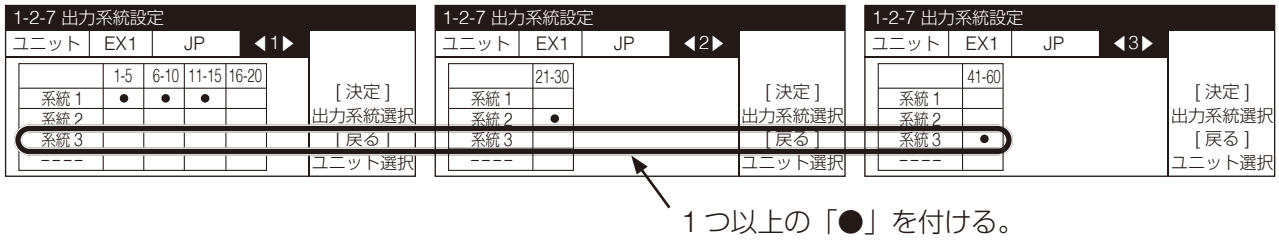
●「JP」1 つの画面ごとに必ず 1 つ以上の「●」を付けてください。

［例］



●各出力系統に必ず 1 つ以上の「●」を付けてください。

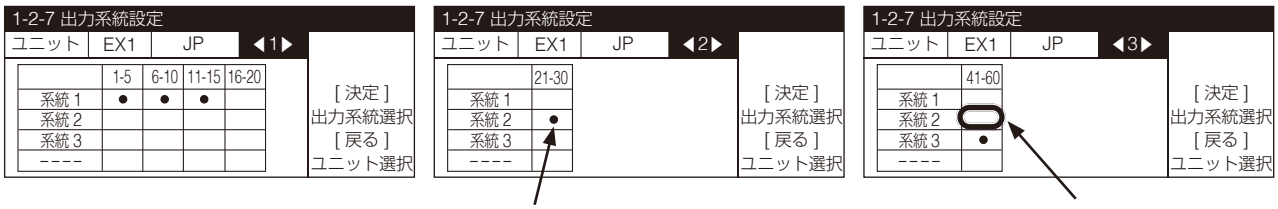
［例］



● FS-2110JP は出力系統の最後尾にしか接続できません。

［例］

JP1：FS-2420JP　　JP2：FS-2110JP　　JP3：FS-2120JP

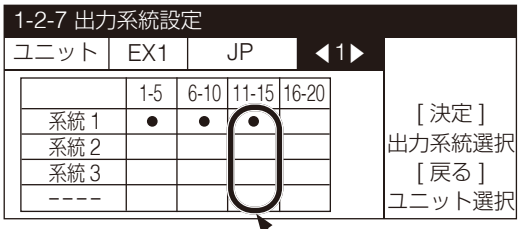


FS-2110JP が接続されているので、出力系統 2 はここが最後尾。

FS-2110JP より後ろには接続できないので、ここに「●」を付けることはできない。

● 各回線には 1 つの出力系統しか接続できません。

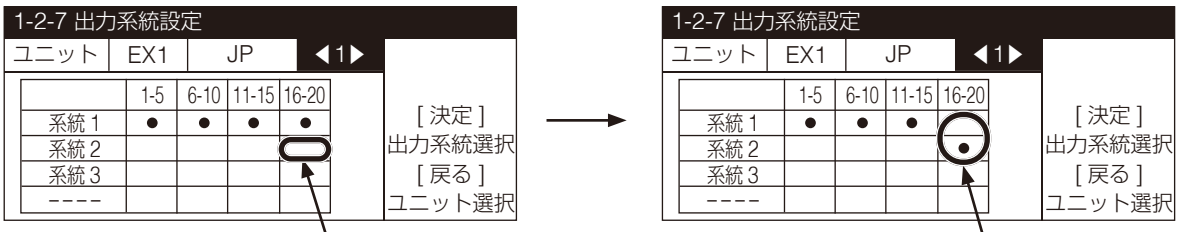
［例］



2 つ以上の「●」を付けることはできない。

● ある回線上に「●」が付いている場合、その回線上の別の出力系統のセルを選択して確定キーを押すと、自動的に「●」が移動します。

［例］

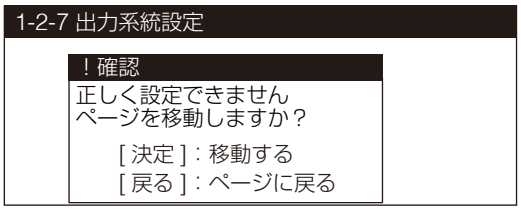


ここを選択して確定キーを押す。

出力系統 2 に「●」が付き、出力系統 1 の「●」は自動的に消える。

付録：エラーダイアログ表示時の対処

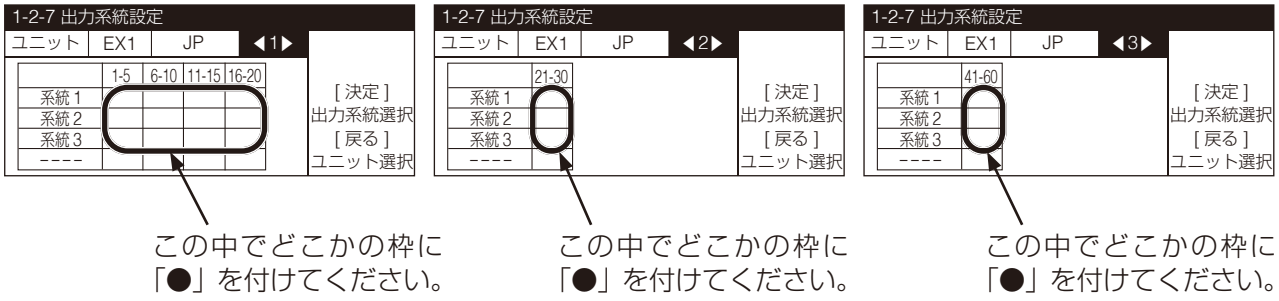
以下のエラーダイアログが表示されたときは、設定が漏れている可能性があります。



以下の点をご確認ください。

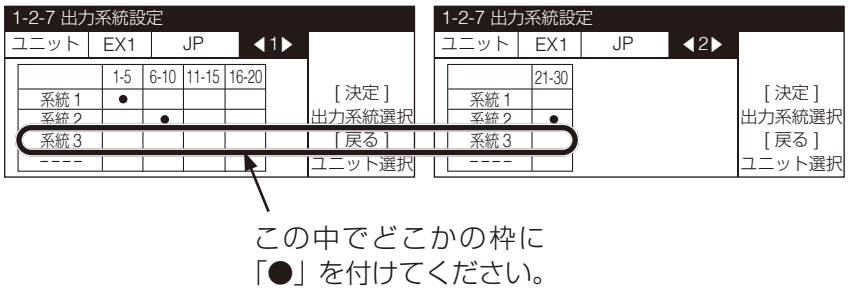
① 出力系統設定で「●」が付いていない「JP」はありませんか？

[例]



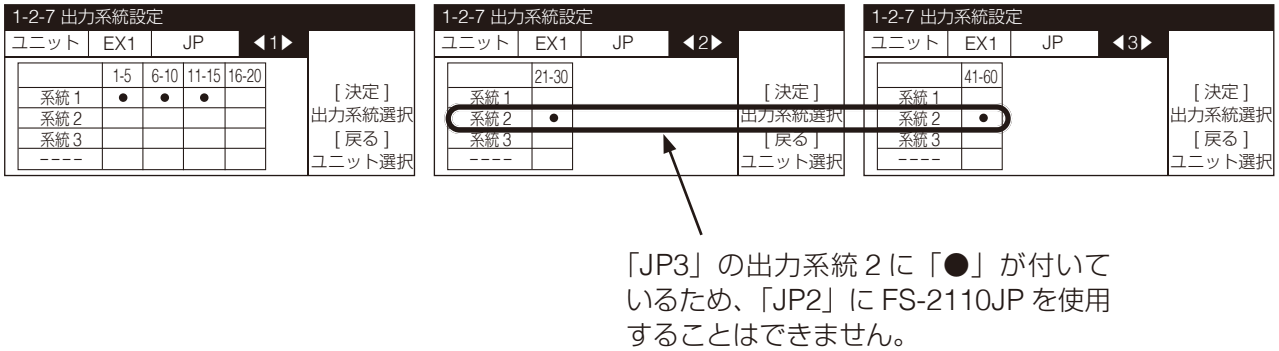
② 出力系統設定で「●」が付いていない「出力系統」はありませんか？

[例]



③ 出力系統設定で最後尾以外に接続されている FS-2110JP はありませんか？

[例]

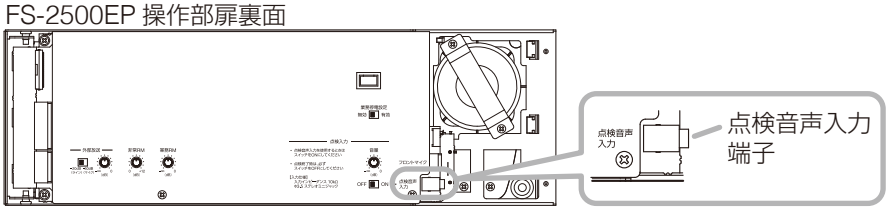


付録：点検入力の使用方法

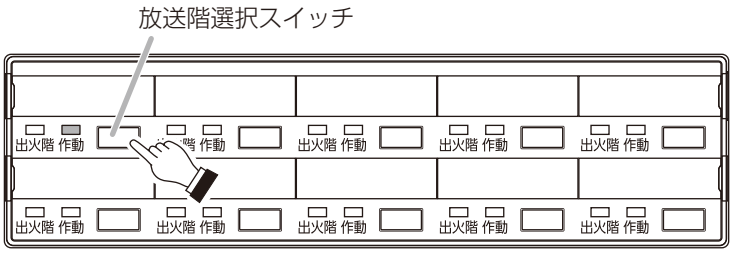
総合点検モードや通常モードで点検音声入力端子に接続した機器からの音声をフロントマイクの音声の代わりに放送することができます。以下の手順で使用してください。

1 点検音声入力に演奏機器を接続する。

FS-2500EP 操作部扉裏面



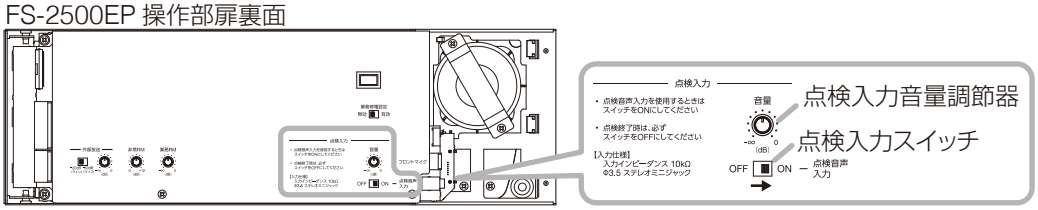
2 本体の放送階選択スイッチで放送先を選択する。



3 点検入力スイッチを ON にする。

点検音声入力端子に接続した機器からの音声が放送されます。点検入力音量調節器で適切な音量に調節してください。

FS-2500EP 操作部扉裏面



4 点検が終了したら、点検入力スイッチを OFF に戻し、点検音声入力に接続した機器を取り外す。

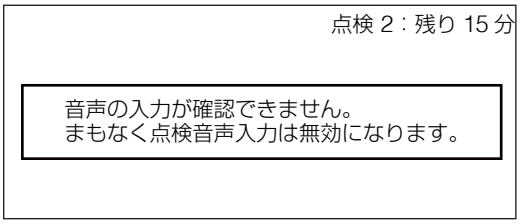
メ　モ

点検入力スイッチが ON の場合は、液晶画面の右上に「点検 2」（通常モード）または「点検 1&2」（総合点検モード）、および点検の残り時間が表示されます。

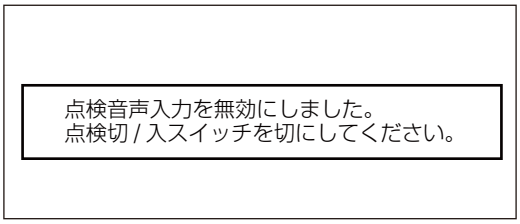
ご注意

- 点検音声入力が無音状態で 15 分経過すると、警告画面例 1 のようなメッセージが表示されます。
  警告画面表示中に点検音声入力から信号が入ると、警告画面が消えます。
  無音状態のまま、さらに 15 分経過すると、自動的に点検音声入力での放送を終了し、通常の放送に戻ります。このときには、警告画面例 2 のようなメッセージが表示されます。警告画面例 2 の表示は、点検入力スイッチを OFF にするまで消えません。

警告画面例 1



警告画面例 2



- 点検音声入力を使用して非常放送の確認を行う場合は、非常起動スイッチを操作するなどして非常放送を開始した後に点検入力スイッチを ON にしてください。

TOA お客様相談センター

商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。
受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）

フリーダイヤル（固定電話専用）
0120-108-117
ナビダイヤル　0570-064-475（有料）
FAX　0570-017-108（有料）
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ https://www.toa.co.jp/

TOA株式会社

133-02-00545-03